

平成28年度

山口県教育推進の手引き

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成に向けて



平成28年4月
山口県教育委員会

はじめに

県教育委員会では、平成25年10月に策定した「山口県教育振興基本計画」（平成27年3月一部改定）に基づき、教育目標である「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」に向け、本県の教育課題に的確に対応した諸施策を総合的・計画的に推進しています。

また、本県では平成27年4月から新しい教育委員会制度の下、本県教育の課題やあるべき姿を知事と県教育委員会が共有しながら、より一層一体的な教育行政を推進するため「山口県総合教育会議」が設置され、平成27年10月に「山口県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」が策定されました。

この大綱は、県の総合計画である「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」を基本とし、「山口県教育振興基本計画」との整合を図りながら、チャレンジプランに記載した事項を再構築したもので、知事と教育委員会の連携強化を図り、それぞれの取組を一体的に進めるため、各施策の目標や根本となる方針を定めたものです。

こうした中、人口減少の克服に向けた地方創生の取組が本格化し、将来の本県を支える人材の育成を担う教育の役割は大変重要となっており、ふるさとやまぐちを愛する子どもの育成や、社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進、やまぐちの未来を担う子どもたちを育む教育環境の充実を図っていく必要があります。

このため、県教委では教育振興基本計画に掲げる「10の緊急・重点プロジェクト」に沿った施策の重点化を図るとともに、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」「質の高い教育環境づくりの推進」「生涯にわたる県民総参加の教育の推進」の3つの柱に沿って総合的・計画的に施策を推進していくこととしています。

様々な施策の展開に際しては、計画の進捗状況や国の動向を踏まえる必要があることから、単年度計画としての「山口県教育推進の手引き」を毎年度作成しているところです。本手引きには、本県教育に関わる全ての人々が、本県教育の現状やめざす方向性、取組内容等を共有し、一体となって取り組むことが重要であることから、各施策の取組方針や具体的な取組内容等をお示ししています。

各学校等におかれましては、本手引きを有効に活用し、点検・評価等を通じた継続的な学校運営の改善や創意工夫をしながら積極的な教育活動を展開され、児童生徒や保護者、地域の期待に応える学校づくりに努めていただきますようお願いいたします。

平成28年4月

山口県教育委員会教育長 浅原 司

目次

■	はじめに	
■	山口県の教育目標	1
■	目標達成に向けて	2
■	めざす「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けて	3
■	山口県教育振興基本計画の改定について	7
■	施策の展開	23
1	知・徳・体の調和のとれた教育の推進	24
1	キャリア教育の推進	25
2	学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実	27
3	学習指導の改善・充実	35
4	国際教育の推進	41
5	読書活動の充実	43
6	学校における人権教育の推進	45
7	体力向上の推進	47
8	食育の推進	49
9	健康教育の推進	51
10	特別支援教育の推進	54
11	幼児期における取組の充実	60
12	少人数教育の推進	62
13	生徒指導・相談体制の充実	64
14	進路指導の充実	68
15	社会教育施設等を活用した教育の充実	72
2	質の高い教育環境づくりの推進	74
16	教育施設・設備の整備、教育環境の向上	75
17	学校安全の推進	76
18	教職員の資質能力の向上	79
19	学校運営の活性化	83
20	校種間連携・一貫教育の推進	86
21	県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり	88
22	私学の振興	90
23	修学支援の充実	91
3	生涯にわたる県民総参加の教育の推進	93
24	家庭教育支援の充実	94
25	地域と学校が連携した子どもの育成	96
26	生涯学習の推進	100
27	地域社会における人権教育の推進	102
28	文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	104
29	文化財の保護と活用	106
30	「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	108
	《関連資料》	
■	新しい教育委員会制度・総合教育会議・大綱	111
■	山口県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について	113
■	平成28年度重点取組方針	123
■	平成28年度 教育委員会当初予算の概要	127
■	平成28年度 知事部局等児童生徒関係事業一覧	172
■	県教育委員会作成資料リスト	179
■	元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプランについて（教育委員会関係の要約）	206
■	山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略について（教育委員会関係の要約）	214

山口県の教育目標

未来を拓く^{ひら} たくましい「やまぐちっ子」の育成

やまぐちっ子のすがた

- ★ 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- ★ 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付け、他者とのつながりを大切にしながら力強く生きていく人
- ★ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

本県教育の特色は、豊かな先見性、進取の気質、質実剛健の気風、郷土を愛し郷土に奉仕する精神とともに、「若さに期待し、若さに託してきた」優れた教育風土に代表されると言われており、これらは、本県が未来に引き継ぐべき貴重な財産です。

一方で、近年では、少子高齢化の進行、グローバル化・高度情報化の進展や知識基盤社会の到来など、急速な社会の変化に伴い、家庭や地域社会の変容、個人のライフスタイルの多様化など、子どもたちを取り巻く環境は急速に変化しています。

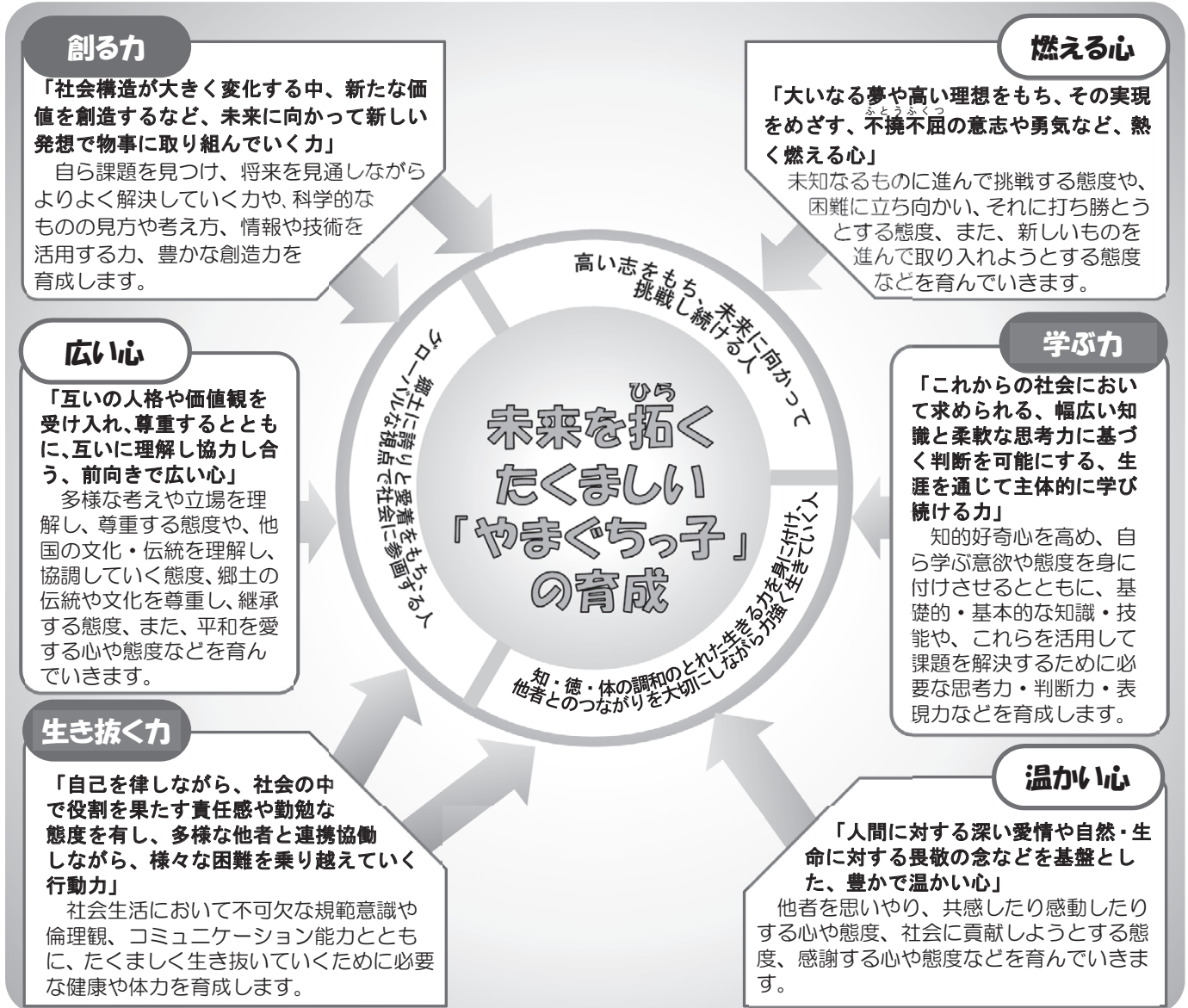
こうした中、本県においては、夢や目標をもち、人の役に立つ人間になりたい、自分には良いところがあると考えながら生活を送っている子どもたちの割合は、全国の状況と比べ望ましい傾向にあり、また、学力や規範意識についても、向上・改善傾向にあるなど、これらは本県の子どもたちのよさと考えられます。

今後は、こうした子どもたちのよさをさらに伸ばしながら、大きく変化することが予想されるこれからの社会において、夢や目標を志に高め、他者とのつながりを大切にするとともに、自信と希望をもって自らの将来や社会を力強く切り拓いていく子どもたちを育てていくことが必要です。

このため、本県教育の目標を「未来を拓く^{ひら} たくましい『やまぐちっ子』の育成」として掲げ、教育内容や指導・支援体制の充実、教育環境の整備など、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進します。

目標達成に向けて

3つの力（能力目標）と3つの心（態度目標）の育成



教育活動の展開に当たっての基軸

次の3つを教育内容の基軸として、教育活動全体を通して様々な取組を展開することにより、3つの力と3つの心を育み、未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」を育成します。

キャリア教育

夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力の育成

コミュニケーション能力を育む教育

人や社会とのかかわりを通して、自他を尊重し、認め合い高め合う力の育成

地域や伝統、文化を踏まえた教育

地域や伝統、文化に対する理解を深め、自らに生かし、ふるさとへの誇りと愛着をもちながら、継承し発展させようとする心や態度の育成

めざす「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けて

教育目標においてめざす「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けては、「3つの力」と「3つの心」を育むために、授業等での取組をはじめ、学校の組織的な取組や家庭・地域との連携による取組内容をより一層充実していくことが必要です。

ここでは、「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けて、育みたい「力」や「心」とともに期待する学校での具体的な取組内容を示しています。

高い志をもち、
未来に向かって
挑戦し続ける人

知・徳・体の調和がとれた生きる力を身
に付け、他者とのつながりを大切にしな
がら力強く生きていく人

郷土に誇りと愛着をもち、
グローバルな視点で
社会に参画する人

3つの力

〈学ぶ力・創る力・生き抜く力〉

3つの心

〈広い心・温かい心・燃える心〉

〈授業等での取組〉

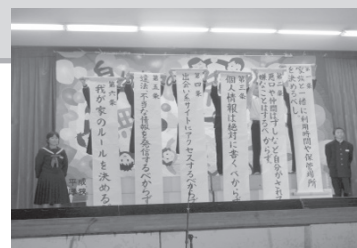
- 年間指導計画に位置付けた計画的な取組の推進
- 学習指導要領に基づいた授業等の充実
- 教員の指導力の向上に向けた校内研修の充実
- 授業評価による取組の確認・改善



人材育成ユニット研修における
学校運営協議会委員による授業
参観と授業についての協議

〈学校の組織的な取組〉

- 学校教育目標やチャレンジ目標等に位置付けた全校体制での取組の推進
- 児童会・生徒会活動や学校行事等の特別活動の充実
- 教育活動の展開に当たっての基軸による教育活動全体を通じた取組の充実
- 学校評価の活用による取組の確認・改善



保健委員会を軸としたメディ
アコントロールへの提言

〈家庭・地域との連携〉

- コミュニティ・スクール、地域協育ネット、放課後子ども教室等の推進
- リーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」(家庭教育の5つのポイント)の活用
- やまぐち教育応援団の活用
- ボランティア活動の推進



地域の母親クラブの支援
による保育実習

「高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人」を育てるために

- ◆ 一人ひとりの願いや思いを、未来への大いなる夢や理想へと高め、その実現に向けた強い意志を有している。
- ◆ 将来に対し希望をもちながら、自らを高めるための努力を惜しまず、未知なるものへ進んで挑戦する態度や困難を乗り越える態度、新しいものを取り入れようとする態度を身に付けている。

創る力

—新しい発想で物事に取り組んでいく力—

- ◇自ら課題を見つけ、将来を見通しながらよりよく解決していく力
- ◇科学的なものの見方や考え方、情報や技術を活用する力
- ◇豊かな創造力

育みたい「力」や「心」

燃える心

ふとうふくつ

—不撓不屈の意志や勇気など、熱く燃える心—

- ◇未知なるものに進んで挑戦する心や態度
- ◇困難に立ち向かい、それに打ち勝とうとする心や態度
- ◇新しいものを進んで取り入れようとする心や態度

＜授業等での取組＞

- 子どもたちが夢や志を育んだり、将来のことを考えたりすることを意識しながら授業を行っている。
- めあてを明確に示すなどして、子どもたちが主体的に学び、達成感を感じる授業を行っている。
- 子どもたちが自分のよさや可能性を発見することにつながる授業を行っている。
- 子どもたちが挑戦する場面に出会えるよう、課題解決的な学習を行っている。
- 授業の中に、先人の「志」や身近な人の「夢」等にふれる場面を設けている。
- 新聞やICT等、情報や技術を活用する場面を設けている。 など

＜学校の組織的な取組＞

- キャリア教育全体計画に基づき系統的・計画的なキャリア教育を行っている。
- 職場見学・職場体験・インターンシップ等を通して、職業に対する意識を高める取組を積極的に進めている。
- 立志式や1/2成人式など、子どもたちの夢や志を育む取組を学校行事に位置付けて行っている。
- 児童会・生徒会活動を通して、子どもたちが学校生活上の課題を見つけ、協力して解決していく取組を進めている。
- クラブ活動や部活動等を通して、子どもたちの挑戦する態度を育む取組を進めている。
- 各種検定試験、科学・語学系コンテスト（大会）等に積極的に挑戦し、創造性を発揮するよう働きかけている。 など

＜家庭・地域との連携＞

- 学校だより等を通じて、子どもの夢や保護者の思い、将来のことについて家庭で語り合う機会をつくっている。
- リーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」を活用するなどして、家庭の中での役割を考えさせる機会を設けている。
- ボランティア活動や地域の行事への参加の機会を設けるなど、子どもたちが自己有用感を感じる取組を積極的に進めている。
- 地域の人々との交流の場面を設けるなど、地域の人々の願いや思いに子どもたちがふれる機会を設けている。 など

「知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付け、 他者とのつながりを大切にしながら力強く生きていく人」を育てるために

- ◆ 志をもちながら未来に向かって挑戦し続けるために必要な、学び続ける力やたくましさ、さらにはこれらを支える豊かな人間性を有している。
- ◆ 他者を思いやり、共感したり、感謝したりする心を有するとともに、自己のよさや可能性を見出し、個性を發揮しながら、主体的に考え、判断し、行動するなど、自主・自立の精神に富んでいる。

育みたい「力」や「心」

学ぶ力

- －生涯を通じて主体的に学び続ける力－
- ◇知的な好奇心
- ◇自ら学ぶ意欲や態度
- ◇基礎的・基本的な知識・技能
- ◇思考力・判断力・表現力 等

生き抜く力

- －連携協働しながら、様々な困難を乗り越えていく力－
- ◇規範意識や倫理観
- ◇コミュニケーション能力
- ◇たくましく生き抜いていくために必要な健康や体力

温かい心

- －豊かで温かい心－
- ◇他者を思いやり、共感したり感動したりする心や態度
- ◇社会に貢献しようとする心や態度
- ◇感謝する心や態度

<授業等での取組>

- 知的な好奇心を喚起し、自ら学ぶ意欲や態度を育む授業を行っている。
- 基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の確かな学力を育成する授業を行っている。
- 記録、説明、論述、討論などの言語活動等を通じて、子どもたちのコミュニケーション能力を育成する授業を行っている。
- 道徳の時間や特別活動等を通して、子どもたちの倫理観や社会性、規範意識、豊かな心を育む授業を行っている。
- 体育科、保健体育科の授業や学校給食の場面等で、健康増進や体力向上に向けた取組に関心をもたせる継続的な取組を行っている。 など

<学校の組織的な取組>

- 全国学力・学習状況調査等の結果を活用するなど、子どもたちの学力向上に向けた取組を進めている。
- 人権教育や道徳教育を推進し、人権尊重の意識や、互いを尊重する心、思いやりの心を育む教育を進めている。
- 集団宿泊活動やA F P Y等の体験活動を通して、豊かな人間関係を育む教育活動を推進している。
- 障害のある子どもたちと交流する機会を設けるなど、互いを尊重し認め合う心を育む取組を進めている。
- 「新体力テスト」や「生活習慣調査」等の結果を踏まえ、体力の向上や食生活の改善に関する取組を推進している。
- 学校行事やクラブ活動、部活動等を通して、仲間と協力して困難を乗り越える経験や感動体験のある取組を進めている。 など

<家庭・地域との連携>

- 学力や体力の状況を家庭や地域と共有し、学力・体力の向上に向けた取組を地域ぐるみで進めている。
- 「家庭学習の手引き」等を活用して、家庭での学習習慣の定着に向けた取組を進めている。
- 挨拶や言葉遣い等の礼儀やマナーなど、子どもたちの規範意識を高める取組を地域ぐるみで行っている。
- 地域の人々や異年齢の人々と接する機会を通して、多様な世代にふれ、子どもたちの思いやりや感謝する心を育む取組を進めている。
- ボランティア活動を通して、主体的な社会貢献や社会参加につながる取組を進めている。
- 『食事、運動・遊び、読書』90日元気手帳』を活用し、家庭と連携した望ましい生活習慣の定着に向けた取組を進めている。 など

「郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人」 を育てるために

- ◆ 豊かな国際感覚をもち、幅広い視野で考え、行動している。
- ◆ ふるさとの自然や人、伝統、文化を大切にする気持ちをもち続け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与している。

育みたい「力」や「心」

創る力

- 新しい発想で物事に取り組んでいく力—
- ◇自ら課題を見つけ、将来を見通しながらよりよく解決していく力
- ◇科学的なものの見方や考え方、情報や技術を活用する力
- ◇豊かな創造力

生き抜く力

- 連携協働しながら、様々な困難を乗り越えていく力—
- ◇規範意識や倫理観
- ◇コミュニケーション能力
- ◇たくましく生き抜いていくために必要な健康や体力

広い心

- 互いに理解し合う、前向きで広い心—
- ◇多様な考えや立場を理解し、尊重する心や態度
- ◇他国の文化、伝統を理解し、協調する心や態度
- ◇郷土の伝統や文化を尊重し、継承する心や態度
- ◇平和を愛する心や態度

<授業等での取組>

- 『これが私の故里だ』～山口県伝統・文化教材集～の活用や学校周辺のフィールドワークを取り入れるなど、ふるさとの自然や人、文化への関心を高める授業を行っている。
- 古典、歴史、唱歌・和楽器、武道等の我が国の伝統に接する学習を取り入れるなど、伝統、文化を継承・発展させる心や態度を育む授業を行っている。
- 諸外国の歴史や文化等に接する学習を取り入れ、幅広い視野で考え行動する態度を育む授業を行っている。
- 新聞やICT等を活用して、地域社会や世界の動きにふれることができる授業を行っている。 など

<学校の組織的な取組>

- 地域や伝統、文化に関する学習を年間指導計画等に位置付け、計画的に取り組んでいる。
- 伝統、文化を継承する地域人材や世界を舞台に活躍している人材と交流できる機会を設けるなど、子どもたちの視野を広げる取組を進めている。
- 職場見学・職場体験・インターンシップ等を通して、地域の産業や人々とふれあう機会を設けている。
- 海外姉妹校交流など国際交流の取組を進めている。
- 海外の人々との交流を通して、国際感覚を身に付ける機会を設けている。 など

<家庭・地域との連携>

- 地域行事等に家族や学校単位で積極的に参加することを通して、子どもたちの地域づくりに向けた意識を育んでいる。
- 地域人材を学校に招き、昔遊び体験等、伝統、文化にふれる機会をつくっている。
- 公民館や地域の関係団体等と連携し、子どもたちが地域の伝統、文化を継承する取組を地域ぐるみで行っている。
- 身近な大人や先輩の生き方や考え方にふれる機会を設けている。 など

山口県教育振興基本計画の改定について

改定の趣旨・内容

山口県教育委員会では、少子高齢化の進行やグローバル化、高度情報化の進展など、本県教育を取り巻く環境の変化や、本県の子どもの状況、国の教育改革の動向等も的確に捉えた上で、平成25年10月に、本県教育がめざす方向性と施策等を示した新たな指針として、山口県教育振興基本計画（以下「教育振興基本計画」）を策定し、本県教育の振興に向けた様々な施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

一方、平成27年3月には、新たな県政運営の指針として、県が進める政策の基本的な方向をとりまとめた総合的な計画であり、かつ、その方向性に沿って取り組むべき具体的な施策を掲げた実行計画でもある「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」（以下「チャレンジプラン」）が策定されました。

このチャレンジプランは、本県の施策別計画・構想等の最上位の計画となることから、本県教育の目標や現行の教育振興基本計画の位置付け、計画期間、30の施策などの基本的な枠組みを継承しつつ、具体的な施策の展開に際して、チャレンジプランの重点施策や活力指標を踏まえながら、「10の緊急・重点プロジェクト」の取組内容や50の「主な推進指標」の目標値等について、チャレンジプランと教育振興基本計画の整合性を確保したものです。

計画の位置づけ

本計画は、チャレンジプランにおいて、県づくりの基本目標として掲げる、「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、本県教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための基本的な方針や取組を明らかにするものです。

また、教育基本法第17条第2項に定める本県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

計画期間

平成25年度（2013年度）から平成29年度（2017年度）までの5年間
（平成27年3月一部改定）

年度	10	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
山口県	山口県教育ビジョン（H10.3策定） H10～24（15年間）							山口県教育振興基本計画 H25～29（5年間） 改定教育振興基本計画					
国								教育振興基本計画		第2期教育振興基本計画			

本県教育をめぐる状況

教育を取り巻く環境

- 1 少子高齢化の進行と家庭・地域社会の変容
- 2 グローバル化・高度情報化の進展と知識基盤社会化
- 3 雇用環境の変化
- 4 東日本大震災の教訓

子どもの状況

- 1 子どもの学力・学習状況
- 2 子どもの意識
- 3 子どもの体格・体力
- 4 児童生徒の問題行動等

教育目標：未来を拓く ^{ひら}たくましい「やまぐちっ子」の育成

やまぐちっ子のすがた

- 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付け、他者とのつながりを大切にしながら力強く生きていく人
- 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

目標達成に向けて

3つの力(学ぶ力、創る力、生き抜く力) 3つの心(広い心、温かい心、燃える心)の育成

施策の展開

総合的・計画的な施策の推進

3つの施策の柱

- 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- 質の高い教育環境づくりの推進
- 生涯にわたる県民総参加の教育の推進

30の施策

50の主な推進指標

重点化

10の緊急・重点プロジェクトの推進

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ①地域ぐるみの教育推進プロジェクト | ⑥ものづくり人材育成プロジェクト |
| ②確かな学力育成プロジェクト | ⑦魅力ある学校づくりプロジェクト |
| ③豊かな心育成プロジェクト | ⑧安心・安全な学校づくりプロジェクト |
| ④子ども元気創造プロジェクト | ⑨教職員人材育成プロジェクト |
| ⑤グローバル人材育成プロジェクト | ⑩世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト |

計画の着実な推進

- 市町教委、関係機関・関係団体等との連携
- 教育委員会の事務の点検・評価
- 外部意見の反映

緊急・重点プロジェクトの推進

変化の激しい時代にあって、子どもたち一人ひとりに力強く生き抜く力を育てていくためには、学力や体力の維持・向上はもとより、いじめや不登校問題への対応、家庭・地域の教育力の向上など、複雑・多様化する教育課題により的確に対応することが重要です。

とりわけ、人口減少・少子高齢社会にあって、核家族化や地域のつながりの希薄化が進行しており、学校・家庭・地域が一体となった本県らしい特色ある教育を推進していくためには、社会総がかりによる『地域教育力日本一』の取組による確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた教育を推進していくことが重要となっています。

また、経済、文化、科学技術など、様々な分野でグローバル化が進展しており、郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人材の育成や本県のものづくり産業を担う人材の育成に向けた教育を推進していくことが求められています。

さらに、こうした教育を推進していくためには、魅力ある学校づくりや安心・安全な学校づくり、さらには学校教育の直接の担い手である教職員の育成など、質の高い教育環境づくりを推進していく必要があります。

こうしたことから、これらの取組を、計画期間内に重点的に実施する「10の緊急・重点プロジェクト」として掲げ、具体的な工程表に沿って、本県の実情を踏まえた実効ある取組を推進します。

- ① 地域ぐるみの教育推進プロジェクト
- ② 確かな学力育成プロジェクト
- ③ 豊かな心育成プロジェクト
- ④ 子ども元気創造プロジェクト
- ⑤ グローバル人材育成プロジェクト
- ⑥ ものづくり人材育成プロジェクト
- ⑦ 魅力ある学校づくりプロジェクト
- ⑧ 安心・安全な学校づくりプロジェクト
- ⑨ 教職員人材育成プロジェクト
- ⑩ 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

① 地域ぐるみの教育推進プロジェクト

推進方向

「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」の活動を充実させ、学校・家庭・地域が連携・協働して次代を担う子どもたちの育成を図ります。また、多様な世代の交流を通して、地域の歴史や伝統文化等を次世代に伝える取組を進めます。

具体的な取組内容

- ◆ 「コミュニティ・スクール」が核となって各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりで小中9年間の子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進します。また、県立学校へのコミュニティ・スクールの導入についても検討します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「コミュニティ・スクール」の設置推進、優れた実践事例の普及		コミュニティ・スクール推進協議会の設置	山口CSコンダクターの配置（13市）	地域住民の理解、参画の推進に向けた住民意識調査の実施
			県立高校・総合支援学校へのコミュニティ・スクールの検討・設置		
	【主な推進指標】コミュニティ・スクールの設置率（市町立小・中学校） 100%				

- ◆ 地域ぐるみで幼児期から中学校卒業程度までの子どもの育ちを見守り支援する「地域協育ネット」を全県で推進するために、コーディネーター等の養成を行うとともに、多様な人材の参画を得ながら、活動の充実を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	
取組内容	協議会の100%設置		「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の設置	表彰制度の創設による好事例の普及		
			コーディネーター養成講座等を通じた地域人材の養成	地域と各学校をつなぐ統括コーディネーターの全中学校区への配置（100%）	多様な人材の参画、公民館や地域の関係団体等との連携促進	
			放課後子ども教室の充実、放課後児童クラブとの連携促進	「やまぐち教育応援団」制度の登録・利用促進		
			幼稚園や家庭教育アドバイザー等と連携した、乳幼児や小学生等の保護者が集う家庭教育講座や家庭教育サロンなどの実施	アドバイザー養成講座の充実	家庭教育支援チームについての啓発	全市町設置

- ◆ 山口県で生まれ育った先人などの歴史や伝統について世代を越えて学び次世代に伝えるため、地域の人材や史跡等を活用した講座の開催などによる三世代交流教育などの取組を推進するとともに、世界文化遺産等への登録や登録後の効果的な活用に向けた取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	先人学習コーナーの設置	山口県セミナーパークにおける三世代交流教育の推進			
	「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産への登録促進と活用				
			大河ドラマ特別展「花燃ゆ」の開催		

② 確かな学力育成プロジェクト

推進方向

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や活用する力の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けて、P D C Aサイクルによる授業改善の取組など学校における組織的な取組や家庭・地域と一体となった取組を推進します。

具体的な取組内容

- ◆ 小・中学校においては、全国トップクラスの学力をめざし、少人数学級化や少人数指導を推進します。また、学力向上に向けた明確な学校目標を設定して学校全体で取り組む体制づくりを進めるとともに、基礎的・基本的な内容の一層の定着と活用する力の育成をめざし、P D C Aサイクルによる授業改善を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	少人数指導による学力に応じたきめ細かな指導の充実		学校からの提案による目的に応じた少人数指導の完全実施		
	少人数学級化や習熟度別指導の充実など一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実				
	3 5 人学級化の継続実施				
	学力定着状況確認問題の充実		学力分析支援ツールを活用した検証改善サイクルの確立		
【主な推進指標】全国学力・学習状況調査平均正答率の全国平均との差 小・中学校全区分で全国平均を3ポイント上回る					

- ◆ 高等学校においては、生徒の夢を志に高める教育の実現に向けて、生徒の主体的・協働的な学びや、指導方法・評価方法の見直し、I C Tの効果的な活用などを進めるとともに、今後の大学入試改革等に的確に対応できる取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	学習状況調査等の結果分析を踏まえた取組の推進				

- ◆ 県民総がかりで実現する学力向上の気運を醸成し、学校・家庭・地域が一体となって、「オールやまぐち」による学力向上の取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	コミュニティ・スクールや地域協育ネットを活用した外部人材による学習指導、家庭教育支援、校種間の連携や県内大学との連携の推進		山口県学力向上推進フォーラムの開催		
	「やまぐち学習支援プログラム」の提供等による学習習慣の確立				
	基本問題等の改訂		プログラムの強化		

③ 豊かな心育成プロジェクト

推進方向

子どもたち一人ひとりが規範意識や思いやりの心を育み、豊かな人間関係を築くことができるよう、道徳教育の推進や体験活動の充実を図るとともに、豊かな感性や創造性をもつ心豊かな子どもの育成に向け、文化芸術活動の充実を図ります。また、専門家や関係機関を活用した相談・支援体制の一層の充実を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 国における道徳の教科化に向けた動向を踏まえながら、指導力の向上に向けた研修体制の整備とともに、独自の指導資料の充実やふるさとにゆかりのある人材等の活用により、各学校における道徳教育の推進を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	独自の指導資料(心を育む学習プログラム part 2)の作成・配信、授業での活用		推進校での取組事例や資料の活用事例等の周知に向けた指導資料集を活用した指導の充実		
	「私たちの道徳」活用事例集等の指導資料の配布、授業での活用		ふるさとにゆかりのある人材、資料の活用		
	指導力向上に向けたセミナーの開催				

- ◆ 特色ある体験活動の充実による豊かな人間関係やふるさとを愛する心の育成に取り組むとともに、文化芸術活動の充実を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	全国中学校総合文化祭山口大会の開催	学校芸術文化ふれあい事業など優れた文化芸術の鑑賞機会の充実			
		中学校総合文化祭・高等学校総合文化祭の開催			
	「心の冒険・サマースクール」開催、「AFPLYの手引き」の充実と活用促進				
	中山間地域での民泊体験活動の推進				

- ◆ いじめ等の未然防止・早期対応、いじめ解消率100%をめざし、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）等の配置により、児童生徒の状況に応じた適切な相談・支援体制の一層の整備・拡充を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「山口県いじめ防止基本方針」の策定	いじめの防止等へ向けた広報・啓発活動の取組強化			
		地域ぐるみのいじめ防止等の取組の推進			
		「いじめ問題対策協議会」、「いじめ問題調査委員会」等の設置			
	小中連携による諸課題の解決に向けたSCの配置拡充				
	SSW配置市町の拡大		SSWの全市町配置		SSWの資質向上
	インターネットによるいじめ・犯罪等への対応の充実（専門的技術を有する民間企業と連携した体制の整備）				
【主な推進指標】 不登校児童生徒数(千人当たり)、 暴力行為発生件数 減少させる いじめの解消率 100%に近づける					

④ 子ども元気創造プロジェクト

推進方向

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むため、「食育」「遊び・スポーツ」「読書」に一体的に取り組む「子ども元気創造」の取組を効果的に展開し、心身ともに健康で、たくましい子どもたちを育成します。

具体的な取組内容

- ◆ 望ましい食生活の定着のために規則正しい生活習慣の確立を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となって、幼児、児童生徒の発達に応じた取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	幼児、児童生徒の発達に応じた望ましい生活習慣の形成・定着				
	県内全小学校を対象に『食事、運動・遊び、読書』90日元気手帳の活用				
	子ども元気創造推進隊の派遣				
	栄養教諭の増員等による食育推進体制の充実 地場産食材の活用等による給食献立の工夫と食に関する指導の促進 「食に関する指導実践事例集」等を活用した実践事例の紹介 改訂版「食に関する指導の手引」(仮称)の作成・活用				
【主な推進指標】朝食を毎日摂っている児童生徒の割合 増加させる					

- ◆ 幼児期から小学校の子どもたちを対象とした多様な運動経験及び運動機会の充実に向けた取組を推進します。また、運動習慣の定着していない生徒を対象に運動機会を提供する取組を支援し、運動習慣の定着をめざします。さらに、全国高等学校総合体育大会(H28年度)、全国中学校体育大会(H30年度)の開催に向けた準備、競技力向上の取組を充実します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「体育授業マイスター」等による出前授業等を通じた各学校の取組の改善・充実				
	発達の段階に応じた運動・遊び「元気体操(仮称)」映像資料等の作成・配付及び活用による運動習慣等の定着				
	運動習慣の定着していない生徒への運動機会を提供する取組(「総合スポーツ部(仮称)」等による活動)の支援				
	全国高校総体に向けた取組 準備委員会設置 → 実行委員会の設置 → 全国高校総体開催				
	全中大会に向けた取組				
【主な推進指標】児童生徒の体力合計点 昭和60年頃の水準まで段階的に向上 運動をほとんど毎日行っている児童生徒の割合 増加させる					

- ◆ 「山口県子ども読書活動推進計画(第3次)」に基づき、学校や家庭における子どもたちの読書習慣の定着や、読書好きな子どもの増加を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	山口県子ども読書活動推進計画(第3次)の策定				
	学校・家庭・地域全体で子どもたちの読書習慣の定着を図る事業の実施 公立図書館職員や民間ボランティア、司書教諭向けの研修メニューの実施				
【主な推進指標】読書が好きと感じている児童生徒の割合 増加させる					

⑤ グローバル人材育成プロジェクト

推進方向

目標や課題にチャレンジし、グローバルな視点やリーダーシップをもって行動できる人材の基盤となる資質能力の育成に向け、郷土をはじめ日本や諸外国の伝統・文化を理解・尊重する態度や国際協調・協力を実践する態度、実践的な語学力・コミュニケーション能力等を育成します。

具体的な取組内容

- ◆ 日本人としてのアイデンティティをもちながら、諸外国の文化や風土に対する興味関心を高め、他国や自国・郷土の文化に対する理解を有する人材の育成を推進するとともに、海外の姉妹校との交流などにより、国際協調・協力を実践する態度の育成を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	教材の作成・活用等による、授業等における伝統や文化を学ぶ機会の充実				
	世界で活躍する人材が行う児童生徒向け学校講演会（グローバルセミナー）の開催			全校実施を検討	
	高校生の留学支援の充実（留学経費支援、留学経験者ネットワークづくり）				
	教育活動の一環としてボランティア活動を充実				
	ボランティアバンクの設置		世界スカウトジャンボリーを活用したボランティア活動の充実		

- ◆ 児童生徒の英語の使用機会の拡充や英語学習に対するモチベーションの一層の向上を図るとともに教員の英語力や資質能力の向上を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	小中高生対象のイングリッシュキャンプの開催			イングリッシュキャンプの充実	
	高校生英語ディベート大会・セミナーの開催			英語ディベート大会の充実・拡大	
	スーパーグローバルハイスクール等におけるコミュニケーション能力・問題解決能力等の国際的素養の育成に向けた取組の実施				
	県立学校ALT（英語指導助手）の増員及び多様な場面での活用				
	英語の様々な検定試験（英検、TOEFL等）の活用、合格者の増加				
	<p>【主な推進指標】英検2級・準2級を受験した高校生 毎年3,000人以上 英検2級・準2級に合格した高校生 毎年1,000人以上</p>				

⑥ ものづくり人材育成プロジェクト

推進方向

科学技術の進歩や産業構造が変化する中、子どもたちが地域産業を理解し、ものづくり等への興味・関心をもつとともに、将来の地域産業を担う人材となれるよう、地域や産業界等との連携を深め、実践的な学習活動の展開やきめ細かな就職支援の充実を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 児童生徒の心身の成長の過程に応じて、産業への理解やものづくり等への興味・関心を喚起し、望ましい勤労観・職業観を育成します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	学校と家庭、地域、産業界等が連携した、「オールやまぐち」での職場見学、職場体験、インターンシップの充実				
	「産業人材実地セミナー」の実施				
	【主な推進指標】体験的なキャリア教育※の実施割合（公立小・中・高等学校）100% ※職場見学、職場体験活動、インターンシップ、大学・企業訪問等				
	ものづくり教室等への参加、自主開催の促進 ものづくりフェスタへの参加				

- ◆ 企業や大学等の設備・技術や人材等を活用した生徒の実践的な知識・技術の習得や全国大会等に向けた取組を進め、本県産業を支える将来のスペシャリストを育成します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	専門高校における地域産業連携型カリキュラム(地域産業と連携した課題解決学習・技術研修)の実施		企業等との連携拡充 実施校の拡大		
			手引き作成・配付		
			推進協議会の開催、全国産業教育フェア山口大会(H30)に向けた取組と発表機会の充実		
			全国大会等への挑戦に向けた取組の支援		
	企業の熟練技能者や講師を活用した専門的資格取得の推進 職業資格講座の開催等				
【主な推進指標】 職業教育技術顕彰受賞生徒（ハイレベルな資格を取得した生徒）の割合 25%					
基礎的な技術・技能を高めるための実験・実習設備等の充実					

- ◆ 関係機関と連携しながら、「ガイダンスの充実」「求人開拓の強化」「マッチングの促進」の3つの柱を推進し、生徒の意向を踏まえたきめ細かな就職支援を行います。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	・ 高校生就職サポーター配置		ガイダンスの充実		
			地域産業の魅力を伝えるセミナー(専門高校2年生)の実施		
	・ 総合支援学校就職支援コーディネーター配置		求人開拓の強化		
			マッチングの促進		
【主な推進指標】 高校生の就職決定率 100%に近づける					

⑦ 魅力ある学校づくりプロジェクト

推進方向

選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開など、質の高い高校教育を提供するため、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備を推進します。また、障害の多様化や児童生徒数の増加等に対応した総合支援学校の整備ときめ細かな支援体制の充実等を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 「確かな学力の育成」「将来のスペシャリストの育成」「生徒の多様なニーズへの対応」「柔軟な学びのシステムの構築」を踏まえた特色ある学校づくりと社会の変化や少子化の進行などに対応するための学校・学科の再編整備を年次的・計画的に進めます。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	
取組内容	「県立高校将来構想」の検証		「第2期県立高校将来構想」の策定		「第2期県立高校将来構想」に基づく推進	
	特色ある学校づくりの推進					
	「特色ある学校づくり」HPの公開		「めざす学校像」「育てたい生徒像」を明確にした個性化・多様化を図る特色づくりの推進			
	全日制普通科の通学区域の全県化の検討		全県化に向けた周知		全県化の円滑な実施(H28年度入学者選抜から)	
	入学者選抜の改善についての検討					
	学校・学科の再編整備等の推進					
	下関中央工業高校と下関工業高校の再編統合に向けた準備				下関地域に県下最大規模の工業高校を開校	
	周防大島高校の「地域創生科」設置に向けた準備		周防大島高校の活性化		「福祉専攻科」設置に向けた準備	
					「福祉専攻科」設置	
	定時制・通信制の再編整備についての具体的な計画の検討			昼間部・夜間部を併せもつ多部制高校の設置と多部制高校への通信制の併置等の再編整備計画策定・実施		
奈古高校の分校化の検討		分校化に向けた準備		奈古高校の分校化		

- ◆ 県内を3エリア（県東部、県央部、県西部）に分けたきめ細かな指導・支援体制及び教育環境の充実や障害の多様化や児童生徒数の増加等に対応した総合支援学校の整備、さらには、一人ひとりの心がつながる共生社会の形成に向けた特別支援教育を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	
取組内容	視覚・聴覚障害教育センター設置準備		設置		各エリアでの視覚障害教育センター及び聴覚障害教育センターにおけるきめ細かな支援	
	児童生徒数の増加等に対応した総合支援学校の計画的な整備					
	タブレット型情報端末による障害種ごとの効果的な指導方法の確立と成果の普及					
	検証・見直し		「山口県特別支援教育ビジョン実行計画(第2期)」の見直しに基づく推進			
	美祢・長門地域への分教室の設置等による地域の特色を生かした「交流及び共同学習」などの実施に向けた取組					
	全国トップクラスの就職率を目指す新しい職業学科(高等部)の設置に向けた取組					
インクルーシブ教育システムの構築に向けた、小・中学校のコミュニティ・スクールとの連携によるモデル校での実践研究や特別支援教育フォーラムを実施						

⑧ 安心・安全な学校づくりプロジェクト

推進方向

子どもたちが安全に、安心して教育が受けられるよう、東日本大震災等を教訓とした防災対策や学校施設の耐震化等を推進するとともに、学校や通学路における安全確保対策の充実を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 平成27年度末を目標に県立高等学校・総合支援学校及び市町立幼稚園・小・中学校の施設耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策の完了に向けて取り組みます。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	県立学校の耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策				
	市町立小・中学校の耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策支援				
	市町立幼稚園の耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策支援				
	【主な推進指標】 県立学校の耐震化率 完了 市町立学校の耐震化率（市町立小・中学校） 完了 市町立幼稚園の耐震化率 完了				

- ◆ 子どもたちが自らの命を自ら守るために主体的に行動することができるよう、山口県学校安全推進計画に基づき、防犯を含む生活安全、交通安全及び災害安全の学校安全3領域の取組を総合的かつ効果的に推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「山口県学校安全推進計画」の策定		学校安全の「推進モデル」を活用した、各学校のPDCAサイクルに基づいた学校安全の取組の推進		
			学校・家庭・地域・関係機関等の連携による効果的な取組の推進		
	「通学路の安全確保に向けて」作成	警察等の関係機関と連携した交通安全対策の強化 市町への通学路安全対策アドバイザーの派遣			
	各学校への防災アドバイザーの派遣等による防災管理体制の強化 防災マニュアルの不断の見直し				
	全県立学校への衛星携帯電話の整備・運用、必要な防災備品の整備				
	全公立学校への携帯メールによる学校安全情報配信システム整備				
【主な推進指標】 児童生徒の登下校における交通事故件数 減少させる 携帯メールによる情報配信システムを整備している 公立学校の割合（幼・小・中・高・特支） 100%					

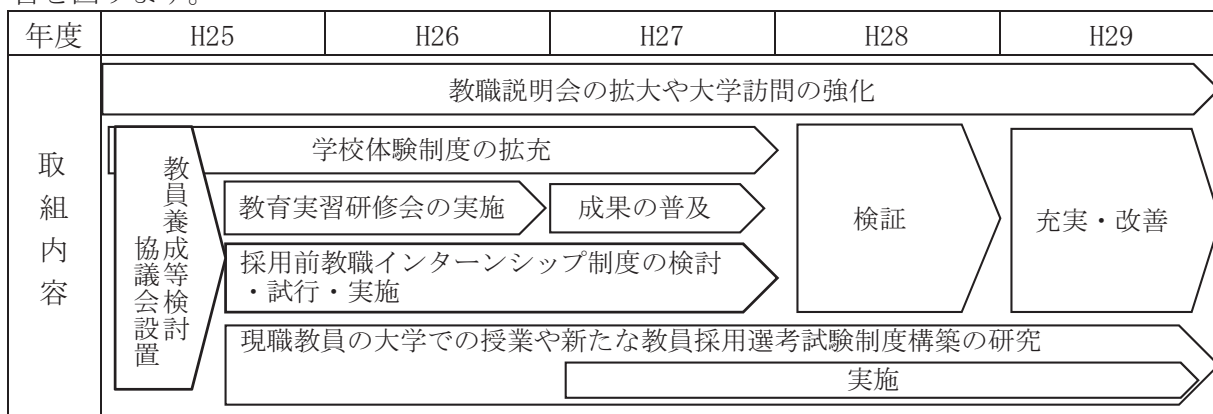
⑨ 教職員人材育成プロジェクト

推進方向

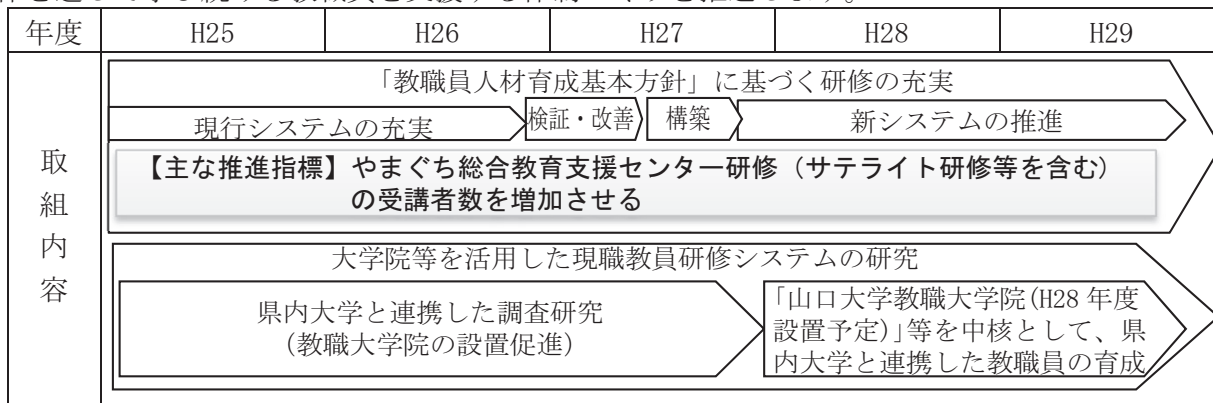
今後、教職員の大量退職が加速化し、新規採用教職員の増加が見込まれることから、「教職員人材育成基本方針」に基づき、意欲と実践的指導力を有する教職志願者の確保や現職教員の継続的な育成、さらには、学校運営・校内指導体制の充実に向けた取組を推進し、複雑化・多様化する教育課題に的確に対応できる教職員の育成を図ります。

具体的な取組内容

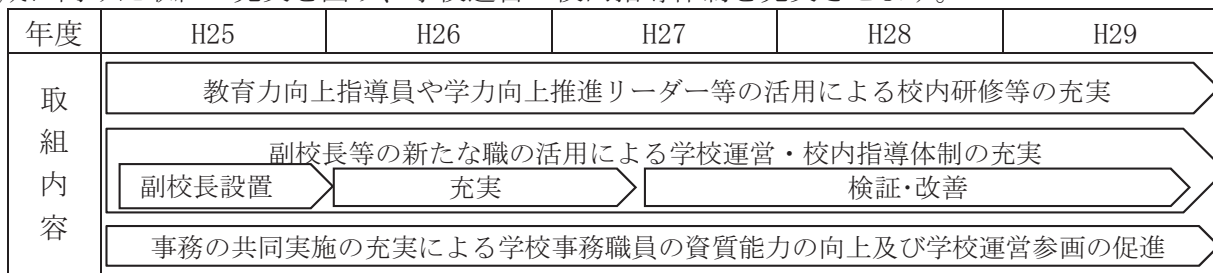
- ◆ 高い意欲と実践的指導力を有する人材の確保や若手教職員の育成のため、「山口県教員養成等検討協議会(H25年度設置)」を通して、大学等との連携を強め、教員養成や採用選考の改善を図ります。



- ◆ キャリアステージに応じた研修の充実、特に、若手・中堅段階の研修の強化により、教職員一人ひとりの資質能力や意欲の向上を図るとともに、教職大学院等の活用により、教職生活全体を通じて学び続ける教職員を支援する体制づくりを推進します。



- ◆ 校内研修の充実やOJTの推進により、学校運営の中核となるミドルリーダーや管理職の育成に向けた取組の充実を図り、学校運営・校内指導体制を充実させます。



⑩ 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

推進方向

第23回世界スカウトジャンボリーの開催に向けて、山口県支援委員会を中心に機運の醸成、開催支援等を行います。また、大会を通じて、国内外のスカウトと本県児童生徒との交流を促進するとともに、大会の成果を生かした取組を推進し、次代を担う青少年の国際理解と健全育成を推進します。

具体的な取組内容

- ◆ 山口県支援委員会を通じて、開催機運の醸成を行うとともに、円滑な大会運営に向けて実施主体である公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の取組を支援します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	日本ジャンボリー	大会PR 場内プログラム、 地域プログラムの 作成支援	世界スカウト ジャンボリー		

- ◆ 会場内のプログラムや全市町で実施する地域プログラムにおいて国内外のスカウトと本県児童生徒との交流を積極的に行うとともに、大会を契機に、参加国についての事前事後学習の実施など国際教育の推進や、ボランティア活動の活性化など青少年の健全育成に向けた取組を進めます。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	日本ジャンボリー	日本大会の実績を 踏まえた準備等	世界スカウトジ ャンボリー ・児童生徒の積極的 な交流 ・参加国について の事前事後学習の 実施 ・ボランティア活動 の促進	大会における交流を活かした ポストジャンボリー施策など の検討・実施	
【主な推進指標】 ジャンボリーを活用した国際教育の取組を実施した学校の割合 100%					

- ◆ 「県民の力」「地域の力」を発揮し、会場内で、スカウトと県民の国際交流の場や、産業・観光・文化など本県の魅力を発信する場となる、県主催の国際交流イベント「やまぐちジャンボリーフェスタ」を開催するとともに、地域プログラムにおける全市町での歓迎・交流行事の実施などの取組を進めます。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	日本ジャンボリー	日本大会の実績を 踏まえた準備等	世界スカウトジ ャンボリー ・やまぐちジャン ボリーフェスタの 開催（市町や企 業、県民活動団 体等の参画の促 進） ・地域プログラ ムの充実	大会における交流を活かした ポストジャンボリー施策など の検討・実施	

① 地域ぐるみの教育推進プロジェクト

【下関市立王司小学校の取組】

○ 「王司村塾」による学習支援

希望者を対象に、毎週水曜日の放課後に「王司村塾」を開催
子どもたちは、地域のボランティアの方に、苦手なところや、
わからないところをマンツーマンで教えていただくことにより、
「分かる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感しながら、意欲的に学習している。



② 確かな学力育成プロジェクト

【光市立浅江小学校の取組】

「可視化」をキーワードに、PDCAサイクルによる全校体制での
授業改善を推進

○ 効果的な結果分析

全教職員での交流（ワールド・カフェ等）を通して、大判用紙に気付き
きを記入し、各学年の学力状況を可視化、共有

○ 結果分析を踏まえた授業改善

スケジュールシートを用いて、各学年の重点取組事項を可視化し、授業改善を着実に推進



③ 豊かな心育成プロジェクト

【美祢市立伊佐中学校の取組】

民泊体験を通して、主体性や豊かな人間性を育む学習を推進

○ 生活体験から育まれる豊かな人間性

農漁村の自然や人々との交流の中で、主体的に活動できる力や豊かな
人間性を醸成

○ 中山間地域と連携したキャリア教育

自然の中での家業体験を通して、自己の個性や適性について理解を深め、望ましい勤労観を育成



④ 子ども元気創造プロジェクト

【山口市立湯上中学校の取組】

○ 子ども元気創造推進隊を活用した拡大大学校保健安全委員会の開催

- ・山口大学時間学研究所 助教を「子ども元気創造推進隊※」として招き、
望ましい生活習慣の形成についての講演会を開催
- ・学校保健安全委員会を拡大し、保護者・地域にも参加を呼びかけた。

※子ども元気創造推進隊

食事、運動、読書、睡眠等についての専門的知識や実績と啓発意欲をもった人材で、学校や地域
における健康づくりの行事等において、望ましい生活習慣について啓発活動を行う。



⑤ グローバル人材育成プロジェクト

【山口県立宇部高等学校の取組】

○ 「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」としての取組

- ・文部科学省からSGHの指定（平成26年度～30年度）
- ・総合的な学習の時間「グローバル探究」において、生徒が身近な問題を
グローバルな視点から考え、その解決策を提言する課題探究型の活動
を実施
- ・地域の企業やNPO、大学や行政機関等と連携し、学校外の多様な人々と共同で商品を開発したり、
宇部の魅力を発信したりする活動を通して、社会的課題に対する関心と教養・実践的な英語
力を含むコミュニケーション能力・問題解決能力等の国際的素養を身に付ける。



⑥ ものづくり人材育成プロジェクト

【山口県立柳井商工高等学校の取組】

○ 産業人材実地セミナー

- ・訪問先：建設業と製造業の企業2社
- ・内容：生産ラインの見学、企業の概要や求める人材などに関するセミナーの受講
- ・成果：複数の業種の産業現場を見学することで、専門分野に係る意識を啓発し、ものづくりや異業種とのつながりを理解させるなど勤労観や職業観を養い、安全や環境対策など企業の取組について理解の深化を図ることができた。



⑦ 魅力ある学校づくりプロジェクト

【山口県立萩総合支援学校（長門分教室）の取組】

長門市立深川小学校内に萩総合支援学校長門分教室を設置

○ 地域の特色を生かした「交流及び共同学習」を推進

深川小学校の教員との打合せや情報交換等のきめ細かな連携を図った上で、授業を通じて交流したり分教室の児童が深川小学校の運動会等の行事や縦割り班活動へ参加したりするなどの積極的な取組を実施



⑧ 安心・安全な学校づくりプロジェクト

【阿武町立阿武小・中学校、県立奈古高校の取組〈地域ぐるみの防災キャンプ〉】

○ 合同避難訓練

町の防災無線から訓練連絡を受け、保・小・中・高校生合同の避難訓練を実施（中学生が保育園園児を、高校生が小学生を援助）

○ 地域探訪・ハザードマップづくり

児童生徒が消防団の方と一緒に、地域の危険箇所等を見て歩き、ハザードマップを作成。作成したハザードマップは、公民館に掲示し、地域の防災意識を高揚



⑨ 教職員人材育成プロジェクト

【山口市立平川小学校の取組】

○ 教員志願者の優れた育成環境

- ・教育実習以外にも、「山口県の教師塾」の参加者やボランティアを希望する学生を積極的に受け入れている。
- ・色々な児童に触れ合えることや、放課後の教員研修会へ参加できる計画が準備されていることなどから、学校現場の実情がよく分かり、実践的指導力が身に付く体験・実習となっている。
- ・教職員にとっては、1年間に1度は学生の指導を受けもつこととなり、資質能力を向上させる機会にもなっている。
- ・学生と触れ合う場面を児童の成長の機会と捉え、しっかりあいさつするよう指導するなど、コミュニケーション能力の育成にも役立っている。



⑩ 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

【光市立浅江中学校の取組〈地域プログラム学校訪問〉】

○ 準備段階から、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、地域と連携・協働した取組を展開

- ・地域住民が、中学生と一緒に英語で浅江地域の紹介を行った。これに向けて、学校運営協議会が主体となり、学校において地域住民を対象とした英会話教室を開催し、ALTや生徒と一緒に学習。（教室は2014年7月にスタート 当日までに94回実施）
- ・地域住民の手による櫓（やぐら）やちょうちんの設置により、本格的な祭りをイメージした盆踊り等を実施。当日100名以上の地域住民が参加し、学校と地域のつながりが一層深まった。



50の主な推進指標

指標名	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値(H29)
1 「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立学校の割合	小 中 63.2% 14.6%	小99.0% 中95.3% (H26)	増加させる
2 ※ 体験的なキャリア教育※の実施割合(公立小・中・高等学校) ※職場見学、職場体験活動、インターンシップ、大学・企業訪問等	小 中 高 100% 100% 90.7%	小100% 中100% 高94.6% (H26)	100% 100% 100%
3 小・中・高の3校種で合同研修を行う「授業づくり研修会」に参加した教員数(公立)	195人	833人 (H27)	500人
4 英検2級・準2級を受験した高校生の数	2,555人	2,744人 (H26)	3,000人以上
5 英検2級・準2級に合格した高校生の数	905人	961人 (H26)	1,000人以上
6 ※ 職業教育技術顕彰受賞生徒(ハイレベルな資格を取得した生徒)の割合	19.6%	21.6% (H26)	25%
7 ※ 全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差(公立小・中学校)	小 中 国語A 国語B 算数A 算数B 77.3%(76.4%)(+0.9) 68.3%(67.4%)(+0.9) 65.5%(63.7%)(+1.8) 44.2%(41.5%)(+2.7)	(全国)差 72.1%(70.0%)(+2.1) 67.5%(65.4%)(+2.1) 77.1%(75.2%)(+1.9) 46.4%(45.0%)(+1.4) 76.4%(75.8%)(+0.6) 66.3%(65.8%)(+0.5) 65.3%(64.4%)(+0.9) 42.4%(41.6%)(+0.8)	小・中学校 全区分で全国 平均を3ポイント 上回る
8 勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 中 62.2% 59.0%	小64.2% 中62.1% (H27)	増加させる
9 ジャンボリーを活用した国際教育の取組を実施した学校の割合	—	100% (H27)	—
10 読書が好きと感じている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 中 72.3% 73.2%	小74.4% 中71.9% (H27)	増加させる
11 学校以外で月に1冊も本を読まない児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 中 23.8% 31.0%	小20.8% 中28.8% (H27)	減少させる
12 人権教育に関するサテライト研修等への県教委からの講師派遣回数	27回	42回 (H27)	50回
13 山口県子ども元気調査による、体育の授業以外に運動や外遊びをほとんど毎日(週3日以上)行っている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 男 小 女 中 男 中 女 73.5% 56.4% 74.7% 55.8% (H25)	67.0% 53.7% 71.4% 55.9% (H27)	増加させる
14 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(体力8項目の結果をそれぞれ10点満点で得点化した合計点)の県平均点(公立小・中学校)	小5男 小5女 中2男 中2女 53.6点 54.4点 41.5点 48.5点	53.3点 54.0点 40.8点 48.5点 (H27)	54.6点 55.4点 42.5点 49.5点
15 朝食を毎日摂っている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 中 90.1% 87.8%	90.8% 90.0% (H27)	増加させる
16 朝食を毎日摂り、排便が毎日ある児童生徒の割合(公立小・中学校)	小男 小女 中男 中女 72.8% 67.4% 76.9% 58.4%	69.3% 65.8% 78.8% 61.7% (H27)	増加させる
17 総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職率	98.4%	95.5% (H26)	向上させる
18 発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の個別の指導計画の作成率(幼・小・中・高)	96.0%	99.1% (H27)	100%
19 発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の個別の教育支援計画の作成率(幼・小・中・高)	95.7%	98.7% (H27)	100%
20 幼稚園・保育所、認定こども園等と連携した取組を実施している公立小学校の割合	77.2%	100% (H27)	100%
21 ※ 不登校児童生徒数(千人当たり)	小・中 高 9.5人 5.1人	小中10.1人 高4.4人 (H26)	減少させる

指標名	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値(H29)
22 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 中 81.1% 77.4%	小85.2% 中79.5% (H27)	増加させる
23 ※ いじめの解消率(公立小・中・高校、総合支援学校)	94.0%	79.9% (H26)	100%に 近づける
24 1,000人当たりの暴力行為の発生件数(公立小・中・高校)	4.7件	4.1件 (H26)	減少させる
25 ※ 高校生の就職決定率	97.7%	99.2% (H26)	100%に 近づける
26 ※ 中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	中 高 98.9% 97.8%	中99.1% 高98.1% (H26)	向上させる
27 AFPYアドバイザーの登録者数	H25からの取組	40人 (H26)	100人
28 博物館の出前授業、館内授業の年間利用者数	18,384人	23,809人 (H26)	20,000人
29 ※ 県立学校の耐震化率	93.6%	97.4% (H27.4)	完了 (H27)
30 ※ 市町立学校の耐震化率(市町立小・中学校)	74.8%	86.9% (H27.4)	早期に完了させる
31 ※ 市町立幼稚園の耐震化率	47.3%	65.1% (H27.4)	早期に完了させる
32 携帯メールによる情報配信システムを整備している公立学校の割合(幼・小・中・高・特支)	81.2%	93.5% (H27)	100%
33 児童生徒の登下校における交通事故件数	小 中 高 15件 28件 75件	小15件 中32件 高52件 (H26)	減少させる
34 やまぐち総合教育支援センター研修(サテライト研修等を含む)の受講者数	12,701人	14,163人 (H26)	15,000人
35 ※ コミュニティ・スクールの設置率(市町立小・中学校)	67.3%	93.1% (H27.10)	100%
36 保護者や地域住民等を評価者とした学校関係者評価を実施している公立学校の割合(幼・小・中・高)	95.5%	99.8% (H26)	100%
37 異校種間の授業参観や情報交換会を実施した公立学校の割合	小 中 高 100% 100% 100%	小100% 中100% 高100% (H27)	小 100% 中 100% 高 100%
38 各高校で開催される体験入学や学校説明会に参加した中学生の延べ人数	17,645人	17,073人 (H26)	20,000人
39 子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	93.6%	96.7% (H26)	100%
40 ※ 私立学校(幼・中・高)の耐震化率	67.9%	79.6% (H26)	100%
41 家庭教育出前講座の受講者数(累計)	3,927人	7,907人 (H27)	8,300人
42 「地域協育ネット」コーディネーター養成講座受講者数(累計)	250人	752人 (H27)	875人
43 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」閲覧件数(HPアクセス数/年)	126,708件	194,267件 (H26)	165,000件
44 地域社会における人権教育の指導者養成に係る県教委主催の研修会の受講者数	230人	280人 (H27)	300人
45 国及び県の主催事業である学校芸術文化ふれあい事業を活用して文化芸術の鑑賞を行った児童生徒の割合(公立小・中学校)	34.7%	42.9% (H26)	基準値の 維持・向上
46 文化財出前講座、文化財愛護教室、発掘現場公開説明会への受講又は参加人数(累計)	1,015人	6,943人 (H26)	7,000人
47 県文化財ウェブページ閲覧件数(HPアクセス数/年)	228,000件	165,618件 (H26)	278,000件
48 県民のスポーツ実施率	62.3%	—	全国トップレベル(H34)
49 ※ 国民体育大会総合成績	15位	28位 (H27)	10位台の 維持・定着
50 ※ 「我がまちスポーツ」の取組への参加者数	65,000人	76,000人 (H26)	100,000人 (H34)

※印は、「チャレンジプラン」の活力指標

施策の展開

教育目標：未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

①キャリア教育の推進	P 25
②学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実	P 27
③学習指導の改善・充実	P 35
④国際教育の推進	P 41
⑤読書活動の充実	P 43
⑥学校における人権教育の推進	P 45
⑦体力向上の推進	P 47
⑧食育の推進	P 49
⑨健康教育の推進	P 51
⑩特別支援教育の推進	P 54
⑪幼児期における取組の充実	P 60
⑫少人数教育の推進	P 62
⑬生徒指導・相談体制の充実	P 64
⑭進路指導の充実	P 68
⑮社会教育施設等を活用した教育の充実	P 72

質の高い教育環境づくりの推進

⑯教育施設・設備の整備、教育環境の向上	P 75
⑰学校安全の推進	P 76
⑱教職員の資質能力の向上	P 79
⑲学校運営の活性化	P 83
⑳校種間連携・一貫教育の推進	P 86
㉑県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり	P 88
㉒私学の振興	P 90
㉓修学支援の充実	P 91

加生の涯にわたる教育の推進
民総参

㉔家庭教育支援の充実	P 94
㉕地域と学校が連携した子どもの育成	P 96
㉖生涯学習の推進	P 100
㉗地域社会における人権教育の推進	P 102
㉘文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	P 104
㉙文化財の保護と活用	P 106
㉚「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	P 108

重点化

10の緊急・重点プロジェクトの推進

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ①地域ぐるみの教育推進プロジェクト | ⑥ものづくり人材育成プロジェクト |
| ②確かな学力育成プロジェクト | ⑦魅力ある学校づくりプロジェクト |
| ③豊かな心育成プロジェクト | ⑧安心・安全な学校づくりプロジェクト |
| ④子ども元気創造プロジェクト | ⑨教職員人材育成プロジェクト |
| ⑤グローバル人材育成プロジェクト | ⑩世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト |

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

施策

- 1 キャリア教育の推進
- 2 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実
- 3 学習指導の改善・充実
- 4 国際教育の推進
- 5 読書活動の充実
- 6 学校における人権教育の推進
- 7 体力向上の推進
- 8 食育の推進
- 9 健康教育の推進
- 10 特別支援教育の推進
- 11 幼児期における取組の充実
- 12 少人数教育の推進
- 13 生徒指導・相談体制の充実
- 14 進路指導の充実
- 15 社会教育施設等を活用した教育の充実

1 キャリア教育の推進

【取組方針】

- ◆ 子どもたちの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる「基礎的・汎用的能力」を育むとともに、夢の実現に向け、志を抱かせる教育の推進を図る。
- ◆ 小・中・高等学校等を通じた系統的・計画的なキャリア教育を推進するとともに、全教職員の共通理解の下、学校教育活動全体を通じた組織的・効果的な取組の推進を図る。
- ◆ 主体的に自らの未来を切り拓くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもたちを育成するため、学校と家庭、地域、産業界等が連携したキャリア教育を推進し、体験活動をはじめとする教育活動の一層の充実を図る。

【主な取組】

(担当：義務教育課／高校教育課／特別支援教育推進室)

主な取組と内容	実施主体
■ 系統的・計画的な取組の推進	
○ 学校教育活動全体を通じたキャリア教育の推進 ・ 日々の学習との関連を意識したキャリア教育を実践するとともに、育成する力を明確にしたキャリア教育全体計画や年間指導計画の作成・見直しによる組織的・効果的な取組の推進	学校
○ 小・中・高連携によるキャリア教育の効果的な実践 ・ 小・中・高・特支の教員等による「キャリア教育実践セミナー」の開催（8月） ・ 「キャリア教育実践事例集」・「キャリア教育年間指導計画作成資料」を活用した取組の充実（小・中） ・ 「県市町キャリア教育連携・推進会議」の開催	県・市町学校
○ 志を抱かせる教育の推進 ・ 「1/2成人式」（小）、「立志式」（中）を契機とした志を抱かせる教育の充実 新 高校生が県内大学生等と自分の将来などについてディスカッションをする機会の充実 新 起業体験実践研究事業 指定校における外部講師や企業と連携した起業体験実践研究の実施（小・中）及び成果の普及	県・市町学校
○ 中学生の進路選択のための情報発信の充実 ・ キャリア・ガイドブック「夢サポート」（中学校2年生対象）の作成・配付	県・市町学校（中）
○ 職場見学、職場体験、インターンシップ等の体験活動の充実 ～キャリア教育を通じた“ふるさと山口”の再発見～ ・ 職場見学、職場体験活動、インターンシップ、大学・企業訪問等の実施 ・ 普通科高校における「地域活性型インターンシップ」の普及・啓発を含めた「インターンシップ推進事業」の実施（高）	県・市町学校
■ 学校と家庭、地域、産業界等との連携強化	
○ 全県的な推進体制の強化による“オールやまぐち”でのキャリア教育の実施 ・ 連携体制の強化等をめざした「キャリア教育推進会議」の開催（7月、1月） ・ 職場体験、インターンシップ等の受入先の確保（商工会議所等との連携） ・ 「やまぐち教育応援団」の活用（登録事業所等：H28.1月末現在 5,016件）	県・市町学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28末 目標値	H29末 目標値
「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立学校の割合	小 63.2% 中 14.6% (H24)	小 99.0% 中 95.3% (H26)	増加させる	増加させる
体験的なキャリア教育（職場見学、職場体験活動、インターンシップ、大学・企業訪問等）を実施した公立学校の割合	小 100% 中 100% 高 90.7% (H24)	小 100% 中 100% 高 94.6% (H26)	小 100% 中 100% 高 100%	小 100% 中 100% 高 100%

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[やまぐち教育応援団の校種別活用率]

H25:小 82.7% 中 87.2% 高 95.3% 特支 100% → H26:小 89.5% 中 94.2% 高 98.4% 特支 100%

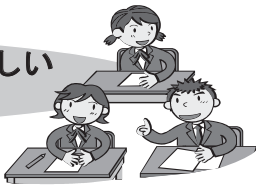
取組の推進に向けて

○キャリア教育推進の視点

発達の段階に応じて 小学校段階から教育活動全体を通じての系統的取組の積み上げ	体験活動を重視して 職場体験、インターンシップ等の体験活動の充実	連携・協力して 学校と家庭、地域、産業界等との連携協力体制の強化
--------------------------------------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------

本県キャリア教育のねらい

夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力の育成

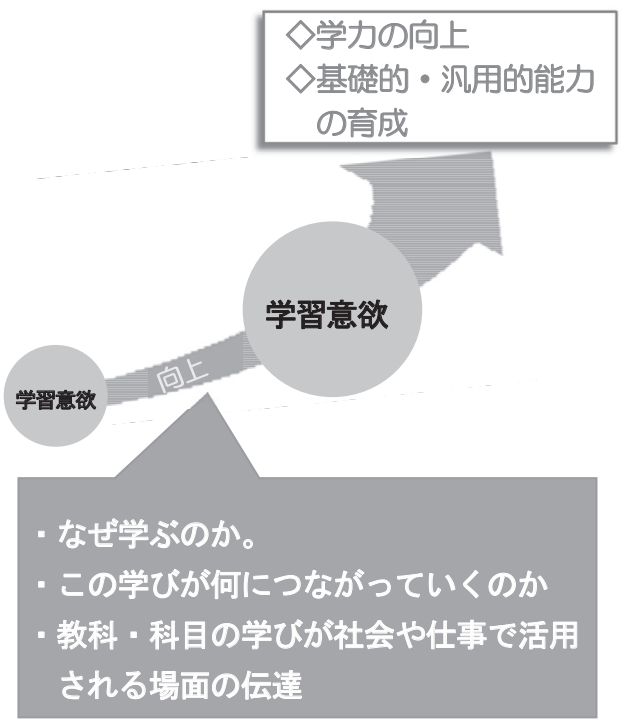
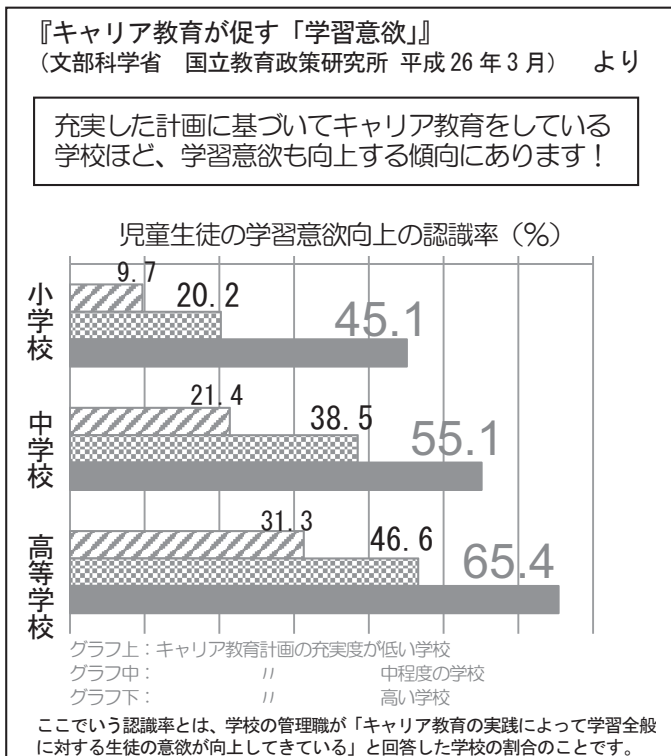


○小・中・高を通じた系統的・計画的な取組の推進

<発達の段階に応じて、夢や目標を考える（夢をデザインする）視点>

3つの視点	小学校（小学部）			中学校（中学部）			高等学校（高等部）		
	低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
自分がしたいこと	 様々な体験等を通じて自分がしたいことを見つけ、将来の夢や目標につなげる								
自分ができること	 夢や目標の実現に向けて継続的に努力し、自分ができるところを増やし自分のよさを伸ばす								
社会が求めていること	 社会の一員としての自覚を深め、自分の役割を果たそうとする意欲や能力を高める								

○日々の学習との関連を意識したキャリア教育の推進 ～キャリア教育が促す「学習意欲」～



2 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実

【取組方針】

- ◆ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、「生きる力」を育むという理念の下、言語活動、理数教育、伝統や文化に関する教育、道徳教育、体験活動、外国語教育については、重点的に取組を推進する。
- ◆ 社会の変化への対応の観点から教科等を横断して改善すべき事項として、情報教育、環境教育等を取り上げ、改善を図る。
- ◆ 「キャリア教育」「コミュニケーション能力を育む教育」「地域や伝統、文化を踏まえた教育」を基軸として教育活動を展開する中で、小・中・高等学校等のそれぞれの学校段階における教育内容のさらなる充実や校種間の円滑な接続を図る。
- ◆ 「新学習指導要領実施上の手引き」については、道徳の教科化や学習指導要領の次期改訂など国の動向や本県の現状を踏まえ、適時見直しを行う。

【主な取組】（担当：義務教育課/高校教育課/教育政策課/教職員課/特別支援教育推進室/学校安全・体育課）

主な取組と内容		実施主体
■ 言語活動を重視した教育の充実		
○ 授業等における記録、説明、論述、討論などの学習活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程研究協議会（7～8月）、各種研修会、学校訪問等による研修の充実（小・中・高） ・ 「新学習指導要領実施上の手引き」や「学力向上に向けた授業改善のために」（小・中）、「授業づくりと評価の手引き」等を活用した授業改善の促進（小・中・高） ・ 研修資料「アクティブ・ラーニング～よりよい授業づくりをめざして～」を活用した授業改善研修の推進（高） 	県・市町 学校	
○ 発達の段階に応じた実践的研究の促進と実践事例による普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種指定校における指導方法等の実践研究（小・中・高） 	県・市町 学校	
■ 理数教育の充実		
○ 授業等における体験的・探究的活動（課題研究）の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小学校理科指導のポイント集」の活用促進（小） ・ 理科ボランティアや観察実験アシスタントの活用促進（小・中） ・ 理数科設置高校における理数課題研究の充実（外部専門機関との連携）（高） 	県・市町 学校	
○ 学校間連携・校種間連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中・高の連携による研修会や、理科授業改善研修会の開催 ・ 大学と連携し、高校生が講師として参画する小・中学生対象の科学教室の開催 ・ 理数教育推進拠点校（高校6校）とスーパーサイエンスハイスクール（高校2校）との連携した活動の実施 	県・市町 学校	
○ 生徒同士が高め合う場・成果を披露する場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県理数教育研究大会（課題研究発表会）」の開催（3月） ・ 「科学の甲子園山口県大会（中学生・高校生対象）」の開催（8・11月） ・ 「サイエンスやまぐち2016」等の科学作品展・科学研究発表会の開催（10・11月） ・ 「国際科学オリンピック」への参加促進に向けたセミナーの開催（6月） 	県・市町 学校	
■ 伝統や文化に関する教育の充実		
○ 授業等における古典、歴史、宗教、文化遺産、そろばん、武道、伝統音楽、美術文化、衣食住等に関する学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統や文化に関する学習の年間指導計画への位置付けの明確化 ・ 『これが私の故里だ』～山口県伝統・文化教材集～や「山口県中学校武道指導の手引き」等の活用による授業改善の促進 	県・市町 学校	
○ 地域の伝統芸能保持者、文化団体等による学校公演や授業参加等の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐち教育応援団」や「学校芸術文化ふれあい事業」等の活用を促進 ・ 地域人材等の発掘・活用による体験的学習の充実 	県・市町 学校	

■ 道徳教育の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の実態を踏まえた各学校の道徳教育全体計画や具体的な指導計画の見直し・改善 ・ 道徳の授業の保護者や地域の方への授業公開や地域人材の活用促進（小・中） ・ 地域にゆかりのある外部人材による地域の方を含めた学習会の実施 「こころの先生」派遣事業：（小・中 70 校） 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒が感動を覚える教材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「心を育む学習プログラム第Ⅱ集」や「魅力ある道徳教育プラン集」等の活用促進 ・ 道徳教育用教材「私たちの道徳」の積極的な活用（小・中） 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員の指導力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育指導力アップセミナー（8月）や道徳授業セミナー（10～11月）の開催 ・ 「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト推進校（19校）における取組事例の普及 ■ 「やまぐち版道徳科授業の進め方」リーフレットの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「道徳通信」による情報提供（小・中） 	県・市町 学校
■ 体験活動の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階に応じた体験活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団宿泊活動、自然体験活動、職場体験学習やインターンシップ等、多様な体験活動の実施 ・ ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業（小）、中学生ふるさと民泊学習推進事業の実施 ・ 「体験活動推進協議会」の開催（7月） 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域団体等と協力・連携した体験活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動などの社会奉仕体験等の実施 ・ 「山口県高校生ボランティアバンク」などによる高校生の主体的な社会参加・社会貢献活動の推進（高） 	県・市町 学校
■ 外国語教育の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 校種間連携による外国語教育（英語教育）の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高連携英語教育推進校・連携校における校種間連携を視点とした研究による指導方法の工夫・改善 ・ 「小中高連携英語教育推進校連絡協議会」の開催（4月・10月）等による各地域の取組の共有及び促進 ・ 「英語教育強化地域拠点事業」の研究校における小中高一貫した目標の下での先進的な授業及び評価等の研究 ・ 教育課程特例校（4校）における先駆的な取組をモデルにした小学校外国語活動と中学校英語教育の円滑な接続を図る指導方法の工夫・改善（小・中） 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導方法や評価方法の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県における英語教育の目標設定（生徒の英語力、「CAN-DOリスト」を活用した学習到達目標の設定、パフォーマンステストの実施、学習目標到達度の把握等）及び目標到達に向けた指導方法の工夫・改善 ・ 英語教育推進教員（小・中・高）の配置 ・ 校種別指導力向上研修会の開催 ・ 研修協力校における児童・生徒のコミュニケーションへの関心・意欲を高める授業実践の普及 ・ 英語の様々な検定試験（英検、TOEFL等）の活用促進 	県・市町・ 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高大連携による校種間の円滑な接続に係る実践研究の促進と成果の普及（高） <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校及び大学の教員や学生・生徒の交流を活性化し、グローバル人材の育成に向けた高大連携の在り方の研究 	県・学校 （高）

■ 職業教育の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくりへの興味・関心の喚起と知的好奇心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ ものづくり教室やものづくりイベント等の活用 ・ 冊子「山口県の工業」の活用（小） 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門的な技術の習得や資格取得の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門教育に係る全国大会等へ挑戦する取組の推進 ・ 山口マイスター等の熟練技能者の積極的な活用 ・ 基礎から高度な資格まで生徒のスキルに応じた講習会の開催 【新】 学習意欲の向上や自己有用感を高めることができる「特別支援学校技能検定」の実施 	県・学校 (高特)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や産業界と連携した学習活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 【新】 本県産業を担う人材の育成に向けた地域、地元企業、他校・他学科等と連携した地域創生につながる取組等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業等での実地セミナーの実施 【拡】 地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備の整備 	県・学校 (高特)
■ 教育の情報化の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の円滑な実施に向けた教育課程研究協議会や学校訪問の実施 ・ 情報教育年間指導計画に基づく情報教育の充実 ・ 情報モラル教育の充実に向けた「情報モラル研修会」の実施 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科等の指導におけるICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップ型研修や授業公開、OJT等による校内研修を各学校で実施 ・ 教員等のICT活用指導力向上に向けた、やまぐち総合教育支援センターによる研修の充実 ・ やまぐち総合教育支援サイトの充実及び活用促進 ・ 特別支援学校におけるタブレット型情報端末等の効果的な活用 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 校務の情報化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校務支援ツールの充実・開発及び活用促進 ・ ネットワークを利用した教職員間の情報共有の推進 	県・市町 学校
■ 時代に対応した教育内容の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的、体系的な環境教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境学習全県ネットワーク等との連携や「やまぐちエコリーダースクール認証制度」の活用 ・ ESD※の視点を踏まえた環境マネジメントサイクルに基づく環境教育の実践 ※持続可能な開発のための教育 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉教育や消費者教育等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護分野における多様で質の高い福祉サービスを提供できる人材の育成に向けた介護職員初任者研修等の実施 ・ 消費者として主体的に判断できる力の育成に向けた消費者啓発出前講座や金融消費者教育セミナー等の活用 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 主権者教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主権者教育に関する教員研修の実施 ・ 主権者教育の先進的な取組の研究及び普及 ・ 高等学校等における年間指導計画に基づいた計画的・組織的な主権者教育の推進 	県・市町 学校 (高特)

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
小・中・高の3校種で合同研修を行う「授業づくり研修会」に参加した教員数（公立）	195 人 (H24)	833 人 (H27)	増加させる	500 人
英検 2 級及び準 2 級を受験した高校生の数	2,555 人 (H24)	2,744 人 (H26)	増加させる	3,000 人以上
英検 2 級及び準 2 級に合格した高校生の数	905 人 (H24)	961 人 (H26)	増加させる	1,000 人以上
専門的資格を取得した生徒（職業教育技術顕彰受賞生徒）の割合（高校・特支）	19.6% (H24)	21.6% (H26)	24%	25%

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[山口県伝統・文化教材集の活用状況] H26：小 100% 中 100% → H27：小 100% 中 100%

[道徳教育指導力アップセミナーの参加者数] H26：764 名 → H27：768 名

[宿泊体験活動の実施率] H26：小 90.8% 中 73.7% → H27：小 90.7% 中 78.4%

[情報モラル研修会の実施校数] H26：小 142 中 91 高 35 特支 0 → H27：小 150 中 83 高 30 特支 2

[エコリーダースクール認証校数] H26：65 校 → H27：61 校

参考（国の動き）

検索

中央教育審議会諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」H26. 11. 20

URL：http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1353440.htm

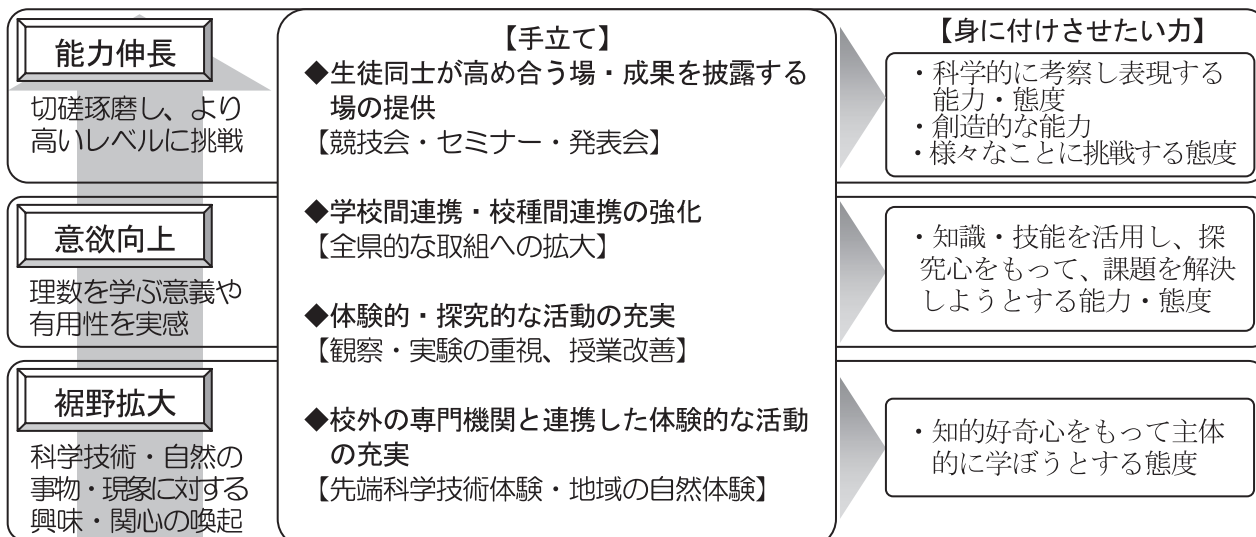
取組の推進に向けて

理数教育の充実

（担当：高校教育課／義務教育課／社会教育・文化財課）

- 早い段階からの科学に対する興味・関心の喚起
- 体験的・探究的活動に重点を置いた理数教育の実施
- 児童生徒の発達の段階に応じた系統的・継続的な理数教育の充実

理数教育の「裾野拡大」「意欲向上」「能力伸長」の3つの視点から、児童生徒の発達の段階に応じた手立てを講じることにより、ねらいとする能力・態度の育成を小学校・中学校・高等学校と系統的に進めていく。



- 学習指導要領の改正を踏まえ、道徳の教科化（小学校 H30～、中学校 H31～）に向けて、子どもたちの基本的な倫理観や社会性、規範意識等を育むため、小・中・高の発達段階に応じた道徳教育の充実
- 指導力の向上、校内指導体制の充実、家庭・地域との連携による道徳教育の推進

① 道徳教育推進のための協力体制の確立

- 校長が方針を明確に示し、学校の特色や課題に即した道徳教育を展開
- 「道徳教育推進教師」を中心とした全校体制による取組

② 道徳教育の全体計画、道徳の授業の年間指導計画の工夫

- 生命尊重や思いやりの心、規範意識等の道徳教育の重点目標の明確化
- 特色ある教育活動や豊かな体験活動等における道徳性育成の方針の明確化
- 学校の教育活動全体を通じて行う観点からの全体計画の見直し
- 教材の効果的な活用方法や児童生徒の変容を基にした年間指導計画の修正

③ 道徳の授業等の充実

- 道徳的価値の自覚を深めるための指導の手だての検討
- 道徳の授業の日常的な公開による、教員相互の資料観や指導観を高める機会の確保
- 模擬授業やワークショップ方式の検討会等による校内研修の活性化と質の向上

④ 家庭や地域と連携した道徳教育の推進

- 『私たちの道徳』の内容や活用の仕方等、家庭や地域への積極的な情報提供
- 参観日等での道徳の授業公開等による家庭や地域と一体となった取組の推進

参考（国の動き）

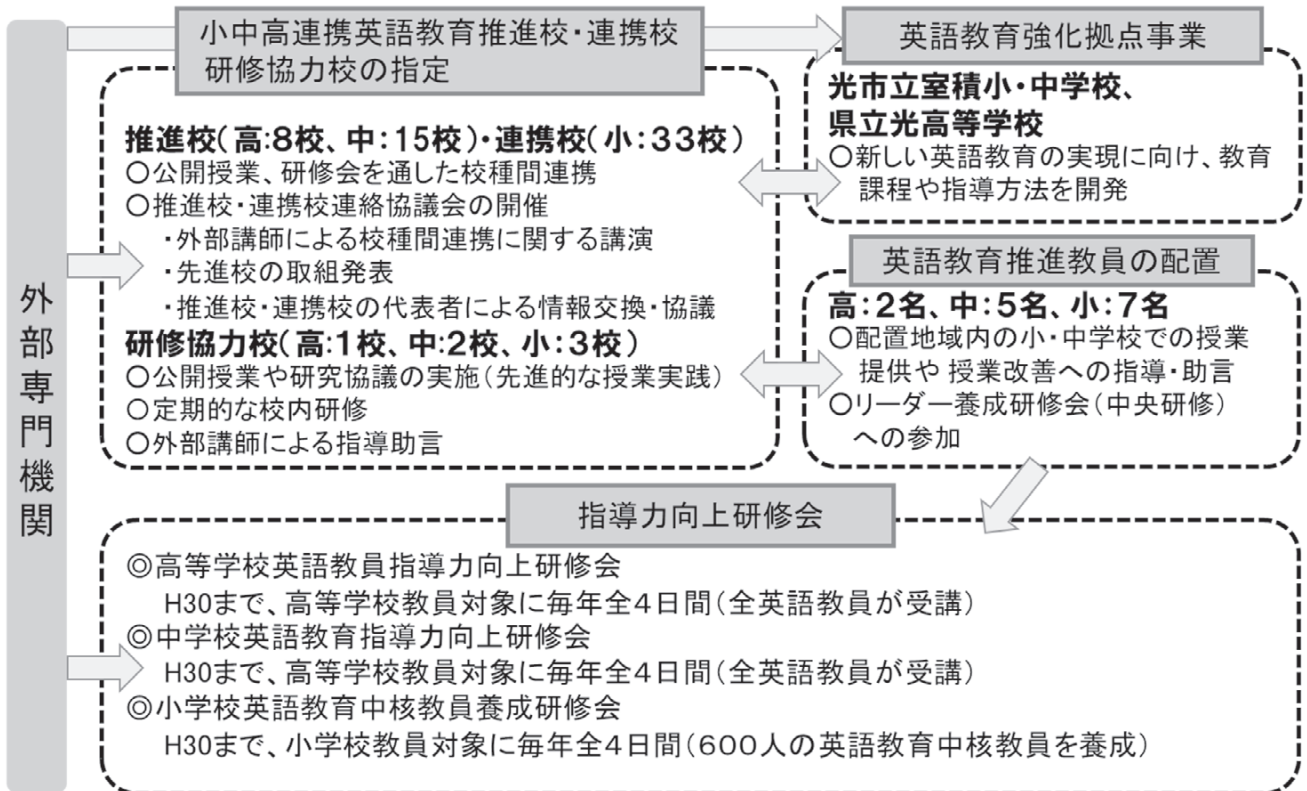
検索 ←

文部科学省 一部改正学習指導要領等（H27.3）

URL: http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1356248.htm

山口県英語教育推進計画(H26～H30)

英語によるコミュニケーション能力を養い、グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、外部専門機関と連携した効果的な研修を通して、英語教育担当者の指導力を向上する。



参考(国の動き)

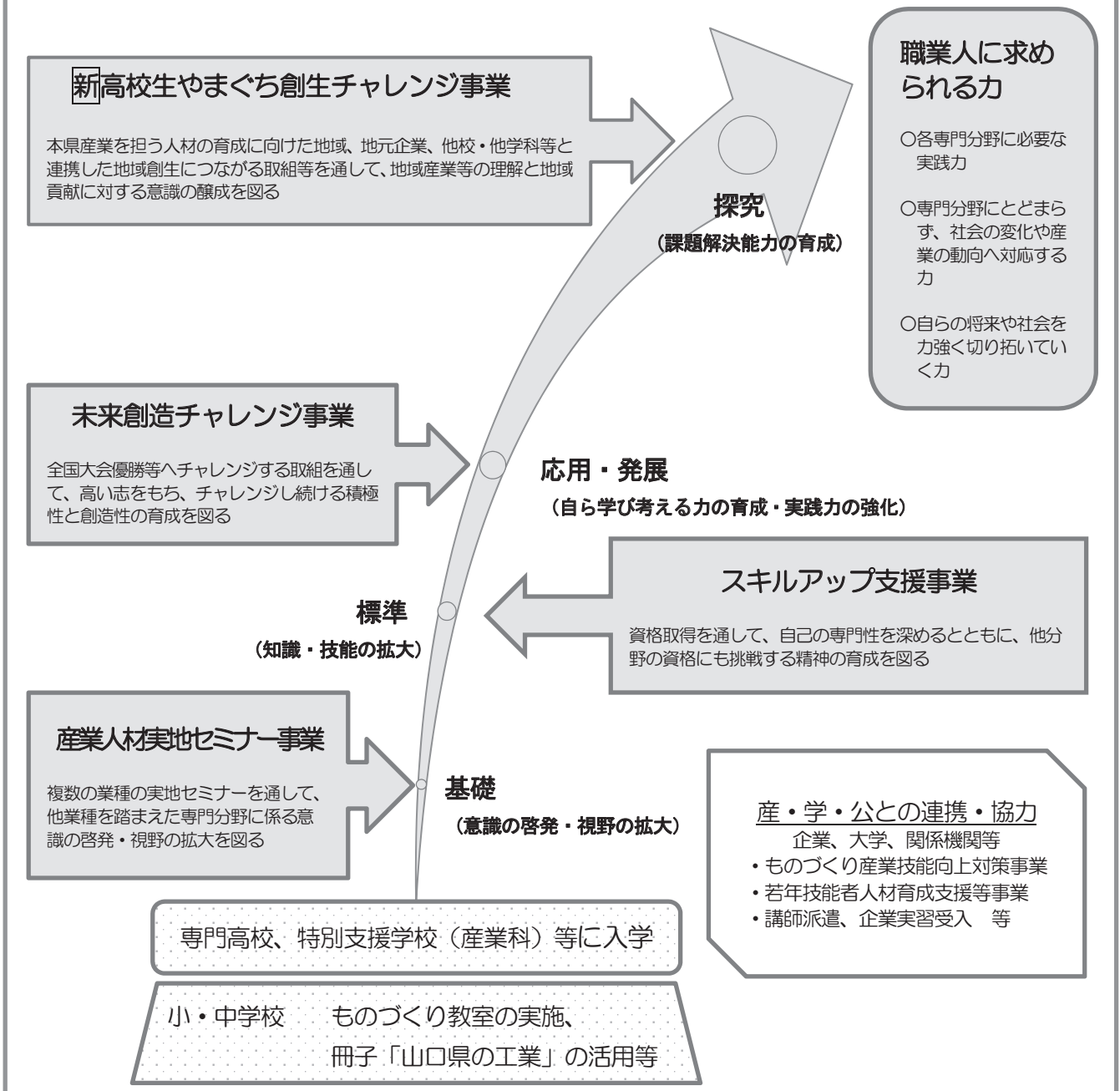
検索

中央教育審議会 初等中等教育分科会教育課程企画特別部会
「論点整理」H27. 8. 27

URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/sonota/1361117.htm

- 将来のスペシャリストの育成：専門分野の基礎的・基本的な知識・技術の定着と実践力の育成
- 将来の地域産業を担う人材の育成：地域産業や地域社会との連携
- 人間性豊かな職業人の育成：規範意識、倫理観の育成

山口県産業の将来を担う人材の育成



教育の情報化の推進

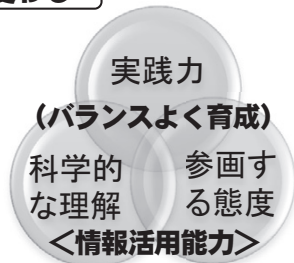
(担当：高校教育課/義務教育課/教育政策課/教職員課/特別支援教育推進室/学校安全・体育課)

次の3つの柱を通して教育の情報化を推進し、変化の激しい社会に主体的に対応する人材の育成をめざす。

【教育の情報化の3つの柱】

○ 情報教育の充実 ～児童生徒の情報活用の力の育成～ **児童生徒が変わる**

- (1) 学習指導要領の円滑な実施
- (2) 情報モラル教育の充実
 - ア 情報教育年間指導計画の作成
 - イ 情報モラル研修会の実施
(県警や民間事業者との連携)



○ 教科等の指導におけるICTの活用 ～各教科等の目標を達成するための効果的なICTの活用～ **授業が変わる**

- (1) ワークショップ型研修や授業公開、OJT等による校内研修
- (2) やまぐち総合教育支援センターによる情報端末機器の研修の充実
- (3) 「やまぐち総合教育支援サイト」の充実及び活用促進

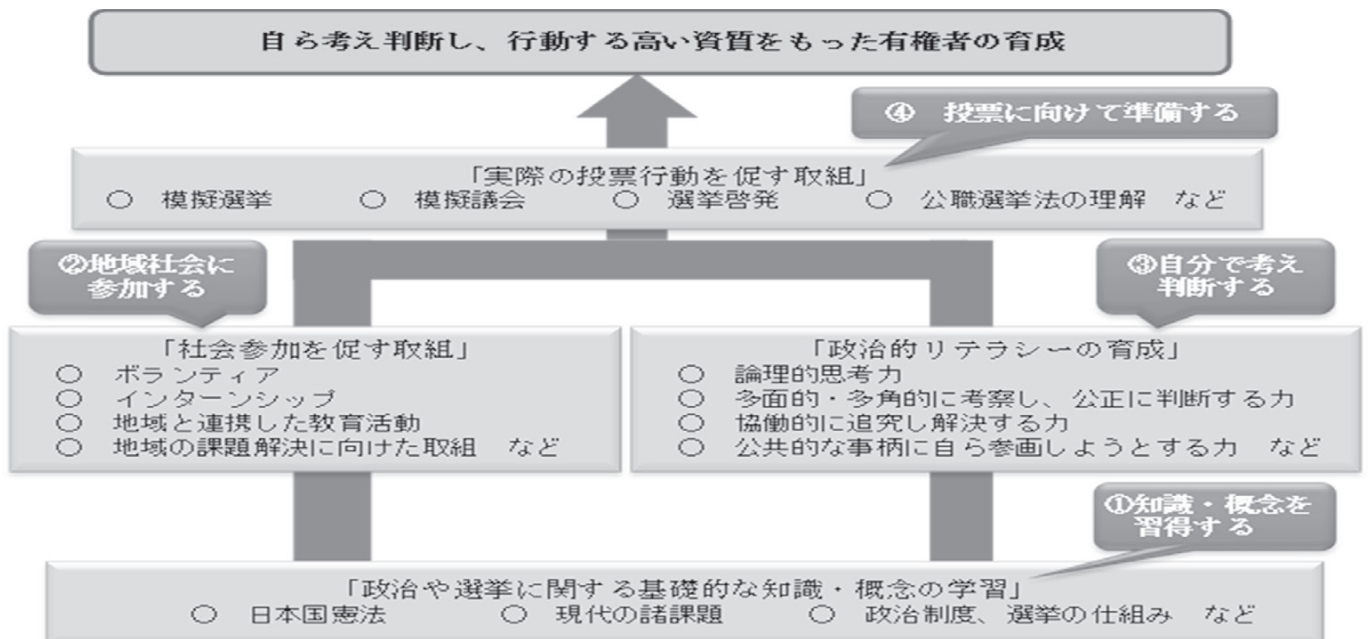
○ 校務の情報化の推進 ～児童生徒と向き合う時間の確保、情報共有によるきめ細かな指導～ **学校が変わる**

- (1) 校務支援ツールの充実・開発及び活用促進による業務改善の推進
- (2) ネットワークを利用した電子メール等による教職員間の情報共有の推進

時代に対応した教育内容の充実 ～主権者教育の充実～

(担当：高校教育課)

4つの視点から、主権者教育を「積極的に」「効果的に」「公正に」推進し、自ら考え判断し、行動する高い資質をもった有権者を育成する。



<詳しく知りたい>

- ◇高校教育課 Web→「山口県教育の情報化推進指針」
「高等学校等における主権者教育の推進に向けて」

3 学習指導の改善・充実

【取組方針】

- ◆ 小・中学校においては、全国トップクラスの学力をめざし、コミュニティ・スクールや「地域協育ネット」による家庭や地域との連携を基盤として、学校の組織的な取組、指導方法の工夫・改善、学習環境の整備、学習習慣の確立により、学校全体で取り組む体制づくりを進めるとともに、年間2回の検証改善サイクルによる授業改善を推進する。
- ◆ 高等学校においては、生徒の夢を志に高める教育の実現に向けて、生徒の主体的・協働的な学びとなるアクティブ・ラーニングの一層の充実や、ICTの効果的な活用、評価方法の見直しなどを進めるとともに、今後の大学入試改革等に的確に対応できる取組を推進する。
- ◆ 社会総がかりによる学力向上の実現に向けた気運を醸成し、学校・家庭・地域が一体となって、「オールやまぐち」による学力向上の取組を推進する。

学力向上キャッチフレーズ

わかる喜び できる楽しさ 学び続けるやまぐちっ子
～ 高めよう授業力 育てよう学習力 ～

【主な取組】

(担当：義務教育課/高校教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 学校の組織的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国トップクラスの学力をめざす取組の充実（小・中） <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査と学力定着状況確認問題等の実施と学力分析支援ツールの活用による検証改善サイクルの推進と全校体制での取組の充実 ・ 学力分析に基づく具体的な取組目標の明確な位置付けと学力向上プランの改善 ・ 補充学習等による基礎基本の確実な定着、発展的な学習による思考力・判断力・表現力等の更なる向上 ・ 施策の充実や学校の課題解決支援、好事例の普及等に向けた、市町教委との連携による学校訪問 	県・市町・学校（小中）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校体制での実践的な授業研究と成果の普及（小・中） <ul style="list-style-type: none"> ・ 理科の学力向上に向けた課題解決実践研究事業、課題解決に向けた授業改善実践研究事業による実践研究と成果の普及 ・ 調査研究推進校における実践研究と成果の普及 ・ 授業研究や授業公開の推進、学年会議や教科会議等の活性化 	県・市町・学校（小中）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上に向けた組織的な取組の推進（高） <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の実態に応じた学校目標の明確化 ・ 学力検査や学習状況等アンケートなどの結果分析・活用 ■ アクティブ・ラーニングの推進に向けて、研修資料「アクティブ・ラーニング～よりよい授業づくりをめざして～」を活用した校内研修の実施 	県・学校（高）
■ 指導方法の工夫改善	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県独自の「やまぐち学習支援プログラム」等の活用（小・中） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐち学習支援プログラム」の改訂と活用促進による一層の指導の充実 ・ 児童生徒の学力に関するきめ細かな分析を行う「学力分析支援ツール」の効果的な活用の促進と指導の工夫改善 	県・市町・学校（小中）

<p>新 キャリアステージに応じた指導力向上に向けた研修会、全校体制での指導改善の活性化と情報提供等による効果的な指導方法の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 各キャリアステージに応じた研修会の開催（学力向上プランニング研究協議会、学力向上管理職協議会、理科授業改善研修会、若手教員スキルアップ研修） 全校体制での授業改善の活性化を図るための研修会開催（授業力向上実践研修会（15 中学校区）） 授業改善のための資料（「見通しと振り返り」「板書型指導案」「授業交換（小）」「授業評価（中）」「分析支援ツール」）等の活用による授業改善の活性化 やまぐち総合教育支援センターとの連携による効果的な指導方法の研究 「やまぐち総合教育支援サイト」、「やまぐちっ子学力向上だより」（小・中）等による学習指導用情報等の提供 	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ モデル授業の提供や授業研究での指導等による指導力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上推進リーダー・推進教員、英語教育推進教員（小・中）、授業アドバイザー（小・中）、教育力向上指導員等の効果的活用の促進 	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ 指導と評価のサイクルに基づく授業づくりの推進（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> アクティブ・ラーニングを活用した授業展開の工夫・改善 シラバスの改善・充実や授業研究を伴う校内研修の推進 「授業づくりと評価の手引き」等を活用した学習指導計画や学習評価の工夫改善 身に付けさせたい力の明確化（「何を教えるのか」から「どのような力を身に付けさせるのか」への転換） 	<p>県・学校（高）</p>
<p>■ 学習環境の整備</p>	
<p>○ 学習規律や学習環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校体制での学習ルールの確立や教室環境の充実に向けた取組推進 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 小中連携、中高連携等による授業参観や授業研究を通じた指導の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業参観や相互乗り入れ授業、合同研修会等の実施 小中連携カリキュラムの活用 近隣校との連携や合同研修会等の工夫・充実、教員研修等の学校間のネットワークづくり 高校における学校間連携や高大連携の充実 	<p>県・市町・学校</p>
<p>■ 学習習慣の確立</p>	
<p>○ 「やまぐち学習支援プログラム」の活用による家庭学習の支援（小・中）</p> <ul style="list-style-type: none"> P T A 研修会等での積極的な周知による「やまぐちっ子学習プリント」の活用促進 	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ 生徒の学習意欲の育成に向けた取組の充実（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒による自己評価・自己分析シートなどの活用促進 学習状況等アンケートや個人面談を活用した生徒の学習状況把握 家庭との連携の充実 	<p>県・学校（高）</p>
<p>○ 学力向上や家庭学習の充実に向けた家庭や地域に対する積極的な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふれあい夢通信」や「学力向上だより（家庭版）」等を活用した情報発信 学校ホームページや学校だより等による積極的な情報提供 「学力分析支援ツール」個人票の活用による学校・家庭の情報共有と連携強化 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ コミュニティ・スクールや「地域協育ネット」等を活用した学校と地域の連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習支援の機会の充実や家庭での学習習慣の定着など、学校・家庭・地域が一体となった社会総がかりによる取組の一層の推進 	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ 「山口県学力向上推進フォーラム」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 「山口県学力向上推進フォーラム」を開催し、学力向上に関する気運の醸成を図り、社会総がかりによる学力向上の取組を一層推進 	<p>県・市町・学校（小中）</p>

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標		基準値(全国)	最新値(全国)	H28 末 目標値	H29 末 目標値
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差 (公立小・中学校)	国A	64.3% (62.7%) +1.6	72.1% (70.0%) +2.1	小・中学校全区分で全国平均を3ポイント上回る	小・中学校全区分で全国平均を3ポイント上回る
	小国B	50.2% (49.4%) +0.8	67.5% (65.4%) +2.1		
	算A	77.9% (77.2%) +0.7	77.1% (75.2%) +1.9		
	算B	59.9% (58.4%) +1.5 (H25)	46.4% (45.0%) +1.4 (H27)		
※目標値変更	国A	77.3% (76.4%) +0.9	76.4% (75.8%) +0.6		
	中国B	68.3% (67.4%) +0.9	66.3% (65.8%) +0.5		
	数A	65.5% (63.7%) +1.8	65.3% (64.4%) +0.9		
	数B	44.2% (41.5%) +2.7 (H25)	42.4% (41.6%) +0.8 (H27)		
勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中学校)		小 62.2% 中 59.0% (H25)	小 64.2% 中 62.1% (H27)	増加させる	増加させる

取組の推進に向けて

小・中学校の取組

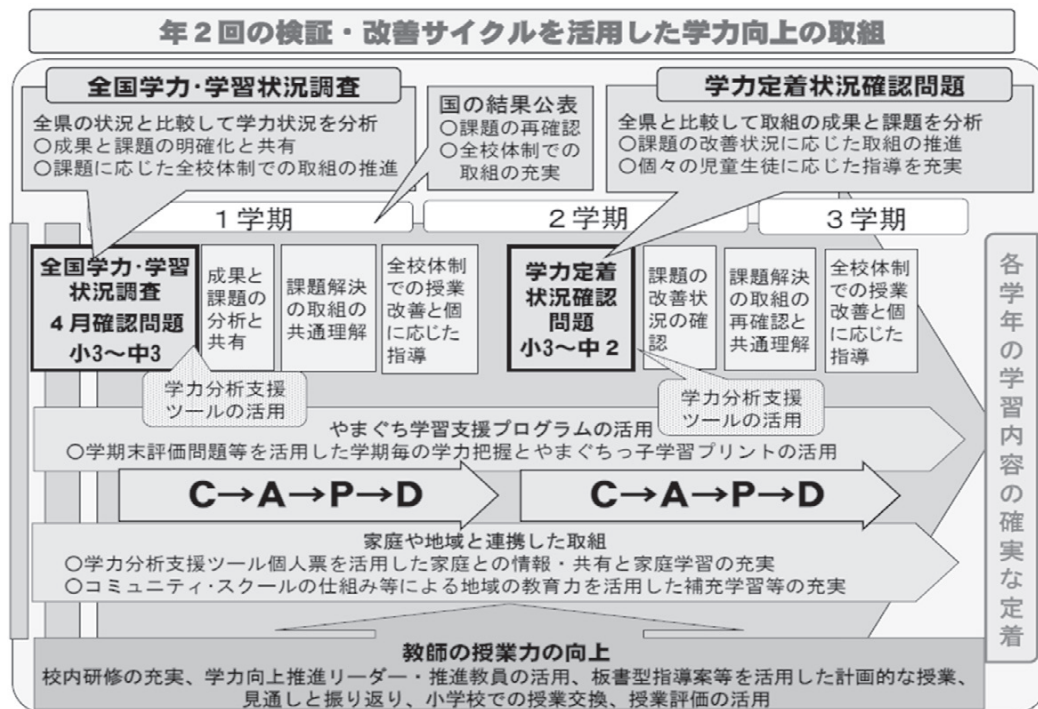
(担当：義務教育課)

1 小・中学校における学力向上への取組

4つの重点取組事項に基づく取組を引き続き推進するとともに、学力状況の把握と分析に基づき、指導の工夫改善を図る検証改善サイクルの推進により、児童生徒の学力の確実な定着と向上に向けた取組の一層の充実を図る。

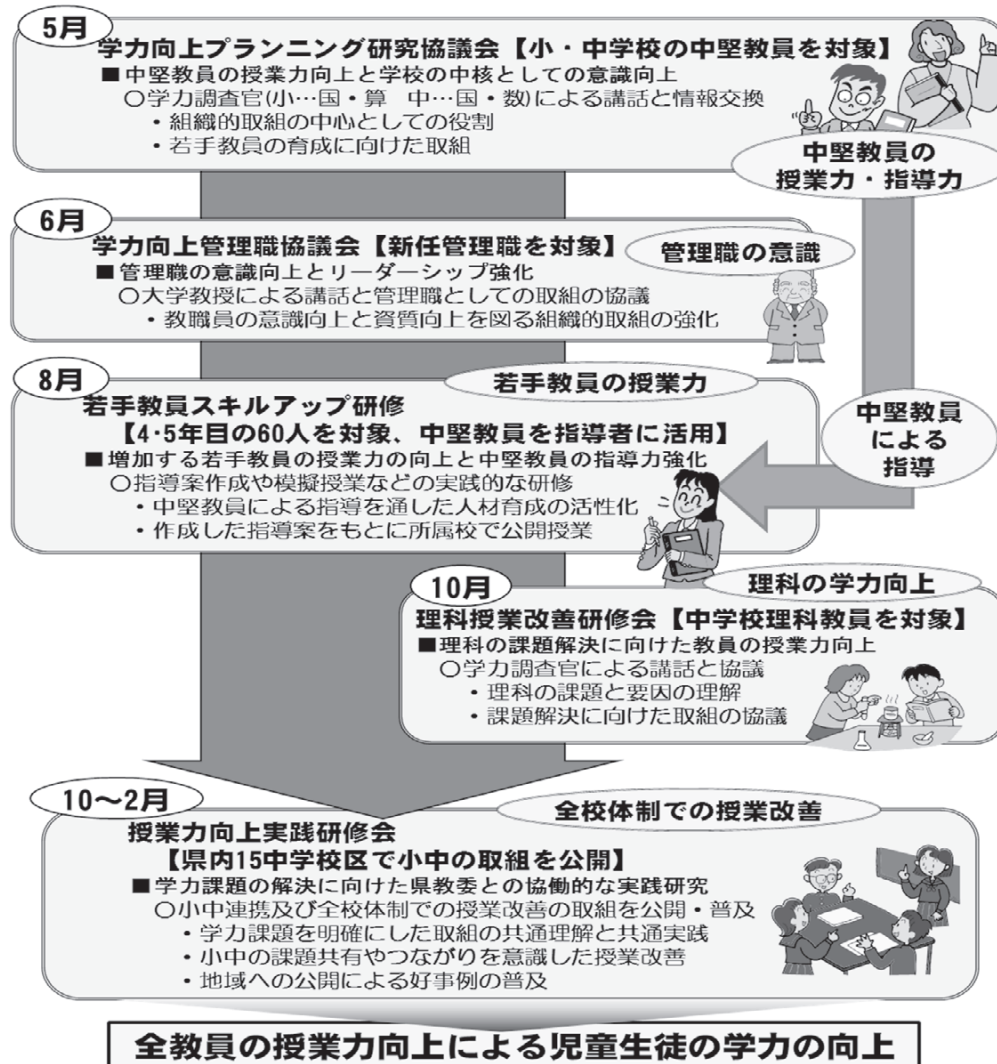


2 年間2回の検証改善サイクルの推進



3 授業力向上プロジェクト事業

各学校における年2回の検証改善サイクルの一層の充実に向けて、個々の教師の学力向上への意識の向上と、課題の改善に向けた授業力の向上を図るため、キャリアステージに応じた研修会を実施する。



1 学力向上に向けた学校の組織的な取組の一層の充実

- 山口県学力定着状況確認問題の継続と学力分析支援ツールにより、全国学力・学習状況調査と合わせた年間2回の検証改善サイクルを効果的に活用すること
- 校内研究体制を確立することにより、課題解決に向けた全校共通の取組を徹底すること

2 教員の授業力のさらなる向上

- やまぐち総合教育支援センターと連携することにより、継続課題に視点を絞り込んだ指導方法の研究を推進すること
- キャリアステージに応じた多様な研修会の充実や学力向上推進リーダー・推進教員の活用により、教員の指導力の一層の向上を図ること
- 見通しと振り返り、主体的・協働的な学習活動の計画的な実施や、板書型指導案、授業評価、授業交換の推進により、各学校の授業改善に向けた日常的な研修の定着を図ること


3 子どもの発達や学びの連続性を踏まえた学習環境の整備

- 合同研修会や乗り入れ授業、研修会への相互参加により、小中連携・中高連携の一層の充実を図ること
- 少人数指導や補充学習の計画的な実施により、個に応じたきめ細かな学習支援を徹底すること

4 家庭・地域との連携・協働の推進

- 小中学校間や家庭との情報共有により、学習規律の徹底と学習習慣の確立を図ること
- 情報発信の工夫により、効果的な取組の普及に努めること
- コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みなど、地域の教育力を積極的に活用すること

参考（国の動き）

検索 

中央教育審議会 初等中等教育分科会教育課程企画特別部会

「論点整理」H27.8.27

URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/sonota/1361117.htm

<詳しく知りたい>

◇義務教育課 Web →「学習指導に関すること」

アクティブ・ラーニングの推進に向けて

現在、高校教育においては、課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学習形態である「アクティブ・ラーニング」がキーワードとなっており、これからの時代を生きていく生徒にとって必要な資質・能力を育成するために、その重要性はますます高まっています。

【国の動き】

- 次期学習指導要領の改訂に向け、子どもたちが「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどう社会・世界と関わりよりよい人生を送るか」の重視
- そのためには学びの量とともに、学びの質や深まりが重要であり、子どもたちが「どのように学ぶか」についてアクティブ・ラーニングによる指導方法の不断の見直し、改善の必要性

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

主体性・多様性・協働性・人間性など

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニング)

何を知っているか
何ができるか

個別の知識・技能

知っていること・できることをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

【県教委としての取組の方向性】

1 アクティブ・ラーニングを活用した授業改善

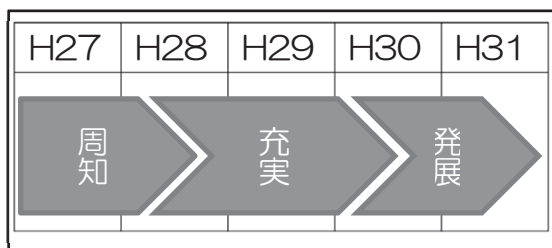
- 見通し・振り返り活動の充実
 - ・ 授業のはじめに目標（めあて・ねらい）の提示
 - ・ 授業の終わりに学習した内容を振り返る活動の充実
- 生徒の主体的・協働的な活動の充実
 - ・ グループ活動やディスカッションなどの活動の積極的な導入

2 研修機会の充実

- 県教委発行の研修資料「アクティブ・ラーニング～よりよい授業づくりをめざして～」(H27.12)等を活用した校内研修の充実
- 教育課程研究協議会や学校訪問におけるアクティブ・ラーニングによる授業改善についての研究協議

【推進スケジュール】

平成 27、28 年度を周知期間、平成 28～30 年度を充実期間とし、「高等学校基礎学力テスト（仮称）」先行導入の前年度となる、平成 30 年度から発展期間と位置付け、次期学習指導要領の改訂や大学入試制度改革の動向を注視しながら、アクティブ・ラーニングの一層の推進を図ります。



《アクティブ・ラーニングとは》

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

(「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」平成 24 年 8 月中央教育審議会答申より)

参考（国の動き）

検索

中央教育審議会 高大接続特別部会文部科学大臣決定「高大接続改革実行プラン」H27.1.16

URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo12/sonota/1354545.htm

中央教育審議会 高大接続特別部会高大接続システム改革会議「中間まとめ」H27.9.15

URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/033/toushin/1362096.htm

4 国際教育の推進

【取組方針】

- ◆ 昨年度開催された「世界スカウトジャンボリー」における地域プログラムや語学ボランティアなどにより育成された国際交流や英語学習へのモチベーションの高まりを踏まえ、目標や課題にチャレンジし、グローバルな視点やリーダーシップをもって行動できる人材の基盤となる資質・能力の育成に向け、実践的な語学力・コミュニケーション能力、郷土をはじめ日本や諸外国の伝統・文化を理解・尊重する態度及び国際協調・協力を実践する態度等を身に付けさせる取組を推進する。

【主な取組】

(担当：義務教育課/高校教育課/教育政策課/社会教育・文化財課/学校安全・体育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 国際交流を通じた国際教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本人としてのアイデンティティをもちながら、諸外国の文化や風土に対する興味・関心を高め、郷土の文化に対する理解を有する人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界で活躍する人材を学校に派遣して講演等を実施する「やまぐちグローアップセミナー」の開催（中・高 各20校） ・ 自国や他国の文化への理解を深めるとともに、地域や伝統・文化を学ぶ機会の充実 ・ 学校芸術文化ふれあい事業の充実 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外留学の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外留学への関心を喚起し、留学に対する気運を醸成する「やまぐち『志』育成塾」の開催（5月、10月） ・ 海外留学をする高校生への留学に必要な経費の一部を補助 【短期派遣】20人：上限100千円/人（予定） 	県・学校（高）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 慶尚南道友好相互交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国慶尚南道から訪問団を招き、県内高校での授業体験・意見交換等を通じた相互交流や産業・文化施設訪問等による異文化体験を実施（高）（交流テーマ：「科学探究」、実施時期：受入れ（10月）を予定） ・ 展覧会における作品の相互展示など学生作品の相互交流を実施（小・中） ・ 友好相互交流推進会議の開催 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 慶尚南道高校生スポーツ交流事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口県の高校生等によりスポーツ交流団を編成し、韓国慶尚南道へ派遣（実施種目：バドミントン、実施時期：8月下旬） 	県・学校（高）
■ 国際交流を担う人材の基盤となる資質能力の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語によるコミュニケーション能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐちイングリッシュ・キャンプ」の開催『スリーデイ・キャンプ』（8月） 小・中・高等学校の児童生徒を対象とした、ALTとのオールイングリッシュによる活動やスポーツ等 ■ 『ワンデイ・キャンプ』（12月） 高校生を対象とした、県内大学の留学生とのオールイングリッシュによる交流活動 ・ 「山口県高校生英語ディベートセミナー」の開催（7月） ・ 「山口県高校生英語ディベート大会」の開催（10月） 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーグローバルハイスクール等におけるコミュニケーション能力・問題解決能力等の国際的素養の育成に向けた取組の充実 	県・学校（高）

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
ジャンボリーを活用した国際教育の取組を実施した学校の割合	— (H24)	100% (H27)	—	—

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[グローバルセミナーの実施校] H26 : 中 20 校 高 9 校 → H27 : 中 9 校 高 19 校

[山口県高校生英語ディベート大会の参加チーム数] H26 : 5 チーム → H27 : 6 チーム

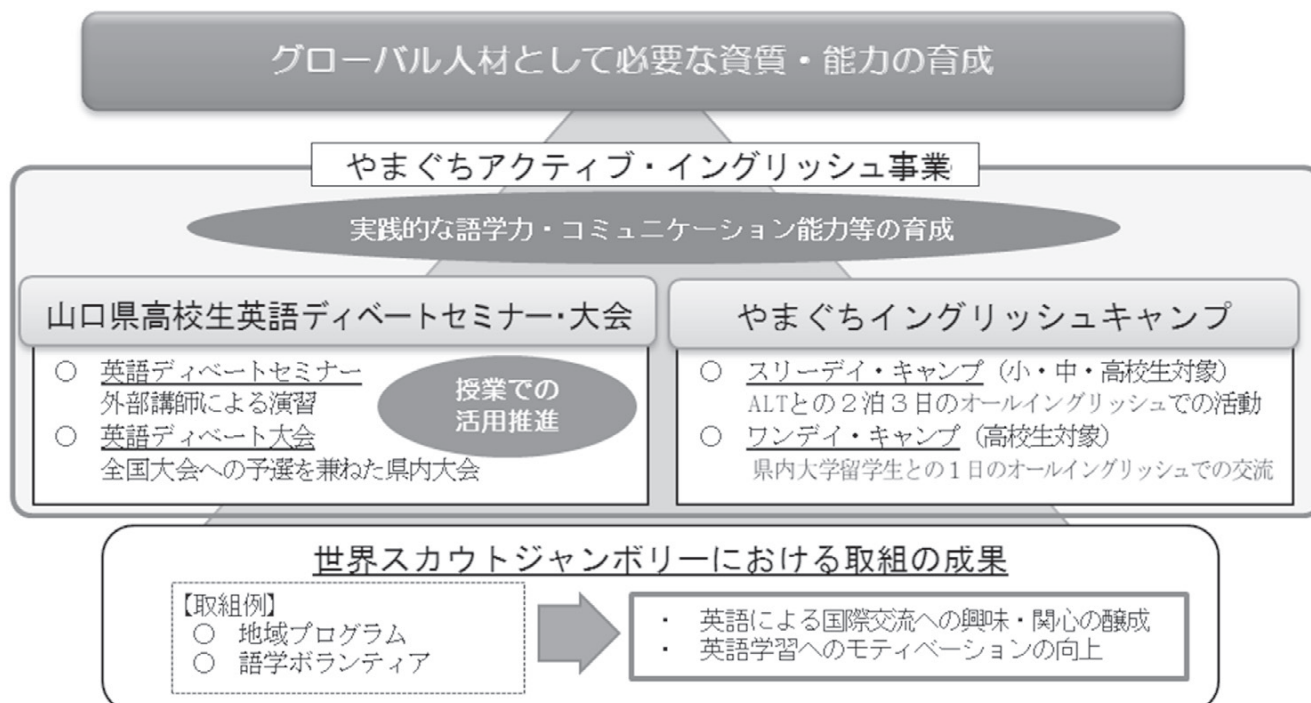
取組の推進に向けて

児童生徒の英語の使用機会の拡充等に向けた取組の充実

(担当 : 高校教育課)

やまぐちアクティブ・イングリッシュ事業

世界スカウトジャンボリーで培われた英語学習へのモチベーションの向上や国際交流への意欲の高まりを基盤に、児童生徒の英語の使用機会の拡充等を図る事業



5 読書活動の充実

【取組方針】

- ◆ 「山口県子ども読書活動推進計画第3次計画」に基づき、子どもの読書習慣の定着のため、家庭での読書の普及啓発や学校・地域で読書活動の推進を担う人材の育成を図るとともに、山口県子ども読書支援センターを中核として、社会全体で子どもの読書活動を推進する。

【主な取組】 (担当：社会教育・文化財課／義務教育課／高校教育課／学校安全・体育課)

主な取組と内容		実施主体
■ 学校における読書活動の推進		
○ 読書の機会の充実による読書活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝読書など全校一斉読書活動の推進 ・ 読み聞かせやブックトーク、読書記録の活用等の充実 ・ 推薦図書の紹介や図書の展示の工夫等、委員会活動の活性化 	県・市町・学校	
○ 授業での学校図書館等の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科や総合的な学習の時間等での積極的活用 ・ 授業で活用する図書資料の整備・充実 	県・市町・学校	
○ 学校図書館担当教職員の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 司書教諭配置の促進及び司書教諭等研修会における司書教諭と学校司書の役割等に関する研修内容の充実 	県・市町・学校	
○ 学校図書館資料の計画的整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の図書整備5か年計画(H24～)を活用した図書や新聞の整備・充実 	県・市町・学校	
○ 学校・家庭・地域が一体となった読書習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども元気創造推進協議会」の開催による専門的視点からの検討 ・ 「『食事、運動・遊び、読書』90日元気手帳」の活用(小) 	県・市町・学校	
■ 家庭や地域における子どもの読書活動の充実		
○ 市町における「子ども読書活動推進計画」の策定及び計画的推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども読書活動推進計画」策定状況調査の実施 	県・市町	
○ 「こどもの読書週間」(4/23～5/12)や「家庭の元気応援キャンペーン」等を活用した子どもの読書活動を推進する気運の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県子ども読書活動団体表彰」の実施 	県・市町	
○ 子どもの読書に関わる人たちのネットワーク化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県子ども読書活動推進協議会」における検討 	県・市町・学校・団体	
■ 山口県子ども読書支援センターによる支援の充実		
○ 読書イベント等の実施やメールマガジンの配信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おはなし会スペシャル」(2回)、「かがくであそぼ」(1回)の開催やメールマガジン「本はともだち」の配信 	県	
○ 子どもの読書に関わる人たちのネットワーク化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域ネットワークフォーラム」の開催(2地域) 	県・市町・学校・団体	
○ 学校図書館活性化事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校図書館セミナー」(2回)や「出前こどもとしょかん」(5回)の実施 ・ 講師の派遣や学校図書館運営に係る相談 	県・市町・学校	
○ 公立図書館職員、学校や地域で活動する民間読書ボランティアの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読書ボランティアリーダー研修会」(3回)や「新刊児童書閲覧会」(3回)の実施 	県・市町・団体	

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 目標値
読書が好きと感じている児童生徒の割合	小 72.3% 中 73.2% (H25)	小 74.4% 中 71.9% (H27)	増加させる	増加させる
学校以外で月に1冊も本を読まない児童生徒の割合	小 23.8% 中 31.0% (H24)	小 20.8% 中 28.8% (H27)	減少させる	減少させる

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[公立図書館職員、学校関係者等への研修会や講座等] H25 : 469 名 → H26 : 333 名

取組の推進に向けて

【基本方針】

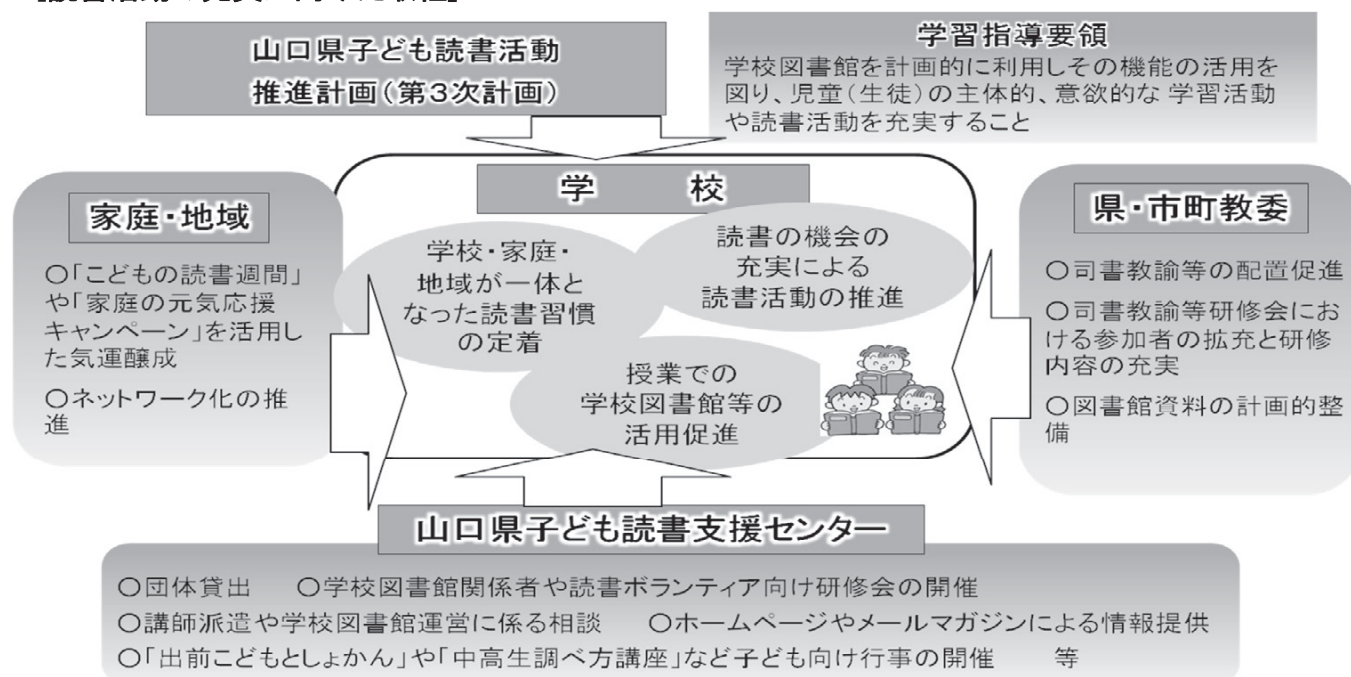
(1) 県民総ぐるみによる読書活動の推進

家庭、地域、学校をはじめとして、社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図るような取組を推進するとともに、必要な体制の整備に努める。

(2) 読書活動を支える環境の整備

子どもの自主的な読書活動の推進に資するため、家庭、地域、学校において子どもが読書に親しむ機会の提供に努めるとともに、施設、設備その他の諸条件の整備・充実に努めます。

【読書活動の充実に向けた取組】



<詳しく知りたい>

◇社会教育・文化財課 Web →山口県子ども読書活動推進計画(第3次計画)について

◇山口県立山口図書館 Web →山口県子ども読書支援センター

6 学校における人権教育の推進

【取組方針】

- ◆ 「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づいて、児童生徒の心身の成長の過程に即し、教育活動を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にすることを組織的・計画的に推進する。また、児童生徒の自主性と実践への意欲を高め、人と人との関わりの中で主体的な学びが行われるよう、人権尊重の視点に立った指導の充実を図る。

【主な取組】

(担当：人権教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にすることを推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体性を育み、問題解決力等を高める授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な地域の人たちとの関わりを通じた多様な体験活動の導入 ・ 小集団による問題解決場面や自己決定の場面の設定 ○ 互いの人権が尊重され、安心して楽しく学ぶことができる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活のあらゆる場において、人格を尊重した言動への意識付け ・ 自由に意見を表現することができる活動の充実 	県・市町・学校
■ 教職員研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権が尊重された学校づくりや指導方法に関する研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科・領域等との関連を踏まえた人権教育の指導方法の充実 ・ 地域社会と連携した人権教育の推進に取り組んでいる学校の情報提供 ○ 人権教育研修への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や教育研究団体等の要請に応じた、やまぐち総合教育支援センターのサテライト研修の活用 ・ 教職員のキャリアステージ等に応じた研修内容の充実 	県・市町・学校
■ 人権に関する資料の整備と活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的人権に関する理解を深めるための資料や情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権に関する理解を深めるための資料や情報の提供 ・ 関係法令の制定や改正等に関する情報提供 ○ 視聴覚資料等の整備と活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚資料の研究と整備 ・ 視聴覚資料を活用した学習展開例の作成と効果的な活用 	県・市町

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
人権教育に関するサテライト研修等への県教委からの講師派遣回数	27回 (H24)	42回 (H27)	45回	50回

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[県内学校での視聴覚資料の活用状況] H25：小 99回 中 29回 高 85回 特 15回
H26：小 78回 中 42回 高 91回 特 10回

取組の推進に向けて

〈学校教育における人権教育推進の視点〉

人権問題の理解

意義や理念の理解

多様な体験活動

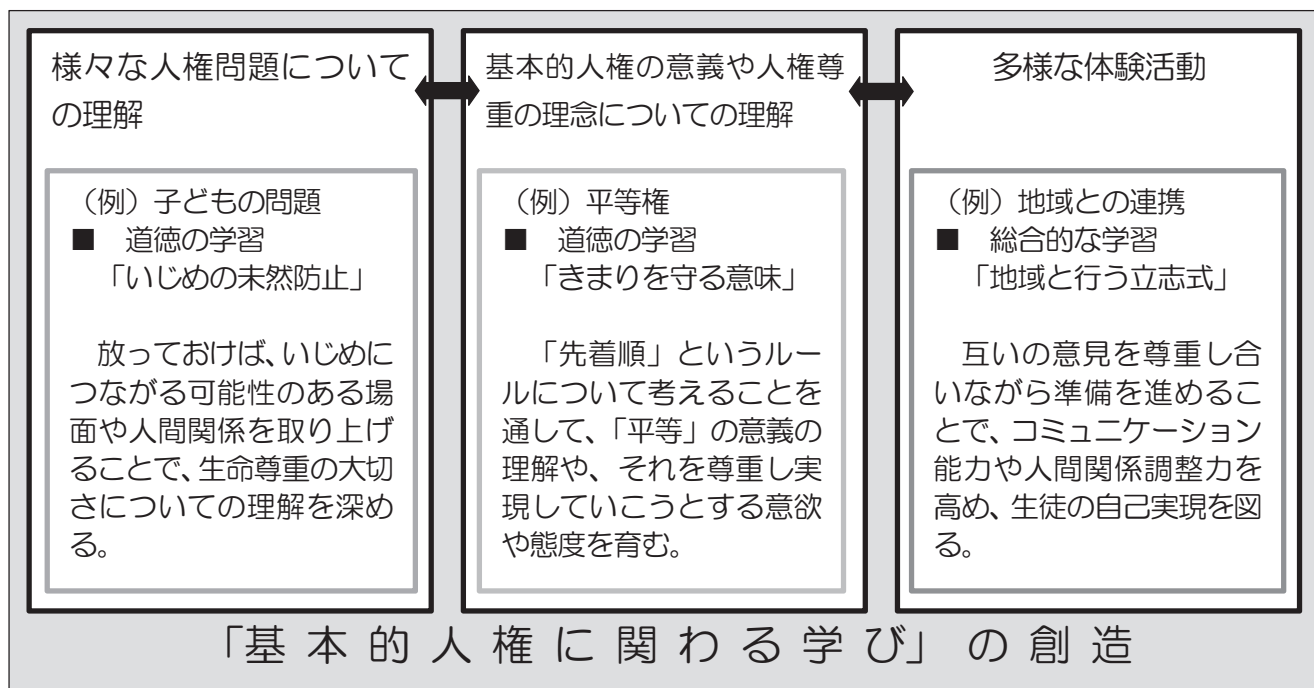
ねらい

学校の教育活動を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進する。

- 基本的人権の意義や人権尊重の理念についての理解
 - ・ 日本国憲法の基本理念や憲法に保障されている基本的人権に関する学習
 - ・ 基本的人権の発展の歴史などに関する学習
- 様々な人権問題についての理解
 - ・ 現状と課題について理解を深める学習
 - ・ 取組の考え方について理解を深める学習
 - ・ 法や制度について理解を深める学習
- 多様な体験活動
 - ・ 多様な体験活動によるコミュニケーション能力、人間関係調整力、問題解決力等の育成

具現化に向けて

「山口県人権教育推進資料」に基づいた授業の例



<詳しく知りたい>

◇人権対策室 Web → 「山口県人権推進指針」

◇人権教育課 Web → 「山口県人権教育推進資料」

7 体力向上の推進

【取組方針】

- ◆ 「子ども元気調査」等の結果を踏まえ、バランスのとれた体力向上に向け、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進する。
- ◆ 体育授業マイスターや外部指導者の派遣等により、授業や体育的行事、運動部活動の充実を支援し、子どもの運動習慣の改善、体力向上を図る。
- ◆ コミュニティ・スクールや地域協育ネット等を活用し、学校や地域の実態に応じた体力向上の取組を推進する。

【主な取組】

(担当：学校安全・体育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 「子ども元気調査」等を踏まえた組織的な取組の推進	
新 「子ども元気創造 ～体力アップチャレンジ～」をスローガンとした全小中学校共通の取組の推進（小・中） <ul style="list-style-type: none"> ・ 新体力向上プログラムの作成 ・ 体育授業による柔軟性向上の取組（柔軟性向上のための運動メニューの実施） ・ 柔軟性確認調査の実施（H28年 2～3月、H28年 10～11月） 	県・市町・学校
新 スポーツ医・科学の専門家等と連携した取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力アップチャレンジ協議会の設置 「運動メニュー」の作成と取組の検証 	県・市町・学校
新 各学校の特色ある取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上や運動習慣改善に向けた取組（小・中） コミュニティ・スクールの活用、1校1取組の改善、家庭での取組 等 	県・市町・学校
■ 学校における体育・スポーツ活動の充実	
○ 体育科・保健体育科授業の改善と充実に向けた教員の指導力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育授業マイスター制度※の充実による教員の指導力向上（小） ※ 体育の授業に高い指導力を有する教員を小学校へ派遣し、授業研究等を実施 ・ 武道・ダンス等、課題がみられる領域への外部指導者の派遣 	県・市町・学校
○ 運動習慣の定着と部活動の充実に向けた取組の推進 新 レクリエーション協会等と連携した運動遊び教室の実施（小） <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動習慣の定着していない生徒が参加しやすい多様な部活動への取組（中・高） ・ スポーツ医・科学的な知見を有する指導者等の派遣による指導体制の充実及び部活動顧問の資質の向上（中・高） ・ 県体協等と連携した競技力向上の取組の充実（中・高） 	県・市町・学校
○ 指導資料等の活用促進 新 発達の段階に応じた運動プログラム「運動大好き！やまぐちっ子体操」の周知・活用促進（幼・小低学年） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもに経験させたい運動・遊び」映像資料の活用促進（小・中） 	県・市町・学校
■ 家庭や地域と一体となった取組の推進	
○ 家庭・学校が連携した取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 『食事、運動・遊び、読書』90日元気手帳を活用したよりよい生活リズムの形成（小） ・ 「ふれあい夢通信」や「学校体育通信」を活用した情報発信 	県・市町・学校
○ コミュニティ・スクールや地域協育ネット等を活用した学校と地域の連携推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の体育的活動における地域人材の活用等、学校・家庭・地域が一体となった取組の推進（小・中） 	県・市町・学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標		基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 目標値
山口県子ども元気調査による体育の授業以外に運動や外遊びをほとんど毎日(週3日以上)行っている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 男	73.5%	67.0%	増加させる	増加させる
	小 女	56.4%	53.7%		
	中 男	74.7%	71.4%		
	中 女	55.8%	55.9%		
	中	(H25)	(H27)		
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(体力8項目の結果をそれぞれ10点満点で得点化した合計点)の県平均点(公立小・中学校)	小5男	53.6点	53.3点	53.9点	54.6点
	小5女	54.4点	54.6点	55.0点	55.4点
	中2男	41.5点	40.8点	41.6点	42.5点
	中2女	48.5点	48.5点	49.0点	49.5点
	中	(H24)	(H27)		

【その他の参考となるデータ】

[全国調査の長座体前屈の平均値(公立小・中)] ()は全国平均

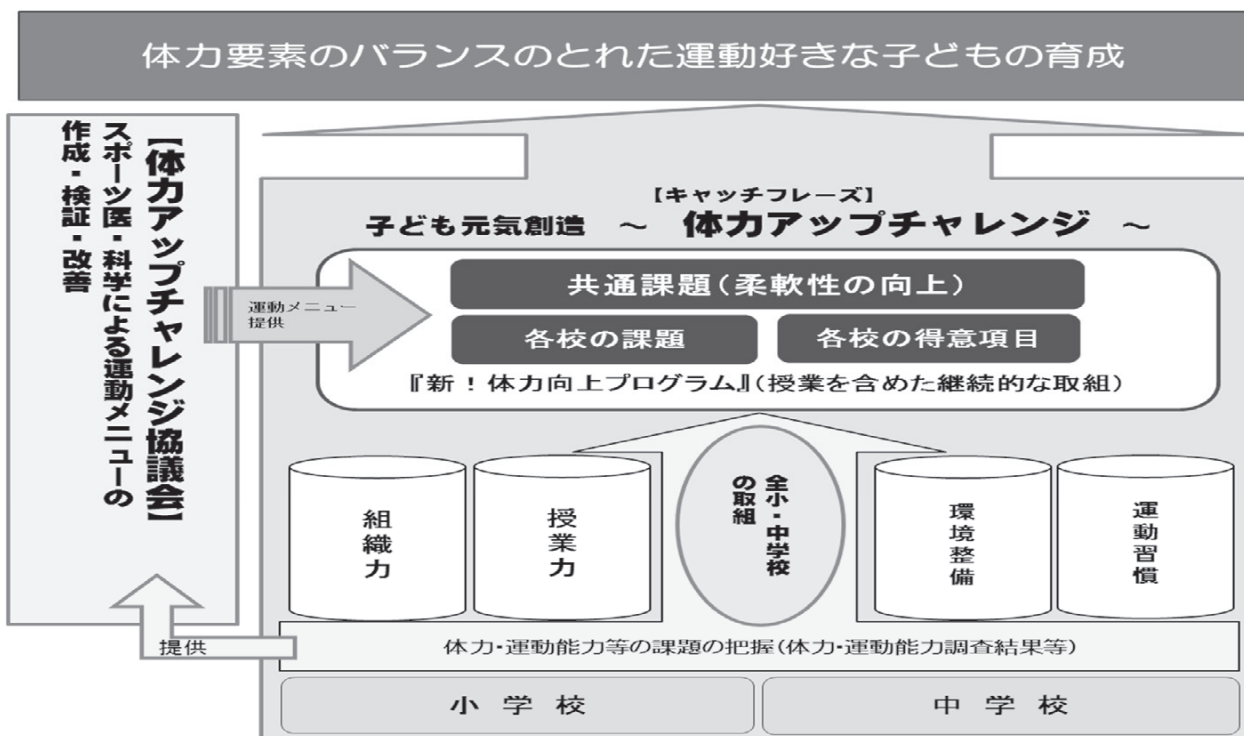
小5男 H26: 31.2 cm → H27: 31.1 cm (33.1 cm) 小5女 H26: 35.0 cm → H27: 35.2 cm (37.5 cm)
 中2男 H26: 40.7 cm → H27: 40.2 cm (43.0 cm) 中2女 H26: 42.9 cm → H27: 43.2 cm (45.6 cm)

取組の推進に向けて

1 本県の子どもの体力の状況

本県の子どもの体力は、全国平均と比較して、敏しょう性や持久力は優れているものの、筋力や柔軟性等の他の項目については低い水準にある。特に柔軟性については全国平均を大きく下回り、課題となっている。そのため、柔軟性の向上を全小中学校の共通課題として、学校・家庭・地域等の連携を推進しながら取組の改善を図り、体力要素のバランスのとれた子どもの育成を図る必要がある。

2 子どもの体力向上に向けた取組



<詳しく知りたい>

- ◇学校安全・体育課 Web → 「学校体育関連サイトマップ」
- ◇「平成27年度体力向上の手引き」(平成28年3月、県教委)

8 食育の推進

【取組方針】

- ◆ 朝食摂取をはじめとする望ましい食習慣の定着のため、「食に関する指導の手引～学校全体で取り組む食育の推進～」を活用し、学校の食育推進体制の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となって、児童生徒の心身の成長の過程に応じた食育の取組を推進する。
- ◆ 学校給食の一層の充実に向け、地場産食材の使用促進を引き続き働きかけるとともに、食物アレルギーを有する児童生徒への適切な対応など、安全で安心な学校給食を提供する。
- ◆ 食育推進の中核となる栄養教諭・学校栄養職員等、関係教職員の資質の向上のために、研修会等の充実を図る。

【主な取組】

(担当：学校安全・体育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 学校での組織的・計画的な食育の推進及び家庭や地域との連携促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校や児童生徒の実態に応じた計画的な食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食に関する指導の全体計画」の見直し・改善の促進 ・ 児童生徒の実態を踏まえた「食に関する指導の年間指導計画」の見直し・改善の促進（小・中・特支） ・ 栄養教諭の増員による配置校及び周辺校における食育推進体制の充実 ・ 学習指導要領を踏まえた保健体育科、家庭科、特別活動における食育の推進（高） ・ 「食に関する指導の手引～学校全体で取り組む食育の推進～」の活用及び各種研修会における実践事例の紹介による各学校の取組の充実 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 望ましい食習慣の形成に向けた「子ども元気創造」の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども元気創造推進協議会」の開催による専門的視点からの検討 ・ 『「食事、運動・遊び、読書」90 日元気手帳』の活用による望ましい生活リズムの形成（小） ・ 「子ども元気創造推進隊」による、学校・家庭・地域が一体となった望ましい食習慣形成・定着の取組に関する啓発活動の促進 	県・市町・学校
■ 学校給食の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 食に関する指導において生きた教材となる学校給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科等で学習する内容や時期を考慮した年間献立計画に基づく献立作成の推進 ・ 地場産食材を活用した給食献立の工夫と食に関する指導による地域の食文化や産業、環境への理解促進 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力ある給食メニューの開発や食育研修会の開催等により、残食率改善に向けた取組を推進 	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県市町教委と給食関係者、家庭、地域との連携促進による安全・安心な学校給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食法に基づく衛生管理の徹底 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギー疾患対応委員会の設置 	
<ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギー疾患対応委員会における、食物アレルギーを有する児童生徒の安全確保に関する課題や改善策等の情報の共有化 	県・市町・学校
■ 栄養教諭・学校栄養職員のさらなる研修の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食法に基づく食育・衛生管理に関する講習会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭・学校栄養職員夏期研修会等の実施 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭への食育に関する理論や授業実践等についての指導助言 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭配置校（任用替え1・2年目）への学校訪問の実施 	県・市町・学校(小中)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭等による実践成果の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食に関する指導研修会等における栄養教諭による実践事例発表の実施 	県・市町・学校(小中)

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
朝食を毎日摂っている児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小 90.1% 中 87.8% (H24)	小 90.8% 中 90.0% (H27)	増加させる	増加させる

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

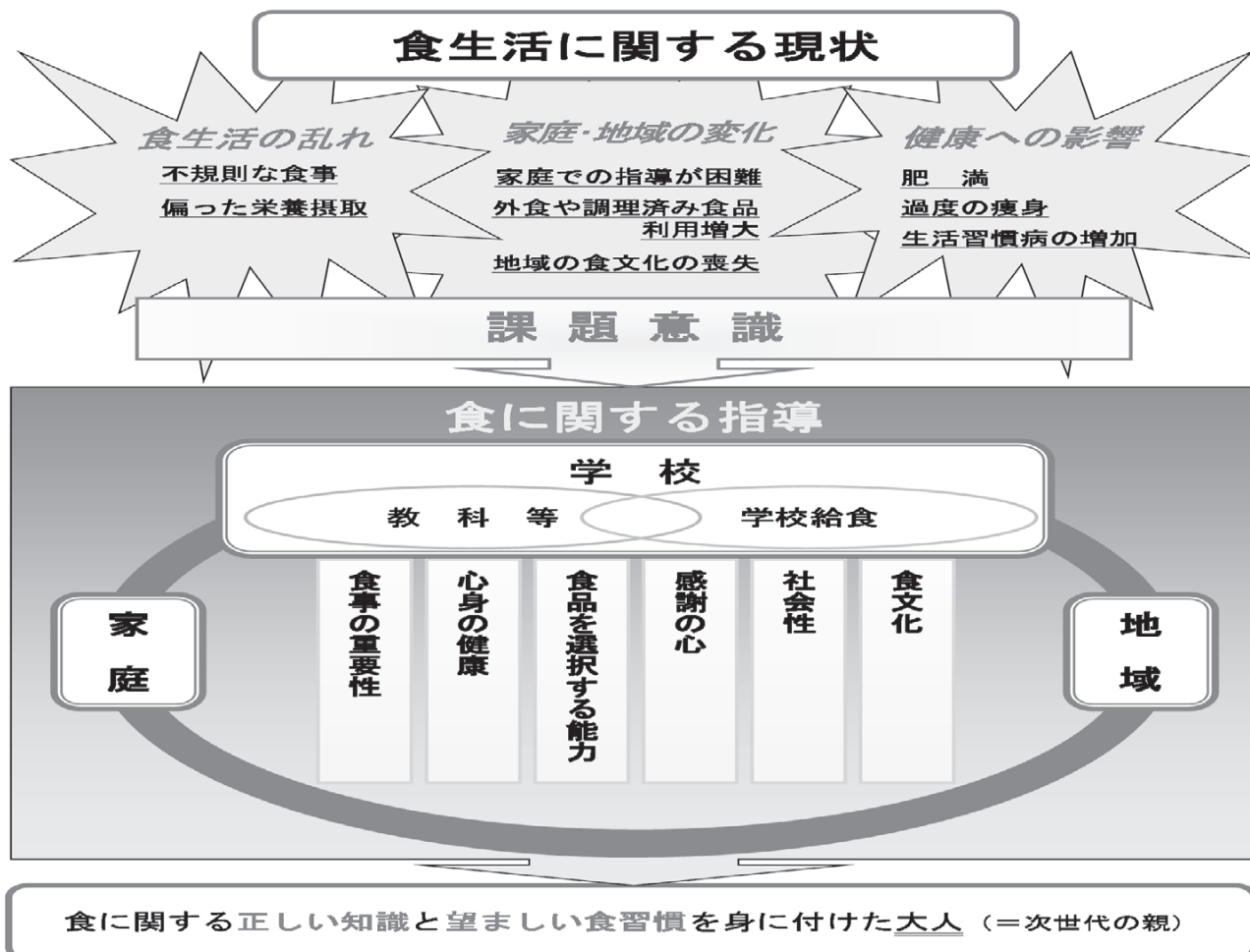
[地場産食材使用状況調査] H25:57.5% → H26:61.7%

[食に関する指導研修会 (栄養教諭配置校訪問)] H26:21回 → H27:18回

取組の推進に向けて

食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきものとの認識に立ち、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが必要である。

学校においては、子どもや家庭、地域の実態を踏まえ、課題意識をもって、学校給食を生きた教材として活用しながら、家庭や地域と連携して食に関する指導を推進していく。



<詳しく知りたい>

■学校安全・体育課 Web → 「こども元気づくり関連サイトマップ」

9 健康教育の推進

【取組方針】

- ◆ 学校保健委員会の活性化と養護教諭を中心とした健康相談における学校体制の充実、教職員の学校保健に関する資質の向上に取り組む。
- ◆ 学校保健委員会を年2回以上実施し、PDCAサイクルの活用やその他の組織活動との連携を図ることにより、学校保健活動を効果的に進める。
- ◆ アレルギー疾患等現代的な健康課題への対応や、学校環境衛生の充実に向け、専門家との連携及び校内研修の推進、各種研修会への参加促進を図るとともに、県主催研修会の内容の充実に努める。

【主な取組】

(担当：学校安全・体育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 学校保健（健康管理・保健教育）の組織的・計画的な取組の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校の実態に基づいた学校保健活動の組織的・計画的な推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒等の健康診断における新たな項目等の円滑な実施に向けた保護者への啓発及び学校医等との連携の推進 ・ 学校の状況や前年度の学校保健の取組状況等に基づいた、学校保健計画の見直し・改善の促進 ・ PDCAサイクルを踏まえた学校保健委員会の計画的実施（年2回以上） ・ 学校保健推進資料「健康づくり推進に向けて」、「子どもの健康をみんなで支えるために」を活用した学校保健活動の充実・改善に向けた研修会の開催 	学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体での取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭及び学校全体での組織的取組の下、心身の健康問題の早期発見・早期対応及び子どもの自己管理能力の育成をめざした健康観察の充実 ・ 教職員の学校保健に関する意識と指導力の向上を図るための校内研修の実施促進 ・ 保健主任や養護教諭を中核に、学校医等の医療関係者や保護者等と連携した学校保健委員会の活性化や学校環境衛生活動の推進の取組の充実 	学校
■ 現代的な健康課題の解決に向けた取組の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校体制の充実と健康教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の健康課題を踏まえた年間指導計画の作成 ・ 全教職員の共通理解に基づく児童生徒の心身の成長の過程に応じた「性に関する指導」の充実 ・ 家庭との連携による児童生徒の生活習慣の改善に向けた取組の推進 ・ 児童生徒自身が生活習慣を改善する取組を支える、学校・家庭・地域が連携した環境づくりの促進 	学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と地域の医療機関等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校薬剤師等の専門家と連携した学校環境衛生活動の充実（学校環境衛生検査の確実な実施等） ・ メンタルヘルス等、児童生徒の健康管理に向けた健康観察、健康相談等の充実やスクールカウンセラーとの連携促進 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修意欲が高まる研修会の実施と学校保健の中核となる養護教諭等の資質能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギー疾患等の現代的な健康課題の解決に向けた校内研修の推進 ・ 教員等の「性に関する指導」に関する知識と指導力の向上に向けた研修会の開催 ・ 薬物乱用防止教育に関する指導力の向上を図るための教員及び薬物乱用防止教室指導員を対象とした研修会の実施 	県・市町・学校

<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護教諭の専門的知識と技術の習得を目的とした各種研修会の開催 ・ 養護教諭指導員による養護教諭の指導力の向上 ・ 県内外で開催される研修会への参加の啓発 	
<p>○ 学校歯科保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県民の歯・口腔の健康づくり推進条例」の制定を踏まえた、学校歯科保健推進検討委員会（2回）の開催による、効果的な指導内容や指導方法に関する検討 ・ 検討内容の周知による各学校での指導体制・指導方法の工夫改善 	県・市町・学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標		基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
朝食を毎日摂り、排便が毎日ある児童生徒の割合（公立小・中学校）	小男	72.8%	69.3%	増加させる	増加させる
	小女	67.4%	65.8%		
	中男	76.9%	78.8%		
	中女	58.4%	61.7%		
		(H24)	(H27)		

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[学校での健康観察実施状況] H25: 小 100% 中 100% 高 95.2% → H26: 小 100% 中 100% 高 96.8%

取組の推進に向けて

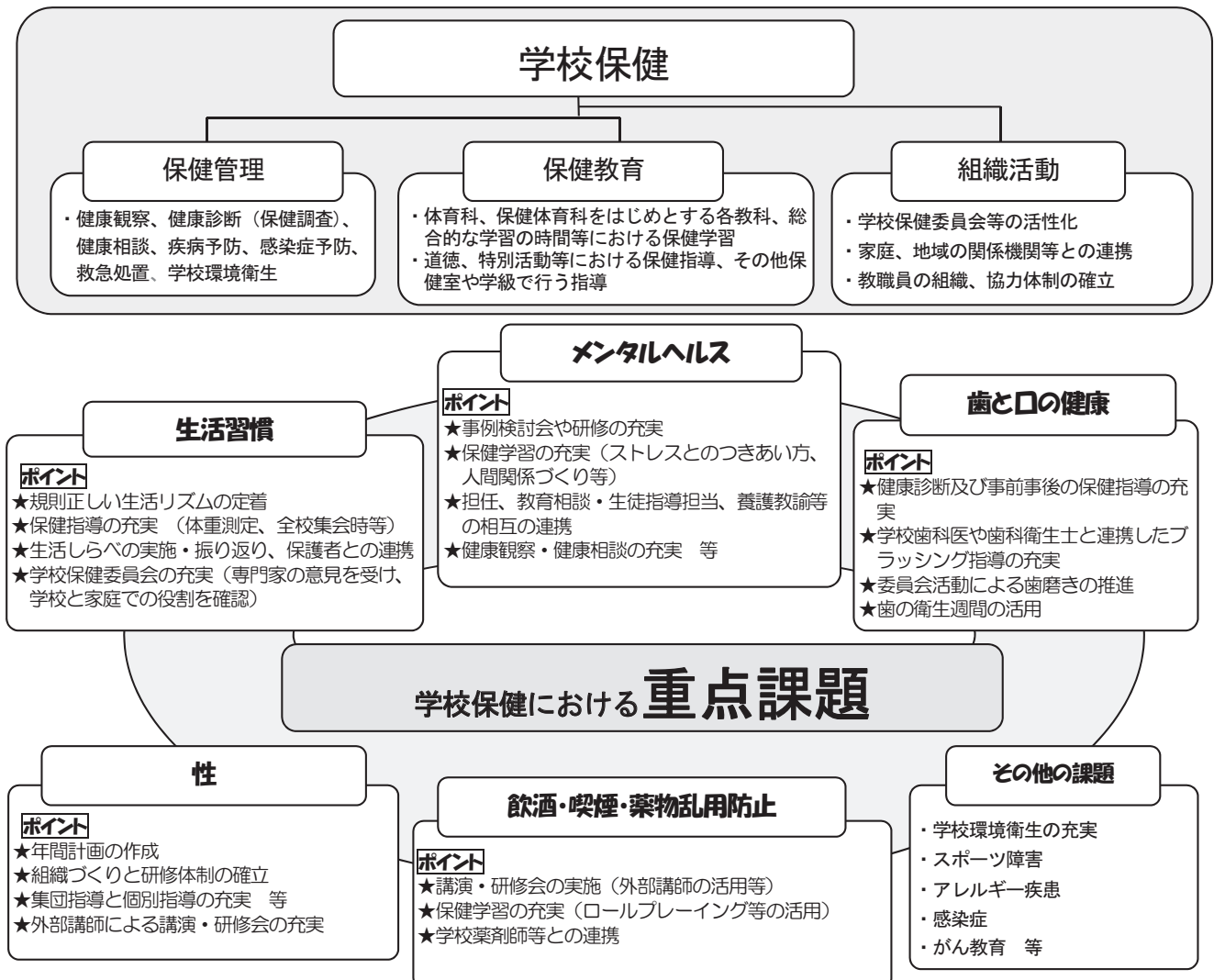
社会状況の変化に伴う健康課題の多様化・深刻化を踏まえ、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもの健康づくりに取り組むとともに、ヘルスプロモーション※の視点に立った健康教育を充実させる。

学校においては、児童生徒に生涯にわたり健康で充実した生活を送る能力を身に付けさせるため、専門家等と連携し特別活動や日常的な指導を通じた保健指導、安全指導、学校給食指導等を行うとともに、教職員の研修内容の充実を図る。

※ヘルスプロモーション：WHO（世界保健機関）が1986年のオタワ憲章において提唱した新しい健康観に基づく21世紀の健康戦略で、「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義

- ①各学校における健康課題の的確な把握と教職員の学校保健に関する意識と指導力の向上
- ②学校保健委員会の内容の充実と学校保健関係者との連携の強化
- ③学校と地域の専門家等との連携の推進

学校保健推進の視点



<詳しく知りたい>

◇学校安全・体育課 Web → 「こども元気づくり関連サイトマップ」

10 特別支援教育の推進

【取組方針】

- ◆ 「山口県特別支援教育ビジョン」及び見直した第2期実行計画に基づき、社会情勢の変化や国の動向等を踏まえた取組を進める。
- ◆ 障害のある児童生徒の自立・社会参加に向け、適切な「合理的配慮」の提供と事例の蓄積、外部専門家と連携した教育内容の工夫・改善、地域の特色を生かした「交流及び共同学習」等を推進する。
- ◆ 障害のある幼児児童生徒が、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を受けることができるよう、校内コーディネーターの専門性の向上を図るなど、幼・小・中・高等学校等における相談支援の実効性の向上を図る取組を進める。
- ◆ 学校・家庭・地域が連携・協働した特色ある教育活動により、共生社会の形成に向けた「地域とともにある特別支援学校」を推進する。
- ◆ 小・中学校のコミュニティ・スクールと連携した特別支援教育フォーラムの開催等により、特別支援教育やインクルーシブ教育システムについての理解を促進する。

【主な取組】

(担当：特別支援教育推進室)

主な取組と内容	実施主体
■ エリア型指導・支援体制による指導・支援の充実	
○ エリア型指導・支援体制による総合支援学校の教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ エリア内の総合支援学校間の連携強化のための連絡協議会の開催 ・ エリアごとの外部専門家等のデータベースを活用した相談支援の充実 	県・学校 (特)
○ 視覚障害教育センター及び聴覚障害教育センターによる幼・小・中・高等学校等への相談支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害、聴覚障害に関する相談会や研修会の実施 ・ 地域コーディネーターによる弱視・難聴特別支援学級等への訪問支援 	県・学校 (特)
■ 多様な障害に応じる総合支援学校における指導体制の充実	
○ 自立と社会参加に向けた指導・支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 新 「キャリア教育・就労支援ネットワーク会議」の設置による産業科の新職業学科への改編、普通科の職業コース設置に向けた作業種目等の検討の実施 新 学習意欲の向上や自己有用感を高めることができる「特別支援学校技能検定」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携協議会において、外部人材の参画や地域の関係機関と連携した指導方法の改善等に関する協議の実施 ・ 総合支援学校就職支援コーディネーターの配置による実習先の開拓及び障害者雇用の理解促進 ・ 学校看護師の配置による、医療的ケアが必要な児童生徒の安全な学習環境の整備 	県・学校 (特)
新 外部専門家と連携した教育内容・方法の充実 <ul style="list-style-type: none"> 新 障害の重度・重複化、多様化に対応するための、外部専門家（PT・OT・ST等※）と連携した自立活動の指導等の充実 ※理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST） 	県・学校 (特)
○ 「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」を活用した授業改善と支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業研究や校内研修による指導・支援の妥当性や教材教具の効果的な活用等についての検討 ・ 教育課程研究協議会等における「個別の教育支援計画」への「合理的配慮」の記載及び校内体制による適切な「合理的配慮」の提供についての、研究協議の実施 	県・学校 (特)

<p>○ ICT機器等の活用による「協働学習」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部専門家の参画による授業研究の実施を通じた好事例の蓄積及び事例集の作成 県東部、県中部、県西部各エリアへのICTサポート教員の配置 教員の専門性を高める研修プログラムの実施 	<p>県・学校 (特)</p>
<p>○ 総合的な専門性向上のための研修等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> OJTによる専門性の高い教員を活用した授業研究や多様な障害に対応できる総合的な専門性の向上を図る研修会の実施 各学校における研修会の情報共有による研修機会の拡充 自閉症のある児童生徒の教育に関する実践事例の蓄積 	<p>県・学校 (特)</p>
<p>○ 総合支援学校の機能整備等の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽改修、実習施設等の新設に伴う施設設備の検討と児童生徒の増加への対応 田布施総合支援学校高等部の旧田布施工業高等学校への移転に向けた準備 下関総合支援学校高等部の下関中央工業高等学校への移転に向けた準備 	<p>県</p>
<p>■ 幼・小・中・高等学校等における相談支援の実効性の向上</p>	
<p>○ 「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」の作成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町教委との連携や学校訪問等による、発達障害等への早期の気付きと、計画作成の一層の促進 教育課程研究協議会や専門講習会等における授業実践及び指導・支援の引継等における計画の具体的な活用方法や、「個別の教育支援計画」への「合理的配慮」の記載及び校内体制による適切な「合理的配慮」の提供についての、研究協議の実施 	<p>県・市町・学校 (幼小中高)</p>
<p>○ 事例検討会等の計画的な開催による教職員の実践力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内コーディネーター研修会における、実践力を高めるための事例検討会や全校体制による支援の推進に向けた研究協議の実施 外部専門家や地域コーディネーターの助言等による指導・支援方法の充実 	<p>県・市町・学校 (幼小中高)</p>
<p>○ 発達障害のある幼児児童生徒に対する指導方法等の工夫改善</p> <p>新 通級による指導担当教員の専門性の向上に向けた、医療・福祉関係者等と連携した実践研究の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校体制による指導・支援の充実に向けた、指導資料「通常の学級における特別支援教育の充実のために」「特別支援教育校内コーディネーターガイドブック」の校内研修での活用 発達障害のある幼児児童生徒の指導方法等の向上に資する総合支援学校における実地研修会の実施 専門講習会における通常の学級での特別支援教育の授業公開及び研究協議の実施 合理的配慮協力員の拡充配置による支援体制の整備及び実践事例の蓄積や、特別支援教育支援員（高：7名）等の配置による学習活動等への支援の充実 合理的配慮協力員配置校と連携した専門講習会の実施による「合理的配慮」の周知 	<p>県・市町・学校 (幼小中高)</p>
<p>○ 障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒の「交流及び共同学習」の促進</p> <p>新 新たに作成したリーフレット「よりよい『交流及び共同学習』を進めるために」の活用による積極的な取組の推進</p>	<p>県・市町・学校</p>
<p>■ ふれあい教育センターを中核とした相談支援体制の充実</p>	
<p>○ ふれあい教育センターにおける発達障害に対する相談支援機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門家チームの派遣による困難事例に対する教育相談や研修の実施 	<p>県</p>
<p>○ 特別支援教育センター等による地域における相談支援の一層の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域の実情に即したきめ細かな就学相談の実施 	<p>県・市町・学校 (特)</p>

■ 家庭や地域と学校との連携強化	
<ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまな機会を通じた保護者や地域の理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校のコミュニティ・スクールと連携した特別支援教育フォーラムの開催による地域住民のインクルーシブ教育システムへの理解の促進 ・ 総合支援学校における授業公開の実施等による開かれた学校づくりの推進 新 学校・家庭・地域が一体となった特色ある教育活動の展開 新 総合支援学校におけるコミュニティ・スクール（CS）導入に向けた「地域とともにある学校づくり推進事業」の実施 新 総合支援学校へのコミュニティ・スクール導入を契機とした、「学校・地域」の創生に向けた関係機関等との連携・協働による「学校・地域協働活動推進事業」の実施（特別支援教育センターを設置する総合支援学校7校のうち2校に先行導入） 	県・市町・学校（特）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育の推進に向けた市町の取組への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会や研修会等への地域コーディネーター等の派遣 ・ 市町教委と連携した専門性の高い中核となる教員の養成 	県・市町・学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職率	98.4% (H24)	95.5% (H26)	向上させる	向上させる
発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の「個別の指導計画」の作成率（幼・小・中・高）	96.0% (H24)	99.1% (H27)	98%	100%
発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の「個別の教育支援計画」の作成率（幼・小・中・高）	95.7% (H24)	98.7% (H27)	98%	100%

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[関係機関連携協議会の開催] H26：視覚障害教育2回、聴覚障害教育2回

H27：視覚障害教育2回、聴覚障害教育3回

[ふれあい教育センターでの相談件数] H25:5,823件 → H26:5,501件

[臨床心理士等による市町・学校での研修会や講演会] H25:112件 → H26:179件

取組の推進に向けて

参考（国の動き）

検索

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」
(H24. 7. 23)

URL：http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2012/07/24/1323733_8.pdf

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」

重要ワード解説

- 「**共生社会**」とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。
- 障害者の権利に関する条約**への批准により、教育については、障害者を包容する教育制度「インクルーシブ教育システム」の構築が求められている。
- インクルーシブ教育システム**とは、「人間の多様性の尊重、精神的及び身体的な能力を、その可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加すること等の一連の目的のもとで、障害のある者とない者がともに学ぶ仕組」である。
障害のある者が「general education system」（「障害者の権利に関する条約」署名時仮訳：教育制度一般）から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされている。
- 「**合理的配慮**」とは、「障害者が他の者と平等に全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものである、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの」である。

- ◆平成28年4月から施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（以下、「障害者差別解消法」という。）」では、公立学校や行政機関等において、「合理的配慮」の提供が法的義務となっている。
- ◆「障害者差別解消法」において、各地方公共団体は、所管する機関（学校を含む）の職員が適切に対応するために必要な要領を定めるよう努めるとされている。

山口県教委では

「**山口県立学校における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領（県立学校教職員対応要領）**」を平成28年4月に策定し、県立学校教職員が適切に対応するために必要な事項や、不当な差別的取扱いの具体例及び合理的配慮の具体例を定めている。

検索

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/index/taiouyouryou.html>

山口県特別支援教育ビジョン第2期実行計画

各学校の相談支援の実効性の向上など、障害のある幼児児童生徒の教育の質の一層の向上をめざす第2期実行計画により、山口県特別支援教育ビジョンの実現に向けた具体的、計画的な取組を展開

1 第2期実行計画の概要

○目標 みんなの心がつながる特別支援教育の推進

○特別支援教育推進のキーワード

実行性

- ・相談支援の一層の充実
- ・システム等の柔軟な運用

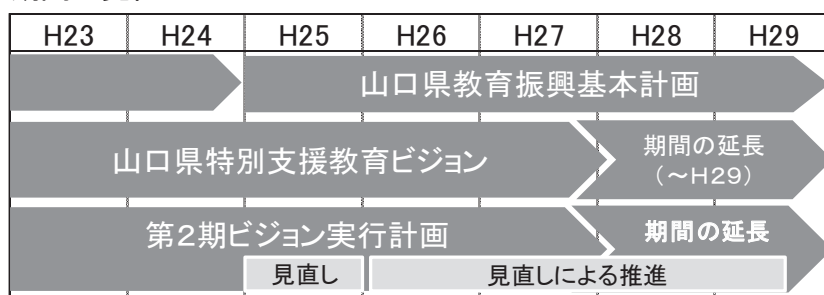
参画

- ・役割分担と責任
- ・自立・社会参加の促進

持続可能性

- ・専門性の継承
- ・将来を見通した制度設計

○期間の見直し



2 第2期実行計画見直し(H26. 3)の項目とその概要

①「総合支援学校における教育の充実」

- ・自閉症のある児童生徒の教育の研究成果を活用した各総合支援学校での授業実践
- ・高等部の職業教育の見直しと多様な進路希望に応じるキャリア教育の推進

②「特別支援教育の拠点としての総合支援学校」

- ・視覚障害教育センター及び聴覚障害教育センターの拡充
- ・より身近な地域で専門的な教育を受けることができる仕組みの検討
- ・各学校の児童生徒数の長期的な見直し等を総合的に勘案した教室等の整備の検討

③「学習環境の充実」

- ・教職員の危機対応力向上や、地域との連携強化による総合支援学校の幼児児童生徒の安全確保

④「理解啓発の推進」

- ・特別支援教育フォーラム等の開催地の拡充や地域研修会の内容の充実

⑤「教職員の専門性と研修」

- ・総合支援学校での実地研修や研修交流による小・中・高等学校教員の実践的指導力の向上
- ・総合支援学校におけるICT活用の取組の成果の普及

⑥「人事交流の促進」

- ・人事交流の促進に加え、授業研究を伴う講習会、外部人材の参画を得た研修会の実施

3 第2期実行計画に示す4つの基本的取組と平成28年度の取組

＜基本的取組1＞県立学校における特別支援教育の充実

【総合支援学校】

- ▽コミュニティ・スクール（CS）導入を契機とした「学校・地域協働活動推進事業」、CS導入に向けた「地域とともにある学校づくり推進事業」の実施
- ▽産業科の新職業学科への改編、普通科の職業コース設置等に向けた作業種目・施設設備等の検討の実施
- ▽ICT機器等の活用による児童生徒の「コミュニケーション能力」や「人間関係形成能力」の育成
- ▽障害の重度・重複化・多様化等へ対応するための、外部専門家（PT・OT・ST等）との連携による教育内容の工夫・改善
- ▽自閉症のある児童生徒の教育に関する実践事例の蓄積
- ▽リーフレット「よりよい『交流及び共同学習』を進めるために」の活用による、「交流及び共同学習」の推進

【高等学校等】

- ▽校内コーディネーターの専門性向上に向けた協議会等の実施及び実践事例の収集
- ▽特別支援教育に係る校内支援体制の充実のための学校訪問等の実施
- ▽特別支援教育支援員等の配置による学習活動等への支援の充実

＜基本的取組2＞市町立幼稚園・小・中学校における特別支援教育の充実

- ▽「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」に基づく授業実践と継続的な支援の推進
- ▽全校体制での支援に向けた、資料「通常の学級における特別支援教育の充実のために」の活用
- ▽「校内コーディネーターガイドブック」の活用による専門性の向上
- ▽「合理的配慮協力員」の配置による支援体制の整備及び実践事例の蓄積

＜基本的取組3＞地域における相談支援の充実

- ▽視覚障害教育センター及び聴覚障害教育センターによる相談支援の強化
- ▽小・中学校のコミュニティ・スクールと連携した特別支援教育フォーラムの開催によるインクルーシブ教育システムへの理解の促進

＜基本的取組4＞教職員の専門性の向上

- ▽専門講習会や総合支援学校における実地研修等による実践的な専門性の向上
- ▽免許法認定講習及び長期研修派遣の継続実施による総合的な専門性の確保

＜詳しく知りたい＞

◇特別支援教育推進室 Web → 「山口県特別支援教育ビジョン第2期実行計画」

11 幼児期における取組の充実

【取組方針】

- ◆ 生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である幼児期の教育の質の向上のため、教職員の資質及び専門性の向上を目的とした研修を充実し、教育内容や指導方法の改善・充実を図る。
- ◆ 子どもたちの育ちや学びをつなぐための、小学校区を単位とした幼保・小連携（幼稚園・保育所・認定こども園等と小学校教育の連携）を促進する。
- ◆ 保護者や地域の人々への幼稚園等の施設の開放や情報提供、教育相談など、積極的な子育ての支援を推進する。

【主な取組】

(担当：義務教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 幼児期の教育の質の向上	
○ 幼稚園教育要領を踏まえた教育課程研究協議会の開催 ・ 幼稚園教育要領の理念を実現するための、教育課程の編成、実施、評価、改善の一連のカリキュラムマネジメントの適切な実施等についての研究協議を実施	県・市町・学校（幼）
○ 教職員等の研修の充実 ・ やまぐち総合教育支援センターにおける研修の充実	県・市町・学校（幼）
○ 園の課題解決を支援する幼稚園訪問の実施 ・ 小学校との円滑な接続や子育て支援の充実、特別支援教育の推進など今日的な課題を個別に支援する幼稚園訪問の実施	県・市町・学校（幼）
■ 「つながる子どもの育ち大会」を活用した幼児期の教育の理解促進	
○ 実践的研究を行う「つながる子どもの育ち大会」の開催 ・ 幼稚園、保育所、認定こども園及び小学校における公開保育や公開授業、事例発表等をもとに課題解決に向けた協議の実施	県・市町・学校（幼小）
■ 幼児期の教育と小学校教育の連携の促進	
○ 小学校区を単位とした幼保・小連携体制の推進 ・ 小学校区の中で、合同保育・授業等による子ども同士の交流活動や教職員の合同研修会等の計画的、継続的な実施	県・市町・学校（幼小）
○ 幼児教育長期研修の実施 ・ 幼保・小連携の推進役を育成するため、小学校教員を幼稚園又は幼保連携型認定こども園に1年間派遣（H28年度4名） ・ 市町教育委員会との連携による派遣教員の研修成果の還元と普及	県・市町・学校（幼小）
○ 指導資料「つながる子どもの育ち」（改訂版）の活用促進 ・ 校内研修会や合同研修会等での活用	県・市町・学校（幼小）
■ 接続期のカリキュラムの充実	
○ 幼児教育施設と小学校の合同研修による接続期のカリキュラムの充実 ・ 幼稚園、保育所、認定こども園等での接続期における教育内容・方法の工夫と小学校入学時のスタートカリキュラムの実施と検証、改善 ・ 「スタートカリキュラム実践事例集」及び「つながる子どもの育ちカリキュラム実践事例集」を活用した合同研修会の実施	県・市町・学校（幼小）
■ 子育て支援の推進と「地域協育ネット」の活用	
○ 「地域協育ネット」を活用した幼稚園等における幼児期の教育センターとしての役割の推進 ・ 保護者向けリーフレットの活用促進や家庭教育出前講座の実施促進、地域協育ネットを活用した幼稚園等における子育て支援の推進	県・市町・学校（幼）
○ 多子世帯の幼稚園保育料等の軽減 ・ 第3子以降のいる全ての世帯について、世帯の所得額に応じた助成を実施	県

※学校（幼）：幼稚園、幼保連携型認定こども園

学校（幼小）：幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
幼稚園、保育所、認定こども園等と連携した取組を実施している公立小学校の割合	77.2% (H24)	100% (H27)	100%	100%

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[幼稚園関係研修講座参加者延べ] H26:536人 → H27:699人
 [つながる子どもの育ち大会の参加者数(うち保育園関係者)] H26:274人(61人) → H27:266人(60人)
 [接続を見通した教育課程を編成・実施している市町] H24:21% → H26:42.1%(隔年調査)
 [子育て支援を実施している幼稚園の割合] H24:78% → H26:89.6%(隔年調査)

取組の推進に向けて

「つながる子どもの育ち大会」の開催 (厚狭地域において開催)

幼児期における教育及び幼保・小連携に係る共通課題について研究協議し、「未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成」に向けた山口県教育の充実・発展に資するための大会を実施

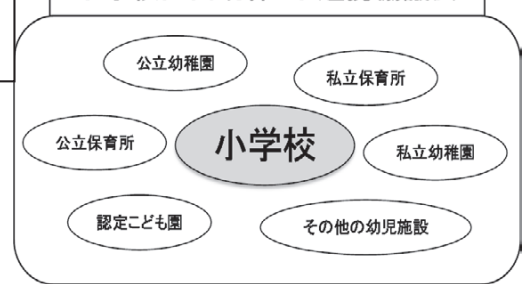
○幼稚園、保育所、認定こども園及び小学校の教職員の実践的な研修による研究大会

小学校区を単位とした幼保・小連携の推進

小学校から校区内にある幼児教育施設に働きかけ、管理職を中心とする協議会を設置し、組織的、計画的な幼保・小連携を推進

- 校区内に共通する課題や、各学校・園等の重点取組事項についての情報を共有し、学校・園等経営へ反映
- 指導資料『つながる子どもの育ち』(改訂版)を活用した交流活動の実施や教職員の指導力向上
- 幼児教育長期研修生を活用した合同研修会の実施

小学校区内幼保・小連携協議会



幼児教育長期研修の実施

小学校教員を幼稚園又は幼保連携型認定こども園に一年間派遣し、幼児期の指導及び幼児期の育ちを踏まえた小学校低学年での指導の在り方について研修し、本県における幼保・小一貫指導の推進に資する人材を育成

- 平成16年度から実施し、平成27年度までに54人の教員を派遣
- 研修後の成果還元
 - ・小学校低学年における指導や教育課程の工夫改善
 - ・幼保・小連携研修会等での指導

⇒ 各地域での、幼保・小連携の推進役



接続期のカリキュラムの充実

子どもの発達や学びの連続性を保障し、幼児期の教育と小学校の教育が円滑に接続するための接続期のカリキュラムの充実

- 小学校におけるスタートカリキュラムの実施と改善
- 幼稚園等における接続期の教育内容・方法の工夫
- 幼児教育施設と小学校の合同研修会におけるカリキュラムの検証・改善



<詳しく知りたい>

◇義務教育課 Web → 「つながる子どもの育ち～幼保・小一貫指導をめざして～」 「スタートカリキュラム実践事例集」 「つながる子どもの育ちカリキュラム実践事例集」 「つながる子どもの育ちリーフレット」

12 少人数教育の推進

【取組方針】

- ◆ 少人数教育のさらなる推進に向けて、これまでの少人数学級化や少人数指導の取組の成果と課題の検証を行い、市町教委と連携し、子どもたちの状況に応じたきめ細かな指導体制の充実を図る。
- ◆ 「小1プロブレム」解消のための30人学級加配教員配置を行い、取組の成果を全県に普及する。

【主な取組】

(担当：義務教育課)

主な取組と内容		実施主体
■ 小・中学校における効果的な少人数学級化の実施		
○ 小・中学校の35人学級化によるきめ細かな指導の充実 ・ 各学校における取組の成果の検証及び検証結果を踏まえた指導方法・指導形態等の工夫改善		県・市町・学校(小中)
○ 「小1プロブレム」解消のための30人学級加配教員配置 ・ 「小1プロブレム」など課題の解決を積極的に行う大規模校に対して、30人学級加配教員を配置し、取組の成果を全県に普及		県・市町・学校(小)
■ 少人数指導(複数教員による指導・学習集団の編成)の充実		
○ 学習形態や指導方法の検証と工夫改善 ・ 児童生徒の習熟度等に応じた指導方法を工夫することにより、児童生徒一人ひとりの能力・適性や進路希望に応じたきめ細かな指導を推進		県・市町・学校(小中)
○ 具体的な指導事例等を示した「少人数指導ガイドライン」の活用 ・ 先進的な取組事例や具体的な指導事例等を示す「少人数指導ガイドライン」の活用による、習熟度別指導やチーム・ティーチング等の指導方法の工夫・改善		県・市町・学校(小中)
■ 学力向上推進リーダー・推進教員による支援の充実		
○ 教員の授業力向上と児童生徒の学力向上の推進 ・ 市町教委と連携した地域内の学校への計画的な訪問 ・ チーム・ティーチングによる授業提供や授業改善に向けた指導・助言の実施 ・ 学力向上推進連絡協議会の開催等による少人数指導を通じた学力向上の取組の推進		県・市町・学校(小中)

取組の現状

p-d-Check-a

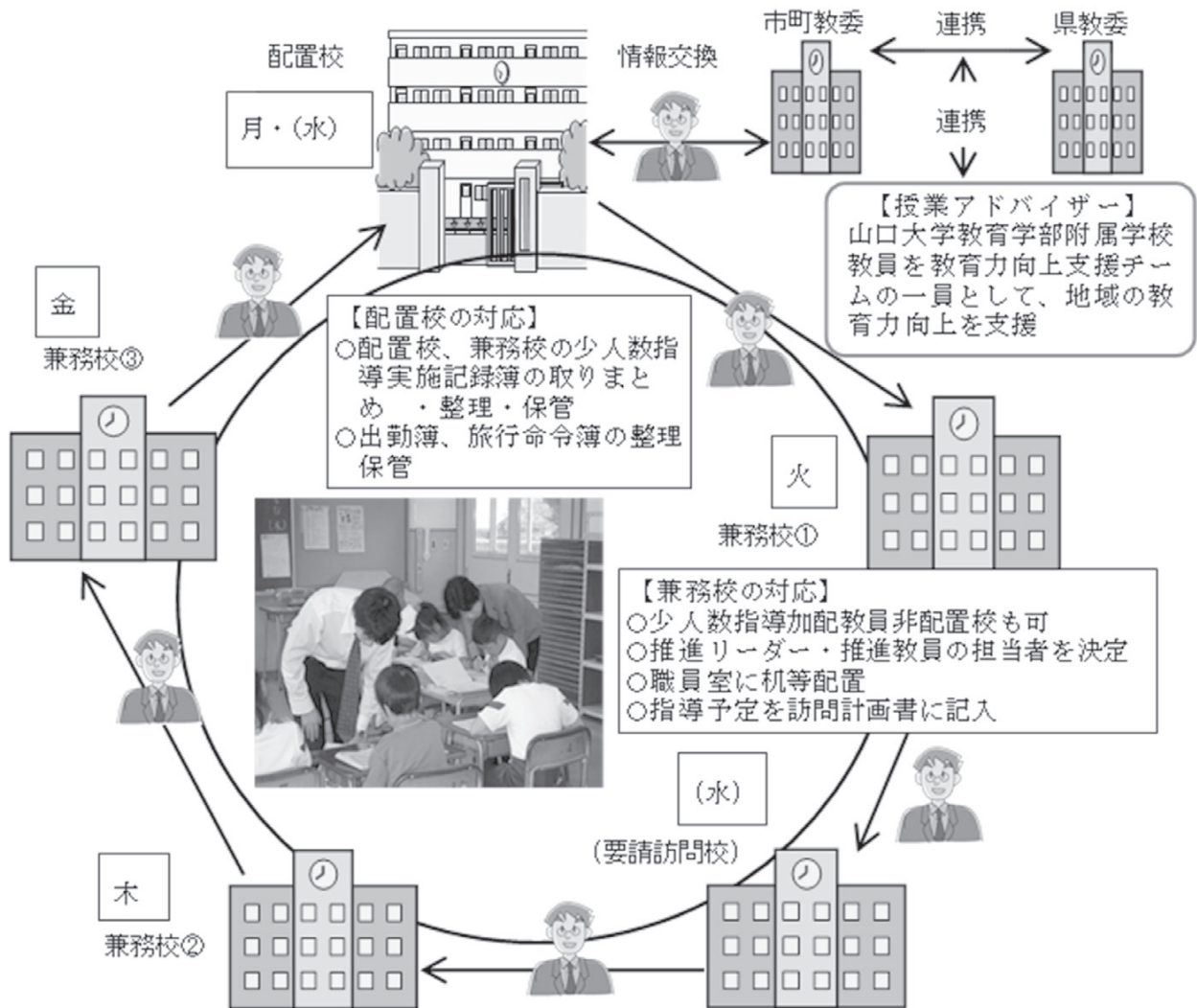
主な推進指標		基準値(全国)	最新値(全国)	H28末目標値	H29末目標値
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差 (公立小・中学校) ※目標値変更	国A	64.3% (62.7%) +1.6	72.1% (70.0%) +2.1	小・中学校 全区分で全国平均を3 ポイント上 回る	小・中学校 全区分で全国平均を3 ポイント上 回る
	小国B	50.2% (49.4%) +0.8	67.5% (65.4%) +2.1		
	算A	77.9% (77.2%) +0.7	77.1% (75.2%) +1.9		
	算B	59.9% (58.4%) +1.5	46.4% (45.0%) +1.4		
	国A	77.3% (76.4%) +0.9	76.4% (75.8%) +0.6		
	中国B	68.3% (67.4%) +0.9	66.3% (65.8%) +0.5		
	数A	65.5% (63.7%) +1.8	65.3% (64.4%) +0.9		
	数B	44.2% (41.5%) +2.7 (H25)	42.4% (41.6%) +0.8 (H27)		
勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中学校)		小 62.2% 中 59.0% (H25)	小 64.2% 中 62.1% (H27)	増加させる	増加させる

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

【学力向上推進リーダー・推進教員の拡充】 H25:50人→H26:79人→H27:81人

取組の推進に向けて

学力向上推進リーダー・学力向上推進教員活動イメージ



【推進リーダー・推進教員の業務内容】

- 少人数指導による授業提供
 - ・T1としてモデル授業を提示
 - ・T2として担任をサポート
 (原則として小3～6年・中1～3年の25人以上学級)
 (推進リーダー) 小学校：週14時間、中学校：週14時間
 (推進教員) 小学校：週18時間、中学校：週16時間
 *打合せ・研修会の時間も記録する(推進リーダー週2時間分以上)
- 実施記録へ気づき等の記入
- 教員への個別指導・助言
- 研究協議での指導・助言
- 他校の取組事例の紹介



市町教委



支援・情報交換

県教委



支援・情報交換

- 制度の周知
- 配置校・兼務校の受け入れ体制づくり
- 市内他校での推進リーダー・推進教員の活用
- 実施記録のとりまとめ



連携

- 制度の周知
- 連絡協議会の開催
- 配置校・兼務校訪問
- 各地域の少人数指導研修会での指導・助言

13 生徒指導・相談体制の充実

【取組方針】

- ◆ 「山口県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、いじめ解消率100%をめざす取組を、学校・家庭・地域・関係機関等が連携して、社会総がかりで推進する。
- ◆ 豊かな心をもち、たくましく生き抜く児童生徒の育成に向け、心の教育の基盤となる「開発的生徒指導」を推進することにより、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校の未然防止の取組を一層強化する。
- ◆ 生徒指導上の諸課題の早期解決をめざし、生徒指導・教育相談体制の充実・強化を図るとともに、外部専門家や関係機関等との連携により、児童生徒や家庭、学校への専門的な相談・支援機能を充実させる。

【主な取組】

(担当：学校安全・体育課／教職員課)

主な取組と内容	実施主体
■ 心の教育の取組の基盤となる開発的生徒指導の充実	
○ 「心の教育推進の手引き」「心の教育実践事例集」「よりよい生徒指導に向けて」「子どもたちの規範意識を育むために」等の活用による取組の促進 ・ 各種会議における啓発や校内における研修等での活用	学校・県 市町
○ A F P Y等を活用した好ましい人間関係づくりの促進 ・ 各種会議における啓発や校内における研修等での活用	学校・県 市町
■ 問題行動や不登校の早期発見・早期対応等に向けた組織的な取組の充実	
○ 問題行動や不登校等の対策に係る校内体制の整備と校種間の連携強化 ・ 校内の生徒指導・教育相談体制の充実・強化 ・ 入学後の円滑な適応に資する情報共有等の実施 ・ 学校警察連絡協議会の実施	学校・市町 県
○ F i t*等の生活アンケートの積極的活用による児童生徒理解及び支援の促進 ・ 短い間隔での生活アンケートの実施 ・ F i t (小学校・中学校・高等学校版)の積極的な活用 <small>※児童生徒の学校生活等への適応感を測定するためのアンケート調査</small>	学校・市町 県
○ 専門家の派遣等による課題解決に向けた児童生徒、家庭、学校等への支援の充実 ・ エリアスーパーバイザー (エリアSV) *との積極的な連携や、全市町へのスクールソーシャルワーカー (SSW) の配置による支援体制の拡充 ・ ファミリー・リレーションシップ・アドバイザー (FRアドバイザー：家庭問題専門家) による介入支援 ・ SSW、エリアSV、FRアドバイザー等の外部専門家が連携した学校・児童生徒・家庭支援の充実 新 SSWによる、市町教委と連携した小学校入学時からの支援体制の構築 <small>※やまぐち総合教育支援センター配置の3名のSSWの呼称。県内3エリアを分担し、困難な問題を抱える児童生徒の環境への働きかけや関係機関との連携・調整を図るとともに、市町配置のSSWへの指導・援助を行う。</small>	県・市町 学校
○ 「山口県いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対策の充実・強化 ・ 関係機関、団体等の連携強化に向けた「山口県いじめ問題対策協議会」の実施及び実務担当者による「ネットワーク会議」の開催 ・ 県立学校におけるいじめの重大事態発生時の調査等のための「山口県いじめ問題調査委員会」の設置	県・市町 学校
○ 「学校いじめ防止基本方針」による、いじめ対策の充実・強化 ・ 全ての学校で、SC・SSW等専門家や外部人材が参画する「いじめ対策委員会」の効果的な運用 ・ PDCAサイクルによる、いじめの防止等に向けた取組の評価・検証・改善 ・ 「いじめ防止・根絶強調月間」(10月)における児童学生会の主体的取組	学校・県 市町

<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の適切なインターネット利用に向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットKYT資料集の活用及び児童生徒の主体的な取組の推進 ・ 児童会生徒会による主体的な取組の推進及び取組実践事例の収集・発信 新 大学と連携したネットトラブル等防止出前授業の実施（高） 新 ネットトラブルに関する教職員研修会の開催 	学校・県 市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校児童生徒への教室復帰に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育支援センター(適応指導教室)を中心としたサポート体制の充実 ・ 不登校児童生徒の学習の機会の充実を目的とした分教室の設置 新 不登校児童生徒への学習指導等の充実に向けたモデル事業の実施 	県・市町 学校(小中)
■ 学校・家庭・地域が連携した体制づくり	
<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラー(S C)による専門的支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学校でS Cによる支援を受けることのできる体制の充実 ・ 小中連携推進校(小学校100校・中学校74校)の取組 ・ 中学校1年生に重点を置いた早期の教育相談の実施 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの未来を考えるフォーラムの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ等の諸問題の解決に向けたフォーラムによる広報・啓発(8月開催) 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニティ・スクールや地域協育ネットと連携した取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における協議会等での熟議等を通じた取組 	学校・県 市町
■ やまぐち総合教育支援センター等の相談・支援体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもと親のサポートセンターによる相談・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話相談と来所相談(臨床心理士・SSW・ネットアドバイザー等の専門相談、学校保護者相談)による、きめ細かな相談・支援 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校サポートチームの派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家(臨床心理士、SSW、ネットアドバイザー等)で編成されたチームによる、学校の様々な課題の解決に向けた支援 	県
■ 緊急時等の学校への支援体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校メンタルサポート事業等による支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重大な事件・事故等への緊急対応や継続的な対応のための人的支援 	県・市町 学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ重大事態(不登校)に係る児童生徒支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ防止対策推進法第28条に定める重大事態発生時の調査及び児童生徒等のケアのための外部専門家の派遣 	県・市町 学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28末 目標値	H29末 目標値
1,000人当たりの不登校児童生徒数 (公立小・中・高校)	小中9.5人 高5.1人 (H24)	小中10.1人 高4.4人 (H26)	減少させる	減少させる
「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小81.1% 中77.4% (H25)	小85.2% 中79.5% (H27)	増加させる	増加させる
いじめの解消率 ※目標値変更 (公立小・中・高校、総合支援学校)	94.0% (H24)	79.9% (H26)	100%に 近づける	100%に 近づける
1,000人当たりの暴力行為の発生件数 (公立小・中・高校)	4.7件 (H24)	4.1件 (H26)	減少させる	減少させる

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[SC 延べ相談件数] H24: 63,941件 → H26: 77,695件

[SC いじめ相談件数] H24: 644件 → H26: 1,493件

[学校サポートチームの派遣回数] H25: 138回 → H26: 143回

[学校メンタルサポート派遣件数] H25: 25件 → H26: 21件

[SSW・FR アドバイザー派遣回数] H25: 1,350回 → H26: 2,687回

いじめの未然防止、早期発見・早期対応、
いじめの解消率 100%をめざす相談・支援体制の充実

開発的生徒指導による未然防止



学校の取組

- ◆ 児童生徒の主体的活動機会の確保
- ◆ 「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ等の防止のための取組の推進
- ◆ 児童生徒への情報モラル教育（保護者等へのネット問題啓発）の充実
- ◆ 保護者や地域へ向けた、学校の基本姿勢や児童生徒の状況等に関する情報発信

参考資料 等

- 「よりよい生徒指導に向けて」
- 「山口県いじめ防止基本方針」
- 「心を耕す（いじめを生まないための小学校用指導資料）」
- 「不登校の未然防止のために 一心をつなぐ1・2・3運動」
- 「大丈夫ですか?!子どもたちのケータイ・スマホ」 他

魅力ある学校づくり調査研究事業

- ・ 不登校・いじめの未然防止に向け、小・中連携、小・小連携等を通して、魅力ある学校づくりを推進（下関市を指定）

迅速かつ組織的な活動による早期発見・早期対応

学校の取組

- ◆ 「いじめ対策委員会」を中核とするいじめ対策の組織的な取組と評価・検証・改善
- ◆ 校種間・学校相互間の情報共有及び行動連携の強化
- ◆ 教職員の生徒指導・教育相談に係る指導力の向上
- ◆ SC・SSW等の外部専門家との早期からの連携
- ◆ 家庭・地域・関係機関等と連携した、社会総がかりでの取組

参考資料 等

- 「山口県いじめ防止基本方針」
- 「問題行動等対応マニュアル」
- 「学校危機対応演習資料」
- 「SSW実践事例集」 他
- ・ 小中連携推進校（小学校100校・中学校74校）の取組
- ・ コミュニティ・スクール、地域協育ネットを活用した取組

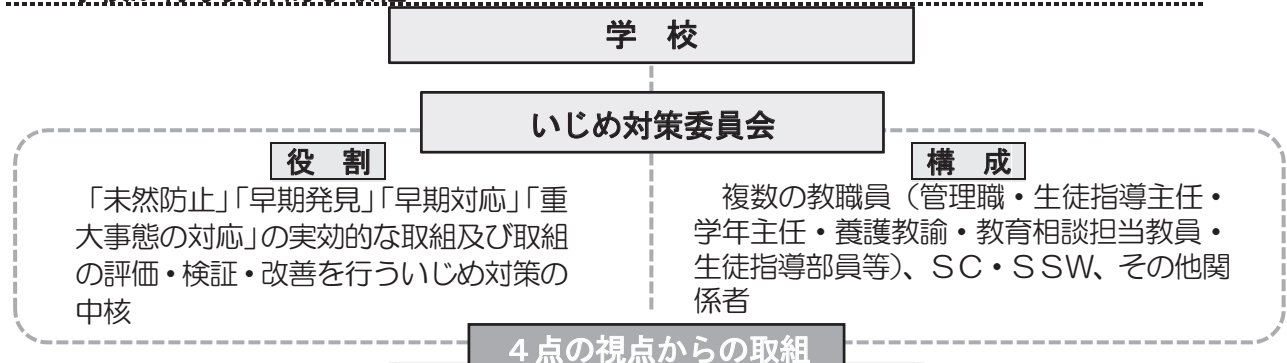
<詳しく知りたい>

◇学校安全・体育課 Web → 「生徒指導関連 サイトマップ」

山口県いじめ防止基本方針（概要）

第2部 学校におけるいじめの防止等のための具体的な事項

I 学校が行う具体的な取組



■ 1 未然防止（いじめの予防）

- 生徒指導・教育相談の充実・強化
「教職員の資質能力の向上」「児童生徒の行動観察」「児童生徒理解」「校種間連携の促進」
- 学校の教育活動を通じた取組
「各教科・総合的な学習の時間」「道徳教育」「特別活動等における児童生徒の主体的な活動」
- 「いじめ対策委員会」による評価・検証・改善
「学校基本方針の評価・検証・改善」「いじめ対策委員会による情報集約と情報共有」
- 家庭・地域との連携
「大人の意識の向上」「日頃からの信頼関係づくり」「地域の情報ネットワーク」「情報発信」

■ 2 早期発見（把握しにくいいじめの発見）

- 校内指導体制の確立
「複数の教職員による指導体制づくり」「教育相談担当・養護教諭の役割」
- 具体的な取組
「日常の観察」「生活アンケート」「教育相談」「ふれあいの時間」「研修の充実」「相談窓口の周知」
- 家庭・地域との連携
「学校運営協議会や地域協育ネット等の取組による開かれた学校づくり」「保護者懇談会の開催」

■ 3 早期対応（現に起こっているいじめへの対応）

- 学校の体制づくり
「いじめを認知した場合（疑われる場合も含む）の役割分担と対応例」
- 対応する上での留意点
「児童生徒・保護者への対応」「臨時保護者会の開催」「いじめのアフターケア」
- 教育相談の在り方
「いじめられている児童生徒・いじめている児童生徒への教育相談」
- インターネットや携帯電話等を利用したいじめへの対応
「初期対応」「関係機関との連携」「被害拡大の防止」
- 保護者との連携
「いじめられている児童生徒・いじめている児童生徒の保護者への対応」「臨時保護者会の留意点」
- 地域・関係機関との連携
「学校と地域との連携」「学校と関係機関との連携」「やまぐち児童生徒サポートライン」

■ 4 重大事態への対応（生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあるいじめ等への対応）

- 重大事態の判断
「いじめ対策委員会の判断」「県教委・学校法人からの指導助言」
- 重大事態への対応
「全容解明と早期対応」「いじめられている児童生徒・いじめている児童生徒への対応」
- 学校による調査
「全容解明に向け、外部専門家と連携した調査」「調査の進捗状況及び結果等についての説明」
- 調査に当たっての留意事項
「中立性・公平性の確保」「いじめられた児童生徒からの聴き取りが不可能な場合の対応」

II その他

- 学校いじめ防止基本方針の評価・検証・改善及びいじめ対策に資する積極的な取組

14 進路指導の充実

【取組方針】

- ◆ 子どもたちが生涯にわたって学び続ける意欲をもち、自立した社会人となるための基盤をつくることのできるよう、各学校における組織的な進路指導体制を強化するとともに、生徒一人ひとりの希望に応じた計画的・系統的かつきめ細かな進路指導を推進する。
- ◆ 生徒の進路意識の醸成、学習習慣の定着、学力の伸長に資する取組等を支援し、生徒一人ひとりの進路実現を図る。
- ◆ 郷土に誇りと愛着をもった社会の有為な形成者を育成するため、教員と就職サポーター等の連携強化により、地域産業に対する理解を促す取組や積極的な求人開拓を進め、生徒の意向を踏まえた就職の実現を図る。

【主な取組】

(担当:義務教育課・高校教育課・特別支援教育推進室)

主な取組と内容	実施主体
■ 組織的、計画的・系統的な進路指導の推進	
○ 中学校における進路指導の充実 ・ キャリア教育の視点に立った進路指導と進路相談等による子どもたちの状況に応じたきめ細かな支援の充実	県・市町・学校(中)
○ 進路指導計画による系統的な進路指導の推進 ・ 学校の特色や生徒の実態に応じた進路指導計画(進路シラバス)の工夫・改善	県・学校(高)
○ 個人別進路資料による継続的な進路指導の推進 ・ 一人ひとりの進路希望や学習の状況を集約した個人別進路資料(進路カルテ)の活用促進及び工夫・改善	県・学校(高)
○ 小学部から高等部まで一貫したキャリア教育の推進 ・ 個別の教育支援計画や個別の指導計画、キャリア発達段階表の活用によるきめ細かな支援	学校(特)
■ 進学支援の充実	
○ 中学校における進学支援の充実 ・ 高等学校等の教員を講師とした「進路説明会」の開催 ・ 高校生を講師とした「卒業生に学ぶ会」の開催	学校(中)
○ 進路意識の高揚を図る取組の充実 ・ オープンキャンパスへの参加促進、「学校プランサポート」による大学教員等による出前授業等の実施 新 高校生が県内大学生等と自分の将来などについてディスカッションをする機会の充実	県・学校(高)
○ 学習意欲の向上を図る学習合宿や学校間の連携による進学指導の充実 ・ 「学校プランサポート」による学習合宿や学校間の連携など各学校のオリジナリティあふれる進学指導の工夫・改善	県・学校(高)
○ 進学セミナーによる学力の向上及び進路意識の高揚、教職員による研究協議の設定等 ・ 県下全域の高校生から受講希望者を募り、教職員が進学に向けた学習指導等を行う「進学セミナー」の開催	県・学校(高)
○ 一人ひとりに応じた教科指導等の充実に向けた個別の指導計画の作成と活用 ・ 進路希望の実現に向けて、個別の指導計画に基づいたきめ細かな教科指導等の実践	学校(特)
■ 就職支援の充実	
○ 就職ガイダンス、応募前職場見学、職場体験等による地域産業に対する理解の促進 ・ 若者就職支援センターやハローワーク等によるガイダンス等の活用 ・ 応募前職場見学等の積極的な実施 ・ 地域産業の魅力や特色を伝える「地域産業魅力発見セミナー」の実施	県・市町・学校(中高特)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員と就職サポーター等の連携による組織的な求人開拓や広域での迅速なマッチング <ul style="list-style-type: none"> ・ チーフ就職サポーターを中心とした求人情報等の一元管理と情報の共有化を通じたマッチングの促進 ・ 校長や進路指導担当教員の企業訪問 	県・学校 (高特)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合支援学校における職業教育・進路指導・就職支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員と総合支援学校就職支援コーディネーターの連携による現場実習先や求人開拓及び企業の障害者雇用に関する理解促進 ・ 生徒の就労意欲を高め、職業自立・社会参加に向けた現場実習の充実 ・ 多様な進路希望や社会の状況等に応じた職業教育の充実を図るための作業種目の見直し等の検討 新 学習意欲の向上や自己有用感を高めることができる「特別支援学校技能検定」の実施 	県・学校 (特)

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
高校生の就職決定率 ※目標値変更	97.7% (H24)	99.2% (H26)	向上させる	100%に 近づける
中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	中 98.9% 高 97.8% (H24)	中 99.1% 高 98.1% (H26)	向上させる	向上させる

取組の推進に向けて

総合支援学校における進路指導の推進～キャリア発達段階表の活用によるきめ細かな支援～
(担当：特別支援教育推進室)

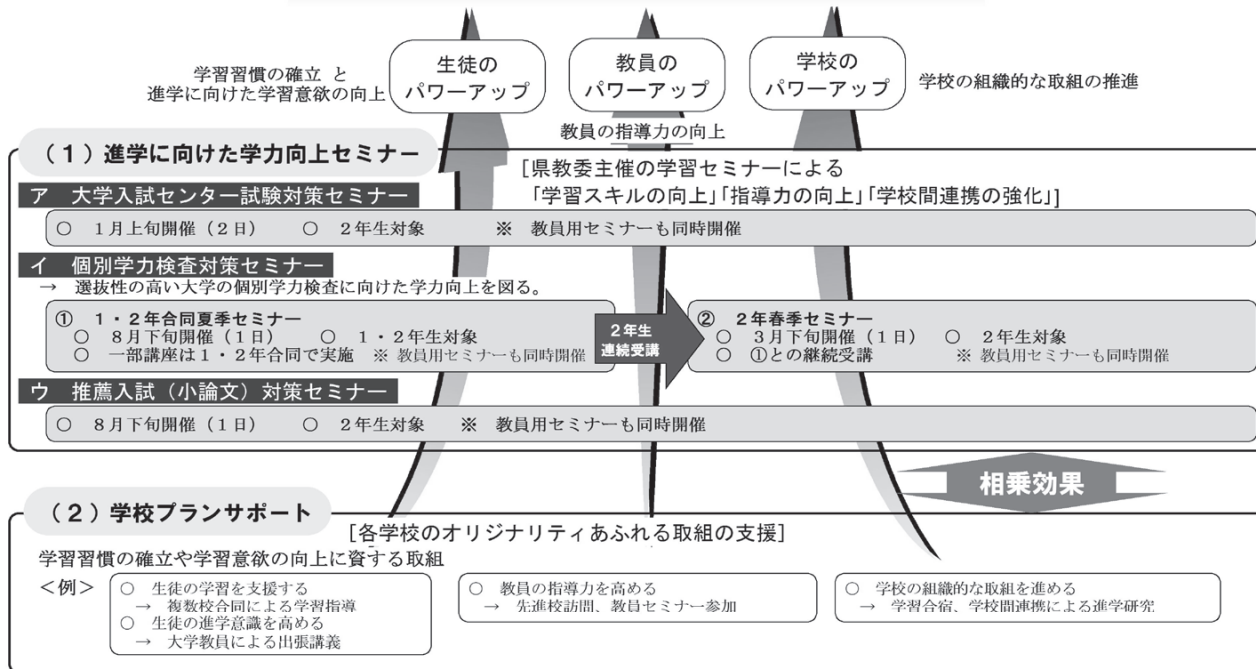
授業づくりの視点 (例)

領域	幼稚園	小学部	中学部	高等部	
人間関係形成能力	遊びを中心とした発達全体の促進	・人とのかかわり ・集団参加 ・意思表示 ・あいさつ、清潔、身だしなみ	・自己理解、他者理解 ・協力・共同		卒業後の生活
情報活用能力		・様々な情報への関心 ・社会のきまり ・金銭の扱い ・働くよこび	・情報収集と活用 ・金銭の管理 ・役割の理解 ・働くことの意義	・法や制度への理解 ・消費生活の理解	
将来設計能力		・習慣形成 ・夢や希望 ・やりがい	・生きがい ・進路計画		
意思決定能力		・目標設定 ・自己選択 ・振り返り	・自己選択(決定、責任) ・肯定的な自己評価 ・自己調整		

国立特別支援教育総合研究所「知的障害のある児童生徒のキャリアプランニング・マトリックス」を参考

全県立高等学校、中等教育学校における進学に向けた取組の支援を通して、生徒の学力向上、教員の指導力向上及び学校の組織的な取組の推進を図り、生徒一人ひとりの進路実現に資する。

【進路実現に向けた学力向上】



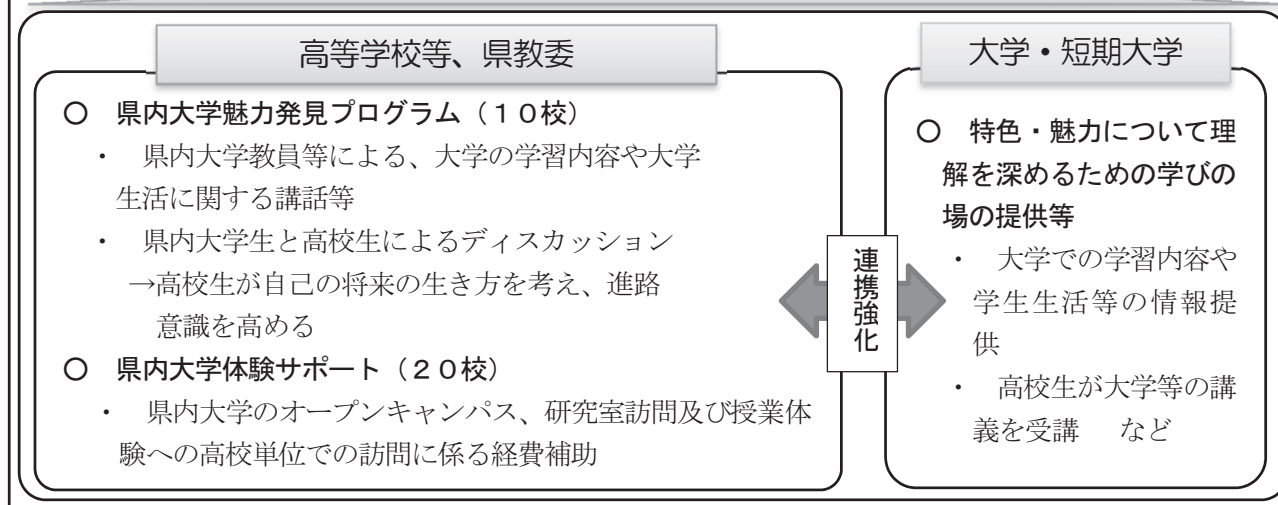
県内大学等への進学促進に向けた高大連携の推進

～やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業～

(担当：高校教育課)

高校生が、県内大学の魅力やよさを知るための取組を県内大学等と連携して実施することにより、若者の県内定着の促進に資する。

県内大学等の魅力やよさについての理解促進



<詳しく知りたい>

◇高校教育課Web → 「公立高等学校等(全日制・定時制)卒業者の進路状況調査結果」

新規高卒者を取り巻く雇用情勢の変化に迅速に対応するため、「ガイダンスの充実」「求人開拓の強化」「マッチングの促進」を3つの柱とし、関係機関との連携を深めながら、組織的できめ細かな就職支援により、地域産業に対する理解を深めるとともに、就職を希望する生徒の進路実現を図る。

【就職を希望する生徒の進路実現】

ガイダンス
の充実

- 地域産業魅力発見セミナー
→高校等の1・2年生を対象にした地域産業の魅力や特色の理解を深めるためのセミナー等の実施
- 地域産業就職ガイダンス
→若者就職支援センター等との連携による就職に向けた意識の醸成を図るためのガイダンス等の実施

相乗効果

求人開拓
の強化

マッチング
の促進

- 県内就職サポーター等の配置
 - ◆就職サポーター（公立25人、私立7人）
就職相談を踏まえた求人開拓、情報提供、マッチング
 - ◆チーフ就職サポーター（公立3人）
求人情報等を集約し、県内全域での共有化
 - ◆総合支援学校就職支援コーディネーター（公立3人）
総合支援学校の生徒の現場実習先の開拓、就職支援
- 県内企業訪問推進事業
→応募前職場見学、管理職等による企業訪問・求人要請
- 県内就職促進協議会
→高校等の進路担当と県内企業採用担当との情報交換
- 県内企業就職説明会
→就職を希望する生徒と県内企業との面談

15 社会教育施設等を活用した教育の充実

【取組方針】

- ◆ 子どもたちの体験活動充実のため、サマースクール・AFPYなど特色ある取組を推進するとともに、専門的な知識や技能を身に付けた体験活動指導者の養成や指導力の向上に継続的かつ計画的に取り組む。
- ◆ 山口図書館や山口博物館などが実施する展示・講座等において、それぞれの施設が有する人材や資料を学校や地域の教育へ活用し、多様な学習機会を提供する。

【主な取組】

(担当：社会教育・文化財課)

主な取組と内容	実施主体
■ 学校と青少年教育施設・地域が連携した体験活動の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心の冒険・サマースクール※」やAFPY※、青少年教育施設や地域等との連携による特色ある体験活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生、中学生、高校生及びその保護者を対象とした、長期の自然体験活動を実施（十種ヶ峰青少年自然の家） ・ 小学生を対象に、地域と連携しながら勤労を通じた教育的効果の高いプログラムを実施（周防大島町、長門市） ・ 学校や地域等でのAFPYに関する講座への支援 ○ 体験活動の核となる指導者の養成や実践事例の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県野外教育活動指導者研修会」「AFPY実践フォーラム」の実施 ・ AFPYアドバイザーによる実践事例の提供（AFPYだより） 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動の核となる指導者の養成や実践事例の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県野外教育活動指導者研修会」「AFPY実践フォーラム」の実施 ・ AFPYアドバイザーによる実践事例の提供（AFPYだより） ○ 新 家庭でできる体験活動の実践事例の提供 	県
■ 図書館におけるサービスの充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口図書館での館蔵資料や専門性を生かした展示の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土文学に関する企画展等の実施 ○ 山口県図書館情報ネットワークシステムの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町立図書館や大学図書館間での蔵書貸借による県内蔵書の有効活用 ○ マルチメディアデジ室の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉関係団体等との連携による普及啓発や利用促進 	県
■ 博物館、文書館等における教育の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口博物館、文書館、埋蔵文化財センターによる館蔵資料や専門性を生かした展示や講座等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別展「昆虫のふしぎな世界」（7/15～8/28）の開催（山口博物館） ・ 企画展「サイエンスやまぐち2016」（10/28～11/13）の開催（山口博物館） ・ 館蔵資料の展示や、各館の学芸員・専門員等による講座等の実施 ○ 学校や地域のニーズに対応した体験型学習プログラムの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口博物館と学校、地域の連携による出前授業や館内授業等の実施 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校や地域のニーズに対応した体験型学習プログラムの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口博物館と学校、地域の連携による出前授業や館内授業等の実施 	県・学校

※「心の冒険・サマースクール」

野外活動とカウンセリングを組み合わせ、個人や集団の成長を図る野外教育活動。世界的な冒険教育機関であるOBS(Outward Bound School)の教育手法を取り入れ、小学5～6年生、中高生を対象とした8泊9日のプログラム等を実施

※「AFPY(アスピー)」

他者と関わりあう活動を通して、個人の成長を図り、心豊かな人間関係を築くための考え方や行動の在り方を学びあう、山口県独自の体験学習法

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
AFPYアドバイザーの登録者数	0人 (H24)	40人 (H26)	80人	100人
博物館の出前授業、館内授業の年間利用者数	18,384人 (H24)	23,809人 (H26)	増加させる	20,000人

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[図書館での展示、講座回数（参加者）]

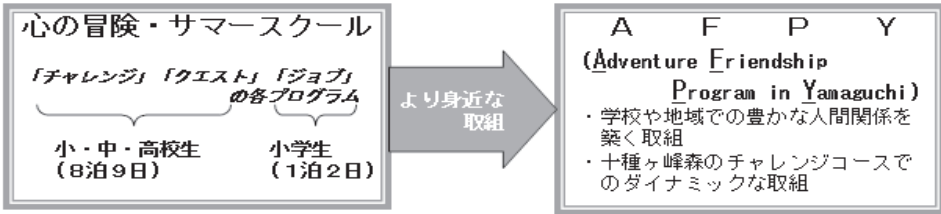
H25：127 展示、68 講座（1,746 人） → H26：113 展示、60 講座（1,705 人）

取組の推進に向けて

＜体験活動推進の視点＞

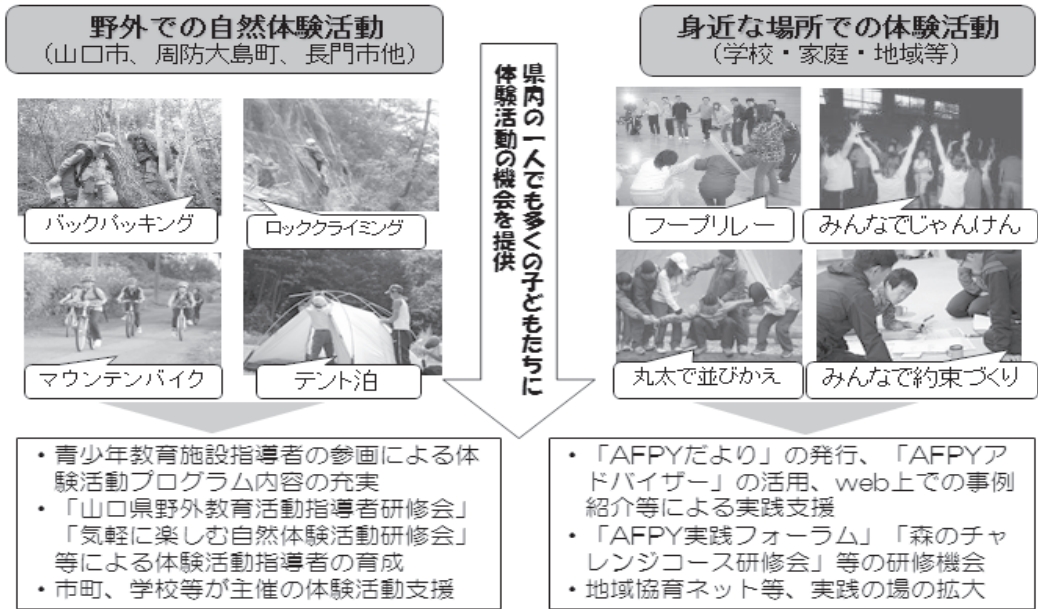
他者と関わりあう体験活動の充実

自己肯定感の向上や他者を思いやる気持ちなど、豊かな人間性の育成

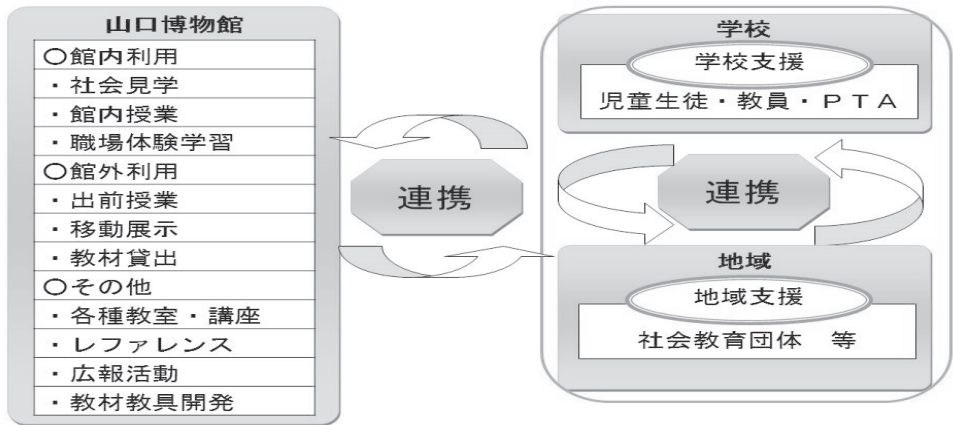


☆指導者・・・学校教職員、青少年教育施設指導者、地域指導者等☆

**未来を拓く
たくましい「やまぐちっ子」の育成**



＜博物館と学校・地域との連携の推進＞



＜詳しく知りたい＞

◇社会教育・文化財課 Web → 「心の冒険・サマースクール」「AFPYの推進」

◇山口博物館 Web → 「博物館学校地域連携教育支援事業」

質の高い教育環境づくりの推進

施策

- 16 教育施設・設備の整備、教育環境の向上
- 17 学校安全の推進
- 18 教職員の資質能力の向上
- 19 学校運営の活性化
- 20 校種間連携・一貫教育の推進
- 21 県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり
- 22 私学の振興
- 23 修学支援の充実

16 教育施設・設備の整備、教育環境の向上

【取組方針】

- ◆ 学校施設については、耐震対策後の校舎改築、施設・設備の老朽化対策や総合支援学校の教室不足対策など、安全で質の高い教育環境の整備を推進する。
- ◆ 本県の産業の次代を担う産業人材を育成するため、専門高校に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を計画的に整備する。
- ◆ 社会教育施設についても、安全で質の高い教育環境の整備・充実に向けて取り組む。

【主な取組】

(担当：教育政策課/社会教育・文化財課)

主な取組と内容	実施主体
■ 県立学校の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設の安全で質の高い教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震対策後の改築工事、施設等の老朽化対策及び非構造部材対策（外壁改修等） ・ 総合支援学校の施設整備や高校再編で必要となる施設整備、岩国基地に係る交付金を活用した冷房整備（総合支援学校の増築等、実習棟の新設等、岩国・大島地域における冷房整備） ○ 産業教育設備の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な知識・技術を養う「基礎的な設備」と生徒の意欲や興味を引き出し自発的な学習につながる「先端的な設備」の整備 	県
■ 市町立幼・小・中学校の耐震化等の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設の耐震化・耐震対策の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎等の耐震化、屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策の早期完了に向けた働きかけ（個別のヒアリング、訪問等） ・ 各市町の課題に応じた助言・技術的支援 ・ 県の無利子貸付制度（市町きらめき支援資金）の活用 ○ 学校施設の老朽化対策など教育環境の改善等の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設の長寿命化計画策定に向けた研修会の開催 	県・市町
■ 学校施設の防災機能の強化・充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設における防災機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策基本法等の改正や今後想定される被害内容等を踏まえた、対策等の検討・検証の促進 ・ 避難所に指定された屋内運動場の吊り天井等の落下防止など、非構造部材の耐震対策 ・ トイレの整備、バリアフリー化などによる防災機能の向上 ・ 各県立学校に配備した衛星携帯電話の活用事例の紹介等を通じて、市町立学校への配備を市町に要請 	県・市町
■ 県立社会教育施設の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の安全性や利便性の向上に向けた教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館の耐震対策の推進 ・ 文書館、博物館、埋蔵文化財センターの館蔵資料の収蔵場所の確保に向けた検討 ・ 青少年教育施設の利用者の安全のため、施設の保全計画に基づく施設営繕等 	県

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末	H29 末
県立学校の耐震化率	93.6% (H25.4)	97.4% (H27.4)	完了	
市町立小・中学校の耐震化率	74.8% (H25.4)	86.9% (H27.4) 全国：44位	早期に完了させる	
市町立幼稚園の耐震化率	47.3% (H25.4)	65.1% (H27.4)	早期に完了させる	

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[県立学校の衛星携帯電話の整備] H25以降：全県立学校（中四国では唯一）

17 学校安全の推進

【取組方針】

- ◆ 山口県学校安全推進計画に基づき、学校安全3領域（防犯を含む生活安全、交通安全、災害安全（防災））の取組を総合的かつ効果的に推進し、学校の危機対応力の強化と子どもたちの安全に関する資質能力の向上を図る。
- ◆ 各学校のコミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、学校・家庭・地域が一体となった地域ぐるみの学校安全の取組の推進を図る。

【主な取組】

（担当：学校安全・体育課）

主な取組と内容	実施主体
■ 「山口県学校安全推進計画」の策定	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「山口県学校安全推進計画」に基づく取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校安全推進プログラム※」の活用に向けた研修会を県内7会場で開催 <p>※ 各学校における学校安全の取組を充実・改善するための推進モデル</p>	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の主体的な安全活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校安全実践事例集」を活用した特色ある取組の周知・意識啓発、各学校での児童生徒の主体的な安全活動の促進 	県・学校
■ 教職員の安全意識の向上と危機対応力の強化	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校危機対応演習資料」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯・事故対応・防災研修会、危機管理セミナー等様々な機会における「学校危機対応演習資料」を活用した演習の実施、各学校での活用の促進 	学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校の状況に応じた学校安全の推進と教職員の意識向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全セーフティライフセミナー※等を活用した、各学校等での研修会の開催 <p>※ 教職員・保護者・地域関係者対象の出前講座</p>	県・学校
<ul style="list-style-type: none"> 新 防犯教育研修会、防災教育研修会、事故対応研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習・実技等を取り入れた実践的な内容で、全県を対象に各1回ずつ開催 	県
■ 保護者・地域・関係機関と連携した学校安全の取組強化	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域力を活用した通学路の安全を確保する取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクール等の仕組みを生かした、通学路の安全点検・安全マップづくりなど、学校・家庭・地域が連携して行う安全活動の実施(モデル地域として県内2か所指定) 	県・市町・学校(小中)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ぐるみの見守り活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の登下校等の安全確保に向けた研修会の開催等による、学校とスクールガードの連携強化とスクールガード活動の充実 	市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校から保護者・地域への携帯メールによる情報配信システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯情報や自然災害の発生等に対応し、学校と保護者・地域が連携して児童生徒の安全を確保するための、携帯メールによる情報配信システムの構築及び加入の促進 	学校
■ 安全意識・能力を育む「防犯を含む生活安全」の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「危険予測学習（KYT）資料集」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯教育研修会における「危険予測学習（KYT）資料集」を活用した演習の実施、各学校での活用の促進 	学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯教室や防犯訓練の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯教室・訓練の実践事例の収集及びW e b への掲載 	学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の活動による地域安全マップの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒による安全マップ作成事例の収集及びW e b への掲載 	学校

■ 自他の命を守る「交通安全」の推進	
○ 「危険予測学習（KYT）資料集」の活用促進 ・ 教職員対象自転車指導者研修会等で、「危険予測学習（KYT）資料集」を活用した演習の実施、各学校での活用の促進	学校
○ 通学路の安全対策の推進 ・ 市町教委が行う通学路の安全点検や安全対策の検討に際し、通学路安全対策アドバイザー※を派遣 ※通学路の安全対策を専門的な立場から指導・助言する者 ・ 資料「通学路の安全確保に向けて」の活用促進 ・ 県市町教委・警察・道路管理者が一体となって推進するため、「通学路安全対策合同会議」を開催	県・市町・学校
○ 自転車乗車時のマナーアップ ・ 中高校生の自転車乗車時のマナーアップを図るため、サイクル・スクールリーダー活動を促進 <small>新</small> 「自転車指導警告票」の情報を活用した交通安全教育の推進 <small>新</small> 「自転車の安心・安全確認テスト」の改訂	県・市町・学校
■ 防災対応能力の向上を図る「災害安全（防災）」の推進	
○ 「危険予測学習（KYT）資料集」の活用促進 ・ 防災教育研修会等における「危険予測学習（KYT）資料集」を活用した演習の実施、各学校での活用の促進	学校
○ 「防災教育テキスト」、「防災教育ハンドブック 改訂版」の活用促進 <small>新</small> 「防災教育テキスト（デジタル版）」を作成・配付し、「防災教育テキスト」・「防災クイズ」等とあわせて、各学校での効果的な活用を促進	県・学校
○ 防災訓練の工夫・充実 ・ 「防災訓練事例集」、「防災訓練実践集」を活用した実践的な防災訓練事例の周知、学校の立地環境や児童生徒の状況を踏まえた防災訓練の実施 ・ 学校防災アドバイザーによる防災訓練の実地指導の実施 <small>新</small> 防災担当者に対する実践的な避難訓練等の研修会の開催	県・学校
○ 専門家と連携した取組の推進 ・ 児童生徒の防災対応能力を育成するため、大学等の専門家による防災授業を実施 ・ 災害ボランティア活動に対する理解を深めるため、災害ボランティア活動経験者による講演会の実施（中・高・特）	県・学校
○ 地域ぐるみの防災キャンプの実施と成果の普及 ・ コミュニティ・スクール等の仕組みを生かした、小中高校生・教職員・保護者・地域住民等による大規模災害対応訓練の実施（県内3か所）及び防災教育研修会等での成果の周知	県・市町・学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
携帯メールによる情報配信システムを整備している公立学校の割合（幼・小・中・高・特支）	81.2% (H24)	93.5% (H27) ※	増加させる	100%
児童生徒の登下校における交通事故件数	小 15 件 中 28 件 高 75 件 (H24)	小 15 件 中 32 件 高 52 件 (H26)	減少させる	減少させる

※ 携帯メールによる情報配信システムを整備している公立学校の校種別割合（H27）
幼 29.3% 小 98.3% 中 98.1% 高 98.7% 特支 100%

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[児童会・生徒会による安全に関する主体的な取組の実施率] H26:82.8% → H27:78.9%
[学校危機対応演習資料使用率] H26:87.3% → H27:88.1%
[学校等における防犯教室・防犯訓練の実施率] H26:91.9% → H27:89.6%
[火災以外の防災訓練の実施率] H26:99.2% → H27:97.6%

各学校の学校安全の質的向上

「組織活動」の取組

- 学校安全計画の見直し・改善と共通理解
- 校内の「報告・連絡・相談・協力」体制の整備
- 保護者・スクールガード等との日常的な連携
- 緊急時の保護者・関係機関等への連絡体制の整備
- 教職員研修会の実施（「学校危機対応演習資料」の活用）
- コミュニティ・スクール等による安全活動の推進
- 保護者・地域に向けた安全に関する啓発活動 等

学校安全に係る研修

取組についての保護者・地域への積極的な情報提供

学校安全に係る取組の紹介

学校安全担当者の位置付け

大規模災害等発生時の保護者への引き渡し



安全点検の工夫・改善

PDCAサイクルに基づく取組の改善

「安全教育」の取組

- 3領域を関連付けた総合的な安全教育の推進
- 学校の実情に応じた実践的な避難訓練等の実施
- 児童生徒の活動による安全マップの作成
- 「危険予測学習（KYT）」の推進
- 児童生徒の主体性を伸長する安全教育の推進 等

児童会・生徒会等による主体的な安全活動

フラインド型避難訓練

「安全管理」の取組

- 危機管理マニュアルの見直し・改善と共通理解
- 施設・設備・通学路等の安全点検と改善
- 安全確保に係る施設・設備等の整備
- 学校安全に関する情報共有体制の整備
- 危機管理マニュアルに沿った訓練の実施 等

様々な危機への対応

総合的な視点による通学路の安全点検

「山口県学校安全推進計画」に基づく、学校安全の総合的かつ効果的な取組の推進

学校安全の推進のための取組方針

- 1 自他の命を守る「交通安全」の推進
 - 2 防災対応能力の向上を図る「災害安全（防災）」の推進
 - 3 安全意識・能力を育む「防犯を含む生活安全」の推進
 - 4 教職員の安全意識の向上と危機対応力の強化
 - 5 保護者・地域・関係機関と連携した学校安全の取組強化
 - 6 総合的な安全教育・安全管理の取組を推進する組織活動の充実
- 学校安全3領域
- 学校安全3活動

学校安全の目標

- 事件等による被害を未然に防ぎ、子どもたちのかけがえのない命を守ること
- 子どもたちが、自らの命を自ら守るために主体的に行動できる力を育成すること
- 自分の安全を確保した上で周囲の人や社会の安全に貢献できる力を育成すること



学校・家庭・地域が学校安全の目標を共有する

<詳しく知りたい>

◇学校安全・体育課 Web → 「学校安全関連 サイトマップ」

18 教職員の資質能力の向上

【取組方針】

- ◆ 「教職員人材育成基本方針」に基づき、学校、市町教委、県教委が一体となって人材育成に関する取組を総合的に推進し、本県教育を担う人材を育成する。
- ◆ 大学等と連携し、学校体験制度や教師力向上プログラム、教育実習の充実、教員採用選考試験の改善、採用前教職インターンシップ等により実践的指導力を有する人材の確保に向けた取組を推進する。
- ◆ 教職員評価や教職員研修の充実、学校内の人材育成の取組などを推進し、教職員の資質能力の向上を図る。

【主な取組】

(担当：教職員課)

主な取組と内容	実施主体
■ 優れた人材の確保	
○ 養成段階の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員養成課程を有する県内全ての大学等で構成する「山口県教員養成等検討協議会」により、大学等と連携した教員の養成・採用、現職教員の育成に向けた取組を推進 ・ 「総合的な教師力向上のための調査研究事業」（文部科学省指定事業）を活用した、教師塾の拡充、初任者研修の改革、スクールリーダーを養成する仕組みの確立についての調査研究 ・ 「教員をめざす学生の学校体験制度」（大学1、2年生等対象）、「山口県教師力向上プログラム」（大学3年生等対象）、「採用前教職インターンシップ」（新規学卒採用予定者）を一連の流れとする「山口県の教師塾」の改善・充実 	県・市町・学校
○ 教員志願者等への積極的な情報提供と意欲の向上に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の志願者の在籍大学、現住所等の実態を踏まえた教員採用選考試験説明会（県外5都市、県内7か所）や「やまぐち教職ガイダンス」（県外3都市、県内9大学等）の開催 ・ 大学等への訪問の強化 	県・市町・学校
○ 教職員のネットワークを生かした受験者確保の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若手教員ボランティアリクルーターによる情報提供（新規採用予定者研修、初任者研修） 	県
○ 教職の魅力を伝える取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「高校生のための教職セミナー」（県内5か所）により、高校生とその保護者に、教職の魅力等について紹介する取組を推進 	県
○ 優秀で意欲のある教員を確保するための選考試験の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な経験や得意分野等を評価する選考試験の工夫・改善 	県
④ 食に関する指導等の充実をめざした選考試験（選考区分「栄養教諭」）の実施	
■ 教職員評価の充実	
○ 教職員評価制度の改定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員一人ひとりのよさの伸長と課題の解決に向けた教職員評価の充実 	県・市町・学校
■ 教職員研修の充実	
○ 教職員のキャリアステージに応じた研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者研修・職務別研修の充実など、計画的・継続的に資質能力の向上を図る基本研修の改善 	県・市町・学校
○ 教職員一人ひとりの適性や能力に応じて専門性を高める研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の趣旨を踏まえた研修内容の改善・充実 ・ アクティブ・ラーニングやICTの活用などの喫緊の教育課題に応じた講座の実施 	県・市町・学校
○ 学校の組織力の向上に向けた研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアアップ研修の中に組織力向上研修を位置付け、学校組織マネジメント等、組織的な取組体制づくりに向けた研修講座の実施 	県・市町・学校

○ 教育活動の推進に向けて、中核となる人材を育成する研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> 主任研修の充実（学校組織マネジメントの視点を取り入れた内容の実施） リーダー養成研修の充実（山口大学との連携によるICT活用推進リーダー養成研修を新設） 課題解決型サテライト研修の実施（学校におけるミドルリーダーの育成を計画的・継続的に支援） 長期研修教員研修の充実（長期研修教員とセンター研究指導主事との共同研究の実施） 山口大学教職大学院等を中核とした県内大学と連携した現職教職員の育成 	県・市町・学校
■ 学校内の人材育成	
○ 人材育成の推進 <ul style="list-style-type: none"> 「若手人材育成1,000日プラン」による、新採から3年次までの教員の育成を中心とした人材育成 コミュニティ・スクールの仕組みを生かした人材育成（ユニット型研修の推進） 	県・市町・学校
○ 校内研修の活性化 <ul style="list-style-type: none"> サテライト研修（出前研修）の充実（授業研究支援のセミナーにより学校の授業改善に向けた取組を継続的に支援等） 課題解決型サテライト研修の充実 キャリアアップ研修として校内研修の活性化を図る研修講座の充実 教育力向上指導員制度の活用促進 	県・市町・学校
○ 日常の業務を通して共に高めあうOJTの実施 <ul style="list-style-type: none"> 「学校におけるOJT推進の手引き」を活用した組織的・計画的なOJTの実施 	県・市町・学校
■ 意欲や能力、実績に応じた的確な人材活用	
○ 人事異動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> 「人事異動方針」に基づく積極的な人事異動 公募型人事異動制度の改善・充実 	県・市町・学校
○ 実績を生かした人材活用 <ul style="list-style-type: none"> 顕著な功績があった教員の表彰制度や教育力向上指導員制度などによる高い指導技術等を各学校の教育活動に生かす取組の充実 	県・市町・学校
■ 教職員のメンタルヘルスの維持	
○ メンタルヘルス事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> 教職員及び管理職を対象とした研修の充実 教職員相談員や保健指導員による相談体制の充実 新規採用職員に対する早期の啓発 「復職サポートシステム」による休職者等への復職支援の充実 	県・共済組合・互助会
○ コミュニケーションの良好な職場環境づくり <ul style="list-style-type: none"> 教職員が課題を一人で抱え込むことなく、組織的に相談、協働できる職場環境の構築 	学校
○ 管理職を中心としたラインケア <ul style="list-style-type: none"> 管理職によるこまめな声かけや、教職員評価における面談を活用した教職員の状況把握 	学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
やまぐち総合教育支援センター研修（サテライト研修等を含む）の受講者数	12,701人 (H24)	14,163人 (H26)	15,000人	15,000人

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[学校体験制度実施校] H25: 31校 86人 → H26: 39校 95人
 [(教職員評価に係る) 苦情相談件数] H25: 0件 → H26: 0件
 [課題解決型サテライト研修指定校数] H25: 3校 → H26: 11校
 [教育力向上指導員による授業等公開件数] H25: 160件 → H26: 127件
 [メンタルヘルス講習会の参加人数] H25: 390人 → H26: 373人

参考（国の動き）

検索

中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について
 ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」H27. 12. 21
 URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1353440.htm

1 「教職員人材育成基本方針」

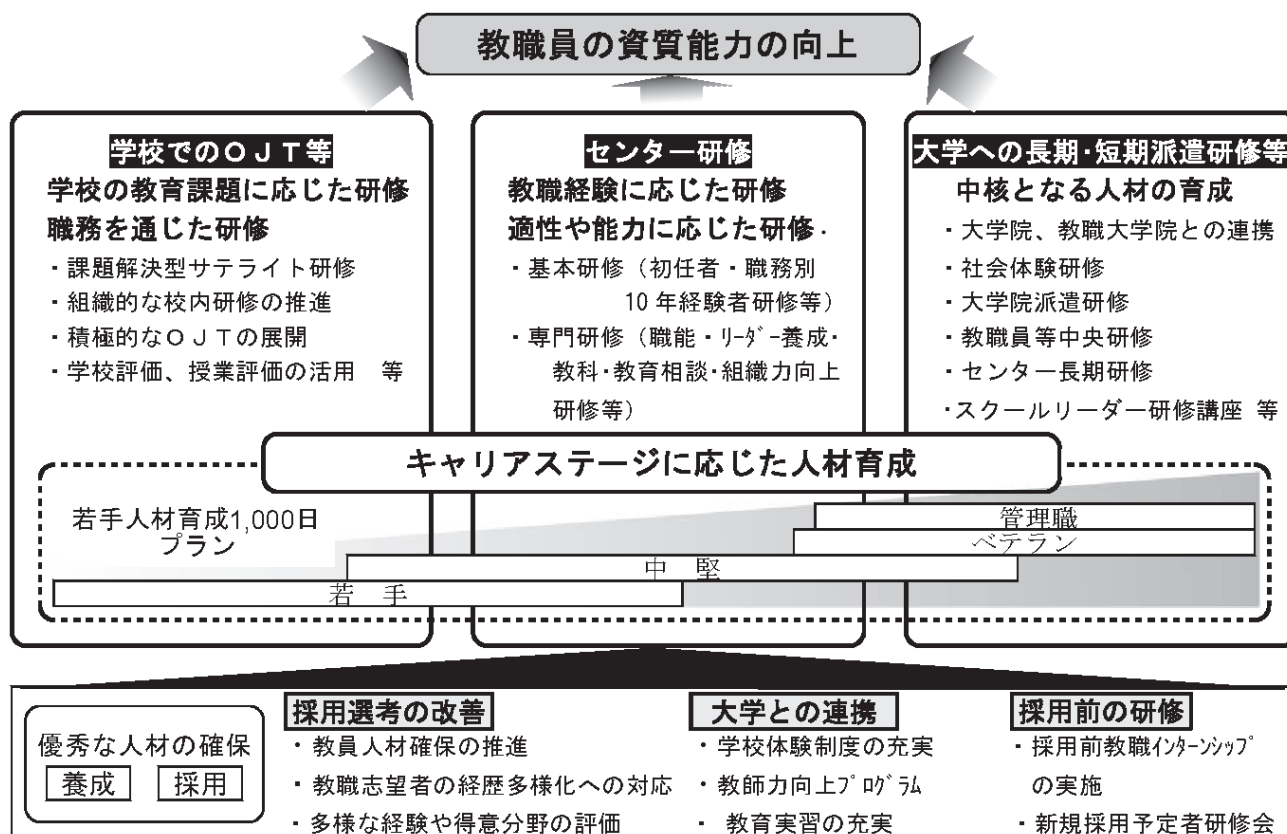
「教職員人材育成基本方針」は、キャリアステージ（教職経験各段階）ごとに求められる教員の役割や資質能力を培うために必要な取組の推進に向けた方針を示している。

「教職員人材育成基本方針」に基づき、教職員の養成・採用、評価、研修、人事制度等人材育成に関する総合的な取組である人材育成システムを活用し、学校、市町教育委員会、県教育委員会が一体となって教職員の人材育成を推進する。

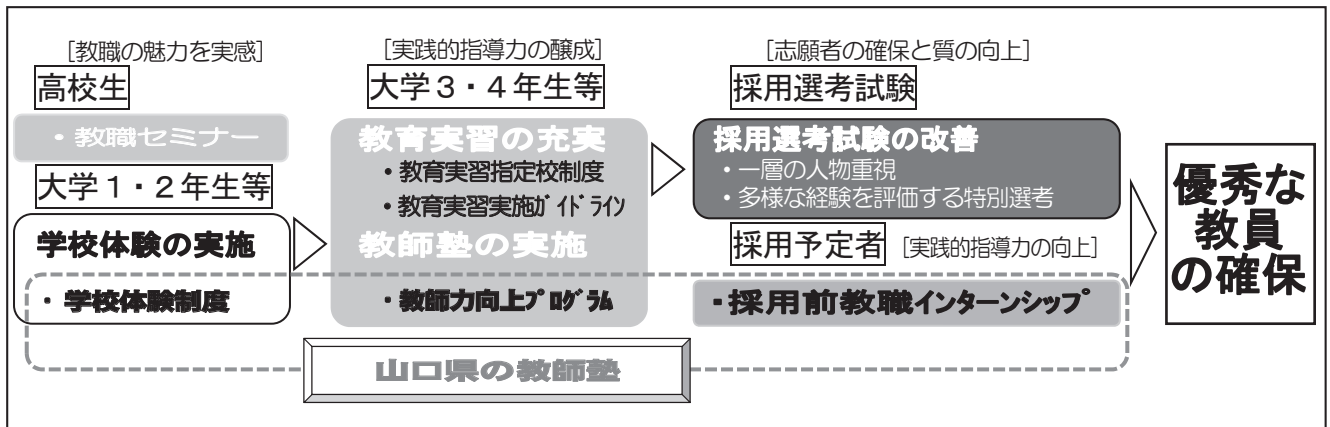
人材育成に向けた5つの基本方針

- 1 教職員のキャリアステージに応じて計画的・継続的に資質能力の向上を図ります。
- 2 教職員一人ひとりの適性や能力に応じて資質能力の向上を図ります。
- 3 組織的な学校運営を推進し、教職員の資質能力の向上を図ります。
- 4 地域や関係機関等と連携し、地域や学校の中核として活動する教職員を育成します。
- 5 大学等と連携し、優秀な教職員の養成・確保に努めます。

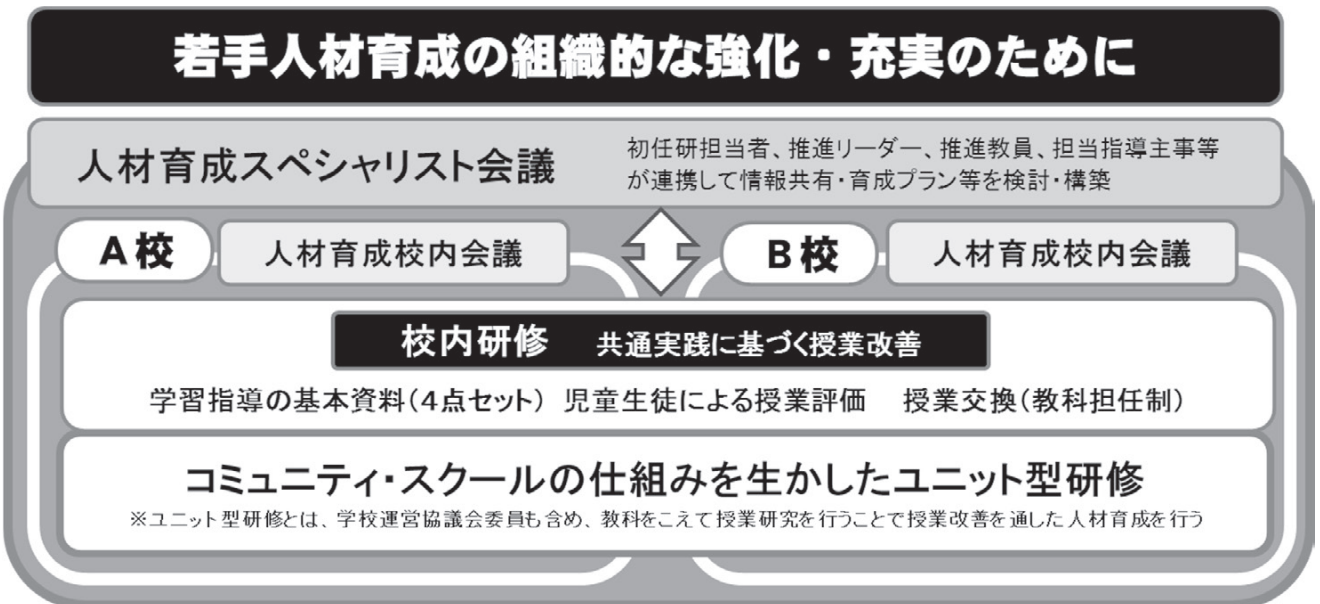
2 教職員の資質能力の向上（平成28年度の取組）



(1) 優秀な教員の確保に向けた取組



(2) 若手人材育成1,000日プラン (小・中学校の取組)



<詳しく知りたい>

◇教職員課 Web → 「教職員人材育成基本方針」、「教職員の人材育成に向けた取組」、「教員をめざす学生の学校体験制度」、「教育実習実施に当たってのガイドライン」等

19 学校運営の活性化

【取組方針】

- ◆ 自己評価や学校関係者評価の充実を図るとともに、評価結果等の積極的な情報提供を進め、学校・家庭・地域が共通認識をもち、連携して学校運営の改善を進める。
- ◆ ミドルリーダーの育成に努めるとともに、教職員一人ひとりの学校運営への参画意識の向上を図る。
- ◆ 管理職のマネジメント能力の向上を図るとともに、管理職の選考方法の改善・充実を図る。
- ◆ 学校の組織力を強化するために、学校の運営組織体制や指導体制の充実など、各学校の実態を踏まえた学校運営の改善を推進する。

【主な取組】

(担当：教職員課)

主な取組と内容	実施主体
■ 目標管理型の学校評価の充実	
○ PDCAサイクルに基づいた学校評価の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が行う自己評価や保護者、地域住民、学校評議員等による学校関係者評価の一層の充実 ・ 評価結果に基づく組織的・継続的な学校運営の改善 	県・市町・学校
○ 各学校における児童生徒や保護者等の意見の学校評価への積極的な反映 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒や保護者等を対象とした外部アンケートの集計結果から得られる成果や課題の分析・整理 ・ ICTを活用した外部アンケートの集計業務や分析業務の充実 	県・市町・学校
新 地域とともにある学校づくりの推進に資する学校評価の活用の在り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 熟議等による、保護者や地域住民等が求めている情報の把握 ・ 地域内の学校及びその関係者等による課題の共有と課題解決に向けた取組の推進 	県・市町・学校
■ ミドルリーダーの育成と教職員の学校運営への参画意識の向上	
○ 学校運営や人材育成の中核となるミドルリーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校務分掌主任に求められる資質能力の向上を図る「主任研修」の実施 ・ 授業改善、道徳教育等の各教育分野の校内研修等におけるリーダーを養成する「リーダー養成研修」の実施 ・ 学校運営に必要な資質能力を身に付ける「組織力向上研修」の実施 ・ 学校運営に必要な資質能力を身に付ける「スクールリーダー研修講座」の試行実施 ・ 課題解決に向けた学校の取組をやまぐち総合教育支援センターが計画的・継続的に支援する「課題解決型サテライト研修」の実施 	県
○ 教職員の学校運営参画意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「組織的な学校運営による学校の総合力の向上に向けて」、「学校におけるOJT推進の手引き」、「学校事務職員の学校運営への参画による学校の総合力の向上に向けて」等の研修資料の活用による参画意識の向上 	県・市町・学校
■ マネジメント能力を有する管理職の育成	
○ 管理職候補者選考方法の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な教職経験や実績を有し、学校教育目標の実現に向けて指導力を発揮する人材の登用 ・ 女性管理職候補者の積極的な育成 	県
○ 管理職登用後の研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職のマネジメント能力の向上に向けた継続的な管理職研修会等の充実 	県・市町・学校

■ 学校運営の改善に向けた取組の推進	
<p>○ 組織的な学校運営による学校の総合力の向上に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評価・教職員評価・授業評価等の評価活動の充実 教職員の協働実践によるOJTや学校事務職員の学校運営への参画、ICTの活用による情報の共有等の推進 家庭や地域と連携した学校運営 学校の総合力の向上に向けた「実践事例・提案事例集」の活用による学校運営の見直し 分校等を有する大規模な県立高等学校に副校長を配置（高） （岩国高校・徳山高校・山口高校・大津緑洋高校・防府高校の5校） 	県・市町・学校
<p>○ 学校の業務改善に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「業務改善対策会議」における市町教委、校長会等と連携した改善策の検討 業務改善のための校務支援ツールの充実及び活用促進 教育庁が実施する各種会議・諸調査の年間スケジュールの配付 	県・市町・学校
<p>○ 学校運営費等の見直しを通じた学校運営の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の裁量を拡大した予算編成や事務職員の分掌見直しの取組の推進 	県・学校（県立）
<p>○ 事務部門の強化による学校の総合力向上に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公立小・中学校事務長」配置拡充による事務の共同実施の充実 （平成26年度配置校：周南市立徳山小学校・防府市立桑山中学校・下関市立川中中学校・萩市立明倫小学校） （平成27年度配置校：岩国市立麻里布小学校・宇部市立上宇部中学校・山陽小野田市立高千帆小学校・美祢市立大嶺小学校） （平成28年度配置校：柳井市立柳井中学校・下松市立末武中学校・光市立浅江小学校・山口市立鴻南中学校・長門市立深川小学校） 事務職員研修の充実による事務部門の強化 事務長連絡会議・事務の共同実施推進委員会による成果の普及促進 	県・市町・学校（小中）
<p>○ 学校運営協議会など保護者や地域住民が積極的に学校運営に参画する体制づくりの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みの活用・充実による保護者・地域住民の意見の学校運営への反映 （山口CSコンダクター^{コミスク}の配置、住民意識調査の実施など） 	県・市町・学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
コミュニティ・スクール（学校運営協議会設置校）指定校の割合（市町立小・中学校）	67.3% (H25.8)	93.1% (H27.10)	100%	100%
保護者や地域住民等を評価者とした学校関係者評価を実施している公立学校の割合（幼・小・中・高）	95.5% (H24)	99.8% (H26)	100%	100%

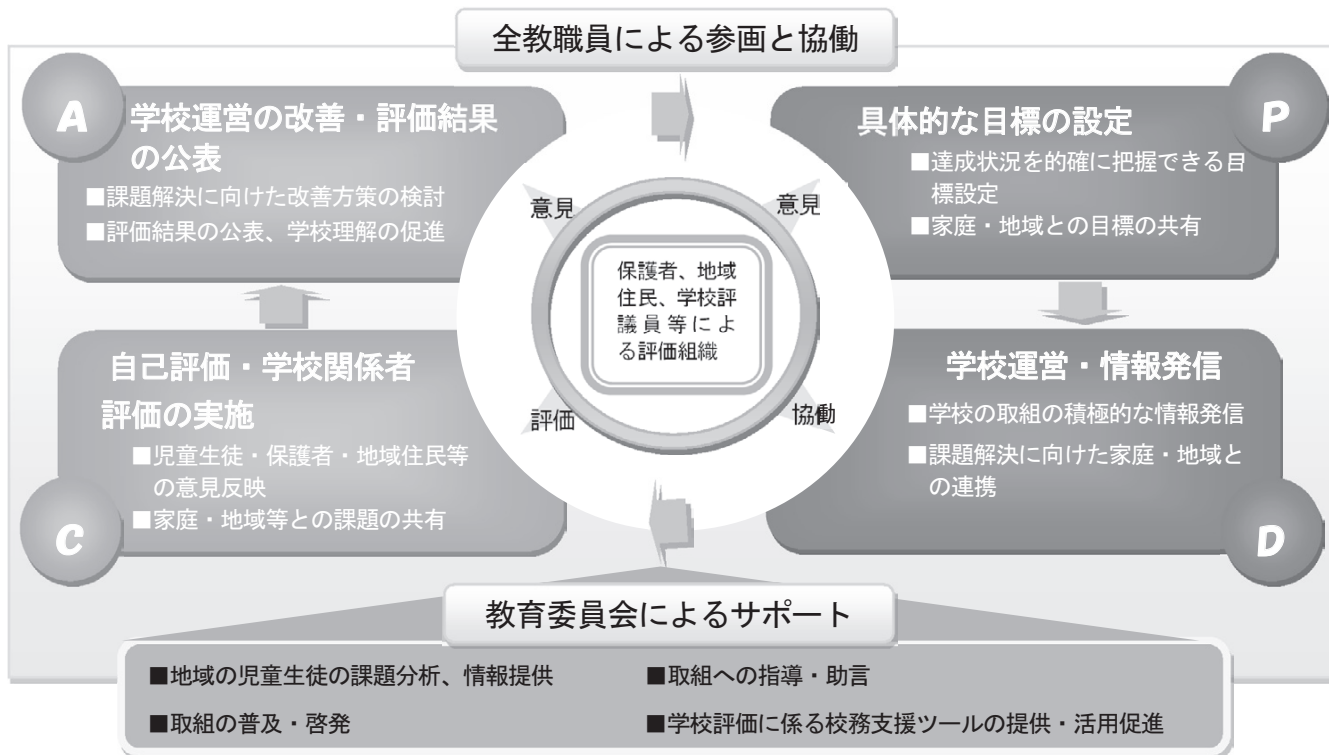
【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[リーダー養成研修（OJT）のアンケートで回答した受講者の割合]

H25：「役立つ」90% → H26：「十分役立つ」80%

[管理職選考試験の受験者数] H25：606人 → H26：595人

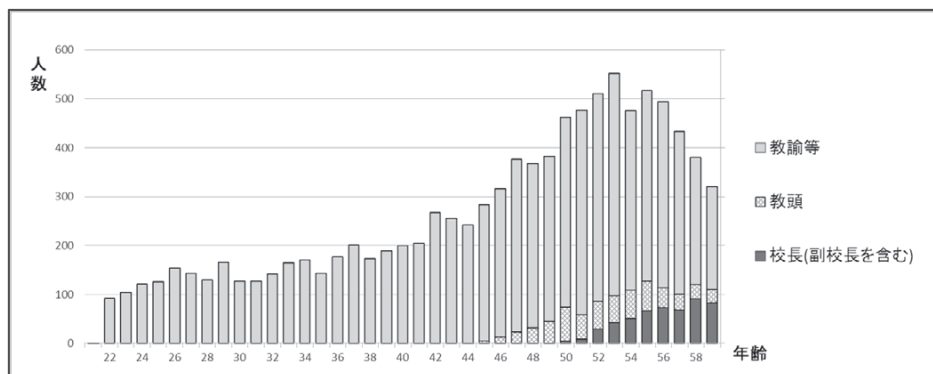
1 目標管理型の学校評価の充実



2 ミドルリーダーの育成のための研修講座等

研修講座名	分野・内容等
主任研修	教務、学年、保健、生徒指導、進路指導の各分野の主任に求められる内容
リーダー養成研修	授業改善推進リーダー養成、子ども支援推進リーダー養成、豊かな心を育む道徳教育推進リーダー養成
組織力向上研修	学校組織マネジメント、学校におけるリスクマネジメント、学校におけるコーチング、校内研修の活性化を図る、いじめ問題への対応
スクールリーダー研修講座	山口県教育の最新動向と重点取組事項、教職員の人材育成、学校組織マネジメント、学校のリスクマネジメント、学校のメンタルヘルスマネジメント等

3 教員全体の年齢構成と管理職の年齢構成（平成27年4月1日現在）



管理職選考試験受験の年齢条件

翌年4月1日現在の年齢が

○校長：満47歳以上

○教頭：満44歳以上

上限なし

<詳しく知りたい>

◇教職員課 Web →「組織的な学校運営による学校の総合力の向上に向けて～5つのアプローチ～」、「学校におけるOJT推進の手引き」等

20 校種間連携・一貫教育の推進

【取組方針】

- ◆ 幼保・小連携（幼児期の教育と小学校教育の連携）については、幼児教育長期研修者とその修了者を研修会等の指導者や実践発表者として活用することなどにより、小1プロブレム解消につながる取組の充実を図る。
- ◆ 小中連携・一貫については、合同研修会の充実や教員の乗り入れ授業の計画的、継続的実施など組織的な取組の強化を図るとともに、やまぐち型地域連携教育を活用して、地域との連携強化を図る中で、更なる校種間の連携を推進する。
- ◆ 中高連携については、継続的な学習指導、生徒指導をはじめとする各地域におけるこれまでの取組の充実を図るとともに、中学生の進路意識の醸成を図る取組を推進する。
- ◆ 中高一貫教育については、各学校における教育目標に沿った特色ある教育活動がより一層効果的に行われるよう、教育課程等の充実を図る。

【主な取組】

(担当：義務教育課／高校教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 子どもの育ちをつなぐ教育活動の連携促進	
○ 「つながる子どもの育ち」(改訂版)の活用促進 ・ 校内研修会や合同研修会等での活用	県・市町・学校(幼小)
○ 小学校区を単位とする幼児教育施設と小学校の教育活動の連携促進 ・ 幼児と児童の交流活動、学校だより等の配付、カリキュラムの交流等を通じた幼児教育施設と小学校の教育活動の連携を促進	県・市町・学校(幼小)
○ 小・中及び小・小の教育活動の連携促進 ・ 中学校区を単位とし、小・中で共通の指導項目を定めた取組の推進、学校だより等の配付、教育課程の情報共有等を通じた小・中の教育活動の連携や小・小連携の推進 〔山〕山口CS(コムスク)コンダクターの19市町配置、小中合同学校運営協議会の設置による小中連携の強化 〔新〕「小中一貫推進事業」によるモデル校を設置した一貫教育の研究推進 ・ 中学校区における9年間を見通した系統的なカリキュラムの作成の促進	県・市町・学校(小中)
○ 中学生の進路選択に係る中学校・高校間の連携促進 ・ 高校の体験入学や高校教員による出前授業、中学校での高校生を招いての進路学習会等の充実	県・市町・学校(中)
○ 進路意識を醸成する大学訪問や大学教員による高校での出前授業の実施 ・ オープンキャンパスへの参加促進、「学校プランサポート」による大学教員等による出前授業等の実施促進 〔新〕高校生が県内大学生等と自分の将来などについてディスカッションをする機会の充実	県・学校(高)
○ 個別の教育支援計画の作成・引継ぎによる障害のある児童生徒への継続的な支援の実施 ・ 地域コーディネーターの各学校への巡回訪問等による作成・活用支援 ・ 校種間の連絡協議会等の機会を活用した情報交換・情報共有の促進	県・市町・学校
■ 継続的な指導の充実を図る教職員の連携促進	
○ 幼保・小連携を推進する幼児教育長期研修の実施 ・ 各種研修会における実践発表等、研修成果の還元	県・市町
○ 小・中学校教員の研修(人事)交流の実施 ・ 小・中学校間の円滑な接続のための情報共有及び協議	県・市町・学校(小中)
○ 小・中、高校と特別支援学校との連携による特別支援教育の充実 ・ 人事異動による積極的な人事交流の促進	県
○ 校種間の連絡会議や共同実施の授業参観・授業研究、相互乗り入れ授業の促進 ・ 小・中、中・高の合同研修会等による情報共有及び授業研究	県・市町・学校
■ 中高一貫教育のさらなる推進	
○ 教育課程の工夫・改善等による特色ある教育活動の充実 ・ 学習指導要領の趣旨や中高一貫教育校(中等教育学校・併設型・連携型)ごとの実情を踏まえた教育課程の工夫・改善等	県・市町・学校(中高)
○ 今後の中高一貫教育の推進に向けた検討 ・ これまでの取組の成果と課題を踏まえ、今後の中高一貫教育の推進について検討	県・市町・学校(中高)

取組の現状

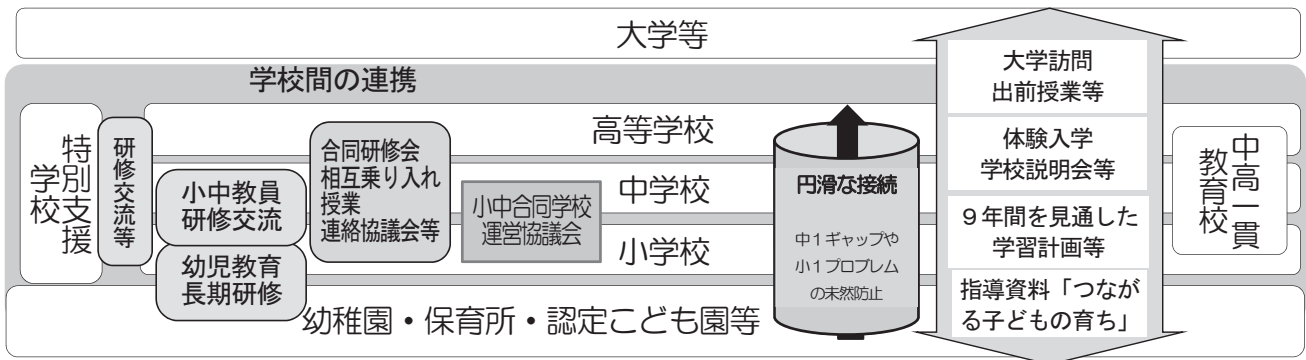
p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
異校種間の授業参観や情報交換会を実施した公立学校の割合	小 100% 中 100% 高 100% (H25)	小 100% 中 100% 高 100% (H27)	小 100% 中 100% 高 100%	小 100% 中 100% 高 100%

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[幼稚園・保育所等と連携した取組を実施している公立小学校の割合] H26 : 100% → H27 : 100%

取組の推進に向けて



参考 (国の動き)

検索

小中一貫教育制度の導入に係る学校教育法等の一部を改正する法律について H27. 7. 30

URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/_icsFiles/afieldfile/2015/08/06/1360758_01_3_1.pdf

小中一貫教育を行う新たな学校の種類の制度化

学校教育法等の一部を改正する法律案 概要 (平成27年6月閣議決定、平成28年4月1日施行)

【趣旨・位置付け】 学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」を新たな学校の種類として規定

【設置者・設置義務】 国公私いずれも設置が可能。市区町村には、公立小・中学校の設置義務があるが、義務教育学校の設置をもって設置義務の履行

【目標・修業年限】

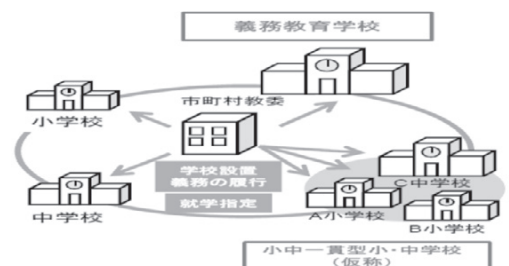
- ・義務教育学校の目的：心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育について、基礎的なものから一貫して施すこと
- ・9年（小学校・中学校の学習指導要領を準用するため、前期6年と後期3年の課程に区分）

【教職員関係】

- ・市区町村立義務教育学校の教職員給与は国庫負担の対象
- ・小学校と中学校の免許状の併有を原則(当分の間は例外あり)

【施設整備】 施設費国庫負担・補助の対象

◎ 制度化後のイメージ



21 県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり

【取組方針】

- ◆ 選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開など、高校教育の質をより高めるため、「第2期県立高校将来構想」に基づき、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備等を推進するとともに、各学校においては、生徒の興味・関心、能力・適性や進路希望等の多様化に対応し、教育課程の編成や指導方法・内容の工夫・改善に取り組むなど、特色づくりを引き続き推進する。

【主な取組】

(担当：高校教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 「第2期県立高校将来構想」に基づくより質の高い高校教育の提供	
○ 生徒のニーズや地域連携を踏まえた特色ある学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の主体的な進路選択を促すため、各学校の個性化・多様化を図る特色づくりの推進 ・ 地域の教育力を活用した地域ぐるみの教育活動の展開 	学校（高）・ 県
○ 質の高い高校教育の提供をめざした再編整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開など、高校教育の質の確保・向上を図るため、望ましい学校規模（1学年4～8学級）をめざした再編整備の推進 ・ 「県立高校再編整備計画」に基づく年次的・計画的な推進 	県
■ 「めざす学校像」「育てたい生徒像」を明確にした特色づくり	
○ 「特色ある学校づくり」の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の「めざす学校像」や「育てたい生徒像」の実現に向けた特色ある取組の周知 	学校（高）・ 県
○ 全日制普通科の通学区域の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度からの通学区域全県化を踏まえた、各学校の「特色ある学校づくり」の一層の推進 	学校（高）・ 県
■ 県立高校再編整備計画（平成27年度～平成30年度実施計画）の着実な推進	
○ 学校・学科の再編整備の着実な推進 <ul style="list-style-type: none"> 新 響高校と豊北高校の再編統合に向けた検討 新 県央部、県西部に多部制の定時制課程を置く高校を設置する方向で検討 新 通信制課程を県央部の多部制の定時制課程を置く高校に併置する方向で検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間定時制課程の再編統合に向けた検討 	県
新 コミュニティ・スクールの県立高校への導入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 周防大島高校、美祢青嶺高校、大津緑洋高校の3校をコミュニティ・スクールに指定し、学校・地域の課題解決に向け、地域と一体となった取組を推進 	県・ 学校（高）
新 探究科（仮称）の導入に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・技能を活用する学習や探究する学習を重視する新しい学科「探究科（仮称）」を宇部高校と下関西高校に導入する方向で検討 	県・ 学校（高）

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
各高校で開催される体験入学や学校説明会に参加した中学生の延べ人数	17,645 人 (H24)	17,073 人 (H26)	18,000 人	20,000 人

<第2期県立高校将来構想（H27.3月策定）の概要>

1 策定の趣旨

中学校卒業生数が継続的に減少していく中、中長期的視点に立って本県高校教育の質の確保・向上を図るため、第2期県立高校将来構想を策定

2 構想の期間

平成27年度から平成36年度まで

3 基本的コンセプト（学校づくりの方向性）

質の高い高校教育を提供するため、次に示した基本的コンセプトで学校づくりを推進

- ◇生徒が夢を育み、志をもって学ぶ学校
- ◇生徒や教職員が生き生きと活動し、活力のある学校
- ◇地域に愛され、地域とともにある学校

4 特色ある学校づくり

- ・ 大学等への進学に重点を置く取組や高度な専門性をもった産業人材を育成する取組を充実するなど、拠点的な役割をもつ学校について、分散型都市構造にある本県の特性も考慮した配置を検討するとともに、地域社会の教育力を活用した地域ぐるみの教育活動を推進
- ・ 平成28年度から実施する全日制普通科の通学区域の全県化を踏まえ、中学生が主体的に学校選択ができるよう、各高校の個性化・多様化を図る特色づくりを一層推進

5 学校・学科の再編整備

- ・ 今後とも、中学校卒業生数の継続的な減少による学校の小規模化が見込まれる中、選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開、生徒同士が切磋琢磨する環境づくりなど、高校教育の質の確保・向上を図るためには、望ましい学校規模（1学年4～8学級）の確保をめざし、再編整備を進めることが必要
- ・ 再編整備に当たっては、地域における高校の実情や分散型都市構造にある本県の特性等を踏まえ、年次的かつ計画的に取り組むことを検討

<詳しく知りたい>

各公立高校の「特色ある学校づくり」の様子を示した「公立高等学校紹介」のWebページ（URL <http://www.ysn21.jp/s-navi/kyouiku/>）

- ・ 学校ごとに「めざす学校像」「育てたい生徒像」と、その達成に向けた「具体的な取組」などをまとめた資料を見ることができます。

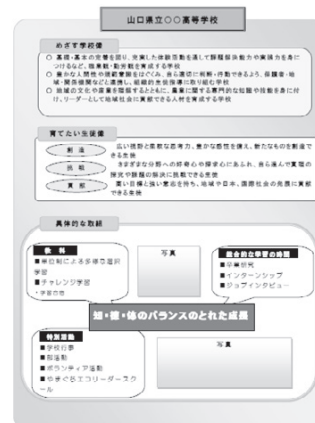
早見版【岩国地域】



カーソルを当てると、画像（早見版）が大きく表示されます。

各学校のWebページにもジャンプできます。

《地域ごとに学校を選ぶことができます。》



《各学校の資料のイメージです。》

22 私学の振興

【取組方針】

- ◆ 経常的経費を対象とした補助など私学助成の充実や、積極的な情報提供等により、私立学校の特色ある教育活動の展開を支援し、私立学校の更なる振興を図る。
- ◆ 幼稚園は、地域の幼児教育のセンターとしての役割が期待されることから、私立幼稚園での子育て支援など、地域に開かれた幼稚園づくりを支援する。
- ◆ 幼児・生徒の安心・安全を図るため、県費助成制度等による支援により、私立学校施設の耐震化を促進する。

【主な取組】

(担当：総務部学事文書課)

主な取組と内容		実施主体
■ 私学助成の充実		
○ 幼稚園、高等学校等の教育に係る経常的経費への補助 ・ 私立幼稚園、中学校、高等学校における教育に係る経常的経費の一部を補助		県・学校
■ 地域に開かれた幼稚園づくりへの支援		
○ 預かり保育に要する経費への補助 ・ 私立幼稚園が平日の早朝及び教育時間終了後、土・日、夏休み等の休業日に実施する預かり保育に係る担当教員人件費等の一部を補助		県・学校(幼)
○ 障害のある幼児の受入に要する経費への補助 ・ 私立幼稚園による障害のある幼児の受入に係る担当教員人件費等の一部を補助		県・学校(幼)
○ 幼稚園の幼児教育のセンター機能を活用した地域開放に要する経費への補助 ・ 私立幼稚園による幼児教育相談、幼児教育講演会、園舎等の地域への開放、未就園児の親子登園等に要する経費の一部を補助		県・学校(幼)
■ 私立学校の耐震化の促進		
○ 私立学校における耐震化への助成 ・ 私立幼稚園、中学校、高等学校が実施する耐震化工事に対する補助及び耐震化工事に係る借入金に対する利子補給		県・学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	93.6% (H24)	96.7% (H26)	100%	100%
私立学校(幼・中・高)の耐震化率	67.9% (H24)	79.6% (H26)	96.9%	100%

23 修学支援の充実

【取組方針】

- ◆ 授業料負担の軽減を図るため、国が創設した「就学支援金制度」により、資格要件（所得制限）を満たす者からの申請に基づき、公立高等学校等においては授業料相当額、私立高等学校等においては授業料の一部を支援する。
- ◆ 市町村民税所得割額が非課税である世帯の授業料以外の教育費負担の軽減を図るため、国の補助事業を活用した「奨学のための給付金制度」により、対象者からの申請に基づき、返還不要の給付金を給付する。
- ◆ 向学心に富み有能な素質を持ちながら、経済的な理由により修学が困難な生徒に対する支援のため、引き続き奨学金の貸与を行う。

【主な取組】

(担当：教育政策課、総務部学事文書課)

主な取組と内容	実施主体
■ 教育にかかる経済的負担の軽減を図るための支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生等への就学支援金の支給 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給資格要件を満たす者からの申請に基づき、授業料の全額（又は一部金額）を就学支援金として支給 ※学校設置者が生徒に代わって国から代理受領し、授業料に充当 〔対象者〕 保護者（親権者）の市町村民税所得割額の合算額が 304,200 円未満の世帯の生徒 ・ 私立高校生等は、所得等の状況により支援金を加算して支給 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生等への奨学給付金の支給 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村民税所得割額が非課税である世帯を対象に、授業料以外の教育費を支援するため、申請に基づき「奨学のための給付金」を給付 〔対象者〕 以下の要件を全て満たす者 <ul style="list-style-type: none"> 保護者（親権者）の市町村民税所得割額の合算額が非課税の世帯 保護者（親権者）が山口県内に在住 就学支援金の支給対象である学校に在籍 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ (公財)山口県ひとづくり財団による高校生等への奨学金の貸し付け <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的理由により修学が困難な高校生等に対する奨学金の貸与 ・ 家計急変世帯への緊急採用枠の設定 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校法人が行う私立高校生の授業料等の軽減事業に要する経費の補助 	県
■ 離島高校生に対する支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 離島高校生の通学費に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の制度を活用して実施する市町に対する支援 ※支給額上限：平成 28 年度 1 人あたり年額 240,000 円 	県・市町
■ へき地や過疎地域等の児童生徒等の通学に対する支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールバスを運行する市町に対する国の制度の活用促進 	市町

取組の現状

p-d-Check-a

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[就学支援金支給実績] H26：人数 7,130 人 支給総額 807,937 千円

[奨学給付金の支給実績] H26：人数 1,102 人 支給総額 76,157 千円

[奨学金の貸与延べ実績]

H25 高校生 1,348 人、大学生等 770 人 → H26 高校生 1,224 人、大学生等 801 人

[離島高校生の通学費に対する支援額]

H25：2,178 千円 → H26：2,141 千円

[スクールバスの購入経費の支援市町]

H26：山口市、下松市、岩国市、美祢市

[就学支援金の支援額等]

区 分	支 援 月 額	
国公立高等学校等	9,900円	
私立高等学校等	保護者（親権者）の市町村民税所得割額の合算額が304,200円未満の世帯	24,750円
	保護者（親権者）の市町村民税所得割額の合算額が非課税の世帯	19,800円
	保護者（親権者）の市町村民税所得割額の合算額が51,300円未満の世帯	14,850円
	保護者（親権者）の市町村民税所得割額の合算額が51,300円～154,500円未満の世帯	9,900円
保護者（親権者）の市町村民税所得割額の合算額が154,500円～304,200円未満の世帯		

[給付金制度の給付年額等]

区 分		給 付 年 額	
		国 公 立	私 立
市町村民 税非課税 世 帯	生活保護受給世帯（生業扶助受給世帯）の生徒	32,300円 (通信制:32,300円)	52,600円 (通信制:52,600円)
	上記世帯 第1子の高校生等がいる世帯の生徒	59,500円 (通信制:36,500円)	67,200円 (通信制:38,100円)
	以 外 第2子以降の高校生等がいる世帯の生徒	129,700円 (通信制:36,500円)	138,000円 (通信制:38,100円)

[奨学金制度の概要]

事業主体	事 業 内 容																			
公益財団法人 山口県ひとづくり 財団	学ぶ意欲と能力を有しながら、経済的理由により修学が困難な生徒・学生に対し、奨学金等の貸与を行う。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一 般 貸 与</td> <td>国公立高校</td> <td>18,000円～30,000円</td> </tr> <tr> <td>私立高校</td> <td>30,000円～41,000円</td> </tr> <tr> <td>国公立・私立大学（含短大）</td> <td>43,000円～52,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特 別 貸 与 等</td> <td>大学等特別貸与（一般貸与への上乗せ）</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>専修学校等特別貸与</td> <td>31,000円～39,000円</td> </tr> <tr> <td>定時制通信制修学奨励費（国公立）</td> <td>14,000円</td> </tr> <tr> <td>定時制通信制修学奨励費（私立）</td> <td>14,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		貸与月額	一 般 貸 与	国公立高校	18,000円～30,000円	私立高校	30,000円～41,000円	国公立・私立大学（含短大）	43,000円～52,000円	特 別 貸 与 等	大学等特別貸与（一般貸与への上乗せ）	10,000円	専修学校等特別貸与	31,000円～39,000円	定時制通信制修学奨励費（国公立）	14,000円	定時制通信制修学奨励費（私立）	14,000円
	区 分		貸与月額																	
	一 般 貸 与	国公立高校	18,000円～30,000円																	
		私立高校	30,000円～41,000円																	
		国公立・私立大学（含短大）	43,000円～52,000円																	
	特 別 貸 与 等	大学等特別貸与（一般貸与への上乗せ）	10,000円																	
		専修学校等特別貸与	31,000円～39,000円																	
定時制通信制修学奨励費（国公立）		14,000円																		
定時制通信制修学奨励費（私立）		14,000円																		

生涯にわたる県民総参加の教育の推進

施策

- 24 家庭教育支援の充実
- 25 地域と学校が連携した子どもの育成
- 26 生涯学習の推進
- 27 地域社会における人権教育の推進
- 28 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進
- 29 文化財の保護と活用
- 30 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

24 家庭教育支援の充実

【取組方針】

- ◆ 「家庭の元気応援キャンペーン」の展開や「夢をはぐくむ家庭の元気」の活用を通じ、家庭教育に関する意識啓発・情報提供を推進するとともに、家庭教育講座のプログラム開発を進め、保護者等を対象とした学習機会の一層の充実を図る。
- ◆ 「地域協育ネット」の仕組みを活用し、地域における「家庭教育支援チーム」等による相談・支援体制を充実するとともに、専門機関による相談・支援の強化を図る。

【主な取組】

(担当：社会教育・文化財課)

主な取組と内容	実施主体
意識啓発・情報提供の推進	
○ 「やまぐち家庭教育支援強化月間」(10月)等による「家庭の元気応援キャンペーン」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐち家庭教育支援強化月間」を中心とした関係機関等との連携による普及啓発活動の実施 	県・市町・学校
○ 保護者向けリーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」等を通じた家庭における取組の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭教育5つのポイント」の周知 ・ 「家庭の日」(毎月第3日曜日を標準)の取組の推進 ・ 「わが家のやくそく大募集」の実施による家庭における取組の促進 	県・市町・学校
保護者等への学習機会の提供	
○ P T Aや企業等を対象とした家庭教育講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者等を対象とした家庭教育出前講座の開催 ・ 家庭教育講座のプログラム開発 	県・市町・学校
○ P T A活動の活性化に向けた指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口県P T A指導者研修会の開催 	県
○ おやじの会の活動を通じた父親の学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県おやじの会連絡会」と連携した「おやじの学校」の開催 	県・市町
地域における相談・支援体制の充実	
○ 身近な地域で家庭への教育支援を行う体制づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> 新 「家庭教育支援担当者会議」による取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域協育ネット」における支援のネットワークの構築 ・ 地域における家庭教育講座や家庭教育サロンの実施 ・ 家庭教育支援チームの設置促進 新 「訪問型家庭教育支援事業」による訪問型支援の調査研究 	県・市町
○ 市町と連携した家庭教育支援者の養成・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭教育アドバイザー養成講座」の開催(8回) ・ 「家庭教育アドバイザーステップアップ講座」の開催(4回) 新 「訪問型家庭教育支援員養成講座」の開催(4回) 	県・市町
専門機関による相談・支援の充実	
○ やまぐち総合教育支援センターでの相談・支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもと親のサポートセンター」及び「ふれあい教育センター」における相談・支援体制の強化 	県

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
家庭教育出前講座の受講者数(累計)	3,927人 (H24)	7,907人 (H27)	8,100人	8,300人

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

〔「わが家のやくそく大募集」の応募数〕 H26:10,043人 → H27:9,961人

〔「地域協育ネット」協議会設置率〕 H26:100% → H27:100%

〔子どもと親のサポートセンター等への相談件数〕 H25:4,384件 → H26:5,501件

1 「家庭の元気応援キャンペーン」の展開

スローガン 「早寝 早起き 朝ごはん 本を読んで 外遊び みんな仲良く 今日元気」

「やまぐち家庭教育支援強化月間(10月)」での学校や協賛企業・団体等による取組の促進や、保護者向けリーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」の活用による「家庭教育5つのポイント」の周知等、「家庭の元気応援キャンペーン」の全県的な展開を推進する。

「家庭教育5つのポイント」

- ①基本的な生活習慣を身に付けましょう
- ②ルールを守りマナーを身に付けましょう
- ③家族のふれあいを大切にしましょう
- ④家庭での学習習慣を身に付けましょう
- ⑤地域でいろいろな体験活動を楽しみましょう

家庭の元気応援キャンペーン
マスコットキャラクター「ファミリン」



2 「わが家のやくそく大募集」への参加促進

「わが家のやくそく大募集」を活用して、基本的な生活習慣やお手伝いの定着などに向けた家庭での取組を促進する(夏休み・冬休み前に募集案内配付)。

学校が全校体制で実施し、生活リズムの向上を図るなど、家庭と連携した組織的な取組が広がりつつある。

「わが家のやくそく大募集」

親子で決めて夏休みや冬休みに実践した「わが家のやくそく」等について、県内の子どもたちから取組を募集



3 家庭教育出前講座の開催

就学時健康診断や一日入学、PTA研修会等たくさんの保護者が集まる機会を捉えて、家庭教育出前講座を実施し、保護者が気軽な雰囲気の中で子育ての不安や悩みを解消できるように参加体験型の学習機会を提供する。

「家庭教育出前講座」

要請のあった学校や幼稚園、企業等に出向き、子育ての在り方や親の役割等について参加者同士が学び合う参加体験型の講座を提供



4 「家庭教育支援チーム」等による支援

支援チームが、学校のコミュニティ・ルームを拠点とした相談対応や学習機会の提供、家庭訪問による情報提供や相談支援等に組織的かつ主体的に活動できるよう、学校や福祉部局等と連携を図りながら、支援体制を構築する。

「家庭教育支援チーム」

家庭教育アドバイザーなど家庭教育を地域で支える地域人材がチームを編成し、保護者からの子育て相談等に、組織的に対応



<詳しく知りたい>

◇社会教育・文化財課 Web → 「家庭の元気応援キャンペーン」

25 地域と学校が連携した子どもの育成

【取組方針】

- ◆ コミュニティ・スクール(CS)が核となり、地域協育ネットの仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組を充実させることにより、「地域教育力日本一」の推進を図る。また、県立学校へのコミュニティ・スクールの導入を進める。
- ◆ 地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支えるため、学校・家庭・地域の連携・協働による全中学校区での教育支援体制（地域協育ネット）を活用した教育支援活動等の一層の充実を図る。

【主な取組】（担当：義務教育課／社会教育・文化財課／高校教育課／特別支援教育推進室）

主な取組と内容	実施主体
<p>■ 「やまぐち型地域連携教育」の推進 ～コミュニティ・スクール及び「地域協育ネット」の一体的な推進～</p>	
<p>○ 全県的な推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールの全市町立小・中学校への設置 ・ 県の取組方針や各市町の課題等を協議する「山口県コミュニティ・スクール推進協議会」の開催（対象：19市町代表、有識者、小中校長会長等 開催：2回） ・ 県の取組や方向性について協議する山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の開催 （対象：統括コーディネーター、CS推進協議会、PTA、校長会、企業等の代表者 開催：2回） <p>新 「やまぐち型地域連携教育」の推進に向けた研修及び協議を行うコミュニティ・スクール・地域協育ネット担当者及び山口CSコンダクター合同会議の開催（年3回）</p>	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ 教職員や地域住民を対象とした研修の充実及び連携の促進</p> <p>新 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果を県内外に発信する「やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバル」の開催 （対象：地域住民、保護者、教職員、全国CS関係者等 開催：12月）</p> <p>新 CSや「地域協育ネット」についての県民への周知及び推進気運を醸成するため「やまぐち地域連携教育の集い」を県内7地域で開催 （対象：地域住民、保護者、教職員等 開催：8月～11月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「熟議サポート事業」の実施 	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ 推進の核となる人材の養成・配置</p> <p>拡 学校運営協議会や小・中学校が合同で開催する学校運営協議会の指導・支援等を行う山口CSコンダクターの配置を拡充（兼務を含め全市町に配置：15名）</p> <p>新 各山口CSコンダクターの活動を支援する統括コンダクターを派遣（兼務：2名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域の課題・ニーズの把握、教育支援活動を実施するための連絡調整を行う「統括コーディネーター」の配置促進 ・ コーディネーターとして必要な知識・技能等を身に付ける「『地域協育ネット』コーディネーター養成講座」の開催（8回） <p>新 統括コーディネーターとして高いスキルを身に付ける「『地域協育ネット』コーディネーターステップアップ講座」の開催（4回）</p>	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ 活動充実に向けた普及・啓発</p> <p>新 「やまぐち型地域連携教育」PR用DVDを作成し、県内外に配付</p> <p>新 「やまぐち型地域連携教育」実践事例集を作成し、県内外に配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容等が優れた「地域協育ネット」の表彰 ・ 広報テレビ番組「はつらつ山口っ子」等を活用した情報発信 ・ 地域住民の理解、参画の推進に向けた住民意識調査の実施 	<p>県・市町・学校（小中）</p>
<p>○ 県立学校へのコミュニティ・スクールの導入</p> <p>新 県立高校3校（周防大島高校、美祢青嶺高校、大津緑洋高校）にコミュニティ・スクールの導入</p>	<p>県・市町・学校（高特）</p>

<p>新 総合支援学校へのコミュニティ・スクール導入を契機とした、「学校・地域」の創生に向けた関係機関等との連携・協働による「学校・地域協働活動推進事業」の実施(特別支援教育センターを設置する総合支援学校7校のうち2校に先行導入)</p> <p>新 総合支援学校へのコミュニティ・スクール導入に向けた、「地域とともにある学校づくり推進事業」の実施(総合支援学校5校を指定)</p>	
<p>■ 多様な人材の参画による地域ぐるみの活動の推進</p>	
<p>○ 市町や公民館、関係団体等と連携した情報提供・意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三世代交流や多様な体験活動等の事例提供を通じた取組の促進 ・ 各種会議・研修会を活用した関係団体等への取組の啓発 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 土曜日等の教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日における多様なプログラムによる教育活動の充実 ・ 地域社会と連携した高校生スキルアップ事業の実施 	<p>県・市町・学校</p>
<p>■ 放課後子ども教室の充実と放課後児童クラブとの連携促進</p>	
<p>○ 地域住民の参画による放課後子ども教室の取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民や関係団体等を対象とした研修会の開催 ・ 「山口県高校生ボランティアバンク」を活用した運営の充実 	<p>県・市町</p>
<p>○ 放課後児童クラブとの一体的な又は連携した取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校区ごとの協議会の実施促進 ・ 研修会等における情報交換の機会の提供 	<p>県・市町・学校(小)</p>
<p>■ 「やまぐち教育応援団」制度の活用促進</p>	
<p>○ 「地域協育ネット」における「やまぐち教育応援団」制度の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネーター等に対する制度の周知及び研修会等における好事例の紹介 	<p>県</p>

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
コミュニティ・スクール(学校運営協議会設置校)指定校の割合(市町立小・中学校)【再掲】	67.3% (H25.8)	93.1% (H27.10)	100%	100%
「地域協育ネット」コーディネーター養成講座受講者数(累計)	250人 (H24)	752人 (H27)	810人	875人

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[地域協育ネット協議会の設置率] H26:100% → H27:100%

[高校生ボランティア参加者数] H26:延べ473人 → H27:延べ562人

[放課後こども教室の設置数] H26:186教室 → H27:195教室(予定)

[やまぐち教育応援団の校種別活用率]

H26:小89.5% 中94.2% 高98.4% 特支100% → H27:小91.7% 中93.5% 高98.4% 特支100%

参考(国の動き)

検索 ←

コミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりの一層の推進に向けて～全ての学校が地域とともにある学校へと発展し、子供を中心に据えて人々が参画・協働する社会を目指して～
「コミュニティ・スクールの推進等に関する調査研究協力者会議」報告書 H27.3

URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/103/houkoku/1356133.htm

参考(国の動き)

検索 ←

教育再生実行会議 第6次提言

「『学び続ける』社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方について」H27.3.4

URL: <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/teigen.html>

参考（国の動き）

検索

中央教育審議会 答申
新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について H27. 12. 21
URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1365761.htm

参考（国の動き）

検索

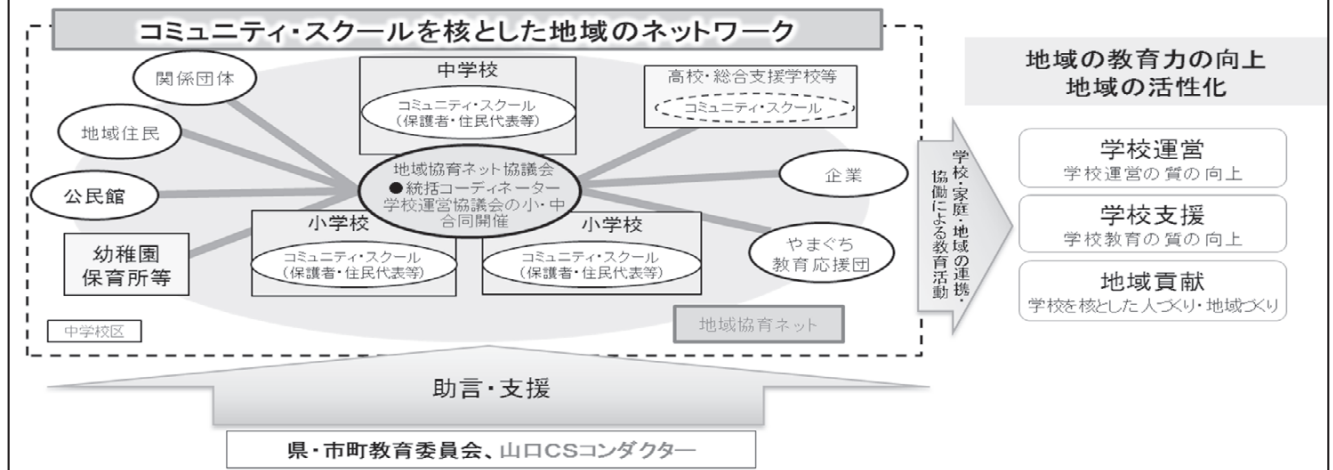
「次世代の学校・地域」創生プラン ～学校と地域の一体改革による地域創生～ H28. 1. 25
URL: http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/01/1366426.htm

取組の推進に向けて

「やまぐち型地域連携教育」の推進

（担当：教育庁全課）

「やまぐち型地域連携教育」の推進



*山口CSコンダクター：各コミュニティ・スクールの取組の充実や水準の向上、小中連携の取組を推進するため、各学校の訪問指導・連携支援を行う。

*統括コーディネーター：中学校区に配置され、学校間の連携や地域の支援者との連絡調整、活動の総合調整などを行う。

コミュニティ・スクールの推進

（担当：義務教育課/高校教育課/特別支援教育推進室）

山口県のめざす「コミュニティ・スクール」3つの機能

- 学校運営** — 学校運営の質の向上
- 学校支援** — 学校教育の質の向上
- 地域貢献** — 学校を核とした人づくり・地域づくり

山口県のめざす「学校像」

- ☆ 地域に開かれた学校
- ☆ 地域の人々の拠り所となる学校
- ☆ 地域づくりに貢献できる学校

学校運営 学校運営の質の向上

学校運営協議会の主な役割

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」

- ・学校運営の基本方針の承認
- ・学校運営に関する意見
- ・教職員の任用に関する意見

- 学校を開き、課題解決に地域と一緒に取り組む。
- 学校運営協議会において学校評価を効果的に活用し、学校運営の改善を図る。
- 学校運営協議会委員の参画による授業参観や評価により、教職員の人材育成を行う。

学校支援 学校教育の質の向上

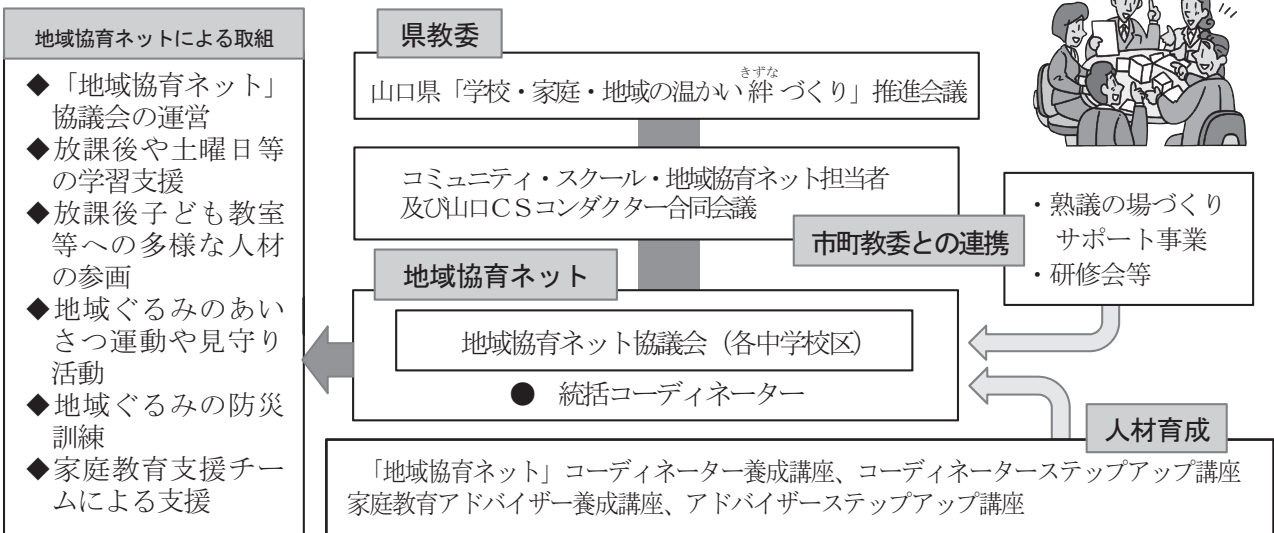
- 学校・家庭・地域で学校課題や目標等を共有し、教育支援活動を充実させる。
- 地域のネットワークを生かし、より多くの地域住民や保護者の参画による教育支援活動を展開し、子どもの豊かな体験や学びにつなげる。
- 学校の様々な活動を地域のボランティアが支援することで、教員が子どもと向き合う時間の確保につなげる。

地域貢献 学校を核とした人づくり・地域づくり

- 子どもが地域行事やボランティア活動に参加することにより、地域の大人とふれあう機会や多様な経験をする機会を増やす。
- 学校という場を地域住民の経験や学習の成果を生かす場、大人の学びの場にしていく。
- 学校という場が、地域住民のよりどころとなり、大人同士の絆きずなを深めていく。

「地域協育ネット」の充実

(担当：社会教育・文化財課)



放課後子ども教室の充実と放課後児童クラブとの連携促進

(担当：社会教育・文化財課)

事業の概要

放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体的又は連携した取組を一層推進
 学校の校庭や教室等を子どもたちの安全で安心な活動拠点（居場所）として開放し、放課後や週末において、子どもたちがスポーツや文化活動、学習等の様々な活動を実施

放課後子ども教室の実施状況 (H27年度)

県内小学校数 300
 放課後子ども教室設置数 195 教室

教育支援員等の研修会の実施 (H27年度)

効果的な支援活動についての指導者の資質向上や情報を交換・共有し、取組の充実を図るため、県内3会場で実施。総参加者数:274名

「やまぐち教育応援団」制度の活用促進

(担当：教育政策課)

制度の概要

子どもの教育活動を支援する県内事業所や団体、地域の人材を認証・登録し、子どものキャリア教育、体験・学習活動の充実・活性化を図る制度



応援団への登録状況

登録事業所等 5,016 事業所等 (H28. 1月末現在)
 (2,536 事業所、2,480 人)

応援団の活用状況 (平成27年度実績)

小学校 276 校 (91.7%) 中学校 144 校 (93.5%)
 高校 60 校 (98.4%) 特別支援学校 13 校 (100%)

26 生涯学習の推進

【取組方針】

- ◆ 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、生涯学習情報の提供体制の充実及び学習機会の提供や学習情報の活用促進を図り、生涯学習を総合的に促進するとともに、学習活動がより充実していくよう、学習成果を社会生活に生かす活動を促進する。

【主な取組】

(担当：社会教育・文化財課)

主な取組と内容	実施主体
■ 生涯学習情報の提供体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」による学習コンテンツや講座情報の提供及び登録情報の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町からの情報入力・更新の促進による検索用の情報、新着ニュース、「山口県子どもホームページ」等の登録情報の充実 ・ 市町の生涯学習活動関係者等を対象とした研修会の実施 ・ 各種研修会や情報誌等によるシステム周知の徹底 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口図書館の蔵書データの提供等、利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口図書館の「図書館ネットワークシステム」による蔵書検索システムの提供 	県
■ 多様な学習機会の提供や活用促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口県セミナーパークや山口図書館・博物館等における学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座や展示等の充実 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学、NPO等による公開講座や体験学習の情報提供とその活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学やNPO等との連携強化 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口県の先人に関する学習機会（「平成の松下村塾」づくり推進事業）の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三世代交流教育講座「平成の松下村塾」の開催（3回） ・ 先人学習コーナー（セミナーパーク内）及びWebページ「平成の松下村塾」による先人紹介コンテンツの提供や関係書籍の整備、展示パネルの増設 	県
■ 学習成果を生かす活動の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域貢献や学校支援等のボランティア活動に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習情報誌「かがやきネット通信」の発刊（12月）及び内容の充実 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア意識を高める啓発と学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種研修会やフォーラムでの事例紹介によるボランティア意識の醸成 ・ 生涯学習に関する学習相談対応 	県・市町

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」閲覧件数（HPアクセス数/年）	126,708 件 (H24)	194,267 件 (H26)	156,000 件	165,000 件

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[生涯学習推進センター、博物館、図書館の講座・展示数] H25:108 講座 126 展示 → H26:106 講座 130 展示
 [かがやきネットやまぐちの「発表する」の実績] H25:1,544 件 → H26:1,847 件

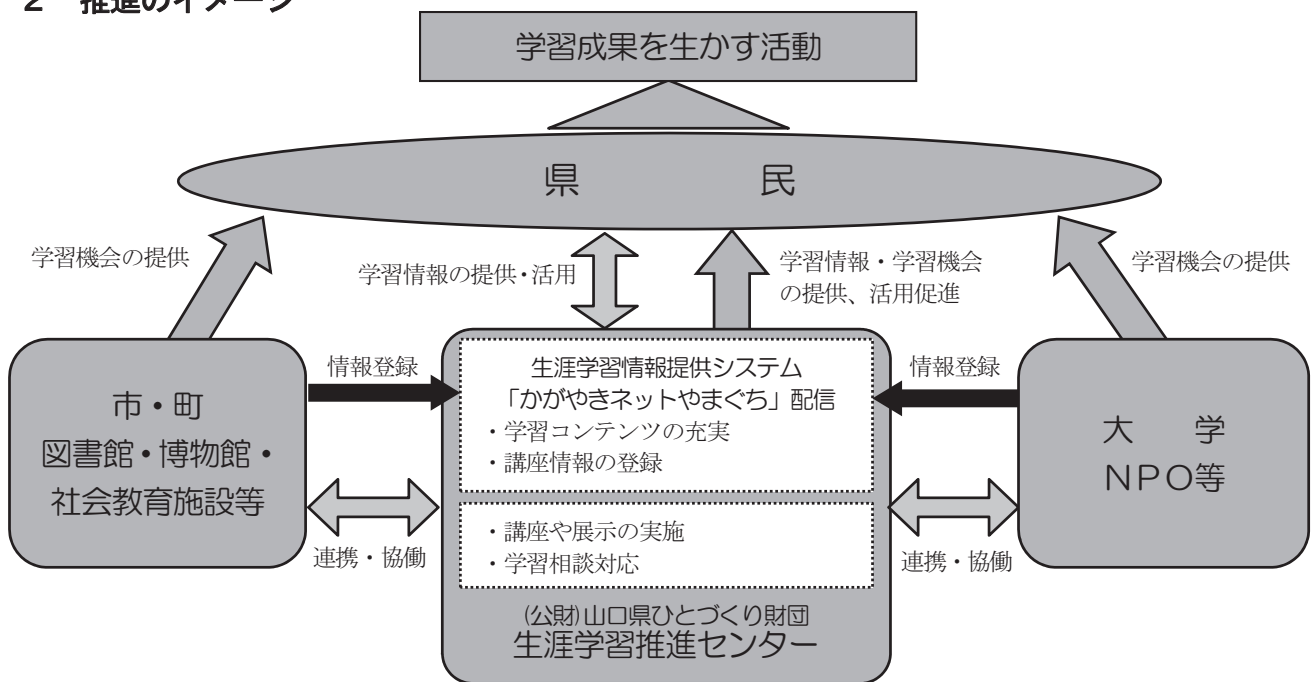
取組の推進に向けて

1 基本的な考え方

県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する。

- (1) 生涯学習情報の提供体制の充実
- (2) 多様な学習機会の提供や学習情報の活用促進
- (3) 学習の成果を生かす活動の推進

2 推進のイメージ



「かがやきネットやまぐち」

○目的

広く県民に生涯学習情報を提供

○内容

- ・さがす (ネットサーチ)
生涯学習情報を検索
- ・学ぶ (ネット学習)
インターネットでビデオ学習
- ・発表する、つながる (ネットギャラリー)
作品を発表

<詳しく知りたい>

◇山口県ひとづくり財団 Web → 「県民学習部」 → 「生涯学習推進センター」

◇社会教育・文化財課 Web → 「かがやきネットやまぐち (山口県生涯学習情報提供システム)」

27 地域社会における人権教育の推進

【取組方針】

- ◆ 「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づいて、人権尊重の意識と自主的な取組の高まりをめざし、市町との連携を図る。また、正確で新しい情報の提供や、職場を含めた地域社会における学習機会の充実に努め、市町が実情に応じて展開する取組を支援する。

【主な取組】

(担当：人権教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 地域社会における自主的な取組への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町等が開催する研修等への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「指針」及び「推進資料」の指導者用資料の活用促進 ・ 地域の実情に応じた研修の充実に図るための情報提供等 ・ 事業所等における人権教育に関する研修会等への支援 ○ 地域と連携した人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育総合推進地域事業による、学校・家庭・地域が連携した実践研究 ・ 市町主催の人権教育に関する研修等への支援 	県・市町
■ 人権教育指導者の養成	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会の中核となる指導者の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育に係る市町の担当者や社会教育関係者等を対象に、研修の企画力や指導スキルの向上をめざした研修を計画的に実施 ・ 指導者間の情報交換等によるネットワークの強化 	県・市町
■ 人権に関する資料の整備と活用の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的人権に関する理解を深めるための資料や情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人権教育推進指導者を対象とした研修会等において、基本的人権や様々な人権課題に関する教材、学習方法を提供 ・ 関係法令の制定や改正等に関する情報を提供 ○ 視聴覚資料等の整備と活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚資料の研究と整備 ・ 視聴覚資料を活用した研修方法の研究 	県・市町

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
地域社会における人権教育の指導者養成に係る 県教委主催の研修会の受講者数	230 人 (H24)	280 人 (H27)	285 人	300 人

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[補助事業の活用状況] H26: 県内市町において 197 講座を開催、20,900 人以上の参加

[市町主催の人権教育研修会におけるビデオフォーラムの実施] H26:15 市町 → H27:13 市町

取組の推進に向けて

〈地域社会における人権教育の推進視点〉

支援体制等の整備・充実

指導者の養成

学習機会の充実

ねらい

市町との連携、職場を含めた地域社会における学習機会の充実により
地域社会における人権尊重の意識と自主的な取組の高まりをめざす。

- 支援体制等の整備・充実
 - ・ 行政機関、社会教育関係団体、各種サークル、地域社会、企業等との一層の連携
 - ・ 人権が尊重された職場づくりに向けた事業所等における取組の支援
- 指導者の養成
 - ・ 「山口県人権推進指針」、「山口県人権教育推進資料」に基づいた研修会や講座等の企画や運営に必要なスキルの習得
 - ・ 学習者のニーズや地域社会の課題等を踏まえた研修内容の検討及びその充実
- 学習機会の充実
 - ・ 市町での取組の成果等についての情報提供及び情報の共有化による学習内容の工夫
 - ・ 県内2地域（柳井市、美祢市）における人権教育総合推進地域事業（文部科学省委託事業）の実施

具現化に向けて

「山口県人権教育推進資料」に基づいた取組

支援体制等の整備・充実

- 「事業所等における人権教育の支援」
 - ・ 市町の既存の組織やネットワークを活用して、事業所等との連携の強化を図る協議、演習
- 「事業所等における研修プログラムづくり」
 - ・ 事業所等の組織の特性に応じた研修計画書の作成

指導者の養成

- 「『山口県人権推進指針』『山口県人権教育推進資料』の理解の深化」
 - ・ 市町人権教育担当者による「指針」「推進資料」の説明原稿作成の演習
- 「地域づくりフォーラム」
 - ・ 地域の人権課題の解決をめざすフォーラム（模擬会議）の実施

学習機会の充実

- 「市町における人権講座の効果的な企画・運営方法」
 - ・ 市町における人権講座の実践資料の分析と効果的な企画、運営方法の協議
- 「人権教育総合推進地域事業を通じた人権が尊重される地域づくり」
 - ・ 地域住民が「地域づくり」に主体的に関わるための活動の設定

「基本的人権に関わる学び」の創造

〈詳しく知りたい〉

◇人権対策室 Web → 「山口県人権推進指針」

◇人権教育課 Web → 「山口県人権教育推進資料」

28 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進

【取組方針】

- ◆ 郷土に誇りと愛着をもち、豊かな感性や創造力をもった児童生徒を育成するため、学校において優れた芸術文化にふれる機会を提供する。
- ◆ 児童生徒の主体的な芸術文化活動を支援し、感動する心を育むため、芸術文化活動の発表の機会を提供する。
- ◆ 伝統文化を尊重・継承し、地域に根ざした芸術文化活動を活性化するため、県立文化施設等と連携した企画展等を充実させるとともに、児童生徒の芸術文化活動を広く県民等に公開する。

【主な取組】

(担当：義務教育課／高校教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 学校現場での優れた芸術にふれる機会の提供	
○ 学校芸術文化ふれあい事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化芸術による子供の育成事業、山口県青少年劇場(演劇7回)、山口県巡回ふれあい事業(音楽6回、演劇8回)、山口県巡回芸術劇場(管弦楽2回、合唱2回、演劇3回、雅楽2回、邦楽2回、能楽2回)の実施 	文化庁 学校
■ 文化活動の発表の機会の提供	
○ 県中学校総合文化祭の開催(長門市) <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い分野の文化活動の発表の場を提供(11月12～13日) 	県・学校 (中)
○ 県高等学校総合文化祭の開催(総合開会式：山口市) <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の芸術文化活動の発表の場を提供(5月～11月) 	県・学校 (高)
○ 県中学校総合文化祭と県高等学校総合文化祭の交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県中学校総合文化祭において高校生の作品を展示するなど、相互の交流を促進 	県・学校 (中高)
○ 全国総合文化祭への派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国中学校総合文化祭(大分県)、全国高等学校総合文化祭(広島県)に生徒を派遣し、芸術文化活動の発表の場を提供するとともに、全国の中・高校生との交流の充実 	県・学校 (中高)
■ 県立文化施設等との連携による企画展や講座等の充実	
○ 美術館等と連携した山口県学校美術展覧会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、保育所、認定こども園、小・中・高等学校、特別支援学校の幼児・児童・生徒の優れた造形作品を一般公開 	県・学校

取組の現状

p-d-Check-a

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28末 目標値	H29末 目標値
国及び県の主催事業である学校芸術文化ふれあい事業を活用して文化芸術の鑑賞を行った児童生徒の割合(公立小・中学校)	34.7% (H24)	42.9% (H26)	基準値の 維持・向上	基準値の 維持・向上

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[山口県高等学校総合文化祭の総参加生徒数] H25：延べ3,013人 → H26：延べ3,188人

[山口県学校美術展覧会入場者数] H26：本展4,487人 巡回展1,116人

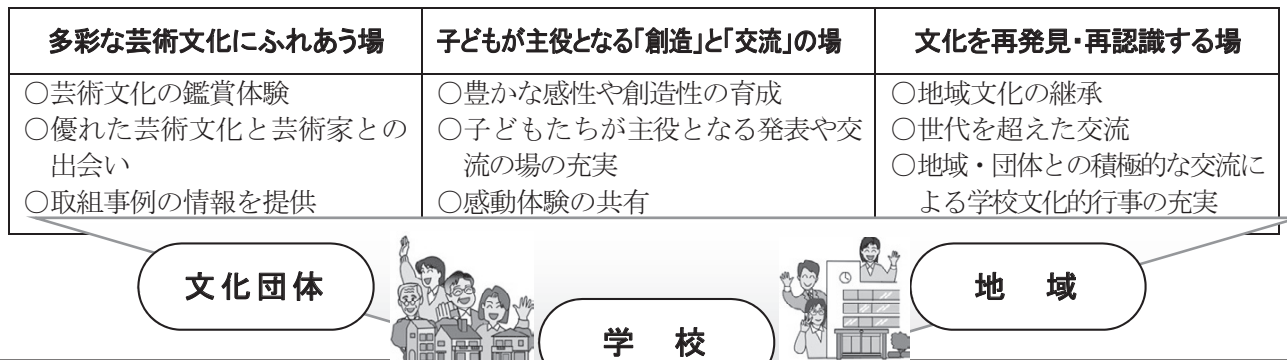
H27：本展3,781人 巡回展1,178人

取組の推進に向けて

芸術文化の振興のためには、一人ひとりが芸術文化にふれ、親しみ、それぞれの個性や感性を磨きながら、自ら文化のつくり手として、芸術文化活動に主体的に取り組んでいくことが大切である。

県教委としては、次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育むための文化環境づくりを、今後一層推進するため、地域や学校において、子どもたちが優れた芸術文化にふれる機会を提供するとともに、文化交流を行う場の充実をめざす。

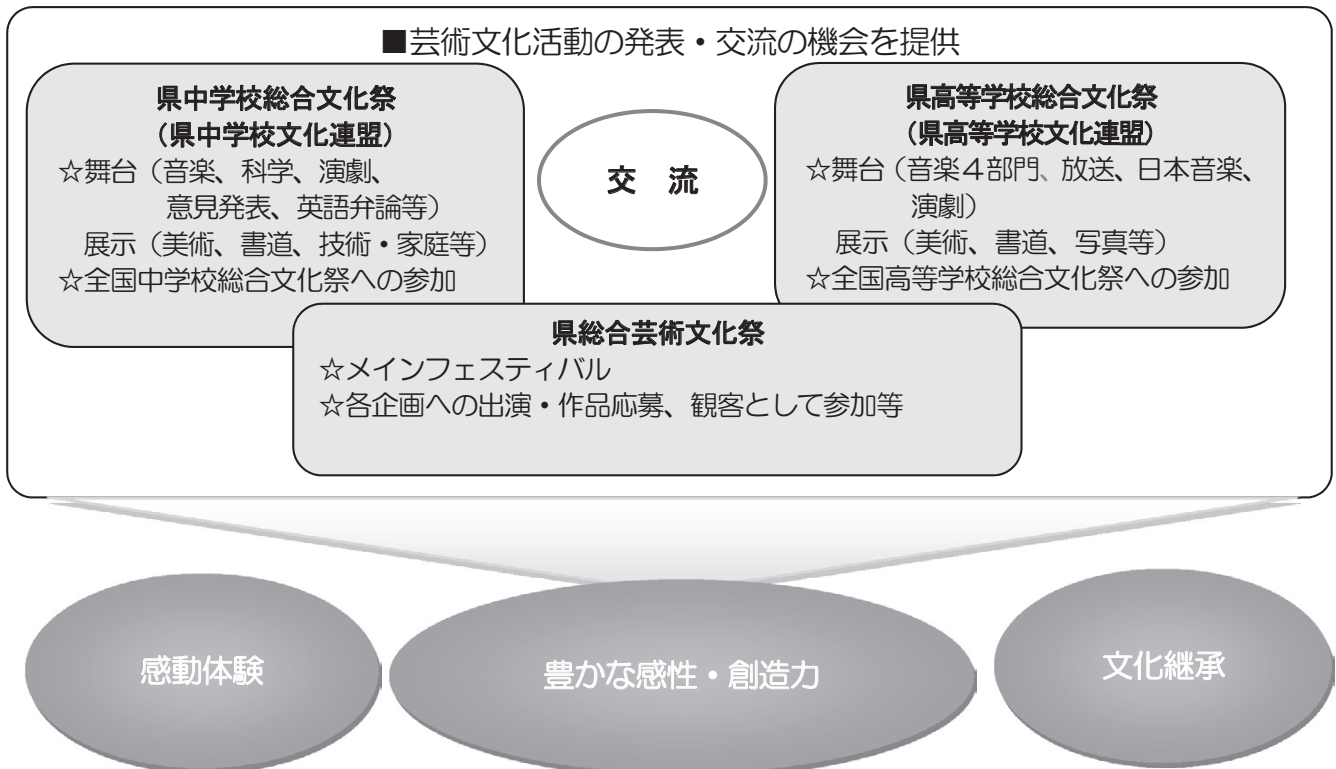
【豊かな感性や創造性の育成・新たな文化の発信】



■優れた芸術文化にふれあう機会の提供

- 文化芸術による子供の育成事業(巡回公演、芸術家の派遣事業)
- 青少年劇場(本・小公演)(音楽、演劇)
- 巡回ふれあい公演(小規模校:音楽、演劇)
- 県巡回芸術劇場(管弦楽、合唱、演劇、雅楽、能楽、邦楽)

■芸術文化活動の発表・交流の機会を提供



29 文化財の保護と活用

【取組方針】

- ◆ ふるさとの文化財を愛する心を育むため、新たな文化財指定やその保存・伝承に努めるとともに、文化財に関する学習の機会の提供を拡充する。
- ◆ 関係各機関と連携し、世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の理解増進・情報発信及び資産の管理保全に向けた取組を推進する。

【主な取組】

(担当：社会教育・文化財課)

主な取組と内容	実施主体
■ 新たな文化財の指定と保存・伝承の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 重要遺跡等確認緊急調査等の実施による新たな文化財の指定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中世城館遺跡総合調査の実施による新たな文化財の指定 ・ 市町指定の歴史資料、史跡等の調査による新たな文化財の指定 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財の保存修理や伝承活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家の指導を踏まえた計画的な保存修理の実施 ・ 無形民俗文化財の伝承と啓発に向けた市町教委との連携の強化 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本遺産認定に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信、普及啓発等の取組への連携と支援 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝鮮通信使関連資料の世界記憶遺産登録に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産 日本推進部会」の取組を支援 	県・市町
■ 文化財を活用した学習機会の提供	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財保護に関する学習の機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財愛護教室の開催（2回） ・ 所有者及び市町教委の協力による建造物修理現場の一般公開 	県・市町 所有者
<ul style="list-style-type: none"> ○ 埋蔵文化財に関する学習の機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町教委との連携による発掘現場の公開と説明会の実施 ・ 埋蔵文化財センターとの連携による出土品に関する速報展の実施 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校における学習の機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒を対象にした文化財出前講座の実施 ・ 地域に根ざした文化財を実感できる講座内容の検討 	県・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ Web 等による文化財情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国・県指定文化財の検索システムの充実 ・ 文化財に関する学習サポートシステムの普及啓発 	県
■ 「明治日本の産業革命遺産」の理解増進・情報発信及び資産の管理保全の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ インタープリテーション（理解増進・情報発信） <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及啓発用DVD・パンフレットの作成・配布 新 出前講座の実施 ・ 人材育成に係る研修会等への参加 ○ 資産の補修整備及び修復整備活用計画の策定に対する支援 	県・市町

取組の現状

p-d-Check-a

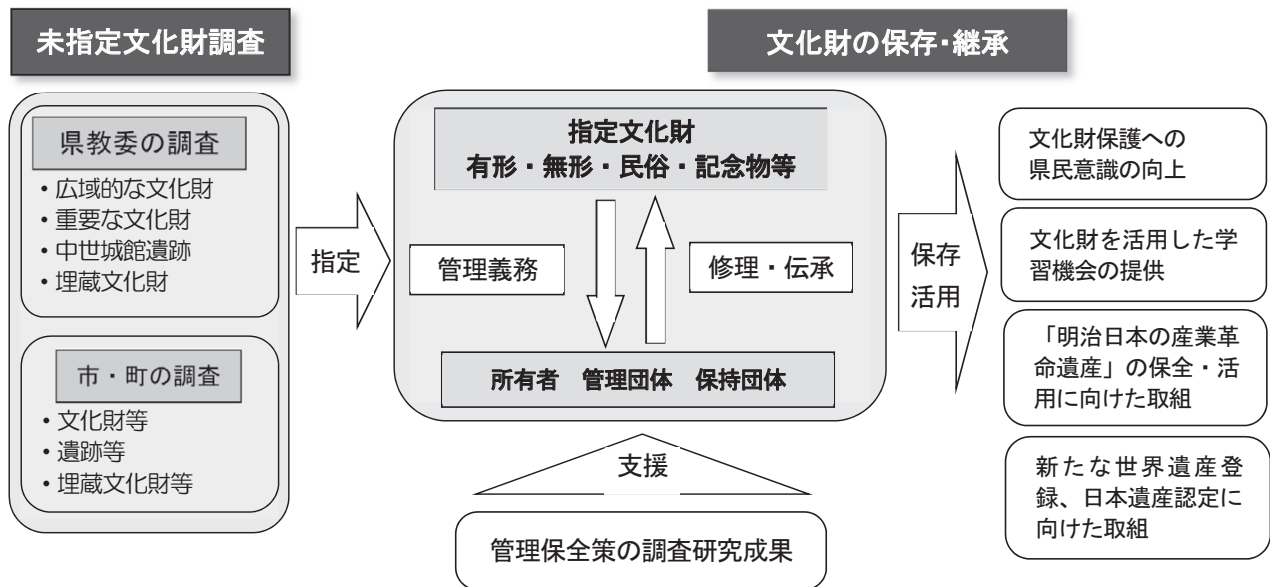
主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
文化財出前講座、文化財愛護教室、発掘現場公開説明会への受講又は参加人数（累計）	1,015 人 (H24)	6,943 人 (H26)	8,000 人	7,000 人
県文化財ウェブページ閲覧件数（HPアクセス数/年）	228,000 件 (H24)	165,618 件 (H26)	268,000 件	278,000 件

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[中世城館総合調査に関する縄張り図の作成件数] H25:21 件 → H26:51 件

取組の推進に向けて

県内に残る有形・無形の文化財は、地域で醸成された伝統・文化の象徴であり、そこで暮らす人々の誇りとなっている。県教委はこれら文化財のうち、特に貴重なものを県指定文化財に指定してその保護を図るとともに、市町教育委員会等と連携して、世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の保全及び活用、また新たな世界遺産登録や日本遺産認定に向けた取組を推進することにより、県民の文化財愛護の精神を培う。



<詳しく知りたい>

- ◇社会教育・文化財課 Web →山口県の文化財（文化財検索システム）
- ◇社会教育・文化財課Web →新指定・登録の文化財
- ◇文化庁ウェブWeb →文化遺産オンライン

30 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

【取組方針】

- ◆ 県民誰もが生涯にわたって、主体的にスポーツ活動に親しむ機会を提供するとともに、中長期的な視点に立った計画的な選手・指導者の養成及び競技水準のレベルアップを図る。
- ◆ スポーツ人材を育成するとともに、市町が行うスポーツ推進によるまちづくりへの支援や、市町と連携したプロスポーツ、サイクルスポーツの振興などにより、スポーツのもつ多様な力を活用した地域づくりを促進する。

【主な取組】

(担当：観光スポーツ文化部スポーツ推進課)

主な取組と内容	実施主体
■ 生涯スポーツの推進	
○ スポーツ活動への参加の促進 ・ スポーツ推進月間(10月)に、やまぐち総合スポーツ大会を開催	県・市町
○ 地域スポーツ推進拠点の整備 ・ 総合型地域スポーツクラブの設立・育成を支援	県・市町
○ 健康及び体力の保持増進 ・ 健康づくり教室の開催	県・市町
○ 障害者スポーツの推進 ・ 選手育成の体制整備やスポーツに親しむ機会の提供	県・市町・ 団体
■ 競技水準の向上	
○ スポーツ選手・指導者の計画的な育成・配置 ・ 選手の育成・強化活動の支援、次世代アスリート発掘やコーチ陣の育成	学校・県・ 市町
○ 競技環境の整備 ・ 国民体育大会等の全国レベルの大会で活躍するため、強化・育成拠点校やトップスポーツクラブの活動等を支援 ・ 平成28年度全国高等学校総合体育大会、平成30年度全国中学校体育大会及び2020年東京オリンピック等を見据えた育成・強化を支援	学校・県・ 団体
○ スポーツ医・科学の徹底活用 ・ 競技特性や選手の個々の技能・身体の発達段階等を踏まえたサポート体制の充実・強化	県
■ 人材の育成	
○ 将来を担う人材の育成 (別途記載の体力の向上等を除く) ・ 地域スポーツ拠点の中心的な役割を果たす指導者やクラブマネージャー等の資質の向上と育成	県
○ スポーツを支える人材の育成 ・ スポーツ推進委員の資質の向上やスポーツボランティアの養成	県・市町
■ 地域の活性化	
○ スポーツの推進によるまちづくり <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">新</div> シンボルイベントの開催やサイクルスポーツ振興による交流人口の拡大を図るためのサイクルスポーツ環境の整備などを推進 ・ 世界大会等キャンプ地誘致の取組への支援やプロスポーツの振興を通じて地域の活性化を推進 ・ スポーツ人口を一層増加させるスポーツを通じたまちづくりの取組を支援	県・市町・ 団体
○ 施設や設備の充実と利用促進 ・ 学校体育施設を含む公共施設の利活用の促進	学校・県・ 市町
○ 県民運動の推進 ・ 県民のスポーツ活動への自主的な参加を促進するための県民運動の展開	学校・県・市町・ 団体・企業

取組の現状

p-d-Check-a

(目標値は山口県スポーツ推進計画の記載の数値)

主な推進指標	基準値 (計画策定時)	最新値	H28 末 目標値	H29 末 目標値
県民のスポーツ実施率	62.3% (H23)	—	—	全国トップ レベル(H34)
国民体育大会総合成績	15位 (H24)	28位 (H27)	10位台	10位台の 維持・定着
「我がまちスポーツ」の取組への参加者	65,000人 (H24)	76,000人 (H26)	—	100,000人 (H34)

[過去一年間にスポーツを行った県民の割合] H26:52.5% → H27:41.6%
 [総合型地域スポーツクラブ育成数] H26:49 → H27:49

取組の推進に向けて

山口県スポーツ推進計画（平成25年3月策定） 4つの基本方針と12の取組の方向

生涯スポーツの推進

県民誰もが、ライフステージを通じて、それぞれの体力や関心、適性等に応じたスポーツ活動に参画できるよう取り組む。

- ①スポーツ活動への参加の促進
- ②地域スポーツ推進拠点の整備
- ③健康及び体力の保持増進
- ④障害者スポーツの推進

競技水準の向上

中・長期的な視点に立った計画的な選手・指導者の養成や、競技水準のレベルアップなどに取り組む。

- ①スポーツ選手・指導者の計画的な育成
- ②競技環境の整備
- ③スポーツ医・科学の活用

人材の育成

子どもたちが、健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎を築くことができるよう取り組む。また、スポーツを支えるボランティア等の育成に取り組む。

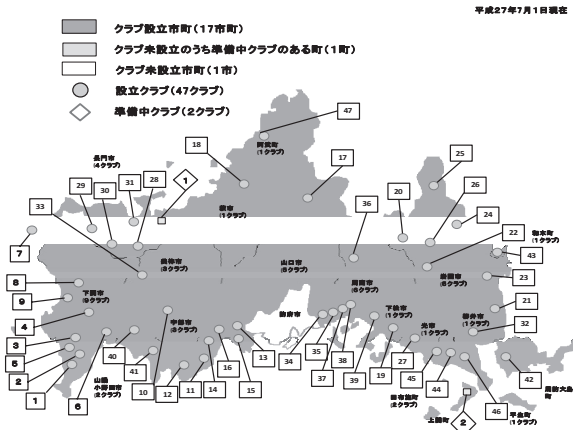
- ①将来を担う人材の育成
- ②スポーツを支える人材の育成

地域の活性化

スポーツのもつ多様な力を活用した地域づくりの促進や、県民が主体となったスポーツ推進活動の環境づくりに取り組む。

- ①スポーツの推進によるまちづくり
- ②施設や設備の充実と利用促進
- ③県民運動の推進

山口県総合型地域スポーツクラブ育成状況



市町名	クラブ名	市町名	クラブ名	市町名	クラブ名
1	いきいき健康スポーツ教室	19	下松市 くだまつ絆星スポーツクラブ	37	今宿スポーツクラブ
2	地域総合型スポーツクラブBLUE ROSE	20	しんきんエンジェルススポーツクラブ	38	鳳南市 くめくめ倶楽部
3	コミュニティクラブ東進	21	(NPO)ゆうスポーツクラブ	39	柳井スポーツクラブ
4	堀川スポーツクラブ	22	KUGASスポーツクラブ	40	出合いちようクラブ
5	川中スポーツ振興会	23	IDBスポーツクラブ	41	山陽小野田市 ずげえちや・高治
6	壬喜スポーツコミュニティクラブ	24	美和スポーツクラブ	42	周防大島町 (NPO)コロトカラダ健栄会
7	角島地区スポーツ育成クラブ	25	ほんごう維新クラブ	43	和木町 和木町総合型地域スポーツクラブ
8	豊田中いなほ倶楽部	26	美山スポーツクラブ まみな会	44	田布施町 田布施スポーツクラブ
9	コムスボケ荘	27	光市 スポーツ(NPO)法人ひかりクラブ	45	田布施町 コミュニティスポーツ城南
10	NPO法人コミュニティスポーツのき	28	クラブネット大相	46	平生町 平生ゆうゆうクラブ
11	Goppoええぞなクラブ	29	長門市 いがみ倶楽部	47	阿武町 宇田ふれあいクラブ
12	NPO法人おもしろファーム	30	徳山スポーツクラブ		
13	徳島県産六ヶ所コミュニティスポーツクラブ	31	長門スポーツクラブ		
14	佐山コミュニティスポーツクラブ	32	柳井市 SASスポーツクラブ		
15	山口市 二島コミュニティクラブ	33	美祿市 むぎがわ元氣クラブ		
16	名田山コミュニティクラブ	34	新南陽市 クリエーションスポーツ推進委員会		
17	コミュニティスポーツクラブあとう	35	周南市 周南にこにこGUTS		
18	萩市 むつみスポーツ振興会	36	徳野スポーツ振興会		

【準備中クラブ】

市町名	クラブ名
1	長門市 三隅コミュニティクラブ
2	上関町 上関町総合型地域スポーツクラブ(仮)

《関連資料》

新しい教育委員会制度・総合教育会議・大綱

【教育委員会制度の改革】

○教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、制度の抜本的な改革を行う。

新しい教育委員会制度について

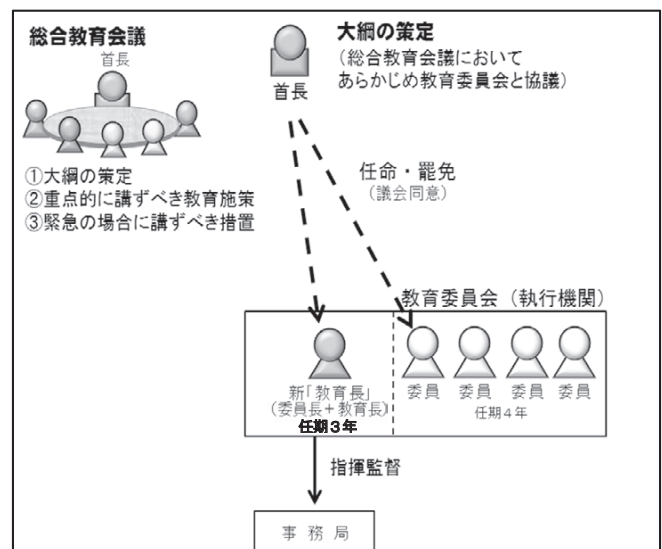
- 教育行政における責任体制の明確化
- 迅速な危機管理体制の構築
- 地域の民意を代表する首長との連携の強化
- 教育委員会の審議の活性化
- いじめによる自殺等が起きた後においても、再発防止のために国が教育委員会に指示できることを明確化

【制度の概要】

○教育委員会は、引き続き、執行機関

○教育行政における責任体制の明確化

- 教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新「教育長」）を置く。
- 教育長は、首長が議会の同意を得て、直接任命・罷免を行う。
- 教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。
- 教育長の任期は3年
（委員は従来どおり4年）



○総合教育会議の設置、大綱の策定

- 首長は、教育行政の大綱を策定する。
- 首長は、総合教育会議を設ける。
- 会議は、首長が招集し、構成員は首長及び教育委員会
- 会議では、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う。

○教育委員会の審議の活性化

- 教育長に委任された事務の管理・執行状況の教育委員会への報告を義務化
- 会議の透明化のため、会議の議事録を作成・公表

山口県総合教育会議について

1 基本的な考え方

教育に関する予算の編成・執行や条例提案等の権限を有している知事と、教育委員会が十分な意思疎通を図り、本県教育の課題やあるべき姿を共有しながら、より一層一体的な教育行政を推進するために設置

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）に基づく義務設置

2 構成員

知事及び教育委員会（教育長及び教育委員）

※必要に応じ、意見聴取者（関係者、学識経験者等）の出席を要請

3 会議の招集等

会議は知事が招集し、原則公開。また、議事録を作成し、公表

4 協議事項

- ① 平成27年度においては、「山口県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」の策定について協議
⇒ 平成27年10月に大綱を策定
- ② 毎年度においては、大綱に基づき重点的に講ずべき施策について協議
⇒ 各年度の「重点取組方針」を決定
- ③ いじめ問題や災害等に伴う児童、生徒等の生命や身体の保護など、緊急の場合に講ずべき措置について協議
⇒ 必要に応じ随時会議を開催

大綱について

○ 大綱とは、教育の目標や施策の根本的な方針

※ 国の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じて、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について定める。

○ 総合教育会議において、首長と教育委員会が協議・調整を尽くし、首長が策定

※ 首長が総合教育会議において、教育委員会と協議・調整し、地方公共団体の教育振興基本計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はない。

○ 首長及び教育委員会は、策定した大綱の下に、それぞれの所管する事務を執行

○ 対象期間については、法律上に規定はないが、首長の任期が4年であることや、国の教育振興基本計画の対象期間を鑑み、平成27年度から平成29年度までの3年間とする。

山口県の教育、学術及び文化の振興 に関する総合的な施策の大綱について

平成 27 年 10 月策定

I 概要

1 策定の趣旨と内容

- 平成 27 年 4 月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 3 の規定に基づき、知事が策定
- 知事と教育委員会の連携の強化を図り、それぞれの所掌事務をより一体的に執行するため、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めた。
- 平成 27 年 3 月に策定した県の総合計画である「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」を基本とし、「山口県教育振興基本計画」との整合を図りながら、チャレンジプランに記載した事項を再構築
- 5 つの基本方針に基づき、主な施策の推進方向について示す。

2 対象期間 平成 27 年度～平成 29 年度（3 年間）

3 5 つの基本方針と施策の推進方向

基本方針 1：社会総がかりでの「やまぐち型地域連携教育」の推進

＜施策の推進方向＞

- ① コミュニティ・スクールの普及・充実
- ② 「地域協育ネット」による子どもたちの育ちや学びの支援

基本方針 2：地域の将来を担う心豊かな人材の育成

＜施策の推進方向＞

- ① キャリア教育の推進
- ② ふるさとやまぐちの心に学ぶ教育の推進や規範意識の醸成

基本方針 3：未来を切り拓く確かな力の育成

＜施策の推進方向＞

- ① 確かな学力の育成
- ② 健やかな体の育成

基本方針 4：質の高い教育環境づくりの推進

＜施策の推進方向＞

- ① 一人ひとりに対応したきめ細かな指導体制づくりの推進
- ② 安心・安全な教育環境づくりの推進
- ③ 大学等との連携・協働による若者の県内定着促進
- ④ 特色ある私学の振興

基本方針 5：県民誰もが学び続ける生涯学習社会の実現

＜施策の推進方向＞

- ① 文化の振興
- ② 文化財の保護と活用
- ③ スポーツの推進
- ④ 生涯学習の推進

Ⅱ 基本方針

本県の元気を創出していくのは人であるとの認識の下、あらゆる世代の人が、学び、活躍し、自己実現できる地域社会づくりを進めていくためには、未来を担う人を育てることが重要です。

また、本県には、豊かな先見性、進取の気質、質実剛健の気風、郷土を愛し郷土に奉仕する精神とともに、「若さに期待し、若さに託してきた」優れた教育風土に代表される防長教育の良き伝統があります。

こうした本県の貴重な財産をしっかりと継承し、県行政全体で、次代を拓く子どもたちや若者を育成するため、次の5つを基本方針として、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策を推進します。

基本方針1 社会総がかりでの「やまぐち型地域連携教育」の推進

全国一の設置率であるコミュニティ・スクールが核となり、山口県独自の取組である「地域協育ネット」の仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校、家庭、地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進し、地域教育力の向上・地域の活性化を図り、「地域教育力日本一」の実現をめざします。

基本方針2 地域の将来を担う心豊かな人材の育成

様々な人とのつながりや支え合いが求められるこれからの社会において、他者を思いやり、共感したり、感謝したりする豊かな心を育み、ふるさとに誇りと愛着を持ち、積極的に社会の形成に参画し、その発展に貢献していく、地域の将来を担う人材を育成します。

基本方針3 未来を切り拓く確かな力の育成

グローバル化・高度情報化の進展など、急速に変化する社会において求められる基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力などの確かな学力を身に付け、生涯にわたって学び続ける子どもたちを育成します。また、健康の増進や体力の向上などにより健やかな体を育み、自信と希望を持って自らの将来や社会を力強く切り拓いていく確かな力をもつ子どもたちを育成します。

基本方針4 質の高い教育環境づくりの推進

子どもたち一人ひとりが抱える課題が複雑・多様化する中、これらの諸課題に適切に対応するとともに、学校施設の耐震対策や防災教育の充実など、子どもたちが夢や目標を志に高め、未来に向かって挑戦できるよう、ソフト・ハード両面にわたり、質の高い教育環境づくりを進めます。

基本方針5 県民誰もが学び続ける生涯学習社会の実現

県民が生涯にわたって学び続け、学んだことを生かすことができる生涯学習社会の実現と、学びを通じた地域の人々のつながりづくりを進めます。

また、県民誰もが生涯にわたって主体的に文化・芸術・スポーツ等に親しめる環境を整えるとともに、スポーツや文化芸術、ふるさとの文化財を活用した人づくり、地域づくりを進めます。

Ⅲ 施策の推進方向

基本方針を踏まえた施策の推進方向は次のとおりです。

基本方針1 社会総がかりでの「やまぐち型地域連携教育」の推進

<施策の推進方向①>

コミュニティ・スクールの普及・充実

全国トップである「コミュニティ・スクール」設置率の100%達成と、その取組の充実を図ることにより、地域と学校が連携・協働して子どもたちを育成します。

【主な取組】

- コミュニティ・スクールの全市町立小・中学校への設置や「山口CSコンダクター」の配置による小・中学校のコミュニティ・スクールの取組の充実、小中連携の促進など、全県的な推進体制の強化
- 地域住民の理解及び参画促進や活動内容の充実に向けた支援
- 県立高校・総合支援学校へのコミュニティ・スクール設置

<施策の推進方向②>

「地域協育ネット」による子どもたちの育ちや学びの支援

本県独自の取組である「地域協育ネット」の全県への普及、活動の充実を図ることにより、地域ぐるみで幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの学びや育ちを見守り支援していきます。

【主な取組】

- 推進会議設置や表彰制度の創設など、「地域協育ネット」の全県的な取組を推進する体制の強化
- 「地域協育ネット実践事例集」の作成・配布など、県・市町・学校からの情報発信、成果の普及
- 地域と学校をつなぐ統括コーディネーターの全中学校区への配置と計画的な養成など、地域ぐるみの教育を推進するための人材の育成

基本方針2 地域の将来を担う心豊かな人材の育成

<施策の推進方向①>

キャリア教育の推進

児童生徒の社会的な自立を支援するとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもたちを育成するなど、キャリア教育の充実を図ることにより、地域の将来を担う若者の県内定着や、やまぐちへの還流を促していきます。

【主な取組】

- 小・中・高連携によるキャリア教育の効果的な実践など、系統的・計画的なキャリア教育を推進
- 学校と家庭、地域、産業界等が連携した“オールやまぐち”でのキャリア教育の実施
- 職場見学、職場体験活動、インターンシップ等の体験活動の充実
- キャリア教育を通じた“ふるさと山口”の再発見
- 県内企業等の魅力を伝える取組の強化と県内就職の促進

<施策の推進方向②>

ふるさとやまぐちの心に学ぶ教育の推進や規範意識の醸成

豊かな心を育み、郷土に誇りと愛着を持ち、自信と希望を持ってたくましく生き抜いていく、ふるさとやまぐちを愛し主体的に社会の形成に参画する子どもたちを育成します。

【主な取組】

- ふるさとにゆかりのある人材、資料等を活用した道徳教育の充実
- ふるさとを愛する心を育み、いじめの未然防止等、児童生徒の健全育成を目的とした自然体験やボランティア活動等の充実
- 道徳教育や体験活動に関する好事例等の情報共有や相互交流の推進

基本方針3 未来を切り拓く確かな力の育成

<施策の推進方向①>

確かな学力の育成

授業改善など学校における組織的な取組や家庭・地域が一体となった取組などにより、子どもたちの基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や活用する力の育成、主体的に学習に取り組む態度を育成します。

【主な取組】

- 全校体制による年2回の学力検証改善サイクルの確立
- 学校、家庭、地域が連携・協働して取り組む学習指導及び家庭教育支援の推進
- 生徒の主体的・協働的な学びを推進するオリジナリティあふれる教育活動の充実
- グローバル化社会で活躍できる人材の育成

<施策の推進方向②>

健やかな体の育成

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むため、「食育」「遊び・スポーツ」「読書」に一体的に取り組む「子どもの元気創造」の取組を展開し、心身ともに健康で、たくましい子どもたちを育成します。

【主な取組】

- 望ましい食習慣や読書習慣の定着などに向けた、学校、家庭、地域が一体となった取組の推進
- 運動機会の充実など運動習慣の定着に向けた取組の推進

基本方針4 質の高い教育環境づくりの推進

<施策の推進方向①>

一人ひとりに対応したきめ細かな指導体制づくりの推進

学力向上やいじめ・不登校など、子どもたち一人ひとりが抱える課題が複雑・多様化する中、これらの諸課題に適切に対応することができるよう、きめ細かな指導体制の整備、相談・支援体制づくりや、多様なニーズに対応した特色ある学校づくりを推進します。

【主な取組】

- 小・中学校全学年での完全35人学級の実施や課題解決型少人数指導の充実
- いじめの未然防止や早期対応、相談・支援体制の充実
- 新たな職業学科の設置など共生社会の形成に向けた特別支援教育の充実
- 第2期県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり、学校・学科の再編整備の推進

<施策の推進方向②>

安心・安全な教育環境づくりの推進

児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、学校施設の耐震化や防犯を含む生活安全、交通安全、災害安全(防災)の取組を総合的に進めます。

【主な取組】

- 学校施設の耐震化の早期完了など安全で良好な教育環境の整備
- 教職員の安全意識の向上や危機対応能力の強化など学校安全対策の推進

<施策の推進方向③>

大学等との連携・協働による若者の県内定着促進

大学等と連携して、県内進学へ向けた県内大学の魅力向上や、山口県内への人材定着に向けた県内就職の促進等により、高校生・大学生等の若者の県内定着を進めます。

【主な取組】

- 大学等における新規学卒者等の県内就職・定着に向けた取組との連携
- 大学等の魅力向上による県内大学等への進学促進
- 山口県立大学における「地域貢献型大学」としての機能強化

＜施策の推進方向④＞

特色ある私学の振興

建学の精神や独自の教育理念に培われた特色ある教育活動を展開し、本県の公教育に大きな役割を果たしている私立学校の振興を図ります。

【主な取組】

- 私立学校の経常的経費を対象とした補助や私立高校生の授業料等の軽減事業に対する補助など、私学助成の充実による私立学校への支援
- 預かり保育や地域における子育て支援の取組など、地域に開かれた幼稚園づくりを行う私立幼稚園への支援

基本方針5 県民誰もが学び続ける生涯学習社会の実現

＜施策の推進方向①＞

文化の振興

県民誰もが、文化芸術を創造・発表したり、鑑賞・体験して楽しみ、文化芸術に親しめる企画の実施や環境の整備を行い、文化芸術活動の機会を充実していきます。

また、次代を担う子どもたちが、地域や学校などで直に文化芸術に触れて、興味や関心を持ち、豊かな感性や創造性を育むことにより、文化芸術の分野をはじめ、将来様々な分野で活躍できるよう教育環境づくりを進めます。

【主な取組】

- 美術館・文化ホールの機能充実など県民誰もが文化芸術に親しめる環境づくりの推進
- 子どもたちが文化芸術に触れ、親しむ機会を充実するなど文化芸術による人づくり・地域づくりの推進

<施策の推進方向②>

文化財の保護と活用

新たな文化財の掘り起こしによる指定、県民共有の財産である文化財の保存・伝承し、その魅力を高めていくとともに、文化財に関する学習の機会を提供することにより、ふるさとの文化財を愛する心を育てていきます。

【主な取組】

- 新たな文化財の掘り起こしによる指定、国や地元と連携した補修・整備など文化財の指定と保存・伝承の推進
- 建造物修理現場や発掘現場の公開、出前講座の実施等、体感しながら学べる機会の拡充

<施策の推進方向③>

スポーツの推進

県民誰もが生涯にわたって、それぞれの体力や関心、適性等に応じて、自発的にスポーツ活動に参加できる環境を整えるとともに、中・長期的な視点に立って競技水準のレベルアップに取り組めます。また、スポーツを通じた人材育成や東京オリンピック等の世界大会を契機としたスポーツ推進によるまちづくりなどの地域の活性化を進めます。

【主な取組】

- 県民誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツの推進
- 中・長期的な視点に立った選手・指導者の育成や競技水準の向上
- スポーツを通じた人材育成と地域の活性化

<施策の推進方向④>

生涯学習の推進

県民一人ひとりが、生涯にわたって主体的に学習に取り組み、その成果を社会生活に生かす活動を促進していきます。

【主な取組】

- 「情報提供の充実」「多様な学習機会の提供」「学習成果を生かす活動」を柱とした生涯学習の推進
- 実践型のプログラムを取り入れた三世代交流教育の推進

平成28年度の重点取組方針と重点的な取組について

1 基本方向

- (1) 地方創生に向け、人口減少問題が現下の最重要課題であり、その克服は本県教育分野でも大きな課題。
- (2) 地方創生を成し遂げるためには、将来にわたって本県を支える人材の育成は欠かせないものであり、教育の果たす役割は極めて重要。
- (3) このため、県と県教育委員会が共通意識を持ち、一丸となって、地方創生の実現を教育分野から取り組んでいくことが必要。
- (4) 平成28年度は、山口県教育大綱に即し、地域や本県産業を担う人材の育成や県内定住、還流を促進する取組を強化。

2 重点取組方針と重点的な取組

(1) 地域や本県産業を担う人材の育成

- ① コミュニティ・スクールの取組の充実や小中連携の強化、県立高校での導入など、社会全体で子どもの育ちを支える環境づくりの一層の推進

- 設置率100%となる予定のコミュニティ・スクールを核とし、地域教育ネットの仕組みを生かしながら、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組を強化する

【重点取組】

《全県的な推進体制の更なる強化》

- 学校や地域間における「やまぐち型地域連携教育」の取組の差を解消するため、全市町へコミスクコンダクターを配置

《推進の核となる人材の養成・配置》

- 新たに各コンダクターの指導助言を行う「統括コンダクター」を配置し、活動を指導・支援する体制を充実

《活動内容の充実》

- 地域における家庭教育に係る相談・支援体制を強化するため、教育と福祉が連携した訪問型支援体制を構築
- やまぐち型地域連携教育実践事例集の作成配布などによる優れた活動の普及啓発や、活動成果を全国に発信
- 県立高校(3校)にコミュニティスクールを導入し、地域的・社会的な課題の解決に取り組む「地域に愛され地域とともにある学校」づくりを推進

② ふるさとやまぐちを愛する心を育て定住意識の醸成につながるよう、小・中・高の各段階に応じた、郷土の理解や誇り等を育む教育を推進

- 郷土に誇りと愛着を持ち、自信と希望を持って、たくましく生きていく、ふるさとやまぐちを愛し主体的に社会に参加する子どもたちを育成する

【重点取組】

《故郷を愛する心の育成》

- 中山間地域の民泊施設等を活用した宿泊体験や自然体験活動などを通じて、ふるさとを愛する心を育み、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育成
- 地域の将来を担う心豊かな人材を育成するため、ふるさとにゆかりのある人材や資料等を活用した「三世代交流教育講座」の開催や学習環境を整備

③ 児童生徒が将来の職業等の選択幅を広げることができるよう、本県産業や県内企業への関心と理解を深める教育活動の強化

- 児童生徒の社会的自立を支援するとともに、故郷に愛着を持ち、地域に貢献する子どもたちを育成するなど、キャリア教育の充実を図る

【重点取組】

《系統的・計画的な取組》

- 小・中・高連携によるキャリア教育の効果的な実践と、学校、家庭、地域、産業界等におけるキャリア教育の連携強化
- キャリア教育を通じた「ふるさと山口の再発見」ができるよう、職場体験型のインターンシップや地域活性型インターンシップ、企業訪問等を実施

④ 児童生徒が自らの未来を主体的に切り拓いていけるよう、主体的に学習する態度や確かな学力の育成

- 全ての児童生徒の学力の向上を図るため、学力や学習状況の客観的、経年的な把握・分析を行い、課題解決に向けた指導方法の工夫改善や、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進する

【重点取組】

《学力向上に向けた取組》

- 「学力定着状況確認問題」の全県一斉実施や、その結果分析に基づく学力向上の取組の検証と課題解決方策の検討、Webに掲載している「やまぐち学習支援プログラム」の問題改訂などの学習内容の充実、また、学力向上に向けた気運醸成のため、「山口県学力向上推進フォーラム」を開催
- 次代を担う科学技術系人材の育成のため、小・中学校段階からの科学への興味関心の喚起から、高校段階の「理数教育推進拠点校」での質の高い取組、また「科学の甲子園」山口県大会の開催や、国際科学オリンピック出場を目指す取組など、系統的・継続的な理数教育を実施

(2) 若者の県内定着・還流の促進

- ① 高校生の県内就職と地域産業を担うスペシャリストを育成するため、地元企業と連携し、企業ニーズに即した実践的な職業教育等を推進

- 将来の県内産業を支える人材を育成するため、高校の実践的な知識・技術の習得を図るとともに、地域産業等への理解と地域貢献に対する意識を高め、生徒の主体的な県内就職を促進する

【重点取組】

《産学公連携の取組》

- 地元企業等との連携による現場実習や共同研究などの実績を踏まえ、新たに他校・他学科との連携を加え、地域の課題解決などにつながる実践的な活動を展開

《実習環境の整備》

- 専門高校に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を計画的に整備

《就職支援体制整備》

- 県内就職サポーター等の配置や地域産業についての県内就職ガイダンス等の開催など、組織的な就職支援体制の一層の充実

- ② 高校生がその能力や意欲に応じ、県内大学等への主体的な進路選択につながるよう、高大連携による共同研究や相互交流等の推進

- 高校生の県内進学者数の増加に向け、県内大学等と連携して県内大学がもつ魅力や良さについて、高校生や親の理解を深め、高校生の主体的な県内大学等への進学を促進する

【重点取組】

《高大連携の取組》

- 県内大学の魅力を知るための県内大学生と高校生によるディスカッションや、大学の学習内容・大学生活等に関する講話の実施、県内大学のオープンキャンパス・研究室訪問等の参加経費を支援

《県内進学情報の発信》

- 県内大学、専門学校等の研究成果や将来の就職情報などを交えた進路相談、県内の仕事紹介等の実施

③ 大学生等の県内就職・定着の促進に向け、大学等と県内企業とが連携を強化し、本県企業の特徴や魅力を学生に直接伝える機会の拡大

- 大学や企業等との連携を強化したインターンシップ事業の推進や企業セミナー等、大学生等が県内中小企業の魅力に触れる機会を拡大することで、本県企業の特徴や魅力発信を強化する

【重点取組】

《インターンシップの総合的な推進》

- COCプラス事業に取り組む大学や企業等との連携を強化したインターンシップの推進
- 学生と県内企業とのマッチングを行うコーディネーターの増員やインターンシップ参加学生への交通費・宿泊費の助成等、インターンシップ実施体制を強化

《県内中小企業の魅力発信》

- 低学年の大学生等を対象とした企業セミナーや保護者や大学関係者を対象とした企業見学バスツアーの実施等、県内中小企業への若者の就職・定着を促進

平成28年度

教育委員会当初予算の概要

山口県教育委員会

目次

I 教育委員会当初予算の基本的な考え方	129
II 予算規模等	130
III 緊急・重点プロジェクト等主要事業	131
1 地域ぐるみの教育推進プロジェクト	132
2 確かな学力育成プロジェクト	135
3 豊かな心育成プロジェクト	137
4 子ども元気創造プロジェクト	139
5 グローバル人材育成プロジェクト	141
6 ものづくり人材育成プロジェクト	143
7 魅力ある学校づくりプロジェクト	145
8 安心・安全な学校づくりプロジェクト	147
9 教職員人材育成プロジェクト	148
10 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト	149
11 その他の主要事業	149
関連資料	151
IV 施策体系別事業一覧	154
1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	156
2 質の高い教育環境づくりの推進	162
3 生涯にわたる県民総参加の教育の推進	166
V イベント等一覧	170

I 教育委員会当初予算の基本的な考え方

県教委では、急激な社会の変化や国の教育改革の動向とともに、本県の子どもたちの状況も踏まえた上で、平成 25 年 10 月に、本県教育の指針となる「山口県教育振興基本計画」を策定し、本県教育の振興に向けた様々な施策を総合的かつ計画的に推進しています。

また、平成 27 年 3 月には、新たな県政運営の指針となる「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」が策定されたことから、教育振興基本計画の「10の緊急・重点プロジェクト」の取組内容等とチャレンジプランに掲げる内容との整合性を確保するための改定を行いました。

こうした中、県では、平成 27 年 10 月に、人口減少対策に重点的に取り組むため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を取りまとめ、チャレンジプランと整合性を取りながら、産業・地域・人材の活力創出に積極的に取り組むこととし、平成 28 年度当初予算においては、本年度の取組の上に立って、チャレンジプラン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の実現のため、施策の見直し・充実を図りながら、こうした取組を支える持続可能な財政構造の確立に向けた一層の財政健全化に努め、「活力みなぎる山口県」の実現に向けた新たな県づくりを精力的に進めることとされました。

県教委においても、こうした県の予算編成方針を踏まえ、チャレンジプラン、まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合を図りながら、教育振興基本計画に掲げる「10の緊急・重点プロジェクト」に沿った施策の重点化を図るとともに、本県教育の目標である「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」の実現をめざし、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」「質の高い教育環境づくりの推進」「生涯にわたる県民総参加の教育の推進」の3つの柱に沿って体系的、総合的に諸施策を推進していきます。

Ⅱ 予算規模等

1 予算規模

(単位:千円、%)

区 分	平成 28 年度			平成 27 年度		増減額(A-B)
	当初予算額 A	構成比	対前年度比	当初予算額 B	構成比	
教育委員会所管	135,246,975	19.2	100.6	134,396,103	19.0	850,872
県一般会計	702,592,474	—	99.4	706,603,751	—	△4,011,277

2 内 訳

【目的別内訳】

(単位:千円、%)

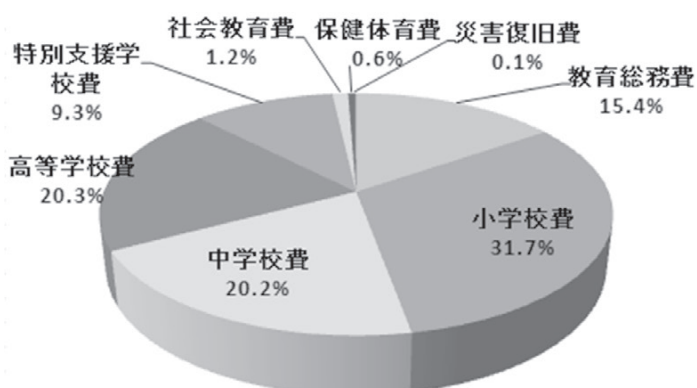
区 分	平成 28 年度		平成 27 年度	増減額(A-B)
	当初予算額 A	対前年度比	当初予算額 B	
教育総務費	20,895,259	109.6	19,068,287	1,826,972
小学校費	42,828,349	98.4	43,528,846	△700,497
中学校費	27,322,943	98.5	27,746,339	△423,396
高等学校費	27,434,229	94.8	28,948,801	△1,514,572
特別支援学校費	14,345,828	114.8	12,494,673	1,851,155
社会教育費	1,598,379	81.9	1,950,721	△352,342
保健体育費	761,988	127.3	598,436	163,552
災害復旧費	60,000	100.0	60,000	0
計	135,246,975	100.6	134,396,103	850,872

【経費別内訳】

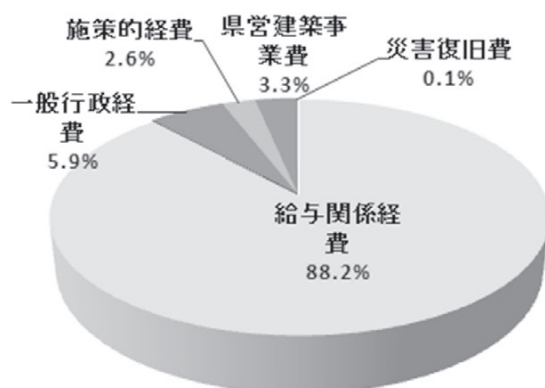
(単位:千円、%)

区 分	平成 28 年度		平成 27 年度	増減額(A-B)
	当初予算額 A	対前年度比	当初予算額 B	
給与関係経費	119,312,101	100.2	118,999,484	312,617
一般行政経費	7,998,607	98.4	8,125,882	△127,275
施策的経費	3,477,856	117.4	2,962,724	515,132
県営建築事業費	4,398,411	103.5	4,248,013	150,398
災害復旧費	60,000	100.0	60,000	0
計	135,246,975	100.6	134,396,103	850,872

【目的別内訳】



【経費別内訳】



Ⅲ 緊急・重点プロジェクト等主要事業

◆本県教育の緊急課題や重点的な課題に対応するため、10のプロジェクトを集中的に推進

1 地域ぐるみの教育推進プロジェクト

「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」の取組を充実させ、学校、家庭、地域が連携・協働して次代を担う子どもたちの育成を図ります。また、多様な世代の交流を通して、地域の歴史や伝統文化等を次世代に伝える取組を進めます。

2 確かな学力育成プロジェクト

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や活用する力の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けて、PDCAサイクルによる授業改善の取組など学校における組織的な取組や家庭・地域と一体となった取組を推進します。

3 豊かな心育成プロジェクト

子どもたち一人ひとりが規範意識や思いやりの心を育み、豊かな人間関係を築くことができるよう、道徳教育の推進や体験活動の充実を図るとともに、豊かな感性や創造性をもつ心豊かな子どもの育成に向け、文化芸術活動の充実を図ります。また、専門家や関係機関を活用した相談体制の一層の充実を図ります。

4 子ども元気創造プロジェクト

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むため、「食育」「遊び・スポーツ」「読書」に一体的に取り組む「子ども元気創造」の取組を効果的に展開し、心身ともに健康で、たくましい子どもたちを育成します。

5 グローバル人材育成プロジェクト

目標や課題にチャレンジし、グローバルな視点やリーダーシップをもって行動できる人材の基盤となる資質能力の育成に向け、郷土をはじめ日本や諸外国の伝統・文化を理解・尊重する態度や国際協調・協力を実践する態度、実践的な語学力・コミュニケーション能力等を育成します。

6 ものづくり人材育成プロジェクト

科学技術の進歩や産業構造が変化する中、子どもたちが地域産業を理解し、ものづくり等への興味・関心をもつとともに、将来の地域産業を担う人材となれるよう、地域や産業界等との連携を深め、実践的な学習活動の展開やきめ細かな就職支援の充実を図ります。

7 魅力ある学校づくりプロジェクト

選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開など、より質の高い高校教育を提供するため、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備を推進します。また、障害の多様化や児童生徒数の増加等に対応した総合支援学校の整備ときめ細かな支援体制の充実等を図ります。

8 安心・安全な学校づくりプロジェクト

子どもたちが安全に、安心して教育が受けられるよう、東日本大震災を教訓とした防災対策や、学校、通学路における安全確保対策の充実を図るとともに、耐震対策後の校舎改築や施設の設備の老朽化対策等を進めます。

9 教職員人材育成プロジェクト

今後、教職員の大量退職が加速化し、新規採用教職員の増加が見込まれることから、「教職員人材育成基本方針」に基づき、意欲と実践的指導力を有する教職志願者の確保や現職教員の継続的な育成、さらには、学校運営・校内指導体制の充実に向けた取組を推進し、複雑化・多様化する教育課題に的確に対応できる教職員の育成を図ります。

10 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

平成27年度に開催された第23回世界スカウトジャンボリーの成果を活かした取組を推進し、次代を担う青少年の国際理解と健全育成を推進します。

1 地域ぐるみの教育推進プロジェクト

(単位：千円)

新やまぐち型地域連携教育強化推進事業

総合戦略

55,584

コミュニティ・スクール（CS）が核となり、地域協育ネットの仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組を充実させることにより、「地域教育力日本一」の推進を図ります。

■山口県コミュニティ・スクール推進協議会の開催

コミュニティ・スクールに係る県の施策充実や各学校の取組改善に向けた協議

[委員構成] 各市町推進協議会代表、学識経験者、小中校長会代表、市町教育長代表 等

[回数] 2回

■新やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバルの開催

県内のCS設置率100%達成を記念し、「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果を県内外に発信

[参加者] 地域住民、保護者、教職員、中高生、コーディネーター、山口CSコンダクター 等

[実施内容] 基調講演、パネルディスカッション、実践発表、DVD放映 等

■^{コミスク}山口CSコンダクターの配置

各学校運営協議会や小・中学校合同の学校運営協議会の指導・支援

[配置] 13市に加え、周防大島町及び熊毛郡3町（兼務）に各1名

（計15名、和木町及び阿武町は近隣市の山口CSコンダクターが兼務）

■新統括コンダクターの派遣

各山口CSコンダクターの活動を支援する統括コンダクターを派遣

■新やまぐち型地域連携教育PR用DVDの作成

地域住民等への啓発資料として、地域連携教育の取組等を映像化して、県内外に配付

■新コミュニティ・スクール・地域協育ネット担当者及び山口CSコンダクター合同会議の開催

やまぐち型地域連携教育の充実に向けた担当者が一堂に会しての連携会議

[実施内容] 先進事例発表、講演、グループ別協議 等

[実施回数] 年3回

■新やまぐち地域連携教育の集いの開催

「やまぐち型地域連携教育」について県民への周知を図り、推進気運を醸成（県内7地域）

[参加者] 地域住民、保護者、教職員、コーディネーター、山口CSコンダクター 等

[実施内容] 実践発表、講演、熟議 等

■新やまぐち型地域連携教育実践事例集の作成

CSや地域協育ネット取組を事例集としてまとめ、県内外に配付

■新家教育支援担当者会議の開催

「家庭教育支援チーム」設置に向けた課題共有・解決策等を協議（年2回）

■新訪問型家庭教育支援事業

訪問型家庭教育支援に向けた体制構築等

■新「地域協育ネット」コーディネーターステップアップ講座の開催

実践力、リーダー資質、企画調整力の向上等に向けた演習等（年4回）

地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支えるため、学校・家庭・地域の連携・協働による全中学校区での教育支援体制（地域協育ネット）を活用した教育支援活動等の一層の充実を図ります。

■「地域協育ネット」体制構築 【実施主体：市町】

○「地域協育ネット」協議会（全中学校区に設置）の運営補助

[役割] 活動計画の策定、支援活動の企画・運営、支援員の登録

[委員構成] 統括コーディネーター、学校、PTA、行政、地域関係団体等

○統括コーディネーターの配置

[役割] 学校・家庭・地域の課題・ニーズの把握、教育支援活動を実施するための連絡調整等

■「地域協育ネット」活動支援 【実施主体：市町】

○学校等を拠点とした教育支援活動事業

[活動内容] 授業や放課後等の学習支援、学校行事・地域行事の支援、学校等の環境整備、部活動支援等

○家庭教育支援事業

■放課後子ども支援事業 【実施主体：市町】

[実施内容] ・余裕教室等を活用した放課後の子どもの学習、体験・交流活動等の支援
・放課後児童クラブ（学童保育）との連携

■土曜日の教育活動支援事業 【実施主体：市町】

[実施回数] 年間10日程度

[実施例] エンジニアによる算数講座、在外経験者による英会話、ふるさと学習塾等

■全県的な推進体制の強化等 【実施主体：県】

○山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の設置

[委員構成] 統括コーディネーター、CS推進協議会、PTA、校長会、企業等の代表者

[実施回数] 年2回

○市町の取組支援

○研修会の開催

[事業内容] ・コーディネーター養成講座（年8回）

・家庭教育アドバイザーステップアップ講座（年4回）等

○地域社会と連携した高校生スキルアップ事業

[実施回数] 年間10日程度

[実施例] 論理的・批判的思考力養成講座、和太鼓を活用した文化発信講座等

○「地域協育ネット」の広報

[事業内容] ・テレビ番組「はつらつ山口っ子」で活動状況等を広報

・啓発リーフレットの作成

地域とともにある高校づくり推進事業

総合戦略

1,500

県立高校3校にコミュニティ・スクールを導入し、学校・地域の差し迫った社会的・地域的な課題の解決に積極的に取り組む「地域に愛され、地域とともにある学校」づくりを推進します。

■高校へのコミュニティ・スクール導入による課題解決型教育モデル校事業

[実施校] 周防大島高校、美祢青嶺高校、大津緑洋高校

[取組内容] 学校運営協議会の設置運営、地域の課題解決のための取組等

■県立高校と地域との協働推進事業

新世界文化遺産保全活用事業

総合戦略

10,000

世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の情報発信・理解増進及び資産の管理保全に向けた取組を推進します。

■インタープリテーション（理解増進・情報発信）

萩市の各構成資産について、世界遺産としての価値や他の構成資産とのつながり等の情報を伝え、理解の増進を図る取組

[内容] 普及啓発用DVD・パンフレット作成、出前講座、人材育成に係る研修会等への参加

■資産の補修整備及び修復整備活用計画の策定に対する支援

「平成の松下村塾」づくり推進事業

8,452

次代を創る子どもたちの「志」を育成するため、本県ゆかりの先人の「志」について世代を超えて学ぶ拠点として県セミナーパークを「平成の松下村塾」と位置付け、学習機会の提供や学習環境の整備に係る取組を推進します。

■「三世代交流教育講座」の開催

[日程] 年3回程度（日帰り）

[対象] 小学校3年生～中学生を含む2～3世代家族等

■「山口県の先人学習コーナー」の整備

■Webページ「平成の松下村塾」の運営

2 確かな学力育成プロジェクト

(単位：千円)

やまぐちっ子学力向上推進事業

総合戦略

12,507

児童生徒の学力や学習状況を客観的、経年的に把握・分析し、課題解決に向けた指導方法の工夫改善や学校と家庭、地域が一体となった取組を通して、全ての児童生徒の学力の向上を図ります。

■学力向上検証改善プロジェクト

○「学力定着状況確認問題」の全県一斉実施

[実施学年] 小学校3年～中学校2年

[実施教科] 国語・算数/数学(小5で理科・社会、中2で理科・社会・英語を追加実施)

[実施時期] 10月下旬の1日

○検証・改善委員会による取組の検証

結果分析に基づく学力向上の取組の検証及び課題解決方策の検討

■理科の学力向上に向けた課題解決実践研究事業

指定校における児童生徒が自ら課題を発見し主体的・協働的に解決を図る理科授業モデルの構築と、全県への普及

■課題解決に向けた授業改善研究事業

教科横断的な視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究

■授業力向上プロジェクト

一人ひとりの教員の授業力を向上させる研修会等の開催

[実施内容] 学力向上プランニング研究協議会(中堅教員対象)、学力向上管理職協議会、理科授業改善研修会、授業力アップセミナー(若手教員対象)、授業力向上実践研修会(指定15中学校区)

■「やまぐち学習支援プログラム」掲載問題の改訂

■「山口県学力向上推進フォーラム」の開催

[対象者] 教職員、CS関係者、保護者、地域住民等

[実施内容] 公開授業、実践発表、学力向上に関する講話等

[開催時期] 11月

やまぐち^{きら}燦めきサイエンス事業

総合戦略

9,805

激化する国際競争の中、求められる次代を担う科学技術系人材の育成のため、児童生徒の科学に対する興味・関心の喚起や、中・高における体験的・探究的活動に重点を置いた理数教育の実施など、質の高い系統的・継続的な理数教育を推進します。

■ヤングサイエンティスト拡大事業 **裾野拡大**

○やまぐち科学のゆりかご事業

山口大学(ものづくり創成センター)及び産業界と連携し、大学がもつ学術研究機能と地域の産業特性や企業がもつ専門性を生かした小中学生向け科学教室を開催

[実施主体] 山口大学(1/2補助)

[開催回数] 100回(県内3地域(東部・県央部・西部)で各30回以上)

○やまぐちジュニアインストラクター・アカデミー事業

科学教室の開催に合わせ、高校生が講師となって参画し、日頃の研究・活動成果の発表を行う場を設定

[実施主体] 山口大学（1／2補助）

[開催回数] 6回（県内3地域（東部・県央部・西部）で各2回）

■やまぐちサイエンス・サポート拡大事業 **意欲向上**

理数教育推進拠点校を指定し、年間を通して行う大学や企業と連携した体験的・探究的活動に重点を置いた企画（サイエンスプログラム）への支援

[指定校] ①理数科設置校4校（岩国、山口、下関西、萩）※SSH指定校（徳山、宇部）は除く
②普通科・総合学科設置校のうち2校

[所要経費] ①50万円／校、②25万円／校

[実施内容] 大学等での先端科学技術の体験的活動や大学講師による課題研究等への指導助言（中学校や他の高校の生徒・教員も参画する「山口県理数教育研究大会」を開催し、研究成果を全県に普及）

■やまぐちサイエンス・チャレンジ事業 **能力伸長**

○「科学の甲子園」・「科学の甲子園ジュニア」山口県大会（全国大会県予選大会）の実施

科学好きな中学生・高校生が、科学に関する知識や活用力を競い合い、能力を高め、活躍できる場を提供

[出場校] 県内中学校・高等学校の希望校（1校6人（中学生は3人）による団体戦）

[実施内容] 筆記テストと実技（実験）※優勝校は全国大会に出場

○「やまぐちサイエンス・キャンプ」の実施

国際科学オリンピック出場をめざした強化合宿等を開催

[対象生徒] 県内の公立高等学校・中等教育学校後期課程の生徒（希望者を募集）

[実施内容] 模擬試験、大学教授による講義、実験指導等を実施

進学支援推進費

4,127

生徒の進路意識の醸成、学習習慣の定着、学力の伸長、さらには教員の指導力向上を図るための各学校の取組支援や希望進路に応じた学習セミナー等により、生徒一人ひとりの進路実現を図ります。

[事業内容] ○進学に向けた学力向上セミナーの開催

- ・大学入試センター試験対策セミナー
- ・個別学力検査対策セミナー
- ・推薦入試（小論文）対策セミナー

○学校プランサポート

各校が実施する大学教授による出張講座や学習合宿等の取組を支援

3 豊かな心育成プロジェクト

(単位：千円)

いじめ・不登校等対策強化事業

総合戦略

188,468

「山口県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期対応・いじめ解消率100%をめざす相談・支援体制の充実を図り、いじめや問題行動、不登校等の生徒指導上の諸課題に対する実効的な対策を強化します。

■スクールカウンセラー（SC）の配置

全ての公立学校の児童生徒がSCに相談できる体制の整備
(小学校100校、全中学校、高等学校50校、中等教育学校)

■スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置支援

全市町へのSSWの配置（※中核市の下関市は独自配置）

■エリア・スーパーバイザー（エリアSV）の配置

市町配置のSSWへの指導・援助や学校いじめ対策組織への指導・助言を実施

■ファミリー・リレーションシップ・アドバイザー（FRアドバイザー）の派遣

学校だけでは解決困難な事案について医師、弁護士等の専門家を派遣

■いじめの重大事態（不登校）に係る外部専門家による児童生徒支援

いじめが原因で児童生徒が不登校になった場合に、SC、SSW等の専門家を派遣し、集中的に児童生徒の心のケア・早期復帰を支援

■「山口県いじめ問題対策協議会」の設置

県内のいじめ問題に係る関係団体・機関の連携強化

■「山口県いじめ問題調査委員会」の設置

県立学校においていじめの重大事態が発生した場合に、事実関係を明らかにし、同種の事案の発生を防止するため、中立的な立場の専門家による調査委員会を設置

■いじめ、不登校の未然防止に向けた「魅力ある学校づくり」調査研究

学習指導や児童会・生徒会活動、家庭教育、小中・小小連携の効果的な取組方法、評価方法についての調査研究、研究成果の普及啓発

■いじめ・不登校等に対する調査研究事業

やまぐち総合教育支援センターにおける大学や医療機関等と連携した先進的調査研究

[対象] いじめ・不登校等の悩みを抱える児童生徒が在籍するモデル校（小・中・高等学校・特別支援学校各1校）、やまぐち総合教育支援センター「サポートルーム」「ふれあいルーム」通室児童生徒

■「子どもの未来を考えるフォーラム」の開催

いじめや不登校、ネット問題等の諸問題の解決に向けた意識啓発

[対象] 教職員、保護者、一般県民
[内容] 専門家による講演、実践事例の発表

■大学と連携したネット出前授業の実施

大学生が講師となり、ネットトラブル・ネットいじめの未然防止に向けた出前授業を実施

「こころの先生」派遣事業

総合戦略

1,840

地域にゆかりのある外部人材を講師として招聘し、子どもたちに思いやりや規範意識、感動する心など、豊かな人間性や社会性を育むとともに、各学校における心の教育の一層の充実に努めます。

■「やまぐちっ子の心を育む学習会～ようこそ！こころの先生～」の開催支援

各地域の実施校において、「こころの先生」として様々な分野の専門家を講師として招聘

[実施校] 小・中学校70校（7地域10校）

[実施内容] 様々な分野の専門家を講師（「こころの先生」）として招聘し、コミュニティ・スクールを活用して、児童生徒と地域の方を含めた学習会を実施

[取組の例] ・スポーツ選手等を講師とした「自分を伸ばす心」を育む学習会

・医師・助産師等を講師とした「命をいとおしむ心」を育む学習会

・警察官・消防士等を講師とした「社会の一員としてみんなと関わる心」を育む学習会 等

ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業

総合戦略

1,424

中学生ふるさと民泊学習推進事業

総合戦略

3,078

中山間地域の民泊施設等を活用した、宿泊体験や自然体験活動、農林水産業に係る体験活動等を通して、ふるさとやまぐちを愛する心など、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育成します。

■小・中学校における中山間地域の民泊施設を活用した宿泊体験等

事業名	ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業	中学生ふるさと民泊学習推進事業
対象	小学生	中学生
目的	自然体験活動等の実施により、児童にふるさとやまぐちを愛する心や他者を思いやる心を育む。	発達の段階に応じた農林水産業に係る体験活動等により、生徒の豊かな人間性や社会性を育む。
実施校	7校（280人）	8校（320人）
期間	1泊2日以上	2泊3日以上
補助額（上限）	5,000円/人	9,000円/人

青少年自然体験活動推進事業

2,080

子供たちの思いやりの心を育み、豊かな人間関係を育成するため、野外活動とカウンセリングを組み合わせた長期自然体験活動や、本県独自の体験学習法であるAFPY（※）の取組を推進します。

■「心の冒険・サマースクール」（長期体験活動）の開催

・小学生チャレンジプログラム（小学5・6年生対象、8泊9日）

・中高生クエストプログラム（中高生対象、8泊9日）

・ジョブプログラム（県内産業・企業の間を活用、小学5・6年生対象、1泊2日）

■指導者養成研修会等の開催（サマースクール・AFPY）

※AFPY：「Adventure Friendship Program in Yamaguchi」の略。他者とかわり合う活動を通じ、個人の成長や豊かな人間関係を築く考え方・行動のあり方を学ぶ、県独自の体験学習法

4 子ども元気創造プロジェクト

(単位：千円)

望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業

802

知・徳・体の調和の取れた「生きる力」を育むため、「食育」「遊び・スポーツ」「読書」を柱とする子どもの生活習慣の形成と定着に向けた取組を学校、家庭、地域が一体的に行い、「子ども元気創造」に向けた全県的な取組を推進します。

■子ども元気創造推進協議会の開催

[構成員] 大学教授、PTA代表、各校長会会長 等

[開催時期] 年2回(10月・2月)

[協議題] 学校・家庭・地域の連携による望ましい生活習慣定着の方策 等

■子ども元気調査の実施

[調査方法] 抽出調査(小学校1/3、中学校1/3、高校1/2)

[調査項目] 朝食摂取、運動実施状況、運動に対する意識、読書実施状況、読書に対する意識、睡眠の状況

■「子ども元気創造推進隊」の派遣

食育・運動・読書の専門家等を学校・地域へ派遣し、望ましい生活習慣に向けた意識啓発を実施

[対象者] 幼児児童生徒、保護者、地域の方々

[実施内容] 出前講座、パネル展示、チラシ配布 等

運動部活動支援・運動習慣改善事業

13,999

運動部活動の適切な実施に向け、外部の専門家等を活用した取組や顧問教員の資質向上に向けた取組を行うとともに、運動嫌い等により、運動習慣のない生徒が参加しやすい環境づくりについて実践研究を行います。

■指導体制の工夫改善

スポーツ医・科学的な知見を有する外部指導者の派遣と指導者の適正配置

[対象] 中学校・高等学校の運動部

[実施内容] スポーツ医科学的な知見に基づくトレーニングの実施、指導経験の少ない運動部顧問の指導力向上 等

■運動習慣の二極化解消及び定着

運動習慣のない生徒を対象としたスポーツインストラクター等の派遣による運動部活動等の実施

[対象] 県内の公立中・高等学校10校

[実施内容] ヨガ教室、ダンス教室、軽い有酸素運動等

■運動部活動指導者の資質の向上に向けた研修会の実施

[対象] 運動部活動顧問及び外部指導者

[実施内容] 体罰根絶に向けた研修会、コーチング研修会、科学的指導方法研修会 等

子どもの運動習慣の改善と体力向上を図るため、運動習慣の形成に重要な小学校期を中心に、より運動に親しませるための実践研究を行うとともに、教員の指導力向上及び体育授業充実のための支援体制を構築します。

■子どもの遊び・運動促進支援事業

モデル校（小学校7校）における体力向上の重要な要素である「遊び」等を中心とした実践研究

○運動遊びの充実

[実施内容] 県レクリエーション協会の指導者、学生ボランティア、地域協力者等による昼休み等を活用したレクリエーション・ゲーム、昔遊び等の実施 等

○体育授業の充実

○取組の検討・実践・検証

拡食に関する指導普及事業

食育推進のあり方や食物アレルギー等の喫緊の課題への適切な対応等について普及させるとともに、学校給食の充実や教職員の資質向上を通じた食に関する指導の促進や、学校、家庭、地域が連携した望ましい食生活の定着を図ります。

■新やまぐち学校給食食べ切り推進事業

学校給食共同調理場を核とし、受配校や地域と連携して行う魅力ある学校給食の開発と残食率改善の取組

[対象] 共同調理場を設置している1市町に委託

[実施内容] メニューの開発、学校給食を「生きた教材」とした食の指導、学校給食食べ切り運動の展開、担当者等の研修会 等

■食に関する指導研修会の実施

食育推進の要となる栄養教諭、学校栄養職員、学級担任等を対象に市町教委と連携した食に関する指導研修会を実施

子どもの読書活動推進事業

子どもの読書活動の習慣化を促進するため、「山口県子ども読書活動推進計画第3次計画」に基づき、県立山口図書館内に設置している山口県子ども読書支援センターを中核として、学校、家庭、地域等と連携・協力し、全県的に子どもの読書活動を推進します。

■子どもの読書活動推進地域交流会（地域ネットワークフォーラム）の開催

コミュニティスクールなど学校や地域で活動する読書ボランティア等の研修会や交流会を実施（2回）

■読書ボランティアリーダー研修会の開催

市町立図書館職員や民間読書ボランティアを対象とした読み聞かせの技術、子どもと本を結びつけるための専門知識・技能に関する研修（3回）

■学校図書館セミナー

司書教諭や学校司書、学校読書ボランティアを対象とした、学校図書館の役割や運営方法などの理論とディスプレイの技法等の実践を組み合わせた講習会（2回）

5 グローバル人材育成プロジェクト

(単位：千円)

高校生留学促進事業

総合戦略

7,638

様々な分野においてグローバル化が進展する中、高等学校段階から国際競争力を身につけた人材を育成するため、海外留学の支援など、総合的な取組を実施します。

■やまぐちグローアップセミナー事業

国際的に活躍する海外勤務経験者等による講演等の実施

■短期留学支援

県教委が実施する海外短期派遣プログラムに参加する生徒に必要な経費の一部を支援

[対象] 県内の高等学校、中等教育学校（後期）、高等専門学校（1～3年）の生徒

[人数] 20人

[補助額] 上限10万円/人

■やまぐち「志」育成塾～留学フェア～の開催

留学への機運の醸成を図るため、留学経験者の体験談や海外留学に関する留学相談等を実施

拡やまぐちアクティブ・イングリッシュ事業

総合戦略

1,517

児童生徒の語学力（英語力）とコミュニケーション能力の向上のため、英語の使用機会の拡大と積極的に英語で発信することができる実践的な体験の場を提供します。

■山口県高校生英語ディベートセミナーの開催

[対象] 県内の公立高等学校、中等教育学校（後期）及び特別支援学校高等部の生徒及び教員

[内容] 全国高校英語ディベート連盟(HEnDA)事務局から講師を招聘し、ディベート大会に出場を希望する高校生等への事前指導 等（7月）

■山口県高校生英語ディベート大会の開催

[対象] 県内の高等学校、中等教育学校（後期）、特別支援学校高等部及び国立高等専門学校（1～3年）の生徒

[内容] 全国高校生英語ディベート大会の出場選考を兼ねた大会を開催（10月）

■やまぐちイングリッシュキャンプの開催

○スリーデイ・キャンプ

[対象] 県内の公立小・中・高等学校及び中等教育学校の児童生徒 約60名

[内容] ALTとの2泊3日のオールイングリッシュによる活動（8月）

○新ワンデイ・キャンプ

[対象] 県内の公立高等学校及び中等教育学校（後期課程）の生徒 約40名

[内容] 県内大学の留学生との1日のオールイングリッシュによる交流（12月）

様々な分野において国際的に活躍できる「グローバルリーダー」の育成のため、「スーパーグローバルハイスクール」における国際的素養や英語運用力の習得、大学や海外の高校と連携した先進的な教育活動の実践等に向けた取組を推進します。

■スーパーグローバルハイスクール指定校における取組

[指定校] 宇部高校 (H26 から継続)

[取組内容]

- ・高い志をもち、国際社会で活躍できる人材として必要な素地の育成に向けた講演
- ・課題を解決するために必要な力の育成に向けた「大学と連携した講義・演習」
- ・国際的な視野・コミュニケーション能力等の育成に向けた「海外研修」等

小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業 (学習指導要領趣旨徹底事業)

5,700

小学校英語教育の拡充、中・高等学校における英語教育の高度化など小・中・高等学校を通じた英語教育全体の充実を図ります。

■英語教育強化地域拠点事業

英語教育強化拠点地域を指定し、指定校における研究を行うとともに、研究成果を県内に普及

[指定地域] 光市 (室積小学校、室積中学校、県立光高等学校)

[研究内容] ・小学校英語教育の教科化・指導体制

- ・中学校、高等学校における目標・内容の見直し 等

■外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

英語教育推進リーダーの活用による小学校英語中核教員の養成及び中学校・高等学校における英語教員の指導力の向上と、校種間連携を視点とした学校や先進的な取組を行う学校の支援

[取組内容] ・小学校外国語教育中核教員養成研修会及び中学校・高等学校英語教員指導力向上研修会の開催

- ・外部専門機関と連携し、小・中・高等学校のつながりのある英語教育に向けた研修会の開催 等

6 ものづくり人材育成プロジェクト

(単位：千円)

新 高校生やまぐち創生チャレンジ事業

総合戦略

6,500

専門高校等の生徒が地域、地元企業、他校・他学科等と連携しながら、地域の課題解決等につながる実践的な取組を実施することを通じて、地域産業等への理解と地域貢献に対する意識を高め、将来の本県産業を担う人材の育成を図ります。

■他校・他学科連携チームによる地域の課題解決等につながる実践的な活動の推進

各校がこれまで個別に取り組んできた産学公連携による現場実習・共同研究等の実績を踏まえ、新たに他校・他学科との連携を加えることにより、各校単体では対応できなかった一貫性のある取組や実施内容の拡充等を図り、地域の課題解決等につながるより実践的な活動を展開

[対象校] 県立高校（職業に関する学科・総合学科）、県立特別支援学校（産業科）のうち9校

[想定例] オリジナル弁当の開発（農業・家庭・商業に関する学科の連携）等

[実施内容] ・他校・他学科、地元企業等と連携した実践的な研究活動の実施
・学校・学科間の連携を促進するアドバイザーの派遣
・連携校、連携先企業、アドバイザー等による連携会議の開催

新 やまぐちの活力を支える高校生育成事業

総合戦略

75,415

専門高校等の高校生の実績的な知識・技術の習得等を図ることにより、将来の県内産業を支える人材を育成するとともに、就職サポーター等の配置等による組織的な就職支援体制のもとで、生徒の主体的な県内就職・県内定住を促進します。

■産業人材実地セミナー事業

専門科目への興味・関心の喚起を図るため、複数の産業現場に赴き、現場で活躍する職業人を講師として意見交換等を実施

■スキルアップ支援事業

生徒のスキルに合わせた技能習得や資格取得を支援（50講座）

■未来創造チャレンジ事業

ロボット競技大会や簿記コンクール等の全国大会優勝等をめざす取組を支援

[対象校] 県立高校（職業に関する学科、総合学科）及び特別支援学校（産業科）のうち7校

■県内就職ガイダンス等充実事業

○地域産業魅力発見セミナー

地域産業に見識がある方や地域活性化に携わる方を講師としたセミナーの開催

[対象校] 公立高等学校、中等教育学校、県立特別支援学校に在籍する高校1・2年生及びその保護者

○地域産業就職ガイダンス

キャリアカウンセラーの派遣によるガイダンスの実施、企業採用担当者の講話、リーフレット配布等

[対象校] 公立高等学校、中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校に在籍する高校3年生及びその保護者

■県内就職サポーターの配置

[配置人数] 《就職サポーター》公立高校25名、私立高校7名
《チーフ就職サポーター》3名（県東部、県中部、県西部）

■総合支援学校就職支援コーディネーターの配置

■県内企業訪問推進事業

校長、進路指導担当教員等による企業訪問、就職希望生徒の応募前職場見学、求人要請の拡充等

■県内就職促進協議会の開催

学校の進路指導担当教員等と県内企業の採用担当者等による情報交換（県内7地区）

■県内企業就職説明会等の開催

就職を希望する生徒と県内企業の採用担当者との面談

キャリア教育総合推進事業

総合戦略

5,256

学校教育活動全体を通じ、児童生徒一人ひとりが夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育成するため、長期的な視点に立った系統的・計画的なキャリア教育を推進します。

■キャリア教育実践事業

○キャリア教育推進連携会議の開催

学校、家庭、地域、産業界等におけるキャリア教育の連携強化の方策等を協議

○キャリア教育実践セミナーの開催

学校、家庭、地域、産業界等から広く参加し、地域社会と連携した取組等を研修・協議

■インターンシップ推進事業

○体験型インターンシップ

[対象者] 県立高校等1・2年生

[実施内容] 地域の企業等において、学習内容や将来の進路希望に応じ、実践的な知識や技術・技能に触れる1週間程度の就業体験

○地域活性化型インターンシップ

[対象者] 県立高校等（10校程度）

[実施内容] 地域の企業や商店街、大学等と連携した研究・開発の体験、幅広い産業分野における就業体験 地域活性化に向けた取組を実施（半年以上継続）

拡産業教育設備整備費

140,000

本県産業の次代を担う産業人材を育成するため、専門高校に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を計画的に整備します。

[整備内容] 普通旋盤、3Dプリンタ・3DCAD等（柳井商工高校他9校）

7 魅力ある学校づくりプロジェクト

(単位：千円)

新やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業

総合戦略

9,900

高校生の県内進学者数の増加に向け、県内国公立大学等と連携を図りながら、県内大学等がもつ魅力や良さについて、広く高校生の理解を深めます。

■県内大学魅力発見プログラム

県内大学の魅力を知るための県内大学生と高校生によるディスカッションや、大学の学習内容・大学生活等に関する講話等の実施

■県内大学体験サポート

県内大学のオープンキャンパス・研究室訪問等の参加にかかる経費支援

新インクルーシブ教育システム推進事業

総合戦略

28,262

障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築に向けて、小・中学校への合理的配慮協力員の配置など特別支援教育の体制整備を図るとともに、特別支援学校へのコミュニティ・スクール（CS）の導入を進めます。

■**拡**合理的配慮協力員の拡充配置

特別な配慮を要する児童生徒に対し適切な合理的配慮の提供等が行えるよう、小・中学校に合理的配慮協力員を配置

〔配置校〕 県内7地域の拠点校に配置

〔実施内容〕 校内体制の整備、合理的配慮の検討・提供・評価、研修会の実施 等

■**新**外部専門家の活用による教育内容・指導等の充実

特別支援教育センターを設置する総合支援学校（7校）に言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等の外部専門家を招聘し、障害の程度が重度である児童生徒等に関する相談支援を充実

■特別支援教育体制整備の推進

各学校で特別支援教育推進の中心的役割を担う校内コーディネーターや特別支援教育センター間の連携強化等を担う地域コーディネーターの研修会、合理的配慮に関する協議会等を実施

■**新**通級による指導担当教員等の専門性の充実

各学校の通級指導担当教員を対象とした研修プログラムの実施や専門家の訪問支援等

■**新**総合支援学校へのCS導入・設置

県内の総合支援学校におけるCSの導入・設置に向けた準備とCSについての理解促進

〔設置時期〕 H29：特別支援教育センターを設置する7校（うち2校はH28先行導入予定）

H30：その他の総合支援学校5校

〔実施内容〕 検討協議会等の実施、研修会・CS大会等への参加、地域への啓発活動 等

■特別支援教育フォーラムの開催

〔開催地〕 3地域（県東部・県中部・県西部）

〔対象〕 小・中・高等学校CS委員（保護者、地域住民、校長）

〔内容〕 先進事例報告、学校運営協議会委員等によるパネルディスカッション 等

新特別支援学校「山口県技能検定」開発事業

総合戦略

3,000

障害のある生徒の自立と社会参加に向けて、本県独自の特別支援学校職業教育プログラム「特別支援学校技能検定」を開発し、生徒の学習意欲の向上やコミュニケーション能力の育成、就労をめざすためのスキルの獲得等を図ります。

■「特別支援学校技能検定」の開発

総合支援学校の卒業生の就職状況や県内の企業等が求めるスキル等を踏まえた独自の技能検定を企業や関係団体等と連携の上開発・導入

総合支援学校 ICT活用協働学習推進事業

総合戦略

828

障害のある児童生徒の「自立と社会参加」の実現に必要な「コミュニケーション能力」や「人間関係形成能力」を育成するため、全総合支援学校に導入したタブレット型情報端末等のICT機器を活用した協働学習を効果的に推進します。

■推進体制の一層の充実

○外部専門家の参画による授業研究の支援

[実施回数] 各総合支援学校で年1回

[実施内容] 授業設計、授業実践・評価、各学校で共通して活用できる評価シートの作成

○ICT活用プロジェクトチーム（PT）によるデータベース・事例集の充実及び校内研修等での活用

■「協働学習」の推進の中核となる教員の育成

○協働学習の実践に関する研修プログラムの策定・実施

○ICTサポート教員の継続配置

県立学校施設整備事業（総合支援学校教室不足対応）

1,572,233

児童生徒数の増加等に伴う総合支援学校の教室不足に対応するため、必要な施設整備を行います。

- 田布施総合支援学校（旧田布施工業高校校舎等）改修、山口南総合支援学校産業科棟他増築設計、山口総合支援学校普通教室棟増築工事、下関総合支援学校（下関中央工業管理棟等）改修設計 等

県立学校施設整備事業（高校再編）

485,924

より質の高い高校教育を提供するための学校・学科の再編整備に必要な施設整備を行います。

- 下関中央工業高校と下関工業高校の再編統合に伴う下関工科高校の実習棟新築工事等
- 周防大島高校（久賀校舎）の福祉専攻科新設に伴う内部改造等

地域とともにある高校づくり推進事業【再掲】

8 安心・安全な学校づくりプロジェクト

(単位：千円)

学校安全総合推進事業

3,916

「山口県学校安全推進計画」に基づき、「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全（防災）」の学校安全の取組を総合的かつ効果的に推進していくため、安全教育の充実、実践的な力の育成、学校・家庭・地域・関係機関等の連携による組織活動の充実を図ります。

■山口県学校安全推進計画に基づく取組の推進

■地域ぐるみの学校防災総合推進事業

大規模災害の発生に備え、児童生徒が主体的に防災・減災に取り組む姿勢を醸成し、ボランティア活動等他の人々や地域の安全に貢献できる力を育成

[対 象] 児童生徒、保護者、教職員、地域住民等

[実施内容] 地域ぐるみの防災キャンプの実施、災害ボランティア活動講演会の開催、防災アドバイザーの派遣、学校防災研修会・防災教育研修会の実施 等

■子どもたちの安心安全総合推進事業

コミュニティ・スクール、地域協育ネットを活用した学校・家庭・地域が連携した防犯を含む生活安全、交通安全の取組

[対 象] 児童生徒、保護者、教職員、地域住民等

[実施内容] 学校運営協議会等による通学路の安全点検・安全マップづくり、通学路安全対策アドバイザーの派遣、通学路安全対策合同会議の開催、防犯教育研修会の実施、事故対応に係る研修会の実施

県立学校施設整備事業（耐震改築・老朽化対策等）

2,191,744

安全で快適な学習環境を整備するため、耐震対策後の校舎改築、施設・設備の老朽化対策や外壁改修等を行います。

- 下松工業高校実習棟改築、宇部総合支援学校管理棟他改築、柳井高校大規模改修、宇部工業高校本館棟他外壁改修、岩国総合高校空調設備整備、防府高校防球ネット設置、下松高校法面対策設計、宇部商業高校下水道設備切替 等

9 教職員人材育成プロジェクト

(単位：千円)

教員資質能力向上推進事業

総合戦略

5,441

意欲と実践的指導力を有する教員人材の確保と現職教員の継続的な育成のため、県内大学や兵庫教育大学で構成される「山口県教員養成等検討協議会」を中心とした計画的・一体的な教員養成・採用・研修システムについての調査研究を行います。

■大学との連携による継続的な養成・採用システムの実践研究

- 教師力向上プログラム(教師力養成講座・講師力養成体験実習(指定教育実習))の改善・充実・教師力向上プログラム修了者特別選考による採用者をメンターとしたプログラム実施
- 新規学卒採用予定者を対象とした「採用前教職インターンシップ」の実施
- 現職教員等による大学での実践的授業の促進 等

■大学院等を活用した継続的な現職教員研修システムの実践研究

- 教職大学院を活用したスクールリーダー研修講座の充実による管理職候補者の育成
- 新**山口大学教職大学院を活用した現職教員の育成
 - ・H28 開設の山口大学教職大学院と共同での公開講座の開催
- やまぐち総合教育支援センターにおける中堅教員研修の在り方の研究 等

■メンター制による研修実施の調査研究

複数の先輩教員からなる「メンターチーム」による校内人材育成システムの構築に向けた調査研究

[調査研究校] 3市程度、各2校(小・小、小・中、中・中) 予定

[実施内容] 研修コーディネーターの設置、人材育成校内会議の設置、初任研担当者連携協議会の開催 人材育成1000日プラン担当者連絡協議会の開催 等

教員人材確保の推進(教職員採用等選考実施費)

1,900

全国的に教員の志願者確保に向けた取組が進む中、本県においても優秀な教員を確保するため、山口県の魅力や山口県教育、子どもたちの状況、教員採用試験の状況について積極的に情報発信を行い、教員志願者確保に向けた取組を推進します。

UJIターン促進による人材確保

■やまぐち教職ガイダンスの実施

[対象者] 県内外の大学生、他県教員及び民間企業従事者等

[会場] 進学等の多い県外5都市(東京、大阪、福岡、広島、岡山)及び県内10大学

■大学訪問の強化

教員志望者拡大に向けた取組の強化

■高校生教職セミナーの開催

[対象者] 県内の公立・私立高等学校等の希望する生徒と保護者

[会場] 県内5か所

■若手教員ボランティアリクルーターによる情報提供

現職若手教員等の大学や学生とのネットワークを活用した教員志願者への情報提供

[対象者] 採用1～3年目の現職教員、新規採用予定者

[実施方法] 初任者研修や新採予定者研修等で説明を受けた現職若手教員等が、自身の友人や後輩等に電話やメール、面談等で本県教員採用試験等について情報提供

10 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

(単位：千円)

新平成28年度全国高等学校総合体育大会開催費(うち高校生活動関係費)【再掲】 3,747

世界スカウトジャンボリーにおけるボランティア活動等で発揮された「おもてなしの心」をつなぎ、中国ブロックで開催する「平成28年度全国高等学校総合体育大会」において、すべての高校生が「一人一役」を基本理念として積極的に大会を支える「高校生活動」を推進します。

■ 広報・おもてなし活動

■ 運営ボランティア

■ 競技種目別大会開会式等出演

■ 草花装飾・環境美化活動

拡やまぐちアクティブ・イングリッシュ事業(うちやまぐちイングリッシュキャンプ)【再掲】 1,157

世界スカウトジャンボリーにおける地域プログラムや高校生語学ボランティアの活動等で培われた児童生徒の英語によるコミュニケーションへの意欲を継承するため、ALTや県内大学の留学生とのホールイングリッシュでのコミュニケーションの場を提供し、子どもたちの異文化理解と英語力のさらなる向上につなげます。

11 その他の主要事業

(単位：千円)

新平成28年度全国高等学校総合体育大会開催費 171,959

岡山県を主会場に中国ブロックで開催する「平成28年度全国高等学校総合体育大会」に向けて、中国各県、県高体連、会場地及び関係団体と一体となって、開催準備を進めます。

【開催期間】平成28年7月28日(木)～8月20日(土)

【本県実施競技】 バレーボール(宇部市・山口市・防府市)
ハンドボール(下松市・光市・周南市)
フェンシング(岩国市)
空手道(長門市)
なぎなた(下関市)
カヌー(岩国市)

多子世帯応援保育料等軽減事業（幼稚園分）

総合戦略

47,011

子どもを安心して産み育てることができるよう、特に多子世帯における経済的負担を軽減するため、第3子以降のいるすべての世帯について、保育料等を軽減します。

[軽減内容] 第3子以降のいる世帯における満3歳以上の子どもについて、国の幼稚園就園奨励費による補助後の保護者負担部分又は施設型給付を受ける場合の保護者負担部分に対し、当該世帯の所得階層区分に応じ1/2又は1/4の補助を実施

[補助率] 市町村民税所得割課税額 77,100円以下・・・1/2補助
市町村民税所得割課税額 77,101円以上・・・1/4補助

公立高等学校等就学支援事業

2,511,675

公立高校等における教育に係る経済的負担の軽減を適正に行うため、国の制度に沿って一定の所得制限を設けた上で、授業料相当額として就学支援金を支給します。

[対象者] 市町村民税所得割額304,200円（年収約910万円）未満の世帯に属する公立の高等学校、中等教育学校（後期課程）に在学する生徒

[支給額] 全日制：9,900円/月、定時制：900円/月、通信制：100円/単位

[その他] 高校中退者が再度入学し、学び直す場合にも、卒業までの最長2年間支給

国公立高校生奨学給付金事業

275,150

授業料以外の教育費負担の軽減を図り、生徒が安心して教育を受けられる環境を整備するため、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給します。

[対象者] 市町村民税非課税世帯に属する国公立の高校、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）等に在学する生徒

[対象経費] 授業料以外の教育に必要な経費（修学旅行費、教科書費、教材費、学用品費、通学用品費、校外活動費、生徒会費、PTA会費、入学学用品費等）

[給付年額]

《負担割合》国 1/3 県 2/3

区分		給付年額
生活保護世帯		32,300円 (通信制 32,300円)
生活保護	第1子の高校生等がいる世帯	59,500円 (通信制 36,500円)
世帯以外	23歳未満の扶養されている兄・姉がいる世帯 第2子以降の高校生等がいる世帯	129,700円 (通信制 36,500円)

1 地域ぐるみでの教育推進プロジェクト関連事業

新 やまぐち型地域連携教育強化推進事業(55,584千円)

学校、家庭、地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組の一層の充実を図ります。

◎CS推進協議会等の全県的な会議の開催、CS担当者、地域協育ネット担当者及び山口CSコンダクターの合同会議の開催

⇒全県的な推進体制の強化

◎やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバル、県内7地域での研修会の開催、家庭教育担当者会議の開催、訪問型家庭教育教育支援の実施

⇒研修会の充実、相談支援体制の強化

◎全山市教委への山口CSコンダクター配置、統括コンダクターの派遣
コーディネーター・ステップアップ講座の実施

⇒推進の核となる人材の配置・養成

◎PR用DVD、実践事例集の作成・配付

⇒優れた活動の普及・啓発

県教委

- ・CS推進協議会、温かい絆づくり推進会議
- ・CS、地域協育ネット、山口CSコンダクター合同協議
- ・家庭教育担当者会議

市教委

- ・山口CSコンダクター配置(県委託)
- ・訪問型家庭教育教育支援(県委託)



助言・支援

県、市町教委、山口CSコンダクター

気運醸成・人材育成

- ・やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバル
- ・各種研修会の開催

■コミュニティ・スクール設置率：100.0% (H28.4予定)

「地域協育ネット」による温かい絆づくり推進事業

(65,703千円)

県下の全中学校区に設置された「地域協育ネット(学校・家庭・地域の連携・協働による教育支援体制)」の活動の充実を図ります。

◎山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の開催

◎「地域協育ネット」コーディネーター、家庭教育アドバイザー等の人材養成

◎広報番組による普及・啓発 等



「地域協育ネット」を活用した教育支援活動等の一層の充実

■地域協育ネット：子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援するための様々な中学校区をまとまりにした仕組み

新 世界文化遺産保全活用事業(10,000千円)

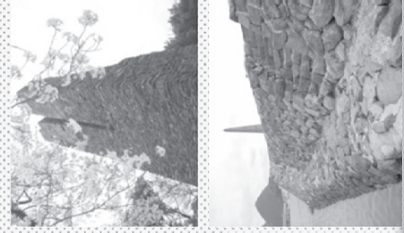
関係各機関と連携し、世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の情報発信・理解増進及び資産の管理保全に向けた取組を推進します。

◎インターネット配信(理解増進・情報発信)

出前講座、DVD・パンフレットの作成・配布 等

◎資産の管理保全

資産の補修整備及び修復整備活用計画の策定に対する支援



■本県の構成資産
萩市の萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾の計5つの資産があります。

2 確かな学力育成プロジェクト関連事業

やまぐち子学力向上推進事業(12,507千円)

児童生徒の課題の解決に向けた指導方法の工夫改善や学校と家庭、地域が一体となった取組を通して、全ての児童生徒の学力の向上を図ります。

◎学力向上検証改善プロジェクト

- 「学力定着状況確認問題」の全県一斉実施
- 検証・改善委員会による取組の検証

◎「理科の学力向上に向けた課題解決実践研究事業」

「課題解決に向けた授業改善実践研究事業」

- 指定地域での学力向上実践研究

◎授業力向上プロジェクト

- 一人ひとりの教員の授業力を向上させる研修会等の開催

◎「やまぐち学習支援プログラム」掲載問題改訂

- 児童生徒の家庭学習等の自主学習を支援

◎山口県学力向上推進フォーラム

- フォーラムの開催による学力向上に関する気運の醸成



3 豊かな心育成プロジェクト関連事業

いじめ・不登校等対策強化事業(188,468千円)

「山口県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ・問題行動、不登校等の生徒指導上の諸課題への対策強化に取り組みます。

◎スクールカウンセラーの学校配置

全児童生徒がカウンセリングを受けられる相談支援体制の充実

◎スクールソーシャルワーカーの配置

いじめ等に係る生徒の環境改善への支援
やまぐち総合教育支援センター、全市町に配置

◎社会総がかりの取組

「子どもの未来を考えるフォーラム」の開催



6 ものづくり人材育成プロジェクト関連事業

新 高校生やまぐち創生チャレンジ事業(6,500千円)

専門高校等の生徒が地域、地元企業、他校・他学科等と連携しながら、地域の課題解決等につながる実践的な取組を実施することを通じて地域産業等への理解と地域貢献に対する意識を高め、将来の本県産業を担う人材の育成を図ります。

[対象] 県立高校(職業に関する学科・総合学科)

県立特別支援学校(産業科)のうち9校

[実施内容] ○他校・他学科、地元企業等と連携した実践的な研究活動の実施

○学校・学科間等の連携を促進するアドバイザーの派遣

○連携校、連携先企業、アドバイザー等による連携会議の開催



新 やまぐちの活力を支える高校生育成事業(75,415千円)

専門高校等の高校生の実践的な知識・技術の習得等を図ることにより、将来の県内産業を支える人材を育成するとともに、就職サポート等の配置による組織的な就職支援体制のもとで、生徒の主体的な県内就職・県内定住を促進します。

◎産業人材実地セミナー事業

◎スキルアップ支援事業

◎未来創造チャレンジ事業

◎県内就職ガイダンス等充実事業

・地域産業魅力発見セミナーの開催

・地域産業就職ガイダンスの実施

◎県内就職サポーター等の配置

◎総合支援学校就職支援コーディネーターの配置

◎県内企業訪問推進事業

◎県内就職促進協議会の開催

◎県内企業就職説明会の開催



7 魅力ある学校づくりプロジェクト関連事業

新 やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業(9,900千円)

県内進学者数の増加に向け、県内大学等が持つ魅力や良さについて、広く高校生の理解を深めます。

◎県内大学生と高校生によるディスカッションの実施

◎県内大学のオープンキャンパス・研究室訪問等の参加にかかる経費補助

⇒県内大学の魅力等の周知・進路に対する意識啓発



新 インクルーシブ教育システム推進事業 (28,262千円)

障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築に向けて、小・中学校への合理的配慮協力員の拡充配置など特別支援教育の体制整備を図るとともに、総合支援学校へのコミュニケーション・スキル（以下「CS」）の導入を促進します。

新 総合支援学校へのCS導入

■CSの導入を契機とした「学校と地域の協働活動」の推進

新 通級による指導担当教員等の専門性の充実

■エリアごとの拠点校を中心とする全県的な研修体制の構築

新 外部専門家の活用による教育内容・指導等の充実

■PT・OT・ST等との連携による相談支援の充実

◎ 合理的配慮協力員の拡充配置

■合理的配慮の検討・提供・評価、校内体制の整備等

11 その他の主要事業

新 平成28年度全国高等学校総合体育大会開催費 (171,959千円)

高校生最大のスポーツの祭典「平成28年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」を中国ブロックで開催します。

○大会愛称 「2016 情熱疾走 中国総体」

○大会期間 平成28年7月28日(木)～8月20日(土)

○本県参加予定人数
選手・役員約1万人、観客約10万人(延べ)

◎本県開催競技(6競技6種目)

競技種目	会場地
バレーボール	宇部市、山口市、防府市
ハンドボール	下松市、光市、周南市
フェンシング	岩国市
空手道	長門市
なぎなた	下関市
カヌー	岩国市

◎高校生活動の推進

高校生による大会運営、PR活動、おもてなし等



IV 施策体系別事業一覧

未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成

◆目標達成に向け、主要な施策と主な取組を体系的に整理し総合的に推進

1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

施策名	事業名	頁
①キャリア教育の推進	キャリア教育総合推進事業	156
②学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実	学習指導要領趣旨徹底事業 学習指導要領等趣旨徹底事業 【新】やまぐちの活力を支える高校生育成事業 【新】高校生やまぐち創生チャレンジ事業 やまぐち燦めきサイエンス事業 児童生徒学習活動充実事業 ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業 中学生ふるさと民泊学習推進事業 「こころの先生」派遣事業 外国青年英語指導事業 グローバルリーダー育成事業	157
③学習指導の改善・充実	やまぐちっ子学力向上推進事業 学力向上等支援員の配置	
④国際教育の推進	高校生留学促進事業 やまぐちアクティブ・イングリッシュ事業 児童生徒慶尚南道友好相互交流事業 慶尚南道高校生スポーツ交流事業	
⑤読書活動の充実	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業 子どもの読書活動推進事業	158
⑥学校における人権教育の推進	人権教育調査研究事業 学校人権教育推進事業	
⑦体力向上の推進	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業【再掲】 運動部活動支援・運動習慣改善事業 【新】遊び・運動大好き！やまぐちっ子育成事業 慶尚南道高校生スポーツ交流事業【再掲】 学校体育指導費	
⑧食育の推進	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業【再掲】 食に関する指導普及事業	
⑨健康教育の推進	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業【再掲】 保健管理指導費	159
⑩特別支援教育の推進	【新】やまぐちの活力を支える高校生育成事業【再掲】 キャリア教育総合推進事業【再掲】 【新】インクルーシブ教育システム推進事業 【新】特別支援学校「山口県技能検定」開発事業 総合支援学校 ICT 活用協働学習推進事業 特別支援教育支援員の配置 県立学校施設整備事業(教室不足対応)【再掲】 障害者の就労機会拡大、就労支援 特別支援教育センター管理運営費 通学対策費 地域コーディネーターの配置 医療的ケア支援要員の配置	160
⑪幼児期における取組の充実	幼児教育充実事業 多子世帯応援保育料等軽減事業(幼稚園分)	
⑫少人数教育の推進	小1プロブレム解消のための30人学級加配教員配置 35人学級化関連事業	
⑬生徒指導・相談体制の充実	いじめ・不登校等対策強化事業 学校メンタルサポート事業 教育相談実施事業 生徒指導・相談体制充実強化のための教員配置	161
⑭進路指導の充実	【新】やまぐちの活力を支える高校生育成事業【再掲】 【新】やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業 【新】高校生県内進学支援事業 進学支援推進費	
⑮社会教育施設等を活用した教育の充実	特別展「昆虫のふしぎな世界」開催費 青少年自然体験活動推進事業 博物館学校地域連携教育支援事業 サイエンスやまぐち2016展開催費	162

2 質の高い教育環境づくりの推進

施策名	事業名	頁
⑩教育施設・設備の整備、教育環境の向上	県立学校施設整備事業 産業教育設備整備費	162
⑪学校安全の推進	学校安全総合推進事業	
⑫教職員の資質能力の向上	教員資質能力向上推進事業 教員人材確保の推進 教職員等研修事業 初任者・10年経験者研修事業 総合教育支援センター管理運営費	163
⑬学校運営の活性化	事務長の設置 チーム学校の実現に向けた業務改善等の推進事業 女性教員出生対策事業 教職員定数	
⑭校種間連携・一貫教育の推進	【翻】やまぐち型地域連携教育強化推進事業【再掲】 小1プロブレム解消のための30人学級加配教員配置【再掲】 幼児教育充実事業【再掲】 35人学級化関連事業【再掲】	164
⑮県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり	県立学校施設整備事業(高校再編)【再掲】	
⑯私学の振興	私立学校運営費補助 私立幼稚園預かりサポート推進事業 【翻】私立幼稚園等教育支援体制整備事業 私立幼稚園地域子育て支援事業 認定こども園施設整備事業 私立学校耐震化促進事業 私立学校耐震化促進利子補給事業	
⑰修学支援の充実	子育て支援のための私立高校生授業料等減免事業 私立高等学校等就学支援事業 私立高等学校等奨学給付金事業 私立高校生奨学事業費 私立高校生通信制課程修学奨励事業 公立高等学校等就学支援事業 国公立高校生奨学給付金事業 県立高校生等奨学事業 離島高校生修学支援事業 定時制通信教育教科書等給与事業	165

3 生涯にわたる県民総参加の教育の推進

施策名	事業名	頁
⑱家庭教育支援の充実	【翻】やまぐち型地域連携教育強化推進事業【再掲】 「地域協育ネット」による温かい絆づくり推進事業【再掲】	166
⑲地域と学校が連携した子どもの育成	【翻】やまぐち型地域連携教育強化推進事業 地域とともにある高校づくり推進事業 【翻】インクルーシブ教育システム推進事業 「地域協育ネット」による温かい絆づくり推進事業 「ふれあい夢通信」発行事業	
⑳生涯学習の推進	「平成の松下村塾」づくり推進事業 生涯学習推進体制整備事業 生涯学習推進センター管理運営委託費 図書館資料充実事業 図書館ネットワークシステムの活用	167
㉑地域社会における人権教育の推進	市町人権教育推進事業費補助事業 人権教育視聴覚資料整備事業 社会人権教育推進事業	
㉒文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	学校芸術文化ふれあい事業 中学生文化活動活性化事業 高等学校総合文化祭推進費	
㉓文化財の保護と活用	国指定文化財保存活用事業 国指定文化財大規模保存整備事業 県指定文化財等保存活用事業 有形文化財調査事業 文化事業費 【翻】世界文化遺産保全活用事業 文化財調査指導費	168
㉔「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	中学校高等学校体育大会開催費 平成28年度全国高等学校総合体育大会開催費 中学校中国大会全国大会派遣費 全国高等学校体育大会派遣費 慶尚南道高校生スポーツ交流事業【再掲】 スポーツ元気県づくり推進事業 地域スポーツ拠点育成支援事業 若者が活躍する競技スポーツ推進事業 地域スポーツ人口拡大推進事業 【翻】「サイクル県やまぐち」推進事業	169

1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

施策名	事業名	予算額	事業の概要
①キャリア教育の推進	キャリア教育総合推進事業 [高校教育課] [義務教育課] [特別支援教育推進室]	5,256	【再掲】
②学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実	学習指導要領趣旨徹底事業 [義務教育課]	17,200	○小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業 ▽外部専門機関と連携した英語指導力向上事業 ▽英語教育強化地域拠点事業 1地域指定(小1校、中1校、高1校) ○土曜授業カリキュラム実践研究事業 モデル地域(1市町)における効果的なカリキュラムの実践研究支援 ○指定校における指導方法等の実践研究 ○小・中学校における起業体験活動モデルの構築 ○小中一貫教育推進事業 義務教育9年間を見通したカリキュラムの編成 【一部再掲】
	学習指導要領等趣旨徹底事業 [高校教育課]	600	○ESDの取組や各教科における指導方法の実践研究(高校2校) ※ESD…持続可能な開発のための教育
	新やまぐちの活力を支える高校生育成事業 [高校教育課] [特別支援教育推進室]	75,415	【再掲】
	新高校生やまぐち創生チャレンジ事業 [高校教育課]	6,500	【再掲】
	やまぐち燦めきサイエンス事業 [高校教育課]	9,805	【再掲】
	児童生徒学習活動充実事業(道徳教育振興事業) [義務教育課] [高校教育課]	7,982	○「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト推進校による取組(16校) ○道徳の授業改善に向けた資料の充実

施策名	事業名	予算額	事業の概要
②学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実	ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業 [義務教育課]	1,424	【再掲】
	中学生ふるさと民泊学習推進事業 [義務教育課]	3,078	【再掲】
	「こころの先生」派遣事業 [義務教育課]	1,840	【再掲】
	外国青年英語指導事業 [高校教育課]	111,101	○全県立学校でALTによるチームティーチングなどの活動を通じた英語教育の改善・充実と国際理解教育の推進 ▽ALT 2825名 (2725名)
	グローバルリーダー育成事業 [高校教育課]	10,000	【再掲】
③学習指導の改善・充実	やまぐちっ子学力向上推進事業 [義務教育課]	12,507	【再掲】
	学力向上等支援員の配置 [義務教育課] [特別支援教育推進室]	給与費	○学力向上に向けた個別指導など、きめ細かな指導を充実させるため、非常勤講師を配置 ▽学力向上等支援、特別支援教育支援 80人
④国際教育の推進	高校生留学促進事業 [高校教育課]	7,638	【再掲】
	やまぐちアクティブ・イングリッシュ事業 [高校教育課]	1,517	【再掲】
	児童生徒慶尚南道友好相互交流事業 [教育政策課] [高校教育課]	489	○慶尚南道からの高校生受入 12人 県内高校での授業体験・意見交換等を通じた相互交流や産業・文化施設訪問等による異文化体験を実施 ○友好相互交流推進会議の開催
	慶尚南道高校生スポーツ交流事業 [学校安全・体育課]	800	○本県高校生とのスポーツ交流を実施 慶尚南道へ交流団を派遣(バドミントン)

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑤読書活動の充実	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業 [学校安全・体育課]	802	【再掲】
	子どもの読書活動推進事業 [社会教育・文化財課]	720	【再掲】
⑥学校における人権教育の推進	人権教育調査研究事業 [人権教育課]	1,486	○様々な人権課題等に対応した研修資料の作成・配付や指導者養成研修の実施 ○人権に関する児童生徒作品の募集・表彰
	学校人権教育推進事業 [人権教育課]	4,900	○学校教育における指導者の養成 校種やキャリアステージに応じた教職員研修の実施 ○地域との連携に基づく人権教育の研究 地域及び学校において総合的に研究を行い、指導内容や指導方法を開発
⑦体力向上の推進	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業 [学校安全・体育課]	802	【再掲】
	運動部活動支援・運動習慣改善事業 [学校安全・体育課]	13,999	【再掲】
	新遊び・運動大好き！やまぐちっ子育成事業 [学校安全・体育課]	9,131	【再掲】
	慶尚南道高校生スポーツ交流事業 [学校安全・体育課]	800	【再掲】
	学校体育指導費 [学校安全・体育課]	3,639	○武道・ダンス等の指導力向上のため、各校種への外部指導者派遣や研修を実施
⑧食育の推進	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業 [学校安全・体育課]	802	【再掲】
	食に関する指導普及事業 [学校安全・体育課]	12,190	【再掲】

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑨健康教育の推進	望ましい生活習慣を形成する「子ども元気創造」推進事業 [学校安全・体育課]	802	【再掲】
	保健管理指導費 [学校安全・体育課]	2,050	○歯と口の健康づくり促進活動 ○性に関する指導普及推進事業 ○薬物乱用防止教室指導員研修会 ○学校におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会 ○アレルギー対応委員会 学校給食等における事故等防止の視点に立ったアレルギー対応を支援
⑩特別支援教育の推進	新やまぐちの活力を支える高校生育成事業 [特別支援教育推進室]	75,415	【再掲】
	キャリア教育総合推進事業 [特別支援教育推進室]	5,256	【再掲】
	新インクルーシブ教育システム推進事業 [特別支援教育推進室]	28,262	【再掲】
	新特別支援学校「山口県技能検定」開発事業 [特別支援教育推進室]	3,000	【再掲】
	総合支援学校 ICT 活用協働学習推進事業 [特別支援教育推進室]	828	【再掲】
	特別支援教育支援員の配置 (特別支援教育内容充実事業) [高校教育課] [特別支援教育推進室]	7,761	○県立高校等の発達障害のある生徒に対して授業や学校行事等で必要な支援を実施 ▽各学区に1名配置(計7名)
	県立学校施設整備事業 (教室不足対応) [教育政策課]	1,572,233	【再掲】
	障害者の就労機会拡大、就労支援 (教育庁運営費等) [教育政策課等]	34,846	○本庁及び県立学校において障害者を雇用 ▽本庁ワークセンター 障害者7名 支援員2名 ▽県立学校 障害者12名(1校1名)

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑩ 特別支援教育の推進	特別支援教育センター管理運営費 [特別支援教育推進室]	2,135	○県内7地域に設置した特別支援教育センターにおいて障害のある子どもやその保護者、小・中学校等に対する支援を実施
	通学対策費 [特別支援教育推進室]	555,376	○総合支援学校(10校)の通学バスを運行 ▽②849路線(②747路線)
	地域コーディネーターの配置 [特別支援教育推進室]	給与費	○地域コーディネーターの配置 ▽②832人(②732人)
	医療的ケア支援要員の配置 [特別支援教育推進室]	給与費	○医療的ケアを必要とする児童生徒の学校へ医療的ケア支援要員を配置 ▽支援要員配置校 ②89校(②79校)
⑪ 幼児期における取組の充実	幼児教育充実事業 [義務教育課]	2,429	○質の高い幼児教育・保育の総合的提供推進事業 幼児教育に係る教職員の研修、幼児教育にふさわしい評価の在り方の検討等に関する調査研究 ○「つながる子どもの育ち大会」の開催 [参加者] 幼稚園教諭、保育士、小学校教諭等 [内容] 公開保育、公開授業、講演等
	多子世帯応援保育料等軽減事業(幼稚園分) [義務教育課]	47,011	【再掲】
⑫ 少人数教育の推進	小1プロブレム解消のための30人学級加配教員配置 [義務教育課]	給与費	○いわゆる「小1プロブレム」など課題の解決を積極的に行う学校に対して、30人学級加配教員を配置
	35人学級化関連事業 [義務教育課]	給与費	○児童生徒の状況に応じたきめ細かな指導体制の充実を図るため、35人学級化のための教員配置を継続
⑬ 生徒指導・相談体制の充実	いじめ・不登校等対策強化事業 [学校安全・体育課]	188,468	【再掲】
	学校メンタルサポート事業 [学校安全・体育課]	4,200	○児童生徒を取り巻く重大な事件・事故が発生した場合、専門家チームを学校へ派遣 ▽学校メンタルサポートチーム等の派遣 学校教育機能の回復や児童生徒の心のケアに対応 ▽学校問題等調査委員会の設置 重大事案の対応等を評価・検証
	教育相談実施事業 [教職員課]	11,337	○やまぐち総合教育支援センターで、課題等を抱える子どもや親、教育現場へ専門的支援を実施 ▽電話相談や専門家による個別相談の実施 ▽学校サポートチームの設置、派遣

施策名	事業名	予算額	事業の概要																																																				
⑬ 生徒指導・相談体制の充実	生徒指導・相談体制充実のための教員配置 [義務教育課] [学校安全・体育課]	給与費	○児童生徒支援加配の重点加配(135人) 問題行動等への対応が困難な小・中学校に配置 ○生徒指導緊急加配教員の配置(5人) 問題行動の早期解決を図る中学校に年度途中配置 ○危機管理緊急加配教員の配置(2人)																																																				
⑭ 進路指導の充実	新やまぐちの活力を支える高校生育成事業 [高校教育課] [特別支援教育推進室]	75,415	【再掲】																																																				
	新やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業 [高校教育課]	9,900	【再掲】																																																				
	新高校生県内進学支援事業 [総務部学事文書課]	4,500	○若者の県内定住促進を図るため、(一社)山口県専修学校各種学校協会等が実施する高校生の県内進学に資する取組に対して助成																																																				
	進学支援推進費 [高校教育課]	4,127	【再掲】																																																				
⑮ 社会教育施設等を活用した教育の充実	特別展「昆虫のふしぎな世界」開催費 [社会教育・文化財課]	15,985	○博物館企画展「昆虫のふしぎな世界」の開催 平成28年7月15日～8月28日(40日間)																																																				
	青少年自然体験活動推進事業 [社会教育・文化財課]	2,080	【再掲】 ※事業詳細																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>研修会・プログラム名</th> <th>対象</th> <th>定員</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">心の冒険・サマースクール</td> <td>小学生チャレンジプログラム</td> <td>小学5,6年</td> <td>32人</td> <td>8泊9日</td> </tr> <tr> <td>中高生クエストプログラム</td> <td>中高校生</td> <td>16人</td> <td>8泊9日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小学生ジョブプログラム</td> <td>ジョブin周防大島</td> <td rowspan="2">小学5,6年</td> <td>16人</td> <td>1泊2日</td> </tr> <tr> <td>ジョブin長門</td> <td>16人</td> <td>1泊2日</td> </tr> <tr> <td>ペアレントプログラム</td> <td>チャレンジ・クエストプログラム参加者の保護者</td> <td>10人</td> <td>3泊4日</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">指導者の養成</td> <td>野外教育活動指導者研修会</td> <td>教員・一般</td> <td>10人</td> <td>前期9泊10日 後期2泊3日</td> </tr> <tr> <td>スキルアップ研修会</td> <td>教員・一般</td> <td>各回30人</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>大人のためのわくわくアウトドア</td> <td>教員・一般</td> <td>20人</td> <td>1泊2日</td> </tr> <tr> <td>AFPY/森のチャレンジコース研修会</td> <td>教員・一般</td> <td>各回20人</td> <td>1泊2日×3回</td> </tr> <tr> <td>AFPY実践フォーラム</td> <td>教員・一般</td> <td>各回90人</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>AFPYアドバイザー研修会</td> <td>AFPYアドバイザー</td> <td>80人</td> <td>1日</td> </tr> </tbody> </table>					区分	研修会・プログラム名	対象	定員	期間	心の冒険・サマースクール	小学生チャレンジプログラム	小学5,6年	32人	8泊9日	中高生クエストプログラム	中高校生	16人	8泊9日	小学生ジョブプログラム	ジョブin周防大島	小学5,6年	16人	1泊2日	ジョブin長門	16人	1泊2日	ペアレントプログラム	チャレンジ・クエストプログラム参加者の保護者	10人	3泊4日	指導者の養成	野外教育活動指導者研修会	教員・一般	10人	前期9泊10日 後期2泊3日	スキルアップ研修会	教員・一般	各回30人	2回	大人のためのわくわくアウトドア	教員・一般	20人	1泊2日	AFPY/森のチャレンジコース研修会	教員・一般	各回20人	1泊2日×3回	AFPY実践フォーラム	教員・一般	各回90人	2回	AFPYアドバイザー研修会	AFPYアドバイザー	80人	1日
区分	研修会・プログラム名	対象	定員	期間																																																			
心の冒険・サマースクール	小学生チャレンジプログラム	小学5,6年	32人	8泊9日																																																			
	中高生クエストプログラム	中高校生	16人	8泊9日																																																			
	小学生ジョブプログラム	ジョブin周防大島	小学5,6年	16人	1泊2日																																																		
		ジョブin長門		16人	1泊2日																																																		
	ペアレントプログラム	チャレンジ・クエストプログラム参加者の保護者	10人	3泊4日																																																			
指導者の養成	野外教育活動指導者研修会	教員・一般	10人	前期9泊10日 後期2泊3日																																																			
	スキルアップ研修会	教員・一般	各回30人	2回																																																			
	大人のためのわくわくアウトドア	教員・一般	20人	1泊2日																																																			
	AFPY/森のチャレンジコース研修会	教員・一般	各回20人	1泊2日×3回																																																			
	AFPY実践フォーラム	教員・一般	各回90人	2回																																																			
	AFPYアドバイザー研修会	AFPYアドバイザー	80人	1日																																																			

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑩ 社会教育施設等を活用した教育の充実	博物館学校地域連携教育支援事業 [社会教育・文化財課]	4,113	○学校や地域と連携した学習支援 ▽学習教材の作成、Web ページ、マガによる広報 ▽小中学校・子ども会等への出前授業、館内授業など ▽各種講座、講演会、実験・体験教室等の開催
	サイエンスやまぐち 2016 展開催費 [社会教育・文化財課]	1,186	○サイエンスやまぐち 2016 展の開催 県内小中高校生が研究した成果を、展示や研究発表会を通して県民に紹介 ▽山口県科学作品展 平成 28 年 10 月 28 日～11 月 13 日 (17 日間) [会場]山口県立山口博物館 (予定) ▽山口県科学研究発表会 (平成 28 年 11 月 8 日) [会場]山口県教育会館 (予定)

2 質の高い教育環境づくりの推進

施策名	事業名	予算額	事業の概要																											
⑩ 教育施設・設備の整備、教育環境の向上	県立学校施設整備事業 [教育政策課] 【一部基地交付金充当】	4,249,901	○耐震対策後の校舎改築、施設・設備の老朽化対策、再編統合に伴う高校の施設整備、教室不足に対応した総合支援学校の施設整備等を実施 ○教育環境の向上を図るため、岩国・大島地域の県立学校に空調設備を整備 【一部再掲】 (単位：千円)																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震対策後の改築</td> <td>1,228,424</td> <td>下松工業、周防大島(安下庄)、宇部総支ほか</td> </tr> <tr> <td>非構造部材対策</td> <td>438,369</td> <td>宇部工業、奈古ほか</td> </tr> <tr> <td>老朽化対策</td> <td>379,351</td> <td>柳井、防府、西京ほか</td> </tr> <tr> <td>高校再編整備</td> <td>485,924</td> <td>下関工科、周防大島(久賀)</td> </tr> <tr> <td>総合支援学校教室不足対応</td> <td>1,572,233</td> <td>田布施総支、山口南総支、山口総支、下関総支ほか</td> </tr> <tr> <td>空調設備整備</td> <td>76,972</td> <td>岩国、岩国総合ほか</td> </tr> <tr> <td>その他(法面調査等)</td> <td>68,628</td> <td>下松、宇部商業ほか</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,249,901</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	予算額	摘要	耐震対策後の改築	1,228,424	下松工業、周防大島(安下庄)、宇部総支ほか	非構造部材対策	438,369	宇部工業、奈古ほか	老朽化対策	379,351	柳井、防府、西京ほか	高校再編整備	485,924	下関工科、周防大島(久賀)	総合支援学校教室不足対応	1,572,233	田布施総支、山口南総支、山口総支、下関総支ほか	空調設備整備	76,972	岩国、岩国総合ほか	その他(法面調査等)	68,628	下松、宇部商業ほか	合計	4,249,901	
	区分	予算額	摘要																											
	耐震対策後の改築	1,228,424	下松工業、周防大島(安下庄)、宇部総支ほか																											
	非構造部材対策	438,369	宇部工業、奈古ほか																											
	老朽化対策	379,351	柳井、防府、西京ほか																											
	高校再編整備	485,924	下関工科、周防大島(久賀)																											
	総合支援学校教室不足対応	1,572,233	田布施総支、山口南総支、山口総支、下関総支ほか																											
	空調設備整備	76,972	岩国、岩国総合ほか																											
	その他(法面調査等)	68,628	下松、宇部商業ほか																											
合計	4,249,901																													
	産業教育設備整備費 [教育政策課]	140,000	【再掲】																											
⑪ 学校安全の推進	学校安全総合推進事業 [学校安全・体育課]	3,916	【再掲】																											

施策名	事業名	予算額	事業の概要																																																							
⑱教職員の 資質能力の 向上	教員資質能力向上推進事業 [教職員課]	5,441	【再掲】																																																							
	教員人材確保の推進 (教職員採用等選考実施費) [教職員課]	1,900	【再掲】																																																							
	教職員等研修事業 [教職員課]	28,749	○「教職員人材育成基本方針」に基づく研修の実施 ▽キャリアステージに応じた、計画的・継続的な研修 ▽学校現場の課題解決力、校内研修等の深化に向けた支援の充実・強化 等																																																							
	初任者・10年経験者研修事業 [教職員課]	24,273	○教育公務員特例法で定められた法定研修の実施																																																							
	総合教育支援センター管理運営費 [教職員課]	99,084	○学校現場などに対する総合的、専門的サポート機関として教育活動に関する支援などの事業を推進																																																							
⑲学校運営 の活性化	事務長の設置 [義務教育課]	給与費	○学校事務のより一層の効率化と事務職員の組織的・計画的育成を図るため、市町立小・中学校の事務の共同実施の総括となる「事務長」を設置																																																							
	チーム学校の実現に向けた業務改善等の推進事業 (学校管理指導費) [教職員課]	1,200	○地域とともにある学校づくりを進めるため、校区内の小中学校が地域の子どもたちの課題等を共有し、協働して解決に取り組むことができる学校評価システムの在り方を研究																																																							
	女性教員出生対策事業 [教職員課]	7,643	○妊娠女性教員の体育実技授業時間へ非常勤講師を配置																																																							
	教職員定数 [義務教育課] [高校教育課] [特別支援教育推進室]	給与費	○児童生徒数の減少等に伴い、全体で8人減																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>高等学校</th> <th>中等教育 学 校</th> <th>特別支援 学 校</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">教職員</td> <td>⑳</td> <td>5,543</td> <td>3,270</td> <td>2,755</td> <td>67</td> <td>1,427</td> <td>13,062</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>5,576</td> <td>3,309</td> <td>2,713</td> <td>68</td> <td>1,404</td> <td>13,070</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>▲33</td> <td>▲39</td> <td>42</td> <td>▲1</td> <td>23</td> <td>▲8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">児 童 生 徒</td> <td>⑳</td> <td>68,860</td> <td>35,701</td> <td>26,830</td> <td>705</td> <td>1,877</td> <td>133,973</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>69,658</td> <td>36,488</td> <td>27,115</td> <td>720</td> <td>1,834</td> <td>135,815</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>▲798</td> <td>▲787</td> <td>▲285</td> <td>▲15</td> <td>43</td> <td>▲1,842</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	小学校	中学校	高等学校	中等教育 学 校	特別支援 学 校	合 計	教職員	⑳	5,543	3,270	2,755	67	1,427	13,062	㉑	5,576	3,309	2,713	68	1,404	13,070	増減	▲33	▲39	42	▲1	23	▲8	児 童 生 徒	⑳	68,860	35,701	26,830	705	1,877	133,973	㉑	69,658	36,488	27,115	720	1,834	135,815	増減	▲798	▲787	▲285	▲15	43	▲1,842
区 分	小学校	中学校	高等学校	中等教育 学 校	特別支援 学 校	合 計																																																				
教職員	⑳	5,543	3,270	2,755	67	1,427	13,062																																																			
	㉑	5,576	3,309	2,713	68	1,404	13,070																																																			
	増減	▲33	▲39	42	▲1	23	▲8																																																			
児 童 生 徒	⑳	68,860	35,701	26,830	705	1,877	133,973																																																			
	㉑	69,658	36,488	27,115	720	1,834	135,815																																																			
	増減	▲798	▲787	▲285	▲15	43	▲1,842																																																			
※児童生徒数は見込																																																										

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑳校種間連携・一貫教育の推進	新やまぐち型地域連携教育強化推進事業 [義務教育課] [社会教育・文化財課]	55,584	【再掲】
	小1プロブレム解消のための30人学級加配教員配置 [義務教育課]	給与費	【再掲】
	幼児教育充実事業 [義務教育課]	2,429	【再掲】
	35人学級化関連事業 [義務教育課]	給与費	【再掲】
㉑県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり	県立学校施設整備事業(高校再編) [教育政策課] 【一部基地交付金充当】	485,924	【再掲】
㉒私学の振興	私立学校運営費補助 [総務部学事文書課]	5,540,151	○私立学校の教育条件の維持向上等のため、私立学校における教育に係る経常的経費について助成
	私立幼稚園預かりサポート推進事業 [総務部学事文書課]	337,174	○子育て支援の充実のため、私立幼稚園が実施する預かり保育、特別の支援が必要な幼児の受入れに対して助成
	新私立幼稚園等教育支援体制整備事業 [総務部学事文書課]	48,484	○私立幼稚園が行う教育支援体制の整備に係る費用に対して助成
	私立幼稚園地域子育て支援事業 [総務部学事文書課]	21,490	○幼児教育のセンターとしての役割を積極的に果たすため、私立幼稚園の教育機能や施設を広く地域に開放して行う各種取組に対して助成
	認定こども園施設整備事業 [総務部学事文書課]	108,198	○認定こども園等が行う教育機能部分の施設整備に係る費用に対して助成
	私立学校耐震化促進事業 [総務部学事文書課]	164,214	○私立学校が行う校舎等の耐震補強・改築工事に要する費用について助成
	私立学校耐震化促進利子補給事業 [総務部学事文書課]	18,256	○私立学校が行う校舎等の耐震化工事に必要な日本私立学校振興・共済事業団からの融資に対して利子補給を実施

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑳ 修学支援の充実	子育て支援のための私立高校生授業料等減免事業 [総務部学事文書課]	145,224	○私学の多様な教育を選択し、安心して学べる環境づくりを推進するため、経済的理由で就学が困難な生徒を対象として授業料等の減額を行う学校法人に対して助成
	私立高等学校等就学支援事業 [総務部学事文書課]	2,087,211	○家庭の教育費負担軽減のため、国の制度に沿って私立高校生等に対して授業料の一部を助成
	私立高校生等奨学給付金事業 [総務部学事文書課]	171,864	○低所得世帯の授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学のための給付金を支給
	私立高校生奨学事業費 [総務部学事文書課]	8,088	○経済的理由により修学困難な生徒に対し、無利子融資である奨学金を貸与
	私立高校生通信制課程修学奨励事業 [総務部学事文書課]	2,738	○私立高校の通信制課程に在籍する生徒に対して修学資金を貸し付けるとともに、教科書学習書の給与に要する経費を助成
	公立高等学校等就学支援事業 [教育政策課]	2,511,675	【再掲】
	国公立高校生奨学給付金事業 [教育政策課]	275,150	【再掲】
	県立高校生等奨学事業 [教育政策課]	16,392	○経済的理由により修学が困難な生徒・学生に対し、奨学金を貸与 [実施主体] (公財)山口県ひとづくり財団 [新規採用枠] 475人
	離島高校生修学支援事業 [教育政策課]	2,400	○国の制度を活用し、離島出身の高校生が修学に要する通学費等の補助事業を行う市町への補助 [補助基本額] 240千円 [負担割合] 国1/2、県1/4、市町1/4
	定時制通信教育教科書等給与事業 [高校教育課]	460	○県立高校の定時制及び通信制に在籍する生徒のうち、有職で一定の単位を修得し、かつ経済的困窮状態にある生徒を対象として、教科書等の無償給与を実施

3 生涯にわたる県民総参加の教育の推進

施策名	事業名	予算額	事業の概要
②④家庭教育支援の充実	新やまぐち型地域連携教育強化推進事業 [義務教育課] [社会教育・文化財課]	55,584	【再掲】
	「地域協育ネット」による 温かい絆づくり推進事業 [社会教育・文化財課]	65,703	【再掲】
②⑤地域と学校が連携した子どもの育成	新やまぐち型地域連携教育強化推進事業 [義務教育課] [社会教育・文化財課]	55,584	【再掲】
	地域とともにある高校づくり推進事業 [高校教育課]	1,500	【再掲】
	新インクルーシブ教育システム推進事業 [特別支援教育推進室]	28,262	【再掲】
	「地域協育ネット」による 温かい絆づくり推進事業 [社会教育・文化財課]	65,703	【再掲】
	「ふれあい夢通信」発行事業 [教育政策課]	1,660	○保護者や教育関係者に幅広い教育情報を提供するため、教育広報誌を発行 [発行回数等] 年2回(A4版) [配布対象等] 児童生徒の全保護者(計約36万部)
②⑥生涯学習の推進	「平成の松下村塾」づくり推進事業 [社会教育・文化財課]	8,452	【再掲】
	生涯学習推進体制整備事業 [社会教育・文化財課]	8,610	○生涯学習情報の提供 生涯学習振興のために生涯学習情報提供システム「かがやきネット」を運用
	生涯学習推進センター管理運営委託費 [社会教育・文化財課]	21,350	○生涯学習推進センターを拠点に県・市町等関係機関とのネットワークを図り、県民の多様なライフスタイルに対応した生涯学習活動を支援
	図書館資料充実事業 [社会教育・文化財課]	50,000	○図書資料の充実 マルチメディアデジ室に係る電子書籍や、ふるさと山口文学ギャラリーに係る郷土資料、子ども読書支援センターに係る図書等の充実

施策名	事業名	予算額	事業の概要
②⑥生涯学習の推進	図書館ネットワークシステムの活用 (図書館管理運営費) [社会教育・文化財課]	31,651	○図書館ネットワークシステムの活用 ▽県立図書館の蔵書データ等の情報を提供 ▽山口県図書館情報ネットワークシステムによる県内大学図書館・市町立図書館とのネットワーク化や家庭からの蔵書検索・予約申込等
②⑦地域社会における人権教育の推進	市町人権教育推進事業費補助事業 [人権教育課]	2,640	○市町が実施する人権教育講座開設事業への補助
	人権教育視聴覚資料整備事業 [人権教育課]	459	○学校等への貸出用に人権教育視聴覚資料を県立図書館へ整備
	社会人権教育推進事業 [人権教育課]	495	○市町教委の社会教育主事等、社会教育関係者、人権教育推進委員等を対象とした研修会の実施
②⑧文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	学校芸術文化ふれあい事業 [義務教育課]	7,000	○巡回芸術劇場の開催 管弦楽公演2回、合唱公演2回、演劇公演3回、雅楽公演2回、邦楽公演2回、能楽公演2回 ○青少年劇場の開催 演劇公演7回 ○巡回ふれあい公演の開催 音楽公演6回、演劇公演8回
	中学生文化活動活性化事業 [義務教育課]	1,168	○山口県中学校文化連盟総合文化祭の開催支援 [開催日時] 平成28年11月12日、13日(予定) [開催場所] 長門市 ○全国中学校総合文化祭派遣 [開催日時] 平成28年8月18日、19日(予定) [開催場所] 大分県大分市
	高等学校総合文化祭推進費 [高校教育課]	3,594	○山口県高等学校総合文化祭の開催支援 平成28年5月～11月(予定) 山口市ほか ○全国高等学校総合文化祭派遣 平成28年7月30日～8月3日 広島県
②⑨文化財の保護と活用	国指定文化財保存活用事業 [社会教育・文化財課]	17,123	○国指定文化財等の保存修理、整備活用 ▽長州藩下関前田台場跡ほか8事業
	国指定文化財大規模保存整備事業 [社会教育・文化財課]	14,250	○国指定重要文化財である大照院本堂・経蔵(萩市)の保存修理(H24～H29)
	県指定文化財等保存活用事業 [社会教育・文化財課]	2,129	○県指定文化財の保存と活用 ▽県指定文化財の保存修理 大寧寺本堂ほか3件 ▽県指定無形民俗文化財等の公開支援
	有形文化財調査事業 [社会教育・文化財課]	1,021	○中世城館遺跡を中心とする未指定文化財の現状把握及び保存対策等に関する調査

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑳文化財の保護と活用	文化事業費 [社会教育・文化財課]	2,271	○古文書講座の開催や「重要文化財山口県行政文書」の修理
	文化財調査指導費 [社会教育・文化財課]	7,554	○「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会負担金 [構成員] 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、岩手県、静岡県、鹿児島県、山口県、萩市ほか(8県11市) ○山口県文化財保護審議会の開催 等 【一部2月補正】
	新 世界文化遺産保全活用事業 [社会教育・文化財課]	10,000	【再掲】
㉑「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	中学校高等学校体育大会開催費 [学校安全・体育課]	1,166	○中学校体育大会の開催支援 [期日] 平成28年5月～7月 [会場] 県内各地 ○高等学校体育大会の開催支援 [期日] 平成28年6月～10月 [会場] 県内各地
	平成28年度全国高等学校総合体育大会開催費 [学校安全・体育課]	171,959	【再掲】
	中学校中国大会全国大会派遣費 [学校安全・体育課]	14,055	○中国大会 [期日] 平成28年8月1日～10日 ○全国大会 [期日] 平成28年8月17日～25日 [会場] 北信越
	全国高等学校体育大会派遣費 [学校安全・体育課]	22,327	○夏季大会 [期日] 平成28年7月26日～8月20日 [会場] 山口県 他 ○冬季大会 [期日] 平成28年12月下旬～平成29年2月上旬 [会場] 京都府 他 ○定時制通信制大会 [期日] 平成28年8月上旬～下旬 [会場] 東京都
	慶尚南道高校生スポーツ交流事業 [学校安全・体育課]	800	【再掲】

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑩「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	スポーツ元気県づくり推進事業 [総合企画部スポーツ・文化局スポーツ推進課]	8,376	○輝く夢あふれるスポーツ元気県やまぐちの実現に向けた県民運動を実施 ○スポーツ推進月間（10月）に、県体育大会、障害者スポーツ大会、スポーツ・レクリエーション体験等の各種スポーツイベントを総合的に実施
	地域スポーツ拠点育成支援事業 [総合企画部スポーツ・文化局スポーツ推進課]	28,800	○地域スポーツ拠点整備のためのクラブマネージャー等の養成や指導者の育成及び総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援
	若者が活躍する競技スポーツ推進事業 [総合企画部スポーツ・文化局スポーツ推進課]	270,000	○全国や世界で活躍する選手の継続的な育成を図るため、競技団体の活動への支援や競技力向上を担う人材を育成
	地域スポーツ人口拡大推進事業 [総合企画部スポーツ・文化局スポーツ推進課]	25,000	○国体地元開催競技及び市町のスポーツ推進計画に位置付けられた競技を通じたスポーツ人口の拡大を推進する取組への支援
	新 「サイクル県やまぐち」推進事業 [総合企画部スポーツ・文化局スポーツ推進課]	25,000	○サイクルスポーツ振興による交流人口の拡大を図るため、シンボルイベントの開催やサイクルスポーツ環境の整備、効果的な情報発信を実施

V イベント等一覧

県有施設における企画展等

《県立山口博物館》

企画展名	開催期間	内 容
特別展「昆虫のふしぎな世界」(仮称)	7月15日(金)～ 8月28日(日)	近年、科学的に解明されつつある昆虫の精巧な機能や仕組みを紹介するとともに、生態展示も行い、昆虫の魅力に迫る。また、山口県の昆虫研究の集大成を行い、絶滅の危機にある昆虫たちの現状も紹介
サイエンスやまぐち2016(第70回山口県科学作品展)	10月28日(金)～ 11月13日(日)	山口県内の児童・生徒の科学活動を推奨するため、「科学作品展」及び「科学研究発表会」を開催 ○第70回山口県科学研究発表会(11月8日(火)) 【会場】山口県教育会館(予定)

《県立山口図書館》

企画展名	開催期間	内 容
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「嘉村礒多が残したもの」	平成28年 1月12日(火)～ 4月26日(火)	山口県立大学附属郷土文学資料センターが収蔵する蔵書や遺品を中心に、嘉村礒多の足跡を紹介
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「文学者という家族～親子・兄弟読みくらべ～」(仮)	4月28日(木)～ 8月30日(火)	「やまぐちの文学者」に選定された文学者のうち、親子・兄弟で活躍した文学者の作品を紹介
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「大正～昭和期の児童文学」(仮)	9月1日(木)～ 平成29年 1月8日(日)	「やまぐちの文学者」に選定された文学者で、大正～昭和期に子ども向け文学の世界で活躍した文学者の作品を紹介
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「県立大学附属郷土文学資料センターのあゆみ」(仮)	1月10日(火)～ 4月27日(木)	山口県立大学附属郷土文学資料センターのあゆみを振り返りつつ、コレクションと研究成果を紹介

《文書館》

企画展名	開催期間	内 容
第11回中国四国地区アーカイブズウイーク	6月1日(水)～ 6月5日(日)	「いやす なおす たもつ～文書館資料にみる病気・医療・健康～」をテーマに、アーカイブズ展示、ギャラリートーク、歴史探究講座、書庫見学ツアー、アーカイブズ歴史小話等を実施

平成28年度の主なイベント等

時 期	イベント等の名称	内 容
4月	26 高等学校等進路指導連絡協議会	高校生等の求人開拓、進路指導に関する検討、情報交換等の実施
5月	～11月 山口県高等学校総合体育大会	県内高校生によるスポーツ競技大会
	～11月 山口県高等学校総合文化祭	県内高校生による芸術文化の発表・展示等
	21 やまぐち「志」育成塾～留学フェア～①	留学希望者対象の講演・相談会等
6月	日未定 山口県コミュニティ・スクール推進協議会①	県の取組方針や各市町の課題等を協議
	下旬～6月上旬 県内就職促進協議会	高校生等の進路担当教員等と県内企業採用担当による情報交換
6月	18～19 やまぐちサイエンス・キャンプ	国際科学オリンピック啓発合宿
7月	16・21 山口県高校生短期留学プログラム事前研修会	短期留学プログラム参加対象者への研修
	28～8/20 全国高等学校総合体育大会（夏季）	山口県開催競技：バレーボール、ハンドボール、フェンシング、空手道、なぎなた、カヌー
	30 山口県高校生英語ディベートセミナー	高校生英語ディベート大会に向けた事前指導等
	31～8/16 山口県高校生短期留学プログラム	ニュージーランド又はオーストラリアへの短期留学
8月	～10月 山口県中学校体育大会	県内中学生によるスポーツ競技大会
	～11月 やまぐち地域連携教育の集い	「やまぐち型地域連携教育」について県民への周知を図るための実践発表、講演、熟議等
	上旬～下旬 全国高等学校総合体育大会（定時制・通信制）	会場：東京都
	10 推薦入試（小論文）対策セミナー	専門高校等2年生対象の進学セミナー
	中旬 キャリア教育実践セミナー	キャリア教育に関する実践事例発表等
	22 1・2年合同夏季個別学力検査対策セミナー	普通科高校1・2年生対象の進学セミナー
	22～24 やまぐちイングリッシュ・キャンプ（スリーデー・キャンプ）	小中高の児童生徒を対象とした英語学習の合宿
	26 子どもの未来を考えるフォーラム	いじめ・不登校等の解決に向けた意識啓発
	27 第4回科学の甲子園ジュニア山口県大会	中学生対象の科学の競技大会（全国大会予選）
下旬 慶尚南道高校生とのスポーツ交流	韓国慶尚南道でのスポーツ交流（バドミントン）	
9月	中旬 S S H生徒研究成果発表会	宇部高校の生徒による研究成果発表会
10月	1 やまぐち「志」育成塾～留学フェア～②	留学希望者対象の講演・相談会等
	1～31 やまぐち家庭教育支援強化月間	家庭の元気応援キャンペーン
	12～28 第22回山口県特別支援学校文化祭美術作品展	県内特別支援学校の美術作品の展示
	29 高校生英語ディベート山口県大会	第4回山口県大会（全国大会予選）
	下旬 県内企業就職説明会	就職を希望する生徒と県内企業採用担当との面談
11月	日未定 韓国慶尚南道高校生による山口県訪問	県内受入校で「科学研究」をテーマに交流
11月	1～7 やまぐち教育週間	教育に関する普及・啓発活動の強化週間
	1～7 文化財保護強調週間	歴史的建造物の特別公開、文化財ウォーク等
	5 第15回やまぐち教育の日・第44回教育県民大会	山口県教育会等主催の実践発表・講演等
	上旬 山口県学力向上推進フォーラム	公開授業・実践事例発表・講演等
	12 第6回科学の甲子園 山口県大会	高校生対象の科学の競技大会（全国大会予選）
12月	12～13 山口県中学校文化連盟第12回総合文化祭	様々な文化活動の県大会（発表・交流）
	4～10 人権週間	人権に関する児童生徒作品（ポスター）の入選作品展示
	17 やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバル	基調講演、パネルディスカッション、実践発表、DVD放映等を通して山口県の取組を県内外に発信
	18 やまぐちイングリッシュ・キャンプ（ワンデー・キャンプ）	高校生と県内大学等留学生の交流キャンプ
1月	下旬～2月上旬 全国高等学校総合体育大会（冬季）	会場：京都府 外
1月	5～6 大学入試センター試験対策セミナー	普通科高校2年生対象の進学セミナー
	26 文化財防火デー	全国一斉の文化財防火活動
	日未定 山口県コミュニティ・スクール推進協議会②	県の取組方針や各市町の課題等を協議
2月	1～5 第69回山口県学校美術展覧会	県内の幼児児童生徒の優れた作品の展示
	3 やまぐち教育フォーラム	県内教員等による研究成果・教育実践の発表
	中旬 S S H課題研究発表会	徳山高校の生徒による研究成果発表会
3月	11～12 第69回山口県学校美術展覧会巡回展	展覧会作品のうち推奨作品を県内各地で展示
	12 第5回山口県理数教育研究大会	理数教育推進拠点校生徒による成果発表
3月	中旬 高校生やまぐち創生チャレンジ事業連携会議	連携校、連携先企業、アドバイザー等による取組の評価、成果発表等
	22 2年春季個別学力検査対策セミナー	普通科高校2年生対象の進学セミナー

平成 28 年度 知事部局等児童生徒関係事業一覧

部	所管課	事業名等	事業概要
1	総務部 学事文書課	高校生県内進学支援事業	(一社)山口県専修学校各種学校協会等が実施する高校生の県内進学に資する取組への助成 ◇県内進学・仕事魅力発信フェアの開催 [時期] 平成29年2月15日(予定) [場所] 県スポーツ文化センター(予定) [内容] 県内大学等の研究成果や将来の就職情報などを交えた進路相談、仕事紹介等 ◇県内進学情報の発信 県内大学等の情報のほか、オープンキャンパス情報、県内進学による経済的メリットなど、県内進学に関する情報を一体的にまとめた進学ガイドブックの作成
2	総合企画部	統計分析課	統計教育出前授業
3		統計分析課	山口県統計グラフコンクール
4		統計分析課	親と子の統計教室
5		中山間地域づくり推進課	やまぐちスロー・ツーリズム推進事業
6		中山間地域づくり推進課	体験型教育旅行受入拡大推進事業
7		市町課	市町振興基金(市町きらめき支援資金)
8	国際課	日韓海峡沿岸交流事業	[戦略的重点資金(義務教育施設耐震化事業枠)] 市町が行う義務教育施設の耐震化事業に対し、無利子の長期資金貸付けを実施
9	スポーツ推進課	「サイクル県やまぐち」推進事業	○グローバル人材育成事業 日韓海峡沿岸8県市道の中学生が相手国を訪問し、語学研修・文化体験・ホームステイを体験後、一堂に集い、自身の体験を発表・討議するフォーラムを開催 [時期] 7月 [場所] 福岡県 [対象] 中学生(各県市道から5人ずつ)
10	スポーツ推進課	地域スポーツ拠点育成支援事業	サイクルスポーツ振興による交流人口の拡大を図るため、シンボルイベントの開催やサイクルスポーツ環境の整備、効果的な情報発信等を実施 ◇サイクリング等シンボルイベントの開催 ◇サイクルスポーツ環境の整備 ◇ロゴ等を活用した効果的な情報発信
11	スポーツ推進課	地域スポーツ人口拡大推進事業	○地域スポーツ拠点整備のためのクラブマネージャー等の養成や指導者の育成 ○地域のスポーツ推進拠点である総合型地域スポーツクラブの設立・育成を支援 ◇総合型クラブ育成連絡協議会の開催 ◇広域スポーツセンターにコーディネーター(4名)の配置 ◇総合型クラブへのスポーツ指導者等の派遣
12	スポーツ推進課	若者が活躍する競技スポーツ推進事業	地域におけるスポーツ人口の拡大を図るため、市町が実施するスポーツイベントなどに対して支援
13	スポーツ推進課	スポーツ元気県づくり推進事業(やまぐち総合スポーツ大会開催事業を編入)	競技団体活動の支援や競技力向上を担う人財の育成 ◇競技団体、学校等が行う選手の育成・強化活動への支援 ◇トップレベルの選手・指導者の学校部活動派遣 ◇小・中学生対象の次世代アスリート発掘・育成プログラム実施等
			○スポーツ元気県づくり県民運動の推進 ○やまぐち総合スポーツ大会の開催 [開催時期] 10月23日 [開催場所] 維新百年記念公園陸上競技場他 [実施内容] 県体育大会、県障害者スポーツ大会、レクリエーション体験、各種スポーツイベント他

	部	所管課	事業名等	事業概要
14	総合企画部	文化振興課	県立美術館の活用	学校教育における芸術文化の体験学習の場としての活用等 ※18歳以下及び引率教員は観覧料無料 ◇学校団体での見学の支援 ◇出前授業の実施 ◇職場体験の受け入れ ◇ワークショップの開催 ◇教材(レプリカ等)貸出しの実施 ◇教員と学芸員を結ぶメーリングリストの運営 ◇ティーチャーズデー(担当教科不問)の開催
15		文化振興課	萩美術館・浦上記念館の活用	学校教育における芸術文化の体験学習の場としての活用等 ※18歳以下及び引率教員は観覧料無料 ◇学校団体での見学の支援 ◇職場体験の受け入れ ◇ワークショップの開催
16	環境生活部	県民生活課	消費者対策総合推進事業	○学校における消費者教育の推進 消費者教育アドバイザーを派遣し、学校と市町の消費生活センター等との連携によるモデル授業の実践を支援 [対象] 中学校及び高校 各3校 ○「消費者教育セミナー」の開催 学校における消費者教育の担い手となる教員を対象とした講習会の開催
17		地域安心・安全推進室	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業	○学校等を対象とした防犯講習会(出前講座)の開催 ○通学路、公園等の安全点検活動の実施
18		地域安心・安全推進室	交通事故抑止対策推進事業	○子どもの交通事故防止推進キャンペーンの実施 ○通学路交通安全指導推進ボランティア養成研修会の開催
19		人権対策室	啓発フェスティバル開催事業費	「人権ふれあいフェスティバル」の開催 [時期] 8月20日 [場所] 長門市(ラポールゆや)
20		男女共同参画課	男女共同参画推進事業	○ポスターコンテストの実施 10月の「男女共同参画推進月間」の活動の一環として、この月間のポスターに使用する「男女共同参画社会」を表現した絵画を募集 ○男女共同参画フォーラムの開催 男女共同参画の理念を県民の各界各層へ幅広く普及し、関係団体等の活動内容等を紹介するとともに、県内の関係団体やその構成員相互の連携強化及び主体的な取組を促進 [時期] 10月29日(予定) [場所] 山口市 山口県婦人教育文化会館(予定)
21	男女共同参画課	配偶者暴力等(DV)対策事業	○交際相手からの暴力に関する予防啓発の促進 高校生等若年層向けパンフレット「知っちゃう?デートDV」の配布	
22	環境政策課	快適なくらしづくり推進事業	「環境保全、リサイクル、省資源・省エネルギー」絵画、ポスターの募集(小・中学生対象)	
23	環境政策課	環境学習関連事業	「環境学習推進センター」(セミナーパーク内)における全県的な環境学習の推進 ◇様々な環境学習情報の提供、人材派遣、教材提供等	
24	生活衛生課	食の安心・安全充実強化事業	○「食の安心・安全体験教室」の開催 食品製造工場等の見学や料理教室等を通じた親子向け体験型学習会の開催 [時期] 8月(食品衛生月間) [場所] 県内8ヶ所	
25	自然保護課	鳥獣保護推進事業	○愛鳥モデル校の指定 ○「愛鳥週間ポスターコンクール」の開催(小・中・高校生対象)	
26	健康福祉部	厚政課	乳幼児医療対策費	医療保険に係る医療費の自己負担分への助成 [対象] 小学校就学前まで [所得制限] 父母の市町村民税所得割額136,700円以下の世帯
27		厚政課	ひとり親医療対策費	医療保険に係る医療費の自己負担分への助成 [対象] ひとり親家庭の母又は父及び当該家庭の18歳未満の児童 [所得制限] 市町村民税所得割非課税の世帯
28		厚政課	民間社会福祉活動指導育成費	健康や福祉に関する標語・作文を、児童、生徒、一般県民から募集する。最優秀作品は、山口県総合社会福祉大会で表彰する。

	部	所管課	事業名等	事業概要
29	健康福祉部	厚政課	介護人材確保総合対策事業	将来的にますます不足が見込まれる介護人材を確保するため、介護分々の魅力発信やイメージアップ等による新たな担い手の養成や、キャリアアップ支援等による職場への定着促進に向けた取組を行う。 ◇小中高生やその保護者、教員等を対象とした「職場体験」の実施等
30		厚政課	共生のまちづくり推進事業	地域の絆を基調としながら、高齢者や障害者、妊産婦など、すべての人がいきいきと活躍でき、地域で安心して生活できるよう、様々な主体が共働する共生のまちづくりを推進する。 ◇ユニバーサルデザインに関して優れた取組を行っている個人・団体や優れたアイデアを考えた個人（小学生以上）の表彰等
31		厚政課	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援法に基づき、生活にお困りの方から相談を受けるとともに、地域の関係者と協働しながら、自立に向けた支援を実施する。 ◇子どもの学習支援事業…ひとり親世帯、生活保護世帯、生活困窮世帯の子どもに対し、支援員の派遣により学習を支援する。 〔対象地域〕 和木町、上関町、田布施町、平生町、阿武町
32		医療政策課	地域医療支援センター運営事業（高校生等セミナー開催事業）	医学部進学者を増加させるための高校生等を対象としたセミナーを実施 〔実施場所〕 県内3医療機関程度
33		医療政策課	がん検診受診率向上事業（がん教育充実事業）	○小・中・高校生を対象としたがん教育の必要性を関係機関に対し普及啓発を実施 ○学校への出前講座の実施 〔実施場所〕 県内10校程度
34		医療政策課	看護職員確保促進事業（フレネース発掘事業）	中・高校生を対象に看護の普及啓発を実施 ○リーフレットの配布 ○1日ナース体験 〔開催場所〕 県内病院50か所程度 〔実施時期〕 7月～8月 ○看護フェアの実施 〔開催地域〕 周南地域、宇部地域予定 〔実施時期〕 8月
35		健康増進課	健康やまぐち総合推進事業	小・中学校への喫煙防止教育の出前講座の実施
36		健康増進課	歯科口腔保健推進事業	フッ化物洗口を実施していない幼稚園・保育園を対象とした導入支援の実施
37		健康増進課	歯科医療推進事業	山口県歯科医師会口腔保健センターが行う障害者(児)に対する歯科診療事業へ補助
38		健康増進課	エイズ予防対策推進事業	エイズに関する正しい知識の普及啓発
39		健康増進課	ひきこもり対策事業	ひきこもり地域支援センター（山口県精神保健福祉センター内に設置）にひきこもり支援コーディネーターを配置し、相談等の支援を実施
40		健康増進課	ハンセン病対策事業	ハンセン病の正しい知識の普及啓発（県出身者の声を取り入れた、県作成のパンフレットを活用した中学3年生への授業等）の実施等
41		薬務課	献血推進啓発普及事業	若年層を中心とした理解促進、意識向上対策の実施 ◇献血推進ポスター・作文の募集 〔対 象〕 県内在住又は県内に通学する中学・高校の生徒 〔実施時期〕 7月～8月頃 ◇高校生献血推進ボランティアの育成 ◇学校献血(高校)の推進
42		薬務課	「NOドラッグ！」推進事業	○薬物乱用防止教室の実施 〔対 象〕 県内全小学校・中学校・高等学校 〔実施場所〕 各学校 〔実施回数〕 未定 ○高校生体験セミナーの開催 〔実施場所〕 未定 〔実施回数〕 1回 ○薬物乱用防止ポスター・標語の募集 〔対 象〕 県内在住の方又は県内の学校に通学している方 〔実施時期〕 7月～8月頃
43		薬務課	「地域で活躍する薬剤師」総合支援事業	未来の薬剤師増加対策 〔実施主体〕 山口県薬剤師会 〔実施内容〕 中学生・高校生体験セミナーの開催

	部	所管課	事業名等	事業概要
44	健康福祉部	長寿社会課	シニア活躍！ ねんりんパ ワー応援事業	高齢者グループの「やまぐち教育応援団」への登録促進や老人クラブのコミュニティ・スクールへの参画など、高齢者と子ども達の世代間交流を促進
45		こども政策課	みんなで子育て 応援推進事業	○やまぐち子どもハッピーフォーラムの開催 子育てに関する講演会・ワークショップ、子どもの学習・参加型イベントの開催等 [時期] 11月(予定) [場所] 長門市(予定) ○知事とイクメンパパの料理教室の開催 男性の積極的な家事・育児参加の気運を高めるため、父親のための料理教室を開催 [時期] 夏頃 ○ファミリー・サポート・センター制度の周知 子どもの一時的預かり等、地域における育児の相互援助活動を推進するキャンペーンの実施 [時期] 6～7月(予定)
46		こども政策課	地域子ども・ 子育て支援事業	放課後児童クラブ運営支援、放課後児童クラブ設置のための既存施設整備等
47		こども政策課	子育て支援・ 少子化対策推 進事業	○児童福祉月間 次代を担う子どもたちが健やかに成長することを願い、毎年5月を児童福祉月間と定め、子どもや子育て家庭を社会全体で支える気運を醸成するための様々な運動を展開 ○児童福祉月間(標語及び絵画の募集・表彰) 児童福祉月間の普及を図るための標語・絵画を募集し、表彰 [知事賞]最優秀1点・優秀2点・優良5点 ※ 最優秀作品は、児童福祉月間のポスターに使用
48	こども政策課	保育士確保総 合対策事業	○保育所PRキャラバン隊派遣事業 保育士等で編成するキャラバン隊が、高校を訪問し、保育の仕事の魅力をPR	
49	こども家庭課	子どもの虐待 対策・家庭的 養護推進事業	児童虐待防止対策を総合的に推進 ◇発生予防 ハイリスク家庭見守りチームの派遣、不登校児童への通所指導の実施 他 ◇早期発見・早期対応 児童相談所24時間365日相談体制の確保、一時保護所における学習指導、 弁護士・学識経験者による助言・指導 他 ◇保護・自立支援 里親の養育力向上研修会の開催 児童養護施設退所者等に対する家賃・生活費等の貸付 他	
50	こども家庭課	ひとり親家庭 生活向上事業	○生活支援講習会等事業 児童のしつけ、健康管理等への支援及び親子ふれあい機会創出のための講習会開催 ○学習支援事業 中学生の学習支援や進学相談等を行う大学生等のボランティアの家庭への派遣 ○子どもの生活支援事業 市町での子どもの居場所づくりの取組促進に向け県内1ヵ所でモデル実証事業を実施	
51	こども家庭課	青少年育成県 民運動事業	○優良青少年等の表彰 ○青少年育成県民会議補助	
52	こども家庭課	母子父子寡婦 福祉資金貸付 金	母子家庭、父子家庭及び寡婦の扶養する児童が、就学、就職等ために必要な資金の貸付け	
53	障害者支援課	あいサポート 運動推進事業	障害者がいきいきと活躍できる地域社会の実現を図るため、誰もが障害に対する理解を深め、配慮を実践する「あいサポート運動」を推進する。	
54	障害者支援課	障害者スポー ツ県民参加推 進事業	○キラリンピック(山口県障害者スポーツ大会)の開催 ▽個人競技 [開催時期] 5月8日、15日、22日 [開催場所] 維新百年記念公園陸上競技場 他 [実施内容] 陸上競技、水泳 他 ▽球 技 [開催時期] 10月16日、11月13日 [開催場所] やまぐちリフレッシュパーク 他 [実施内容] 風船バレーボール、レクリエーションポッチャ 他 ○選手育成、スポーツ教室の開催や地域での障害者スポーツ参加率向上に向けた支援、指導者等の施設・学校等への派遣	

	部	所管課	事業名等	事業概要	
55	健康福祉部	障害者支援課	障害者文化芸術活動推進事業	○障害者芸術文化相談支援事業 障害者本人やその家族、障害者施設等からの相談を受け付け、関係機関の照会やアドバイスを実施する。 〔相談窓口〕 周南あけぼの園 ○山口県障害者芸術文化祭 障害者の総合的な芸術文化祭（芸術作品の展示、ステージ発表等）を開催する。 〔出展・出演申込〕 6月頃～（申込先：山口県障害者社会参加推進センター） 〔開催時期〕 12月 〔開催場所〕 山口市内	
56		障害者支援課	全国障害者スポーツ大会派遣事業	第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」への山口県選手団の派遣 〔会期〕 10月22日～24日	
57		障害者支援課	軽度・中等度難聴児補聴器購入費等補助事業	障害者総合支援法に基づく助成対象とならない軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費等の助成を実施	
58		障害者支援課	発達障害児地域支援力強化事業	各圏域毎に児童発達支援センター等を中心とする支援機関のネットワーク化を図り、共同して支援者養成研修や相談会を開催	
59		障害者支援課	発達障害者支援センター運営事業	発達障害者支援センターにおいて、ライフステージに応じた本人や家族への適切な支援、発達障害に関する普及啓発を実施	
60		障害者支援課	総合療育機能推進事業	○療育相談会開催事業 乳幼児期における生涯の早期発見・早期支援推進のため、医療・福祉・教育等関係機関と連携した療育相談会を開催	
61		障害者支援課	身体障害者補助犬の普及啓発	身体障害者補助犬の普及啓発を目的に関係機関への講習会等を実施	
62		障害者支援課	心の輪を広げる障害者理解促進	○「心の輪をひろげる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の募集 障害者に対する理解の促進を図るために、障害のある人となない人との心のふれあい体験を綴った作文と、障害のある人への理解を広めるためのポスターを募集	
63		商工労働部	観光振興課	物産振興対策事業	○山口県特産品PR絵画コンクール 県民の特産品への関心を高めるとともに、県内外へのPRを推進していくため、県内の中学生を対象にコンクールを実施
64			交通政策課	公共交通力増強対策事業	○公共交通教室の開催 小学生等を対象に、バスの乗り方やマナー等についての教室を開催し、公共交通への関心の向上や、積極的な公共交通の利用を促進
65	労働政策課		若者就職支援センター管理運営費	若者就職支援センターにおいて、相談から職業紹介までの一貫した就職支援サービスをワンストップで提供 ◇キャリアカウンセリング及び各種セミナーの実施 ◇新規卒卒者への就労相談カードの配布等	
66	労働政策課		新卒未就職者等早期就職サポート事業	高校、大学の未就職卒業者等を対象に、長期の訓練コース(9ヵ月間)による職業能力開発の実施等、若者就職支援センター等と連携した地域若年人材の育成・早期正社員化の支援	
67	労働政策課		障害者雇用促進事業	○障害者雇用に係る事業主の理解と関係機関の連携促進、障害者の職業訓練、就職面接会 特別支援学校在学中の生徒(高等部3年生)に対する職業訓練の実施(定員15人)	
68	労働政策課		次代を担う産業人材育成推進事業	○山口マイスター等の派遣・指導 山口マイスター等のものづくり熟練技能者を企業や教育・訓練機関等に派遣し、技能講習・各種技能競技大会に向けた技術指導やものづくり教室を実施 ○ものづくりイベントの開催 〔日時〕 11月6日(日) 〔場所〕 維新百年記念公園(山口市) 〔内容〕 ものづくりの展示・実演、体験教室など	
69	農林水産部		ぶちうまやまぐち推進課	学校給食県産食材利用拡大事業	生産者団体等と協働した学校給食における県産農林水産物の利用拡大 〔実施主体〕 山口県農業協同組合中央会、山口県水産物消費拡大運動推進協議会 〔実施内容〕 ○県産原料100%のご飯、パン、麺(うどん)、豆腐の価格差補填 ○野菜、魚介類等県産農林水産物のサンプル提供 〔負担割合〕 県1/2、団体等1/2

	部	所管課	事業名等	事業概要
70	農林水産部	ぶちうまやまぐち推進課	くじら食文化普及促進事業	学校給食への鯨肉提供による、鯨食文化の普及・啓発の推進 [実施主体] 山口県水産物消費拡大運動推進協議会 [活動内容] 学校給食で鯨肉料理を提供した場合の費用の一部補助 [負担割合] 県1/2、団体等1/2
71		森林企画課	県民参加による森づくり活動促進事業	小・中学生を対象とした森林体験学習の実施 等
72		水産振興課	新規漁業就業者定着促進事業	円滑な就業促進のための就業対策研修(大津緑洋高校生(水産生徒分) 枠14人あり)
73	土木建築部	監理課	地域建設産業就業支援総合対策事業	○業界研究セミナーの実施 高校生等向けに、山口県の建設産業をよりよく知ってもらうためのセミナーを実施 ○出張セミナーの実施 高校生等向けに、建設産業に携わる魅力を伝えるセミナーを実施 ○壁新聞の配布 小中学生向けに、建設の仕事やトピックを紹介する壁新聞を作成・配布
74		都市計画課	都市計画事務取扱事務費	山口県景観アドバイザーを小・中学校に派遣し、景観学習(概要説明、まちあるき等)を実施
75		都市計画課	都市緑化ポスターの募集及び表彰	「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)の啓発運動の一環として、県内の児童、生徒を対象に「都市緑化ポスター」を募集し、入賞作品を表彰
76		砂防課	砂防出前授業	小学生を対象に土砂災害の危険性や備えについて授業を実施
77	警察本部	少年課	少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動	○少年サポートセンターによる「体験型共同生活」の実施 ○少年安全サポーター(県下10地区)による非行及び被害の未然防止活動
78		生活安全企画課	子供の犯罪被害防止対策事業	○下校時間に特化した子供見守り活動の体制整備 ○事業者等の子供見守り活動の促進 ○子供の安全を啓発する事業
79		交通企画課	交通安全マインドやまぐち推進事業	○次世代の交通社会人の指導・育成 児童生徒対象の交通教室や教職員講習会の開催、学校等における自転車安全教育の実施等

県教育委員会作成資料リスト

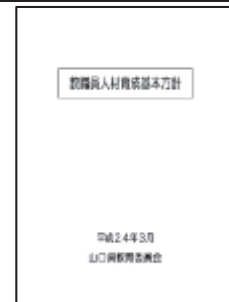
【教職員の資質向上】

教職員人材育成基本方針（平成 24 年 3 月）

【概要】

「教職員人材育成基本方針」は、キャリアステージ（教職経験）ごとに求められる教員の役割や資質能力を示すとともに、本県教育を担う人材の育成に向けた取組の方針を示したものです。

学校、市町教育委員会、県教育委員会は、この「教職員人材育成基本方針」を共有し、連携して、本県教育を担う人材を育成するための取組を積極的に推進します。



【URL】 http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/kihon/kihon/apd1_1_2012020302163304.pdf

教職員の人材育成に向けた取組（平成 27 年 3 月）

【概要】

「教職員人材育成基本方針」に基づき、教職員一人ひとりの資質能力の向上に向けて、学校、市町教育委員会、県教育委員会が、役割と責任を果たしながら一体となって取り組むことができるよう、教職員の人材育成に係る具体的な取組（計画）を示したものです。

また、教職員が自己のよさや課題に応じたキャリアビジョンを明確にしたり、管理職がそれらを支援するとともに、全県的な視点から自校の状況を把握し、学校における人材育成の方策について検討したりすることができるよう、人材育成に関する様々な資料を掲載しています。



【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/kihon/kihon.html>

組織的な学校運営による学校の総合力の向上に向けて～5つのアプローチ～（平成 24 年 3 月）

【概要】

各学校の取組を促進するとともに、組織的な学校運営に向けた教職員の意識啓発を図るための研修資料（リーフレット）です。

- 学校評価・教職員評価・授業評価等を活用した総合力の向上
- OJTの推進による総合力の向上
- 学校事務職員の学校運営への参画による総合力の向上
- ICTの活用等による総合力の向上
- 家庭や地域社会との連携、外部人材の活用による総合力の向上



【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/sosiki-power/kensyuusiryoku.html>

学校におけるOJT推進の手引き（平成 24 年 4 月）

【概要】

学校でのOJTの取組を促進するため、OJTの実施主体となる管理職や分掌主任・学年主任等の参考となる研修資料です。

- 学校において育成が求められる教職員の資質能力
- 学校におけるOJTの進め方
- OJTを実施する上でのスキル
- OJTの推進に向けた研修の実施 など



【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/ojt/ojt.html>

組織的な学校運営による学校の総合力に向けた「実践事例・提案事例集」～5つのアプローチ・48の手立て～

(平成 25 年 3 月)

[概要]

学校の組織運営体制や指導体制の改善に向けて、県内全ての教頭が、各学校の実態を踏まえて取り組んだ事例のうち、他校の参考となる取組を実践事例・提案事例として掲載したものです。

- 諸会議や校務分掌の見直し等による校内組織の充実（8 事例）
- O J T の充実等による組織力強化や教職員の資質向上（14 事例）
- 事務職員の学校運営参画体制の強化（6 事例）
- I C T の活用等による校務の効率化・情報共有（7 事例）
- 家庭や地域社会との連携強化・外部人材の活用等（11 事例）



[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/sosiki-power/jireisyuu.html>

教育実習実施に当たってのガイドライン（平成 25 年 3 月）

[概要]

教育実習の実施に際しての基本的な考え方や、指導内容・指導方法、さらには、指導に当たっての留意点を示すとともに、効果的に実施することができるように、巻末には、様々な様式や参考資料を添付しています。

- 授業づくりの指導
- 授業に関する技術の指導・授業の評価
- 学級経営に関する指導 その他の教育活動に関する指導
- 養護教諭・栄養教諭の実習
- 教育実習の評価方法 など



[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/yousei/jissyuuguide.html>

学校事務職員の学校運営への参画による学校の総合力の向上に向けて（平成 25 年 3 月）

[概要]

学校の総合力の向上に向けて、学校事務職員と教員の連携の必要性や、学校事務職員が学校運営に参画していくための配慮事項や取組方法の基本的な考え方、並びに他校の参考となる具体的な取組を掲載したものです。

- 学校事務と学校事務職員の現状
- 学校事務職員の学校運営への参画に向けて
 - ▽学校事務職員の学校運営への参画に向けた基本的な考え方
 - ▽学校事務職員の資質能力の向上
 - ▽学校事務の組織体制の強化と業務の効率化
 - ▽「学校事務職員と教員の相互理解の促進」と「学校事務職員の学校運営への参画」
- 具体的な取組（協力校実践事例・提案事例）10 事例



[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/sosiki-power/jimusannkaku.html>

【義務教育】

キャリア教育実践事例集（平成 26 年 3 月）

【概要】

<Web掲載のみ>

子どもたちの基礎的・汎用的能力を育てるために、キャリア教育の考え方や地域の特色を生かしたキャリア教育の実践をまとめたものです。

- 小学校キャリア教育実践事例 32事例
- 中学校キャリア教育実践事例 23事例
- 小中連携で行うキャリア教育実践事例 8事例

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/carrier/20110326001.html>

キャリア教育年間指導計画作成資料（平成 27 年 3 月）

【概要】

<Web掲載のみ>

学校での学習と将来とを結び付け、学習に対する目的意識や学習意欲を向上させていく「キャリア教育年間指導計画」にしていくために、参考となる年間指導計画例をまとめたものです。

- 各学年で、児童生徒に重点的に身に付けさせたい力を位置付けた計画例 4事例
- 学校の教育活動全体を通じたつながりをもった計画例 2事例
- それぞれの教育活動の目標や内容等、授業づくりに役立つ必要最低限の情報を掲載した計画例 4事例
- 実践を評価するための時期や手立てを明示した計画例 2事例

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/carrier/careernenkei.html>

「スタートカリキュラム実践事例集」（平成 26 年 2 月）

【概要】

幼児教育長期研修派遣教員（幼児教育の理解と幼保・小連携の推進のため、幼稚園で1年間の研修を行った小学校の教員）が幼児期の教育と小学校教育の接続を意識して取り組んだ小学校入学時のスタートカリキュラムの実践を集めたものです。

- スタートカリキュラムのねらい
- スタートカリキュラム実施上の留意点
- スタートカリキュラムの実践事例 など

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/tunagaruko/start.html>



「つながる子どもの育ち（改訂版）」（平成 23 年 12 月）

【概要】

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、子どもの育ちや学びを連続的に捉え、それぞれの発達段階において育てたい力や、環境構成、教職員のかかわり方を示した幼保・小一貫指導のための資料です。

- 「つながる子どもの育ち」の育ちの姿
- 「つながる子どもの育ち」の展開
- 「つながる子どもの育ち」の充実

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/tunagaruko/top.html>



「つながる子どもの育ちカリキュラム実践事例集」（平成 27 年 2 月）

【概要】

「スタートカリキュラム実践事例集」及び「つながる子どもの育ち 改訂版」の内容を踏まえ、小学校就学に向けた幼稚園・保育所・認定こども園等での取組事例と、保育者の意図や配慮及び小学校教育との関連についてまとめたものです。

- 「スタートカリキュラム実践事例集」の検証
- 幼保・小接続の事例
- 小学校教育につながる教育・保育の取組

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/tunagaruko/start.html>



「つながる子どもの育ちリーフレット」（平成 28 年 3 月）

【概要】

子どもたちが小学校へ安心して入学できるよう、幼児期と児童期のつながりについて説明した、就学前の保護者向けリーフレットです。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/tunagaruko/start.html>



「新学習指導要領実施上の手引き 小学校・中学校」（平成 22 年 12 月）

【概要】

各学校が教育課程の編成や授業改善、教育活動の充実に取り組む際の指針を示し、新しい学習指導要領に基づき、「一人ひとりの夢の実現」に向けた山口県らしい教育を推進することを目的とした資料です。

- 第 1 章 「一人ひとりの夢の実現」に向けた教育の推進
- 第 2 章 各教科、領域の改訂・授業改善のポイント及び展開例

【URL】（小学校） <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/sidouyouryou/syougakkou.html>
（中学校） <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/sidouyouryou/tyugakkou.html>



「これが私の故里だ ～山口県伝統・文化教材集～」（平成 22 年 12 月）

「これが私の故里だ ～山口県伝統・文化教材集～」（増補）（平成 26 年 3 月）

【概要】

地域や伝統、文化に対する理解を深め、自らに生かし、ふるさとへの誇りと愛着をもちながら、継承し発展させようとする心や態度を育成することを目的として作成したものです。

県内の小・中学校、各市町教育委員会、「知っちよるやまぐち」等の各種参考資料、関係団体等、多方面から収集した実践事例や地域素材を整理し、各教科・領域等毎に選定したものについて、その説明や小・中学校での指導展開例等を掲載しています。

【URL】（22年版） <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/sidouyouryou/kyouzaisyu.html>
（26年増補版） <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/sidouyouryou/kyouzaisyu2.html>



「理科教育の充実に向けて ～小学校理科 指導のポイント集～」(平成 26 年 3 月)

[概要]

小学校の理科における教員の指導力の向上及び授業の充実に資するよう、授業を行う上で参考となる事柄を取り上げた資料です。

理科授業の参考とするだけでなく、初任者研修や校内研修等の資料としても活用できます。

○「小学校理科 指導のポイント集」(平成 26 年 3 月)

○「小学校理科における指導のポイント」(1号～25号)

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/rikakyouiku/shidounopoint.html>



「観察・実験指導力向上資料集」(平成 28 年 3 月)

[概要]

平成 25 年度から平成 27 年度に実施した理科の観察・実験指導力向上研修会で実施した実験の手順をまとめた資料です。

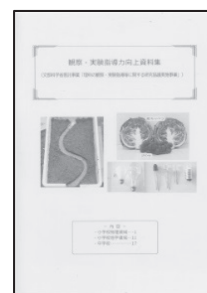
○小学校エネルギー領域

○小学校地球領域

○中学校化学領域

[URL]

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/rikakyouiku/shidounopoint.html>



「学力向上に向けた授業改善のために」(平成 24 年 7 月)

[概要]

学力向上に向けた授業改善の視点である 4 つの重点取組事項及び日々の授業づくりにおけるポイントを示し、各学校の学力向上に向けた授業改善の一層の推進を図ることを目的に作成し、全教員に配付しているものです。

○学力向上の取組全体構想図 ～4 つの重点取組事項～

○マネジメントサイクルによる授業改善

○日々の授業づくりにおける 3 つのポイント

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/jugyokaizen/20120919001.html>



「平成 27 年度授業づくり拠点校研修会事例集」(平成 28 年 3 月)

[概要]

平成 27 年度「授業づくり拠点校」として県内 35 校で開催した研修会の実践事例をまとめたものです。

・小学校 国語 (7 校)

・中学校 国語 (7 校)

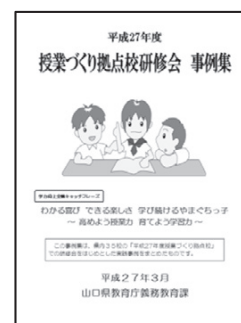
・小学校 算数 (7 校)

・中学校 数学 (7 校)

・中学校 理科 (7 校)

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/jyugyoudukuri/jyugyozukuri-1.html>

※平成 25・26 年度の事例集も同ページに掲載しています。



少人数指導ガイドライン（平成 22 年 5 月）

〔概要〕

指導形態・指導方法の工夫例や、指導体制充実のためのチェックリスト等
を示し、各学校の少人数指導の充実を目的に作成しているものです。

第 1 章 山口県の少人数教育

第 2 章 少人数指導の充実のために

(1) 指導形態・指導方法の工夫

(2) 指導体制の充実



〔URL〕 http://shien.yasn21.jp/contents/teacher/kyouikudb/gimu/apd1_12_2011020121193924.pdf

やまぐち学習支援プログラム

〔概要〕

<Web掲載のみ>

□ 学校用（学校からダウンロード可能）

○学習教材・問題……小1～中3：国語、社会、算数・数学、理科、外国語活動・英語

○学期末評価問題……小1～中3：国語、社会、算数・数学、理科、英語

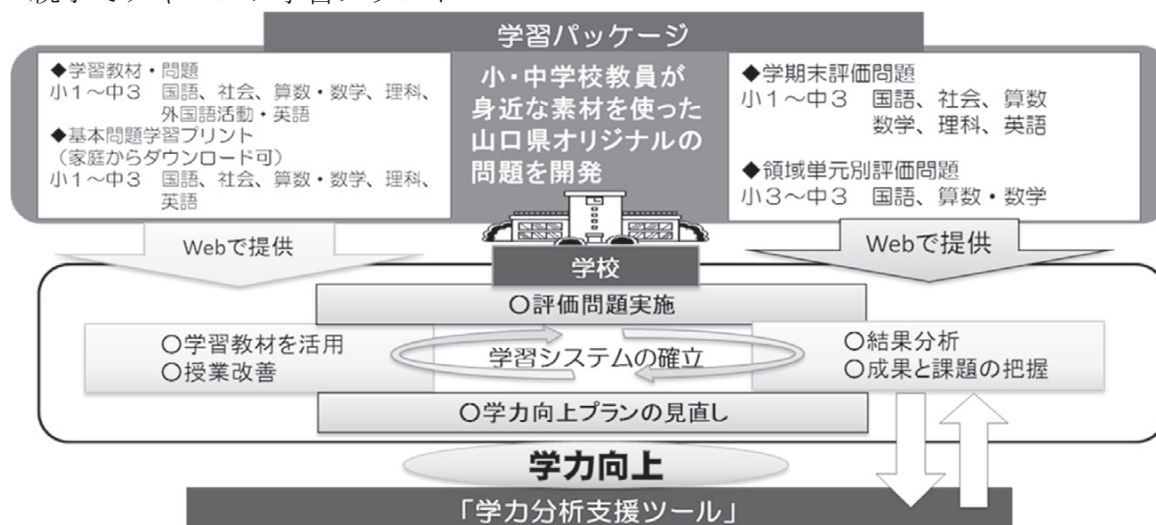
○領域単元別評価問題…小3～中3：国語、算数・数学

□ 子ども・保護者用（家庭・学校からダウンロード可能）

○基本問題……小1～中3：国語、社会、算数・数学、理科、英語

・やまぐちっ子学習プリント

・親子でチャレンジ学習プリント



〔URL〕 学校用…… <https://shien.yasn21.jp/gakushi/>

子ども・保護者用… <http://shien.yasn21.jp/contents/teacher/jisaku/kihontop.html>

「道徳授業づくりアイデア集」(平成 21 年 3 月)

[概要]

道徳教育推進の協力体制を確立するために、道徳教育推進教師の役割や各学校における特色ある道徳教育の推進、さらには、道徳の指導計画の作成等について示した資料集です。

- 道徳の時間を充実させるために
- 道徳の時間を充実させる指導のポイント

[URL]

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/doutoku/20110325001.html>



「魅力ある道徳教育プラン集」(平成 22 年 3 月)

[概要]

児童生徒の発達段階に応じた道徳の授業づくりを工夫するために、資料を活用するポイントや発問づくりの工夫や話し合い活動等の充実を図るための資料集です。

- 第 1 章 道徳教育を充実するために
- 第 2 章 道徳教育の充実に向けた協力体制を確立するために
- 第 3 章 各学校における特色ある道徳教育の推進

[URL]

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/doutoku/20110325001.html>



「山口県版 『私たちの道徳』活用事例集」(平成 27 年 3 月)

[概要]

「私たちの道徳」を活用し、道徳教育を一層の充実を図るための資料集です。

- 1 学校生活での活用
- 2 各教科での活用
- 3 道徳の時間での活用
- 4 総合的な学習の時間での活用
- 5 特別活動での活用

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/doutoku/20110325001.html>



やまぐち外国語教育だより

[概要]

<Web掲載のみ>

小学校外国語活動の円滑な実施に向けて、平成 21 年 5 月から、「小学校外国語活動だより」を作成し、これまで、主に小学校の取組に焦点をあてた情報発信を行ってきました。

平成 24 年度、中学校の新学習指導要領が全面実施となり、小・中学校それぞれにおいて学習指導要領の趣旨に沿った実践はもとより、小・中・高等学校を通したコミュニケーション能力の育成に向けて、平成 24 年度から、「やまぐち外国語教育だより」とし、小学校と中学校の連携の在り方や英語教育に関わる情報等を発信しています。

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/gaikokugo/top.html>

「授業づくりと評価の手引き 基礎編 小・中学校版～よりよい授業づくりをめざして～」
(平成 25 年 7 月)

[概要]

児童生徒の確かな学力の定着・向上を図るためには、毎日の授業を振り返りながら、授業力を高めることが重要です。

この手引きは、日々の授業実践の中で心がけておきたいことを取り上げ、解説したものです。

- 授業づくりの基礎・基本について
- 学習指導の在り方などについて
- 授業評価と授業改善について
- 学習評価について



[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/jugyodukuri/201308280001.html>

「授業づくりと評価の手引き～基礎編～校内研修【レシピ】」(平成 26 年 3 月)

[概要]

「授業づくりと評価の手引き～基礎編～」の校内研修活用例をまとめたものです。効果的な活用により、校内研修を活性化させ、授業改善に結び付けることができます。



[URL]

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/jugyodukuri/201308280001.html>

「平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果について」(平成 27 年 9 月)

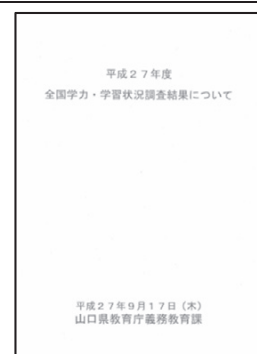
[概要]

平成 27 年度全国学力・学習状況調査の山口県の結果について、山口県の学力向上の取組とともに、詳細に分析した結果を掲載しています。

- 教科に関する結果
- 児童生徒質問紙と学校質問紙の結果
- 今後の取組について

[URL]

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/zen-gaku/20111104001.html>



「平成 27 年度山口県学力定着状況確認問題結果について」（平成 28 年 1 月）

【概要】

平成 27 年度山口県学力定着状況確認問題の結果について、詳細に分析した結果を掲載しています。

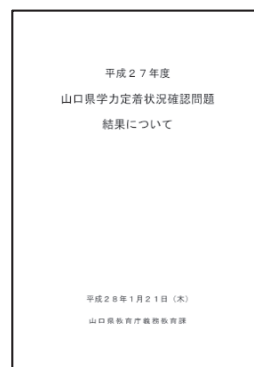
参考資料として、各教科、設問ごとに過去の調査問題、やまぐち学習支援プログラム問題の対応一覧表を掲載しており、復習に便利です。

- 教科の問題に関する結果
- 教科の問題参考資料
- 質問紙調査の結果

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/kakunin/top.html>

また、やまぐちっ子の学力向上に向けて、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」の報告を掲載しています。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/zen-gaku/20130122001.html>



「やまぐちコミュニティ・スクール」（平成 27 年 3 月）

【概要】

山口県教育委員会では、「学校支援」「学校運営」「地域貢献」の3つの機能をもつ「やまぐちコミュニティ・スクール」により、全ての学校の教育水準と学校経営の質の向上を図っています。

この事例集は、「やまぐちコミュニティ・スクール」の概要や具体的な取組等についてまとめたものです。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/cs01/cs01.html>



平成 27 年度「やまぐちコミュニティ・スクール」実践事例集（平成 28 年 3 月）

【概要】

山口県教育委員会では、コミュニティ・スクールが核となり、「地域協育ネット」の仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校、家庭、地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進しています。

この事例集は、コミュニティ・スクールを核とした「やまぐち型地域連携教育」の概要や具体的な取組等についてまとめたものです。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/cs01/cs01.htm>



【高校教育】

「新学習指導要領実施上の手引き 高等学校」（改訂版 平成 26 年 3 月）

【概要】

本県の県立高等学校及び中等教育学校後期課程における学習指導要領を踏まえた教育課程の編成や授業等の実施に当たっての指針を示しています。

第 1 章 山口県教育の推進

第 2 章 教育課程の編成及び実施に当たって

第 3 章 教育課程編成に関する一問一答

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/H22tebiki/tebiki.html>



「学力向上推進の手引き ～まなびゲーション～」（平成 24 年 3 月）

【概要】

知・徳・体の 3 つの要素のうち、特に知の要素について「学校のパワーアップ」「教員のパワーアップ」「生徒のパワーアップ」の 3 つの観点から具体的にチェックできるよう構成しています。

第 1 章 学校のパワーアップ 〈組織的で特色ある取組の推進〉

第 2 章 教員のパワーアップ 〈指導力の向上〉

第 3 章 生徒のパワーアップ 〈学ぶ意欲の向上〉

第 4 章 知・徳・体に共通する項目

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/futsuu/gakuryokukoujyou.html>



「授業づくりと評価の手引き（基礎編改訂版）」（平成 25 年 3 月）

【概要】

授業を振り返りながら授業力を高めるための基本事項確認用ハンドブックとして、日々の授業実践の中で心がけておきたいことを取り上げ解説しています。

第 1 章 授業づくりの基礎・基本について

第 2 章 学習指導の在り方などについて

第 3 章 授業の振り返りについて

第 4 章 学習評価について

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/futsuu/jugyoudukuri.html>



「授業づくりと評価の手引き（実践編）」（平成 25 年 3 月）

【概要】

学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりや、指導と評価の一体化を意識した授業改善に向けて、各教科において言語活動を充実させる指導方法や、指導と評価を計画的に進める際の具体的な手立てなどを掲載しています。

- 第 1 章 言語活動の充実に向けて
- 第 2 章 新しい学習指導要領を踏まえた学習評価
- 第 3 章 指導と評価の計画
- 第 4 章 授業づくりと学習評価に関する一問一答
- 第 5 章 関係資料の紹介
- 第 6 章 授業実践事例（教育力向上指導員）



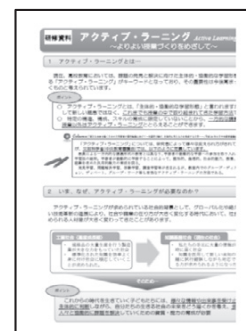
【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/futsuu/jugyoudukuri.html>

アクティブ・ラーニング～よりよい授業づくりをめざして～（平成 27 年 12 月）

【概要】

各学校において校内研修用として活用できるよう、アクティブ・ラーニングの必要性や日々の授業を進める上でのポイントなどをまとめたものです。

- 1 アクティブ・ラーニングとは
- 2 いま、なぜ、アクティブ・ラーニングが必要なのか？
- 3 アクティブ・ラーニングを取り入れた授業のすすめ
- 4 アクティブ・ラーニング型の授業の展開例



【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/futsuu/activelearning.html>

山口県教育の情報化推進指針（平成 25 年 3 月）

【概要】

山口県における教育の情報化の進め方について基本的な方向性を示したものです。教育の情報化を、「情報教育の充実」「教科等の指導における ICT の活用」「校務の情報化の推進」の 3 つの柱で進めることとしています。

- 第 1 章 教育の情報化の現状と方向性
- 第 2 章 情報教育の充実 ～児童生徒が変わる～
- 第 3 章 教科等の指導における ICT の活用 ～授業が変わる～
- 第 4 章 校務の情報化の推進 ～学校が変わる～
- 第 5 章 教員の ICT 活用指導力の向上
- 第 6 章 情報化を進めるための教育環境の充実
- 第 7 章 情報化の推進体制の確立



【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/futsuu/joho-shishin.html>

高等学校等における主権者教育の推進に向けて（平成 27 年 12 月）

【概要】

18 歳選挙権に対応した、本県における主権者教育の今後の方向性を示しています。また、主権者教育の年間指導計画や授業実践の例を提示するとともに、主権者教育を進める上での留意点や、高等学校等の生徒による政治的活動等の取扱いについて解説しています。

- 第 1 章 18 歳選挙権に対応した主権者教育の推進
～主権者教育を「積極的に」推進するために～
- 第 2 章 主権者教育の効果的な手法、授業実践例
～主権者教育を「効果的に」推進するために～
- 第 3 章 主権者教育を進める上での留意点
～主権者教育を「公正に」推進するために～
- 第 4 章 高等学校等の生徒による政治的活動等の取扱い
Q & A

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/syukensya/tebiki.html>



環境教育推進計画（改訂版 平成 23 年 3 月）

【概要】

平成 17 年 3 月に策定した「環境教育推進計画」を、本県における環境教育の現状を踏まえながら学習指導要領の改訂に対応させるために、平成 23 年 3 月に改訂しました。

- 第 1 章 環境教育の必要性
- 第 2 章 推進計画の目指すもの
- 第 3 章 具体的な推進方策

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/kankyoei/keikaku.html>



【特別支援教育】

よりよい「交流及び共同学習」を進めるために～共に生きる社会をめざして～

（平成 28 年 3 月）

【概要】

障害のある人と障害のない人が相互の触れあいを通じて豊かな人間性を育むことができる「交流及び共同学習」の推進に向けて、意義や手続き、実践事例等をまとめたものです。

- 1 「交流及び共同学習」の意義
- 2 「交流及び共同学習」を始める際の手続き等
- 3 「交流及び共同学習」の実践
- 4 「交流及び共同学習」における「合理的配慮」の提供

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/case/kouryu.html>



校内コーディネーターガイドブック（平成27年3月）

【概要】

各学校の校内コーディネーターが、特別支援教育の推進に関して、各学校の組織的な対応力を高めるために、支援体制づくりや事例検討会等の事例等をまとめたものです。

- 校内の支援体制づくり
- 事例検討会の開催
- 保護者との連携 等

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/coordinator.html>

通常の学級における特別支援教育の充実のために（平成26年4月）

【概要】

特別な教育的支援を要する児童生徒は、学校全体で支援することが重要であると同時に、通常の学級の教員には、特別な教育的支援を要する児童生徒を指導・支援するときの基本姿勢や心構えも求められます。

この資料では、児童生徒一人ひとりを大切にする教育の推進に向けた「教室環境づくり」、「学級経営」、「授業づくり」、「個別的な支援」、「校内体制づくり」のための手立てやポイント等を取り上げています。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/gimukyo.html>



自立活動の指導の手引き（平成25年5月）

【概要】

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導領域である「自立活動」の指導の充実を図るため、自立活動の指導の基本的な考え方や、個別の指導計画に基づく指導の進め方についての理解を深めることを目的としています。

特別支援学級、通級指導教室等における教育課程上の位置付けや指導内容例も掲載しており、小・中学校、高等学校等でも活用できるように編集しています。

理論編 資料編

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/jiritsu.html>



特別支援学校新着任者用研修テキスト（平成25年4月 改訂）

【概要】

特別支援教育の一般的な理解、障害の種類に応じた教育の基本的な考え方、学習指導案の作成と活用を通じた授業の工夫・改善等を示し、特別支援学校教員に必要となる基礎的知識の習得と、さまざまな障害に対する総合的な専門性及び実践的指導力の向上を目的としています。

- ◆特別支援教育とは
- ◆特別支援学校の教育課程の特色 ほか

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>



高等学校等における特別支援教育（平成 23 年 3 月）

[概要]

高等学校等における特別支援教育の推進のための基本的な考え方、高等学校段階を考慮した支援や配慮についての事例等を示し、教員の発達障害等への気付きと理解、一人ひとりの生徒を大切にする指導や支援により、特別な教育的支援が必要な生徒だけでなく、全ての生徒の充実した学びと自立の実現に向けた教育の一層の充実を目的としています。

基本編 実践編

[URL]

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/hschool.html>



特別支援教育における ICT 活用ガイドブック（平成 22 年 3 月）

[概要]

特別支援教育における情報教育や情報モラル教育、ICT 活用上の配慮や工夫、指導事例等を示し、学校における ICT の活用による、児童生徒の学習意欲の喚起やコミュニケーション能力の向上、障害の特性に応じた分かりやすい授業の展開等に向けた取組を進めることを目的としています。

理論編 事例編 資料編

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/ict.html>



特別支援教育 就労をめざして～一人ひとりの自立・社会参加に向けて～（平成 22 年 3 月）

[概要]

現場実習の進め方や現場実習先の開拓の手順とともに、生徒への支援、実習での成果や課題を活かした授業改善、家庭や関係機関等と連携した支援等についての事例等を示し、障害のある生徒一人ひとりの実状に即した職業教育や就労支援の一層の充実を図ることを目的としています。

- 1 現場実習に向けて
- 2 現場実習を生かした就労支援の充実
- 3 資料編

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/work/manual.html>



特別支援教育における『個別の指導計画』の作成のために（平成 21 年 12 月）

[概要]

「個別の指導計画」の基本的な考え方、作成のための配慮事項、計画の様式と記入上の留意点等を示し、教員一人ひとりの実践力とともに学校組織としての対応力の向上、発達障害等のある幼児児童生徒の自立・社会参加に向けて、特別支援教育の一層の充実をめざして作成したものです。

「個別の指導計画」 Q & A

「個別の指導計画」様式及び記入上の留意点

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/Planning-guidanc/planning-guidanc.html>



支援をつなぐー理論編ー（平成19年3月）

【概要】

特別支援教育の理念と基本的な考え方、発達障害の理解と支援、学校や家庭での支援などを示し、各学校において、管理職をはじめ全教職員が一体となり、幼児児童生徒一人ひとりの実態に即した適切な相談・支援の充実を目的としています。

- 1 これからの特別支援教育
- 2 LD・ADHD・高機能自閉症・アスペルガー症候群の理解と支援 ほか

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>



支援をつなぐー実践編ー（平成20年3月）

【概要】

発達障害の特徴別の指導方法、授業の中での指導の実践例、校内体制による支援の実践例等を示し、障害のある幼児児童生徒一人ひとりの実態に即した適切な指導及び必要な支援の充実を目的としています。

- I 特別支援教育の動向
- II 本県の特別支援教育 ほか

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>



支援をつなぐー研修編ー（平成21年3月）

【概要】

全校体制による実効性のある相談支援のための研修内容・方法に関する情報等を示し、研修効果を高め、すべての学校における相談支援の実効性の向上、障害のある幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援の実践の蓄積により、本県特別支援教育の一層の充実を目的としています。

- I 特別支援教育の研修を進めるために
- II 発達障害の理解 ほか

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>



「子育て相談会」実施マニュアル（平成21年3月 改訂）

【概要】

「子育て相談会」やその後のフォローアップ等の具体的な取組を示し、発達障害の早期発見・早期支援の取組を、県内の多くの地域に広げることが目的としています。

- 1 発達障害とは
- 2 5歳児（年中児）を対象とする理由 ほか

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>



支援のための校内体制づくり～LD等の幼児児童生徒への支援～（平成18年3月）

【概要】

特別支援教育の基本的な考え方やLD等の幼児児童生徒への支援等を示し、各学校における全校体制による支援の充実を目的としています。

- 1 特別支援教育の理念と基本的な考え方
- 2 山口県特別支援教育ビジョンの概要 ほか

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>



【人権教育】

山口県人権教育推進資料（平成24年3月）

【概要】

山口県教育委員会では、平成24年3月に『山口県人権教育推進資料』を作成しました。

この資料は、『山口県人権推進指針』を踏まえ、人権教育を推進する上での基本的な方向を示すとともに、学校及び地域社会における自主的な取組がより高まることを目的としています。

- I 本県における人権教育の取組
- II 学校における取組
- III 地域社会における取組
- IV 推進上の留意点（配慮事項）

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50800/index/>



【生徒指導】

山口県いじめ防止基本方針（平成26年2月）

【概要】

いじめは人権に関わる喫緊の課題であり、その早急な解決に向けて、これまでのいじめの防止等の取組を踏まえながら、総合的かつ効果的ないじめ対策を推進するために策定しました。

第1部では「いじめの防止等のための基本的な事項」、第2部では「学校におけるいじめの防止等のための具体的な事項」についてまとめてあります。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/index/>



よりよい生徒指導に向けて（平成23年3月改訂）

【概要】（全校種教職員向け生徒指導の手引き）

すべての教育活動において、子どもたち一人ひとりが夢の実現に向け、自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる主体的な態度を育成するため、生徒指導の基本的な考え方や授業、特別活動、部活動での具体的な実践をまとめた、山口県の生徒指導総合ガイドブックです。

第I章 生徒指導（総論）

第II章 場面指導事例 【授業編】 【特別活動編】 【部活動編】

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/seitoshidounojyu.html>



心の教育推進の手引き（平成 24 年 1 月）

【概要】（幼稚園及び小・中学校教職員向け指導資料）

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の核となる豊かな人間性を育むため、子どもたちが「心をひらく」、「心を見がく」、「心をつたえあう」教育活動の具体的実践事例等を示しています。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/kokoronokyoku.html>



子どもたちの規範意識を育むために（平成 24 年 12 月）

【概要】（小・中学校教職員向け指導資料）

義務教育 9 年間の発達段階を踏まえた規範意識の育成を推進するため、これだけは身に付けさせたい基礎的な事項を選び、発達段階に応じた具体的な指導の参考例を示すとともに、小・中学校連携による実践事例や、規範意識を高める教育活動等を紹介しています。

- 1 規範意識とは
- 2 発達段階に応じた指導の重要性
- 3 「きまり」「節度」「礼儀」の重点的な指導 等

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/kokoronokyoku.html>



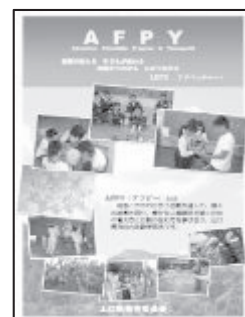
A F P Y 啓発リーフレット（平 23 年 3 月）

【概要】

他者と関わり合う体験活動を通じ、一人ひとりのコミュニケーション能力を高め、豊かな人間関係を築くための考え方と行動の在り方を学び合う、山口県独自の体験学習法（プロジェクトアドベンチャー）の啓発リーフレットです。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/ninngennkannkei.html>



問題行動等対応マニュアル（平成 28 年 3 月改訂）

【概要】（全校種教職員向けマニュアル）

学校が、生徒指導上の諸課題に迅速・的確かつ組織的に対応できるよう、指導のポイントや初期・中長期対応等を示すとともに、平素からの問題行動等の未然防止・再発防止に向けた生徒指導体制の取組や、関係機関との連携等についても示した、山口県の問題行動等対応統一マニュアルです。

- 1 学校危機対応について
- 2 問題行動等に対応するための事前準備
- 3 問題行動等発生時の対応・連携図
- 4 事例別マニュアル 等

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/manual.html>



Fit（平成24年4月）

【概要】（生活アンケート：適応感調査）

簡便なアンケート調査により、数値入力だけで、学業、対人、環境等の「適応感」を測定し、表とグラフで分析・表示します。定期的な実施することで生徒の変化を把握できるなど、幅広く生徒理解に活用できるツールです。（山口大学と共同作成）

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/seitoshidounojyu.html>



家庭・地域向け啓発リーフレット「いじめ防止・根絶」（平成27年3月）

【概要】（保護者・地域向け資料）

学校・家庭・地域の連携の下、いじめを早期に発見し、解決するために、「いじめの構造」「子どものサイン」「子どもへのかかわり」「学校・家庭・地域・関係機関の連携」など、社会全体で子どもたちを見守る体制づくりのための内容についてまとめています。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/ijimeboushi.html>



心を耕す（平成20年3月）

【概要】（小学校教職員向け指導資料）

各学校における、いじめの根絶に向けた取組の一助とするため、日常の学校生活の中で発生する友人間のトラブル等の具体的な場面を取り上げ、担任が道徳の時間や終わりの会などで活用できる指導資料集です。

【登下校時】【始業前・業間】【授業中】【給食時間】【掃除時間】 等

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/ijimeboushi.html>



不登校対策にかかるQ&A集（平成22年3月）

【概要】（全校種教職員向け資料）

すべての教職員が不登校の未然防止に向けた意識を高め、教育相談に関する資質を伸ばすための基本事項を、具体的なQ&Aとしてまとめた資料です。

【本論編】

- ・校内体制に関すること
- ・未然防止・早期対応に関すること
- ・不登校の子どもや保護者への支援に関すること

【資料編】

- ・「不登校への対応」に関するチェック票（例）
- ・ケース検討会資料（例） 等

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/futoukoutaiou.html>



インターネットKYT～危険予測トレーニング～（平成27年3月）

【概要】（危険予測学習教材）

インターネットやスマートフォン等を利用する場合に注意しなければならないことをKYT（危険予測トレーニング）としてまとめました。小学校版と中学校・高等学校版があります。

授業等で積極的に活用することにより、インターネットやスマートフォン等の利用についての児童生徒の危険予測・回避能力の育成を図ります。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/manual/nettokeitai.html>



【学校安全】

山口県学校安全推進計画（平成27年3月）

【概要】

本県における学校安全の更なる充実を図るため、平成26年度から、おおむね4年先まで見通して、学校安全の基本的な方向性と具体的方策を示しています。

第1章 学校安全の現状と課題及び方向性

第2章 学校安全の推進に向けて

第3章 計画の推進に必要な事項

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/anzenplan.html>

学校危機対応演習資料（平成23年6月）

【概要】

<Web掲載のみ>

学校における事件・事故、問題行動等の発生を想定した演習資料です。教職員研修で活用することにより、危機発生時の組織的な初動・初期対応など学校における危機対応力の一層の向上を図るとともに、教職員の危機管理意識を高め、事案発生を未然に防止することを目的としています。

- 1 生徒指導上の課題への対応（いじめ・対教師暴力 等）
- 2 事件・事故等への対応（交通重大事故・不審者の侵入 等）
- 3 災害等への対応（風水害・土砂災害・地震）

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/kikitaiousensyu.html>

危険予測学習(KYT)資料集（平成23年11月）

【概要】

「防犯」「交通安全」「災害安全」の学校安全3分野をまとめた危険予測学習(KYT)資料集です。各学校で積極的に活用することにより、児童生徒の危険予測・回避能力の育成を図ります。

- 1 危険予測学習(KYT)について
- 2 本資料集の活用にあたって
- 3 ワークシート実践例
- 4 KYT資料

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/20120210014.html>



防災教育ハンドブック 改訂版（平成 24 年 3 月）

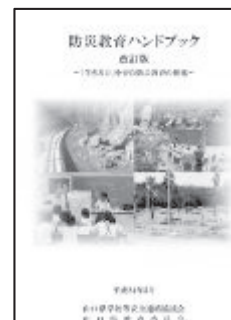
【概要】

本県の自然災害の特徴、防災教育の目的や進め方、実践事例・指導展開例等を掲載した教師用指導資料です。本ハンドブックを活用した防災学習を実施することにより、子どもたちの防災対応能力の育成を図ります。

- 1 山口県の自然災害の特徴
- 2 本県における防災教育
- 3 防災教育の実践事例・指導展開例
- 4 授業に活用できる資料

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/handbookkai.html>



防災教育テキスト「自然災害から自分の命を守るために」（平成 24 年 11 月）

【概要】

本県で発生が想定される大規模災害の発生メカニズムや発生時の対応、家庭での確認事項等を掲載した防災教育テキストです。小学校 1～3 年用、小学校 4～6 年用、中・高校生用の 3 種類があり、心身の発達の状況に即して、児童生徒の主体的な防災学習を支援します。

- 1 地震・津波
- 2 土砂災害
- 3 台風・高潮
- 4 家族で確認

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/bousaitext.html>



防災訓練事例集（平成 24 年 11 月）

【概要】

<Web 掲載のみ>

様々な状況下での防災訓練事例をもとに、各学校で実際に即した防災訓練を実施することにより、災害時に子どもたちが的確に状況を判断し、主体的に行動できる力を身に付けることを目的としています。

- 1 昼休みに地震が発生した場合の避難訓練
- 2 土砂災害警戒情報が出た場合の避難訓練
- 3 停電のため放送が使えない場合の避難訓練
- 4 行方不明者・負傷者が出た場合の捜索・搬送訓練 等

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/bousaikunren.html>

【学校体育】

平成 27 年度体力向上の手引き（平成 28 年 3 月）

【概要】

子どもの体力向上に向けた取組の実践事例を紹介する「指導編」、山口県の小学校から高校までの児童生徒の体力や生活習慣を調査した「子ども元気調査」等の「データ編」から構成され、各学校の実態や課題を踏まえた体力の向上に向けた取組の一層の充実・改善に寄与することを目的としています。（ホームページには冊子の一部を掲載）

指導編【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/tairyokukoujyou/tairyokutebiki.html>

データ編【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/tairyoku/tairyokutesuto.html>



学校体育通信「やまぐちっ子の元気」(平成 24 年 10 月第 1 号発行、第 19 号発行済み)

[概要]

<Web掲載のみ>

学校体育通信「やまぐちっ子の元気」では、子どもの体力向上に向けた学校・家庭・地域の取組が一層充実するように、体育科・保健体育科の授業のポイント、体育的活動の実践事例、体力向上に係る様々な情報等を紹介しています。

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/taiikutuusjin/taiikutuusinn.html>

山口県中学校「武道指導の手引」(平成 25 年 3 月)

[概要]

中学校学習指導要領の全面実施に伴い、平成 24 年度から保健体育科において必修となった武道では、我が国の伝統と文化により一層触れ、武道の楽しさを味わわせることが大切です。



本冊子は、安全で充実した授業を実施するため、伝統的な考え方や技能等の指導内容及び生徒の実態に応じた段階的な指導方法等について、動画も使いながらわかりやすく解説したものです。

※ 動画は、「YouTube」を閲覧する環境が必要です。

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/budonotebiki/budonotebiki.html>

家庭・地域・学校で楽しく取り組む運動遊びプログラム「チャレンジやまぐち」(平成 23 年 12 月)

[概要]

<Web掲載のみ>

幼児期から小学校期の間は、神経系が著しく発達する時期で、いろいろな運動遊びを通して「6つの力」(バランス、体の移動、物の操作、力の入れ方、体の柔らかさ、続けて動く)をバランスよく身に付けていくことが大切です。また、この時期にこれらの力を身に付けておくことは、その後の中学校、高校での運動・スポーツの上達にも大きく影響し、生涯にわたって運動を楽しむ力をつけることにつながります。



これらの力を育てる「親子」で楽しめる多様な運動遊びをwebで紹介しています。

[URL] <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/chareyama/chareyamapuro.html>

「子どもに経験させたい運動・遊び」映像資料 (DVD+CD) (平成 26 年 3 月)

[概要]

山口県教育委員会が事務局を務める「“運動大好きやまぐちっ子” 育成連絡協議会」では、子どもの体力向上に向けて「子どもたちに経験させたい運動」及び「子どもたちに経験させたい遊び」を映像で収録したDVDを作成しました。あわせて、DVDで紹介している運動・遊びの掲示用資料、新体力テストの実施に向けた参考資料及び啓発資料等のデータを収めたCDをセットにしています。



「体育科・保健体育科 ポケナビ Book」～指導資料等紹介・検索小冊子～（平成 27 年 3 月）

【概要】

体育科・保健体育科授業の工夫・改善及び指導力向上を図る一助として、文部科学省、国立教育政策研究所、県教委が作成した資料（映像資料を含む。）等を紹介した小冊子です。各資料の紹介ページには、URL及びQRコードを掲載しています。掲載されているほとんどの資料は無料でダウンロードし、活用することが可能です。



【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/gakkoutaiiku/201308020001.html>

「運動大好き！やまぐちっ子体操」映像資料（DVD+音楽CD）（平成 28 年 3 月）

【概要】

「“運動大好きやまぐちっ子”育成 連絡協議会（事務局：山口県教育委員会）」では、幼児期から経験させたい動きを盛り込んだ「運動大好き！やまぐちっ子体操」を収録したDVDと音楽CDを作成しました。この体操は音楽に合わせて体操をしますが、初級編から中級編、上級編へと難易度が増し、発達の段階に合わせて活用することができます。



【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/gakkoutaiiku/201308020001.html>

「望ましい部活動の在り方について（通知）」に係る資料（平成 27 年 3 月）

【概要】

中学校、高等学校等の部活動については、学校教育の一環として行われることが重要です。近年では、指導者による体罰、熱中症等部活動中での事故、極端な勝利至上主義によるバーンアウト等の弊害など、部活動を取り巻く新たな課題が生じていることから、部活動運営におけるポイントを示し、各学校の部活動の充実・改善を図ることを目的に作成した資料です。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/gakkoutaiiku/201308020001.html>

「週 1 日以上の適切な休養日の設定」に向けた啓発リーフレット（平成 26 年 3 月）

【概要】

中学校、高等学校等の部活動における「週 1 日以上の適切な休養日の設定」を部活動運営の改善のポイントとして示し、生徒や教職員の多忙化、疲労の蓄積及びスポーツ障害の発生等の諸課題を解消することを目的に作成し、教職員、生徒、保護者等へ啓発のために活用しているものです。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/gakkoutaiiku/201308020001.html>



【学校保健】

学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル（平成 28 年 2 月）

【概要】

＜Web掲載のみ＞

アレルギー疾患を有する児童生徒が、更に安全・安心な学校生活を送るために、アレルギー疾患対応の取組のながれ（モデル例）様式等をまとめ、全教職員がアレルギー疾患について正しい知識と理解のもと迅速に対応するためのマニュアルです。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/genkizukuri/kodomo-genki2013.html>



子どもの健康をみんなで支える 健康づくり推進に向けて ～学校保健の進め方～ （平成 22 年 2 月）

【概要】

現代的な健康課題の解決に向けた取組、学校保健におけるマネジメントサイクル、学校保健委員会の取組等について、管理職研修や校内研修等で活用できる資料です。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/genkizukuri/kodomo-genki2013.html>



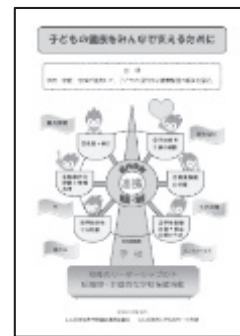
リーフレット「子どもの健康をみんなで支えるために」（平成 23 年 3 月）

【概要】

学校・家庭・地域が連携して子どもの健康課題の解決を図るため、5つの重点課題を取り上げ、それぞれの課題についてのポイントとチェックリストを提示しています。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/genkizukuri/kodomo-genki2013.html>



【学校給食】

食に関する指導の手引～学校全体で取り組む食育の推進～（平成 28 年 3 月）

【概要】

学校における食に関する指導や食物アレルギー対応等について、栄養教諭・学校栄養職員だけでなく、学校全体で組織的に取り組むための方法や留意点について示した手引書です。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/genkizukuri/kodomo-genki2013.html>



【社会教育】

AFPYの手引き（平成23年3月）

【概要】

AFPYの理論や活動例を示し、AFPYの普及を図ることを目的としています。

- 1 山口県におけるAFPYの歩み
- 2 AFPYの理論
- 3 実施にあたって
- 4 AFPY活動例
- 5 AFPY啓発リーフレット
- 6 関連リンク AFPYだより、心の冒険・サマースクール

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/afpy/tebiki.html>

保護者向けリーフレット 「夢をはぐくむ家庭の元気」～みつめなおそう家庭教育～ (平成22年6月)

【概要】

子どもの「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育むために、家庭における取組のヒントとして作成したものです。

【主な内容】

1. わが家の生活のふり返り
2. 家庭教育5つのポイント
3. 家庭でのルールや子育てのヒント
4. 概要版

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/kateikyoiuku/katei-shishin.html>



保護者向けリーフレット 「夢をはぐくむ家庭の元気（幼児期版）」 ～子どものすこやかな成長に向けて～ (平成24年3月)

【概要】

子どもの「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育むために、おおむね3歳児から小学校就学前の子どもを育てている家庭における取組のヒントとして作成したものです。

【主な内容】

1. わが家の生活のふり返り
2. 幼児期の家庭教育5つのポイント
3. 乳幼児期の成長過程とアドバイス
4. 概要版

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/kateikyoiuku/katei-shishin.html>



リーフレット 家庭の元気応援キャンペーン（していますか？お手伝い！）（平成21年2月）

【概要】

家庭の元気応援キャンペーンで家庭教育支援の充実に向けて提唱している4つの事項の中から、お手伝いに焦点をあて、データや有識者の助言等からお手伝いの大切さを伝え、家庭での実践を促すものです。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/kateikyoiuku/kateinogenki.html>



平成 27 年度「地域協育ネット」実践事例集（平成 28 年 3 月）

【概要】

山口県教育委員会では、「地域協育ネット」を推進しています。

「地域協育ネット」は、幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの育ちや学びを、地域ぐるみで見守り、支援するための、^{おおむ}概ね中学校区を一まとまりとした仕組みです。

この事例集は、「地域協育ネット」の概要や推進協力校区の取組、関連事業についてまとめたものです。

【URL】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/H27jireishuu/h27jireishuu.html>



【文化財保護】

山口県の文化財データベース

【概要】

県内には、現在、約600件の国・県指定文化財があります。

「いつでも・どこでも・誰でも」簡単に文化財情報を得ることができるように、データベース化を図ったものです。

また、学校の授業でも活用できるように、各文化財を年表形式にまとめた『学習サポート』による情報提供も行っています。

【URL】 <http://bunkazai.pref.yamaguchi.lg.jp/>

<Web掲載のみ>



「明治日本の産業革命遺産」の人材育成に向けた取組

【概要】

我が国の近代化は、幕末における西洋技術の導入以来、非西洋地域で初めて、かつ極めて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げたという点において、世界史的にも特筆されるべきものです。この8県11市に及ぶ23件の構成資産の概要や歴史的な意義をわかりやすく紹介しています。

【URL】 <http://www.kyuyama.jp/>

<Web掲載のみ>



【スポーツ】

山口県スポーツ推進条例（平成 24 年 3 月）

【概要】

山口県では、健やかで心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現をめざすため、今後のスポーツ推進の指針となる基本理念や基本的な施策を盛り込んだ「山口県スポーツ推進条例」を平成 24 年 3 月に制定しました。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11200/suisin/sjourei.html>



山口県スポーツ推進計画（平成 25 年 3 月） * 平成 27 年 8 月に一部改訂

【概要】

国のスポーツ基本計画の方向性や「おいでませ！山口国体・山口大会」の開催をはじめとした本県スポーツを取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、山口県スポーツ推進条例の理念等を基礎として、今後のスポーツ推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成 25 年 3 月に策定しました。

また、平成 27 年 8 月に県の最上位計画である「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」との整合性を確保するため、一部改訂を実施しました。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11200/suisin/201508030001.html>



山口県スポーツ情報ナビ

【概要】

<Web掲載のみ>

スポーツに関する県民運動を進めている「やまぐちスポーツ交流・元気県づくり推進会議」では、県民のスポーツ活動への参加の促進を図るため、県や市町、スポーツ関係団体等と連携・協力しながら、県内のスポーツ情報を提供しています。



【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11200/sportsinfo/sportsinfotop.html>

「スポーツ元気県やまぐち推進団体」認証制度

【概要】

<Web掲載のみ>

県内各地域において、スポーツ活動に親しみやすい環境づくりに取り組む団体を「スポーツ元気県やまぐち推進団体」として認証する制度を創設し、優れた取り組みを広く紹介することにより、県民のスポーツ活動への参加を促進します。

【URL】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11200/suisin/genkisuisin.html>

元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプランについて

(教育委員会関係の要約)

平成 27 年 3 月策定

【プランの性格と役割】

- 県が進める政策の基本的な方向をまとめた総合的な計画
- 具体的な施策を掲げた実行計画的な性格

【プランの基本的な考え方】

- ① 県づくりの基本目標
「活力みなぎる山口県」の実現
- ② 計画期間
平成26年度～平成29年度（4年間）
- ③ 県政推進の基本姿勢
 - ・市町、関係団体、企業、県民の力を結集
 - ・現場重視・成果重視・スピード重視の3つを基本
- ④ 新たな県づくりと地方創生
 - ・チャレンジプランの強力な推進により、地方創生の実現につなげる

【計画の構成（フレーム）】

- 5つの未来開拓戦略－15の突破プロジェクト－64の重点施策を設定
- 施策の総合的な推進 大項目(5項目)－中項目(25項目)－小項目(112項目)
- 123の活力指標 突破プロジェクトごとに具体的な数値目標を設定
- 「山口県活力創出本部」による総合的な進行管理

参 考 検索 ←

元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン H27.3

URL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10000/challenge/plan.html>

5つの未来開拓戦略

人口減少、少子高齢化等、本県が直面する様々な困難の克服に向けて、果敢にチャレンジし、「活力みなぎる山口県」を創っていくため、5つの「未来開拓戦略」を政策の柱として設定

- I 産業活力創造戦略 II 地域活力創造戦略
III **人材活力創造戦略** IV 安心・安全確保戦略 V 行財政基盤強化戦略

III **人材活力創造戦略**

本県の元気を創出しているのは人であるとの認識の下、子どもや若者は将来の夢が実現でき、女性をはじめとするあらゆる人材が活躍できる基盤の整備に向けて、子育て環境の充実、きめ細かな学習指導ができる教育体制の整備などを進める。

※本戦略の下に、諸課題を突破し活力ある未来を拓いていくため、選択と集中の視点に立ち、重点的に政策を進める3つの「突破プロジェクト」を設定

- ⑨ 子育てしやすい環境づくり推進プロジェクト
⑩ **次代を拓く教育充実プロジェクト**
⑪ みんなが活躍できる地域社会の実現プロジェクト

⑩ **次代を拓く教育充実プロジェクト**

次代を拓く子どもたちや若者を育成するため、社会総がかりでの「地域教育力日本一」の取組による確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた教育や大学等との連携・協働による地域活性化、山口県立大学の機能強化、私学の振興を推進

※本プロジェクトの下に、7つの「重点施策」を設定

- 重点施策 36 社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進**
重点施策 37 未来を切り拓く確かな学力の育成
重点施策 38 元気創造！！たくましいやまぐちっ子の育成
重点施策 39 一人ひとりを大切にするきめ細かな指導体制づくりの推進
重点施策 40 大学等との連携・協働による地域活性化
重点施策 41 山口県立大学の整備充実
重点施策 42 多様な教育ニーズに対応する私学の振興

「次代を拓く教育充実プロジェクト」の重点施策（教育委員会関係）について

重点施策 36

社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進

施策の方向

「コミュニティ・スクール」で子どもも大人もイキイキとする地域にやさしい学校づくり

- 地域とともにある学校づくりを推進するために、市町立小・中学校のコミュニティ・スクールの全校設置（100%）
- コミュニティ・スクールの活動の充実に向け、好事例の全県への普及などの取組を推進
- コミュニティ・スクールの県立高校・総合支援学校への新規設置
- コミュニティ・スクールに対する地域住民の理解、参画の推進
- 地域の絆づくりに貢献する、子どもと大人の学びの場となる学校づくりの推進

「地域協育ネット」による日本一の「学校、家庭、地域の温かい絆づくり」の推進

- 地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支援する「地域協育ネット」の全中学校区への設置
- 「地域協育ネット」の活動の充実に向け、全県的な気運の醸成による各地域の主体的な取組の推進、表彰制度などによる好事例の普及等の推進
- 地域と学校をつなぐ統括コーディネーターの全中学校区への配置（100%）
- 「やまぐち教育応援団」の活用や学校支援の充実を通じた「学校・家庭・地域の絆づくり」の推進
- 子育て環境の充実に向け、家庭教育支援のネットワークによる相談・支援体制づくりの推進

重点施策 37

未来を切り拓く確かな学力の育成

施策の方向

全国トップクラスの学力をめざす取組の充実

- 社会総がかりで実現する学力向上の気運醸成
- 全校体制による年2回の学力検証改善サイクルの確立
- 学校、家庭、地域が連携・協働して取り組む学習指導及び家庭教育支援の推進
- 学力向上に向け、学び続ける教職員を支援する体制づくりの充実

生徒の夢を志に高める高校教育の展開

- 課題の発見と解決に向けた学習や体験的な学習の充実など、生徒の主体的・協働的な学びを推進する、オリジナリティあふれる教育活動の充実
- 高校生の学力向上に向けた新たな調査研究と今後の大学入試改革等への的確な対応
- タブレット端末や電子黒板など、ICTを効果的に活用した次世代の教育の推進
- 希望進路の実現に向けた、教職員の指導力の向上を図る取組の充実

グローバル化に挑戦する山口県の未来を支える人づくり

- 日本人としてのアイデンティティをもちながら、郷土をはじめ日本や諸外国の伝統・文化を理解・尊重して、グローバル化社会で活躍できる人材の育成
- 英語による実践的なコミュニケーション能力の向上に向けた新たな環境づくり
- グローバル化社会を体験できる機会を高校生に提供する留学支援などの拡充や海外の姉妹校との交流の活性化

「世界スカウトジャンボリー」の円滑な大会運営の支援と大会の成果を活かした取組の推進

- 世界スカウトジャンボリーの開催に向けた気運の醸成、開催支援
- 国内外のスカウトと本県児童生徒との交流による国際理解の推進
- 世界スカウトジャンボリーの成果を活かした国際教育の充実

重点施策 38

元気創造！！たくましいやまぐちっ子の育成

施策の方向

ふるさとやまぐちの心に学ぶ道徳教育、体験活動の充実

- ふるさとにゆかりのある人材、資料を活用した道徳教育の充実
- いのち、なかま、やくそくを大切にする道徳の指導力向上に向けた研修の充実
- ふるさとを愛する心を育み、いじめの未然防止等、児童生徒の健全育成を目的とした自然体験やボランティア活動等の体験活動の充実
- 道徳教育や体験活動に関する好事例等の情報共有や相互交流の推進

児童生徒の社会的な自立を支援するキャリア教育の強化

- 体験的なキャリア教育（職場見学、職場体験活動、インターンシップ、大学・企業訪問等）の公立学校での100%実施
- 学校と家庭、地域、産業界等が連携した“オールやまぐち”でのキャリア教育の実施
- キャリア教育を通じた“ふるさと山口”の再発見

食育、遊び・スポーツ、読書に一体的に取り組む「子ども元気創造」の取組の推進

- 望ましい食習慣や読書習慣の定着などに向けた学校、家庭、地域が一体となった取組の推進
- 運動機会の充実など運動習慣の定着に向けた取組の推進
- 中国ブロックで開催される全国高等学校総合体育大会（平成28年）、全国中学校体育大会（平成30年）の開催に向けた準備、競技力の向上に向けた取組の充実

重点施策 39

一人ひとりを大切にするきめ細かな指導体制づくりの推進

施策の方向

一人ひとりを大切にする少人数学級化や少人数指導の推進

- 全国でも数少ない小・中学校の全学年で完全35人学級化の取組を推進
- 全市町における各学校の実情に応じた課題解決型少人数指導の充実

いじめの未然防止・早期対応・いじめ解消率100%をめざす相談・支援体制の充実

- 教職員の資質能力の向上及びいじめの防止等へ向けた広報・啓発活動の取組強化
- コミュニティ・スクールや地域協育ネットを活用した地域ぐるみのいじめ防止等の取組の推進
- スクールカウンセラーの充実とスクールソーシャルワーカーの全市町配置による相談・支援体制の充実・強化
- 中学1年時のいじめ等問題行動の急増に対応した教育相談や生徒指導の充実・強化

一人ひとりの心がつながる共生社会の形成に向けた特別支援教育の充実

- 全国トップクラスの就職率をめざす新しい職業学科（総合支援学校高等部）の設置
- 美祿・長門地域での、身近な地域で専門的な教育を受けることができる分教室を設置し、地域の特色を生かした「交流及び共同学習」などの実施
- インクルーシブ教育システムの構築に向けた、小・中学校のコミュニティ・スクールとの連携によるモデル校での実践研究や特別支援教育フォーラムの実施
- 基本的な学力、コミュニケーション能力を伸ばすICTを活用した教育の推進

多様なニーズに対応した特色ある学校づくり、学校・学科の再編整備の推進

- 第2期県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備の推進
- 高校の選択幅を広げ、中学生の多様な進路希望に応えるための、公立高校普通科の通学区域の全県化
- 下関地域に4つの基幹学科をもつ県内最大規模の工業高校の設置
- 福祉人材の育成のための、周防大島高校に福祉専攻科の設置
- 夜間定時制の再編、多様な学習ニーズに対応した多部制の定時制高校の設置
- 実験・実習設備等の計画的整備による学習環境の向上

重点施策 40

大学等との連携・協働による地域活性化

施策の方向

大学等が実施する高度産業人材の育成と連携した県内就職の促進

- 山口大学や県立大学等で構成する大学コンソーシアムを中心に進める、学生の県内就職促進のための教育プログラムの充実等に向けた取組との連携
 - ・高度産業人材の育成に向けた、大学等と県内企業が連携した実践型インターンシップの推進
 - ・産学公が緊密に連携したキャリア教育推進体制の充実
 - ・県内企業への就職につなげるための学生・保護者への県内企業の情報・魅力の発信
- 大学等における新規学卒者や留学生等の県内就職・定着に向けた取組との連携
- 大学生の県内定着を促進するための支援制度の充実（再掲:P98）

大学等の地域貢献の促進

- 大学等の有する知的財産や人材を活用した産業や地域の活性化に向けた取組の推進
- 新商品開発や技術革新を目指す県内企業や農林漁業者等と大学等との共同研究等の促進
- 大学等との連携による留学生との「絆」を活かした国際交流や経済交流の推進
- 大学等の魅力向上による県内大学等への進学促進

全県的推進体制による「産業クラスター構想」の推進

- 産学公金連携による全県的組織「やまぐちイノベーション推進協議会」における各種取組推進等

次世代イノベーション人材等の育成

I 産業活力創造戦略

③ 挑戦する中堅・中小企業応援プロジェクト

(活力指標)

- 職業教育技術顕彰受賞生徒(ハイレベルな資格を取得)の割合
- 高校生の就職決定率

(重点施策 11) ものづくり産業を牽引する人材の育成

専門高校等での地域産業を支える将来のスペシャリストの育成

- 職業意識の啓発と視野拡大を図る企業等でのセミナーの実施
- 専門性の深化と向上心を育成する資格取得の促進
- 実践的な技術・技能の習得に向けた産学公と連携したカリキュラムの充実
- 高い志の醸成と積極性・創造性の育成を図る全国大会等への挑戦
- 学習意欲やコミュニケーション能力の向上のための専門高校等の発表機会の充実
- 基礎的な技術・技能を高めるための実験・実習設備等の充実
- ものづくりの伝統の継承と先端技術の習得をめざした産業教育の展開
- ガイダンスの充実、求人開拓の強化、マッチングの促進による就職支援の充実

⑤ 山口の魅力発信・観光力強化プロジェクト

(重点施策 19) 明治維新 150 年に向けた観光需要の拡大

推進体制の整備と観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」の展開

- 大河ドラマ放送を契機とした官民一体となった観光プロジェクトの推進

(重点施策 20) 外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進

テーマツーリズムの推進や国際観光資源の充実

- 世界文化遺産や日本遺産、ジオパークの登録・認定に向けた関係市の取組支援や国際的な観光資源としての効果的な活用

III 人材活力創造戦略

⑨ 子育てしやすい環境づくり推進プロジェクト

(重点施策 33) 「みんなで子育て応援山口県」の推進

多様なニーズに対応する子育て支援事業の推進

- 企業等を巻き込んだ取組等多子世帯への支援の充実など子育て家庭の経済的負担の軽減

Ⅳ 安心・安全確保戦略

⑫ 災害に強い県づくり推進プロジェクト

(活力指標)

- 県立学校の耐震化率
- 市町立学校の耐震化率(小・中学校、幼稚園)

(重点施策 50) 生活・社会基盤の耐震化の推進

学校の耐震化の早期完了

- 県立学校（高等学校、総合支援学校、中等教育学校等）の建物や吊り天井等の耐震対策の早期完了
- 市町立幼稚園・小・中学校の耐震化の促進

(重点施策 51) 地域防災力の充実強化

防災意識の醸成

- 防災知識の普及啓発や防災教育・訓練の充実
 - ・ シンポジウム等の開催、防災教育・防災訓練の実施、災害教訓の伝承等

⑭ 日々の暮らし安心・安全確保プロジェクト

(重点施策 60) 子ども・女性・高齢者を犯罪から守る対策の推進

犯罪から子どもを守る対策の推進

- 児童相談所や学校、警察の連携強化

(重点施策 61) 子ども・高齢者等を交通事故から守る対策の推進

通学路等における交通安全対策の推進

- 地域ボランティア等と連携した児童の登下校時の見守り活動の推進

山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略について
(教育委員会関係の要約)

平成 27 年 10 月策定

山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

【策定趣旨】

○新たな県づくりの最重要課題である人口減少問題の克服に向け、チャレンジプランに掲げた取組のうち、産業・地域人材の活力創出に資する施策を重点的に絞り込み、本県の実情に応じた実践的な計画として策定し、実効性のある地方創生の取組を進める。

【位置付け】

- チャレンジプランの中で、「まち・ひと・しごと」創生に資する施策を戦略化し、実践的な取組を重点的に推進するための計画
- まち・ひと・しごと創生法第9条に基づく、山口県の「まち・ひと・しごと」の創生に関する基本的な計画

【総合戦略の構成】

○施策展開等を示した「戦略本体」と具体的な取組を記載した「アクションプラン」で構成

【計画期間】

○平成27年度(2015年)～平成31年度(2019年度)までの5年間

【基本的な施策の方向～やまぐち元気宣言～】

○山口県人口ビジョンの中間報告の3つの基本的視点を設定

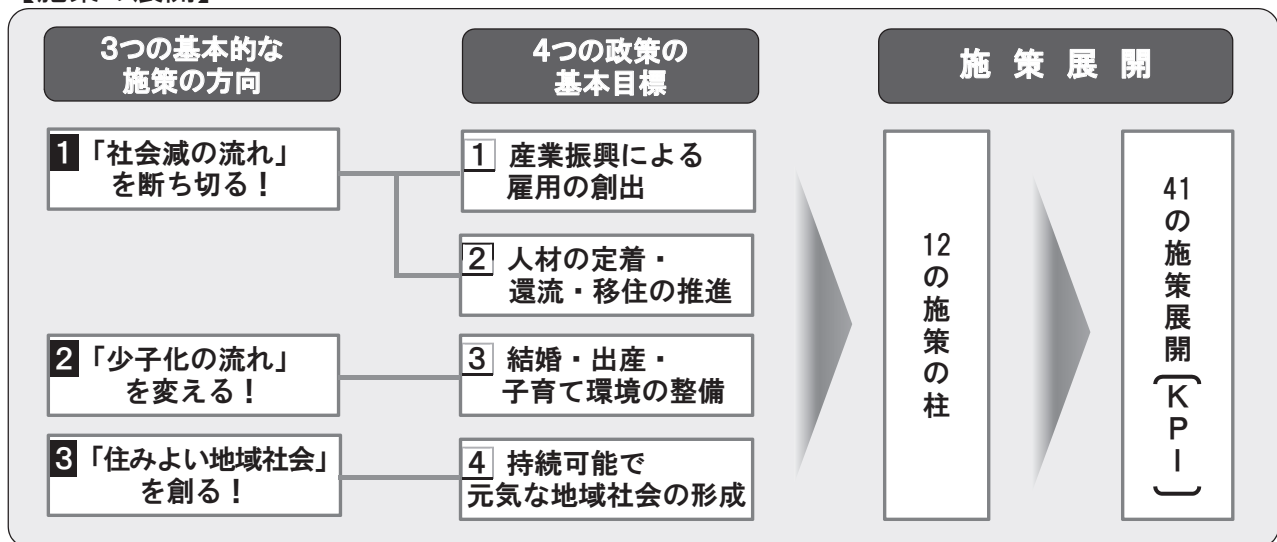
- 1 「社会減の流れ」を断ち切る！
- 2 「少子化の流れ」を変える！
- 3 「住みよい地域社会」を創る！

【政策の目標】

○3つの「やまぐち元気宣言」に沿って、4つの政策の基本目標を設定

- 1 産業振興による雇用の創出
・産業の活力を高め、人材の定着・還流の受け皿となる若者や女性等の雇用の場を創出
- 2 人材の定着・還流・移住の推進
・若者の定着・還流、本県への移住の促進による、転出者数の減、転入者数の増
- 3 結婚・出産・子育て環境の整備
・社会全体で子育て家庭を支える環境づくりと、次代を担う子どもたちの教育を充実
- 4 持続可能で元気な地域社会の形成
・人口減少社会にあっても、持続可能で、安心して生活できる元気な地域を形成

【施策の展開】



【参考】山口県人口ビジョンについて

地方創生に向けて、今後、本県が総力を挙げて取り組む上での指針

<記載項目>

①人口の現状分析

- ・総人口、人口移動、転出超過数の推移、将来人口推計など

②人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

- ・県民生活への影響、地域経済への影響

③人口の将来展望

◎将来展望に必要な調査・分析

- ・子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査
- ・東京在住者の今後の移住に関する意識調査
- ・県内大学生・高校生等の就職意識等調査

◎目指すべき将来の方向

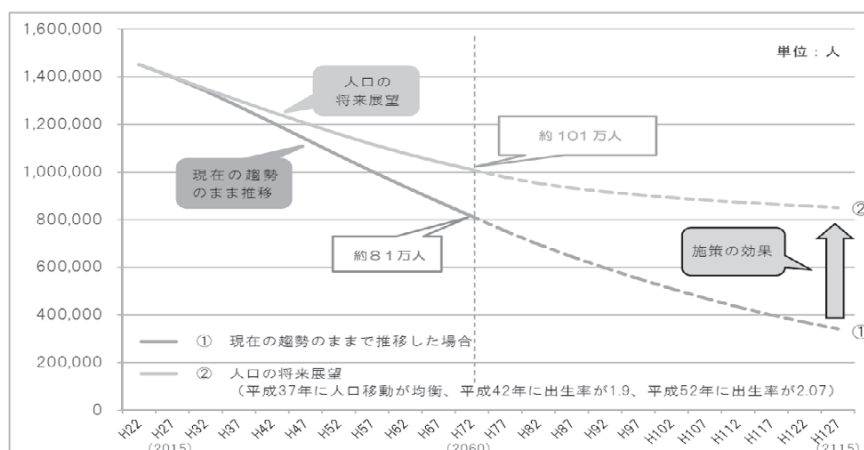
- ・「社会減の流れ」を断ち切る (人口の県外流出抑制と県内回帰を実現)
- ・「少子化の流れ」を変える (若い世代の結婚・子育ての希望を実現)
- ・「住みよい地域社会」を創る (本県の地域課題を解決)

◎人口の将来展望

- ・「社会減の克服」 → 平成37年(2025年) 人口流出と流入の均衡を実現
- ・「自然減の克服」 → 平成42年(2030年) 本県の希望出生数(1.9)を実現
平成52年(2040年) 人口置換水準の出生率(2.07)を実現

これらが実現できれば、平成72年(2060年) 人口100万人程度の水準維持が可能

将来、人口が安定的に推移することが見込まれる



現状の趨勢のまま推移した場合の推計①は、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口をベースとして試算

参考 検索

「山口県人口ビジョン」及び「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」H27.10
URL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10000/keikaku/chihouseusei.html>

I 総合戦略

ページ 番号	具体的な施策展開
1 産業振興による雇用の創出	
	(2) 地域の雇用を支える中堅・中小企業の応援
10~11	③地域産業を支え、次世代に引き継ぐ人材の確保・育成 [KPI 指標] 職業教育技術顕彰受賞生徒の割合 【現状値：21.6% (H26) → 目標値：25% (H31)】
	(4) 幅広い産業・地域を活性化させる観光の振興
14	③外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進
2 人材の定着・還流・移住の推進	
	(1) 山口への定着促進
15	①大学等との連携・協働による若者の定着促進 ②若者の希望を叶える就職支援の促進
	(2) やまぐちへの人の還流・移住の推進
16~17	①東京圏等からの人の還流、移住の推進
3 結婚・出産・子育て環境の整備	
	(1) 子育てしやすい環境づくり
18	①「みんなで子育て応援山口県」の推進
	(2) 次代を拓く教育の充実
19~21	①ふるさとやまぐちを愛する子どもの育成 [KPI 指標] 体験的なキャリア教育の実施割合 【現状値：小・中 100% 高 94.6% (H26)、 → 目標値：小中高 100% (H31)】 ②社会総がかりによる地域教育力日本一の取組の推進 [KPI 指標] コミュニティ・スクールの設置率 【現状値：81.6% (H26) → 目標値：100%】 [KPI 指標] 統括コーディネーターの配置率 【現状値：63.6% (H26) → 目標値：100%】 ③やまぐちの未来を担う子どもたちを育む教育環境の充実 [KPI 指標] 全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差 【現状値：小学校 国A+0.7、国B+2.3、算数A+1.4、算数B+0.4 (H26) ：中学校 国A+1.3、国B+1.4、数学A+2.9、数学B+2.8 (H26) →小・中学校全区分で全国平均を3ポイント上回る】 [KPI 指標] 英検2級及び準2級の受験者数及び合格者数(年間) 【現状値：受験者2,744人、合格者961人(H26) → 受験者3,000人、合格者1,000人(H31)】 [KPI 指標] いじめの解消率の向上 【現状値：93.0% (H25) → 目標値：100%に近づける】

II 総合戦略アクションプラン

ページ 番号	具体的取組
1 産業振興による雇用の創出	
	(2) 地域の雇用を支える中堅・中小企業の応援
42～43	③地域産業を支え、次世代に引き継ぐ人材の確保・育成 ○専門高校等での地域産業を支える将来のスペシャリストの育成
	(4) 幅広い産業・地域を活性化させる観光の振興
58～59	③外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進 ○訪日旅行推進体制や戦略的な情報発信、誘客の強化 ※世界スカウトジャンボリー開催支援 ○テーマツーリズムの推進や国際観光資源の充実 ※世界遺産や日本遺産の登録・認定に向けた取り組み支援等
2 人材の定着・還流・移住の推進	
	(1) やまぐちへの定着促進
63	①大学等との連携・協働による若者の定着促進 ○大学等の地域貢献の促進 ※県内大学への進学促進（オープンキャンパス等への参加促進） ②若者の希望を叶える就職支援の促進 ○若者の県内就職支援の推進
	(2) やまぐちへの人の還流・移住の推進
68	①東京圏等からの人の還流、移住の推進 ○県外に進学した大学生等を中心としたUターン就職対策の強化 ※大学進学者や保護者等に対する就職関連情報提供の充実
3 結婚・出産・子育て環境の整備	
	(1) 子育てしやすい環境づくり
73	①「みんなで子育て応援山口県」の推進 ○多様なニーズに対応する子育て支援の推進 ※子育て家庭の経済的負担の軽減(第3子以降の保育料等の軽減)
	(2) 次代を拓く教育の充実
79～83	①ふるさとやまぐちを愛する子どもの育成 ○ふるさとやまぐちの心に学ぶ道徳教育、体験活動の充実 ○児童生徒の社会的・職業的な自立を支援するキャリア教育の強化 ②社会総がかりによる地域教育力日本一の取組の推進 ○「コミュニティ・スクール」で子どもも大人もイキイキとする地域にやさしい学校づくり ○「地域協育ネット」による日本一の「学校、家庭、地域の温かい絆づくり」の推進 ③やまぐちの未来を担う子どもたちを育む教育環境の充実 ○全国トップクラスの学力をめざす取組の充実 ○グローバル化に挑戦する山口県の未来を支える人づくり ○一人ひとりを大切にする少人数学級化や少人数指導の推進 ○いじめの未然防止・早期対応・いじめ解消率100%をめざす相談・支援体制の充実



平成28年度全国高等学校総合体育大会

美以咲け 君の笑顔と努力の華

2016 情熱疾走 中国総体

開催期間：2016年 7月28日(木)～8月20日(土)

※サッカー(男子)は7月26日(火)～8月2日(火)



平成 28 年度山口県教育推進の手引き

平成 28 年(2016 年) 4 月

山口県教育委員会

〒753-8501 山口市滝町 1 番 1 号